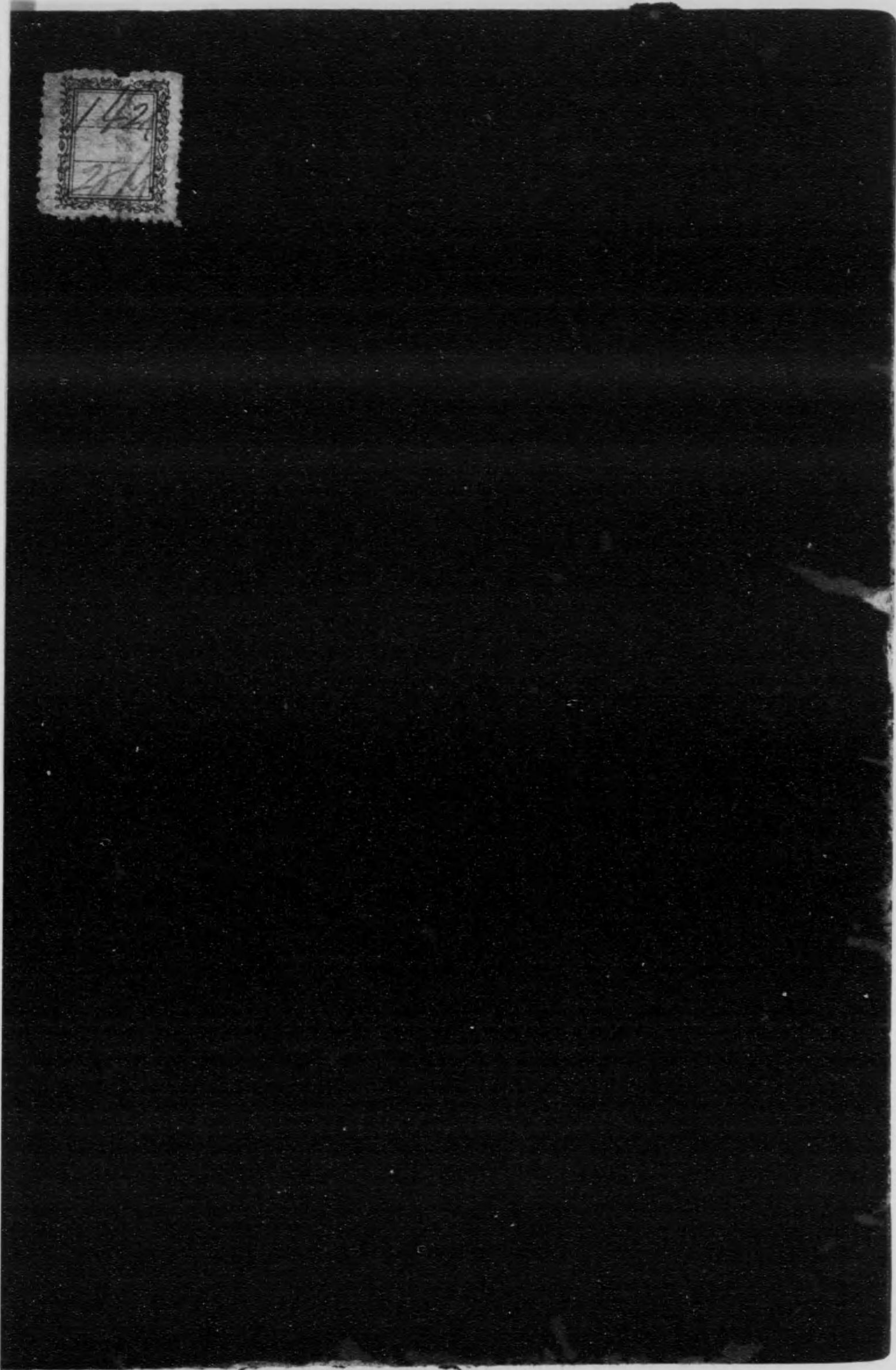
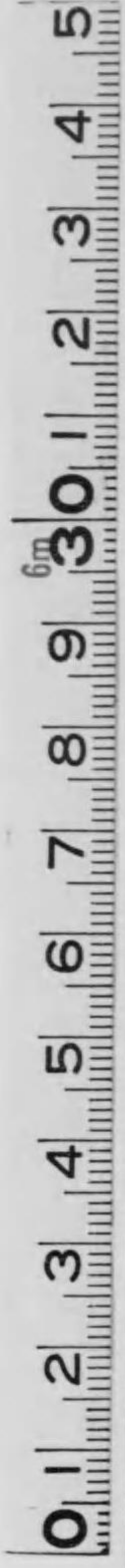




發



大正八年度事業報告

新潟縣農事試驗場

1421
28/1

1421-28/1



本報告ハ當場ニ於テ執行セル大
正7年度冬作及ビ大正8年度夏
作試験成績並ニ其ノ他ノ事業ヲ
記載シタルモノナリ

大正九年十一月

新潟縣農事試験場長 榎本中衛



凡 例

1. 大麥及ビ小麥ニ關スル成績ハ大正7年度冬作其ノ他ハ同8年度夏作ナリ
1. 本報告記載ノ收穫成績表ハ特殊ノモノヲ除ク外總テ1反歩ノ改算量トス
1. 累年平均收量ハ四捨五入法ニヨリテ計算セリ
1. 累年平均收量欄括弧内ノ數字ハ平均年數ヲ示ス
1. 生育狀況ハ本報告記載以外ニ詳細ナル調査成績アルモ之ヲ省略セリ
1. 水稻陸稻及麥類ノ稈長ハ土際ヨリ穂先迄ノ全長ナリ

目 次

施用肥料及氣象

施用セル肥料ノ成分及其ノ價格表	1
1. 大正7年度冬作用	1
2. 大正8年度夏作用	1
氣象觀測成績	2

種 藝 部

耕種梗概	5
1. 大 麥	5
2. 小 麥	5
3. 水 稻	6
4. 陸 稻	8
5. 大 豆	8

肥培管理ニ關スル試驗

第一 大 麥

1. 麥作豊凶考照試驗	9
2. 窒素質肥料種類試驗	11
3. 磷酸質肥料種類試驗	12
4. 窒素對磷酸加里施用量試驗	13
5. 施肥料試驗	14
6. 播種法試驗	15
7. 輪栽法試驗	16
8. 土入回数試驗	17
9. 移植期試驗	18
10. 栽培法試驗	19

第二 水 稻

1. 豊凶考照試驗	21
2. 品種ト肥料施用量トノ關係試驗	26
3. 耕鋤ノ深淺ト施肥量トノ關係試驗	29
4. 窒素ニ對スル磷酸加里施用量試驗	30
5. 追肥期試驗	32
6. 耕起法試驗	33
7. 株間廣狹對1坪株數試驗	34
8. 品種ト1本植對株數試驗	36

9. 二毛作跡地栽培法試驗	38
10. 遲播期試驗	39
11. 遲直播移植下1株木數下ノ關係試驗	40
12. 芽出ノ長短下苗ノ生育關係調査	40
13. 生育調査	41
第三. 陸 稻	44
1. 旱害豫防試驗	44
育種研究ニ關スル試驗	46
第一. 大 麥	46
1. 品種比較本試驗	46
2. 品種比較豫備試驗	47
3. 純系淘汰試驗	48
第二. 小 麥	49
1. 品種比較本試驗	49
2. 品種比較豫備試驗	50
第三. 水 稻	51
1. 品種比較本試驗	51
2. 品種比較豫備試驗	54
3. 品種特性調査	58
4. 純系淘汰試驗	59
5. 人為雜種淘汰試驗	63
6. 自然雜種淘汰試驗	64
第四. 陸 稻	64
1. 品種比較試驗	64
2. 純系淘汰試驗	64
第五. 大 豆	65
1. 品種比較試驗	65
2. 純系淘汰試驗	67
3. 綠肥大豆品種比較試驗	67
第六. 小 豆	68
1. 純系淘汰試驗	68
農具ニ關スル試驗	68
依 托 試 驗	69
1. 麥作試驗地	69
2. 水田二毛作試驗	70
3. 麥作模範作地	70

4. 水稻品種比較依託試驗	71
5. 陸稻旱害豫防試驗	74
優良種子普及事業	75
第一. 原種圃事業	75
1. 水稻原種圃	75
2. 陸稻原種圃	78
3. 麥原種圃	79
4. 水稻原種試作地	79
第二. 採種圃事業	82
1. 米採種圃	82
2. 麥採種圃	84
3. 種子配付	84

園 藝 部

耕 種 梗 概	85
1. 胡 瓜	85
2. 茄 子	86
3. 菜 豆	87
4. 南 瓜	88
5. 蘿 蔔	88
6. 馬 鈴 薯	89
7. 甘 藷	90
8. 菸 類	91
9. 甘 藍	91
10. 葱	92
11. 胡 蘿 蔔	93
12. 豌 豆	93
肥培管理ニ關スル試驗	94
第一. 果 樹	94
1. 李 試 驗	94
2. 桃 試 驗	95
3. 櫻 桃 試 驗	95
4. 栗 試 驗	96
5. 柿 試 驗	96
6. 和 梨 試 驗	97
7. 洋 梨 試 驗	97
8. 苹 果 試 驗	98

9. 葡萄試驗 98

第二 蔬 菜 99

1. 茄子疏黃效果試驗 99

2. 南瓜落果防止法試驗 100

3. 蘿蔔鬆入ニ關スル試驗 102

4. 甘藷貯藏法試驗 108

5. 結球白菜肥料試驗 118

6. 甘藷結球歩合土砂トノ關係試驗 119

7. 葱種子試驗 120

育種研究ニ關スル試驗 121

第一 果 樹 121

1. 果樹見本園 121

2. 砧木見本園 122

3. 果樹試作 123

4. 苗圃 123

5. 歐洲葡萄品種特性調査 123

第二 蔬 菜 126

1. 節成胡瓜品種比較試驗 126

2. 茄子品種比較試驗 127

3. 種實用菜豆品種比較試驗 128

4. 蘿蔔品種比較試驗 129

5. 馬鈴薯品種比較試驗 130

6. 甘藷品種比較試驗 132

7. 甘藷純系淘汰試驗 133

8. 結球白菜品種比較試驗 133

9. 春蒔胡蘿蔔品種比較試驗 134

10. 豌豆品種比較試驗 135

依 托 試 驗 137

1. 蔬菜水田二毛作試驗 137

模 範 果 樹 園 142

採 種 組 合 144

養 鷄ニ關スル試驗其他 145

1. 一代雜種試驗 145

2. 飼 育 146

3. 種卵種禽ノ配付 146

4. 養 鷄 組 合 147

農 藝 化 學 部

耕 種 梗 概 149

1. 木 框 試 驗 149

2. ヲケネル氏圓筒 149

肥料ニ關スル試驗 149

1. 水稻過磷酸石灰施用法試驗 149

2. 三要素天然供給量檢定試驗 151

3. 水稻窒素質肥料試驗 152

4. 水稻磷酸質肥料試驗 154

5. 水稻三要素適量試驗 156

6. 水稻ニ對スル主要窒素質肥料極量試驗 158

7. 水稻米雜施用法試驗 160

8. 水稻ニ對スル鹽化曹達有害程度並ニ之ガ豫防法試驗 161

不良土壤ニ關スル試驗 162

1. 大豆月夜病豫防試驗 162

施肥標準調査 164

1. 施肥標準量試驗 164

2. 施肥標準實地踏査並ニ調査完了町村 166

3. 施肥標準調査設計ニ基ク試驗田 167

分析件數及成分數 167

1. 化學的分析 168

2. 理學的分析 168

病 蟲 部

病害ニ關スル試驗 169

1. 雲葉萎縮性病害試驗 169

2. 稻葉切病ニ關スル試驗 170

3. 稻熱病及稻大粒白絹病ト品種トノ關係試驗 176

4. 大豆病害試驗 177

5. 白菜・甘藷腐敗病試驗 180

6. 茄立枯病土壤消毒試驗 185

蟲害ニ關スル試驗 186

第一 一 般 害 蟲 186

1. 芋樹綿蟲驅除試驗 187

2. 蝶姑喰害防除試驗 187

3. 半樹綿蟲歩行力試験	190
第二 二化螟蟲	191
1. 稻莖除ノ影響試験	191
2. 第一回被害影響試験	193
3. 被害莖摘採ノ動搖及蹈切ノ影響試験	195
4. 追肥ノ有無ト被害關係試験	200
5. 越冬幼蟲ノ乾燥ニ對スル試験	201
寄生蜂ニ關スル試験	202
1. 菜青蟲寄生蜂試験	202
2. 菜青蟲ノ自然斃死數試験	204
藥劑ニ關スル試験	205
1. 亞砒酸曹達液使用試験	205
2. ナフタリンノ發芽及生育ニ及ボス影響試験	206
3. 馬酔木利用ニ關スル試験	208
特殊研究成績	211
1. 害虫ニ關スル研究	211
2. 新害虫ノ研究	211
3. 寄生蜂ニ關スル研究	212
4. 病菌ニ關スル研究	213
5. 野鼠及野鼠チブス菌研究	213
調査成績	216
1. 二化螟蟲發蛾調査	216
2. 稻肥料ト二化螟蟲被害數調査	217
3. 茄品種ト青枯病發生數調査	217
4. 茄子硫黃華施用量ト青枯病發生數調査	218
5. 桃品種ト縮葉病ノ關係調査	218
依託試験	219
1. 梨姬心喰蟲防除試験	219
2. 茄立枯病防除試験	223
3. 白菜腐敗病防除試験	227
4. 馬鈴薯病虫害防除試験	229
5. 桃蚜蟲防除試験	231
6. 大豆病害防除試験	233
野鼠チブス菌配付	238
病虫害防除組合	239

農業技術員養成部

庶務會計部

出張ニ關スル事項	243
報告發刊ニ關スル事項	243
文書取扱件數	243
參觀人員	244

施用肥料及氣象

施用セル肥料ノ成分及其ノ價格表

1. 大正7年度冬作用

肥料名	10貫價格	所含成分量 (%)			
		窒	素	磷	加 里
堆肥	1.180	.513	.411	.402	
大豆粕	3.500	7.091	1.480	.988	
人糞尿	.270	.761	.254	.227	
強過磷酸石灰	2.250	—	20.811	—	
燻灰	.800	—	1.057	3.061	
米糠	2.200	2.053	3.854	.533	
石灰窒素	14.300	14.952	—	—	
トーマス燻肥	3.000	—	15.504	—	
硫酸アンモニア	16.300	19.078	—	—	
鱈粕	11.000	6.415	4.363	.573	
種粕	4.000	5.344	2.300	1.233	
智利硝石	10.200	14.743	—	—	
硫酸加里	7.000	—	—	27.968	
蒸製骨粉	4.300	3.875	22.347	—	

2. 大正8年度夏作用

肥料名	10貫價格	所含成分量 (%)			
		窒	素	磷	加 里
大豆粕	3.800	6.71	1.54	2.09	
蒸製骨粉	4.700	4.36	22.71	—	
堆肥	.200	.71	.38	.50	
燻灰	.950	—	1.59	4.75	
石灰窒素	14.600	18.33	—	—	
強過磷酸石灰	2.320	—	20.42	—	
人糞尿	.300	.52	.49	.32	
人糞	.650	1.02	.79	.34	
人尿	.170	.43	.17	.30	
硫酸加里	9.600	—	—	41.64	
硫酸アンモニア	13.500	20.35	—	—	

氣象觀測成績

當場ニ於テ大正7年9月ヨリ大正8年12月迄ノ氣象觀測シタル結果下ノ如シ

氣象表 (觀測時毎日午前10時)

年 月 別	旬 別	最高極度		最低極度		最高最低平均氣溫	日照時間	天氣日數			降水量
		度	日	度	日			晴	曇	雨又雪	
大正7年9月	上旬	32.7	9.5	14.5	9.2	23.6	57.3	4	6	—	40.3
	中旬	31.0	9.14	12.8	9.15	21.9	37.2	4	4	2	60.5
	下旬	27.0	9.24	11.6	9.26	19.2	17.0	3	3	4	72.6
全 10月	上旬	25.0	10.9	17.3	10.10	17.7	26.8	3	4	4	87.9
	中旬	20.5	10.14	5.9	10.20	17.5	40.8	1	6	3	64.2
	下旬	10.0	10.24	5.7	10.21	12.6	18.5	1	7	3	112.4
全 11月	上旬	10.2	11.8	5.0	11.1	10.5	11.9	3	3	4	184.3
	中旬	2.0	11.11	0.2	11.11	6.4	10.4	1	5	4	117.4
	下旬	6.5	11.28	1.2	11.26	7.9	25.0	2	2	6	106.6
全 12月	上旬	3.2	12.10	(-1.5)	12.9	5.0	9.0	3	2	5	98.5
	中旬	1.6	12.15	(-5.3)	12.11	1.7	1.0	1	6	3	141.6
	下旬	0.6	12.29	(-2.5)	12.22	(-0.7)	10.4	2	2	7	48.4
大正8年1月	上旬	(-0.2)	1.1	(-4.4)	1.6	4.3	8.3	1	2	7	202.6
	中旬	(-1.3)	1.20	(-5.7)	1.19	0.5	1.3	1	3	6	56.0
	下旬	(-1.5)	1.31	(-6.2)	1.21	(-1.2)	3.1	2	—	8	54.6
全 2月	上旬	(-1.8)	2.5	(-9.7)	2.7	(-2.4)	9.9	4	4	2	49.3
	中旬	17.4	2.16	(-9.9)	2.18	1.5	34.6	5	5	—	21.2
	下旬	7.6	2.27	(-6.7)	2.21	2.3	11.3	4	1	3	14.1
全 3月	上旬	11.2	3.9	(-5.2)	3.5	3.5	21.3	4	1	5	19.5
	中旬	16.0	3.18	(-1.3)	3.17	4.4	35.3	5	2	3	21.9
	下旬	17.5	3.21	(-2.2)	3.30	4.2	30.0	7	—	3	80.9
全 4月	上旬	20.8	4.4	(-2.1)	4.4	7.6	25.8	6	3	1	30.1
	中旬	21.8	4.15	(-0.5)	4.12	8.9	45.7	5	3	2	53.4
	下旬	21.8	4.26	(-2.1)	4.21	11.2	49.8	9	—	1	54.2
全 5月	上旬	26.3	5.10	1.0	5.1	14.4	44.8	6	2	2	90.1
	中旬	25.0	5.18	4.6	5.16	13.1	37.7	6	2	2	31.0
	下旬	27.3	5.29	3.5	5.24	16.8	52.6	7	2	2	30.0
全 6月	上旬	28.4	6.8	6.9	6.2	19.7	52.1	8	1	1	18.9
	中旬	26.3	6.16	10.9	6.14	19.0	14.6	5	3	2	55.4
	下旬	27.5	6.29	11.7	6.25	19.8	33.8	5	4	1	37.7

大正8年7月	上旬	29.0	7.3	11.6	6.9	21.0	53.4	5	3	2	45.0
	中旬	32.5	7.19	11.7	7.13	23.8	99.4	9	1	—	3.0
	下旬	32.6	7.30	17.8	7.17	27.2	64.3	6	3	2	91.8
全 8月	上旬	32.6	8.4	15.7	8.7	24.2	36.6	6	2	2	6.4
	中旬	32.5	8.13	15.1	8.11	23.5	48.4	7	—	3	54.9
	下旬	32.3	8.25	13.4	8.22	26.8	77.0	7	—	3	18.5
全 9月	上旬	34.1	9.4	12.1	9.8	23.3	67.1	8	—	2	86.5
	中旬	32.6	9.14	11.7	9.13	21.4	14.6	3	3	4	125.6
	下旬	25.8	9.21	10.1	9.28	18.5	23.1	2	5	3	155.1
全 10月	上旬	25.1	10.3	10.5	10.8	17.6	19.2	3	4	3	78.0
	中旬	22.8	10.20	3.5	10.19	14.9	32.6	5	3	2	58.4
	下旬	21.5	10.27	6.1	10.30	15.0	35.2	3	5	3	86.1
全 11月	上旬	22.2	11.4	0.7	11.10	11.6	29.7	5	3	2	20.8
	中旬	19.0	11.16	0.6	11.11	9.6	12.9	6	2	2	40.0
	下旬	14.8	11.23	0.3	11.24	6.3	16.5	2	3	5	43.0
全 12月	上旬	13.5	12.3	(-3.4)	12.6	4.6	10.1	4	2	4	104.5
	中旬	7.5	12.13	(-3.7)	12.19	1.0	11.1	3	3	4	57.0
	下旬	5.8	12.24	(-8.7)	12.24	0.4	7.3	—	—	—	86.5

備考 表中(-)印ハ零度以下ヲ示ス

積 雪

旬 別	大正6年12月		大 正 7 年					
	積雪	根雪	1 月		2 月		3 月	
上 旬	4.8	4.8	57.9	22.0	25.0	27.5	4	7 消雪
中 旬	19.9	3.7	12.8	18.5	5.0	21.0	—	—
下 旬	20.3	11.5	21.3	27.0	—	10.5	—	—

備考 1. 表中根雪欄ノ數字ハ最終日ノ根雪ノ高ヲ示ス

2. 本年度ニ於ケル初雪月日 大正7年11月10日

3. 全 上消雪月日 大正8年3月7日

種 藝 部

耕 種 梗 概

特殊ノ試験ヲ除ク外次ノ如シ

1. 大 麥

整 地 夏作収穫後深ク耕起シ置キ播種ノ際ニ至リ土塊ヲ碎キ地均シヲナセリ

畦 幅 2尺

選 種 母本ヲ選ビ拔穂ヲナシ更ニ比重1.12ノ鹽水ニテ9月18日選種後清水ニテ洗滌シタルモノヲ直チニ麥黑穗病豫防トシテ冷水温湯浸法ヲ行フ

播種期及播種量 特殊ノモノ、外9月26日乃至10月1日ノ間ニ於テ晴天ヲ選ビ反當6升ノ割ヲ以テ播種ヲ了セリ

播種法 播條内ニ別記肥料中堆肥及大豆粕ノ全量ヲ施シ間土3乃至4分ヲ置キ5乃至6寸ノ幅ニ踏ミタル後過磷酸石灰ノ全量及人糞尿ノ一部ヲ施シ所定ノ種子ヲ條播シ其上ヨリ藁灰ノ全量ヲ撒布シ3乃至4分ノ覆土ヲ行ヒ輕ク鎮壓ス

肥 料 反當施用量及所含成分量下ノ如シ

肥 料	總 量	元 肥	追 肥	價 額	所 含 成 分 量		
					窒 素	磷 酸	加 里
堆 肥	200.000	200.000	—	3.600	1.026	.822	.804
大 豆 粕	6.000	6.000	—	2.100	.425	.089	.059
人 糞 尿	180.000	50.000	130.000	4.860	1.370	.457	.408
過 磷 酸 石 灰	4.000	4.000	—	.900	—	.832	—
藁 灰	20.000	20.000	—	1.600	—	.211	.612
計	—	—	—	13.060	2.821	2.411	1.883

施肥期 元肥ハ播種ノ際ニ施シ追肥ハ春季融雪後4月2日乃至4月10日間ニ於テ人糞尿反當130貫ノ割合ヲ以テ施ス

中耕及土寄 生育期間中3回之レヲ行フ即チ第一回ハ降雪前第二回ハ追肥ノ際第三回ハ穂孕期1週間前ニ行ヘリ

除 草 第三回中耕ノ際之レヲ行ヘリ

2. 小 麥

栽培法ハ大麥ト同様ナルモ左ニ異ナル點ノミヲ記ス
 選種 比重1.20—1.22ノ鹽水ニテ選別スルモノトス
 播種期 10月上旬
 播種量 反當4升
 肥料

肥料名	總量	元肥	追肥	所含成分量		
				窒素	磷	酸加里
堆肥	200.000	200.000	—	1.140	.800	.960
大豆粕	6.000	6.000	—	.424	.098	.086
人糞尿	180.000	50.000	130.000	1.116	.882	.576
過磷酸石灰	4.000	4.000	—	—	.800	—
藥灰	20.000	20.000	—	—	.318	.958
計	—	—	—	2.680	2.898	2.580

3. 水 稻

1. 苗代

整地 秋季ニ於テ3—4寸ノ深サニ耕起シ排水シ置キ春季融雪後4月14日再耕シ土塊ヲ碎キ稻株ヲ去リ肥料ヲ施シ播種前ニ至リ灌水シ町疇ニ代掻キヲ行ヒ播代ヲ作レリ幅4尺長サ適宜ノ短冊形ニシテ周圍ニ幅1尺前後ノ溝ヲ設ケ水ノ灌排ニ便ナラシメ播床面ノ周圍ニハ粗止ヲ設ク

肥料 播代1歩ニ人糞尿1貫石灰窒素20匁藥灰150匁過磷酸石灰20匁ノ割合ヲ以テ施用セリ

施用法 石灰窒素ハ4月15日ニ施用シ能ク攪拌シ其他ノ肥料ハ4月17日ヨリ4月20日ニ至ル4日間ニ施用シ直チニ代掻キヲナシ4月21日ヨリ2日間ニ短冊ヲ作り4月23日1日間放置シ水ノ清澄ヲ待チテ播種セリ

選種 粳ハ1.13糯ハ1.08ノ比重ヲ有スル鹽水ニテ4月14日選種シ後清水ニテ洗滌シ直チニ浸種セリ

浸種 布袋又ハ藁俵ニ入レ浸漬シタルモノヲ時々反轉シ其後ニ於テ2—3日間ハ水ヨリ引揚ゲ其儘陽乾シ夜間ハ再ビ浸漬シ4月23日朝水中ヨリ揚ゲ水ヲ滴下シ播種ノ準備ヲナセリ

播種 播代1歩ニ付浸種後ノ種子4合播トシ4月24日ヨリ26日ニ至ル3日間ニ亘リテ播種ヲ了セリ

管理 播種後3日間ハ1寸位ノ淺水トナシ其後溫暖ナル日中ニハ時々數時間(午前10時—午後3時頃迄)排水シ夜間及ビ雨天ノ日ニハ稍々深ク灌水シ苗ノ1寸以上ニ生長シタル際ニハ夜間2—3回排水シ其後ハ常ニ1寸前後ノ水ヲ湛ヘ3日—5日毎ニ排水シ田面ヲ乾シ又苗1寸以上ニナリタル頃播代ノ周圍ニアル粗止ヲ除キ溝ノ泥土ヲ搔キ上グ

2. 本田

整地 春季融雪後5—6寸位ノ深サニ耕起シ乾燥セシメ5月上旬ニ至リ土塊ヲ碎クト同時ニ土地ヲ平坦ニシ植付數日前ニ至リ灌水シ肥料ヲ施シ精細ニ代掻キヲナシ移植ノ準備ヲナセリ

肥料 肥料試驗ヲ除ク外反當肥料ハ次表ノ如シ

肥料名	總量	内 譯		價 額	所含成分量		
		元肥	追肥		窒素	磷	酸加里
堆肥	150.000	150.000	—	3.000	1.065.0	.570.0	.705.0
大豆粕	12.000	12.000	—	4.560	.805.2	.184.8	.250.3
蒸製骨粉	3.000	3.000	—	1.440	.130.8	.681.3	—
過磷酸石灰	1.800	1.800	—	.340	—	.367.6	—
人糞尿	60.000	—	60.000	1.800	.372.0	.294.0	.192.0
藥灰	12.000	12.000	—	1.140	—	.190.8	.572.0
計	—	—	—	12.280	2.373.0	2.283.5	1.762.3

施肥期 元肥ハ代掻前ニ追肥ハ2番除草ノ際即チ追肥期試驗ヲ除ク外6月28日ヨリ7月12日ニ至ル迄ノ間晴天ノ日ヲ選ビ施ス

移植期 6月1日ヨリ6月15日ニ至ル迄ノ間ニ行フ

1坪株數及1株本數 1坪ニ對シ早稻54株1株5本植中稻48株1株4本植晚稻42株1株3本植

除草 早中晩ヲ通ジテ4回即チ移植後15日内外毎ニ手取ヲナス

灌排水 移植後一番除草迄ハ1寸乃至2寸位ノ水ヲ灌ギ其後ハ每除草ノ際及其中間ニ1回宛排水シ一兩日間田面ヲ乾シ出穂期ニハ常ニ灌水シ穂揃収花後ハ全ク排水シ田面ノ乾燥ヲ圖ル

病虫害防除 移植後ハ常ニ注意シ螟虫採卵及被害莖ノ摘採其他病虫害

ノ驅除豫防ヲ行フ

4. 陸 稻

整地 播種前如地ヲ耕起シ土塊ヲ細碎シタル後地均シヲナシ播種ノ準備ヲナセリ、種子ハ比重1.10ノ鹽水ニテ選ビ清水ニテ洗滌後俵ニ入レ3日間清水中ニ浸漬シ反當6升ノ割合ヲ以テ畦幅2尺ノ平畦ニ5月9、10ノ兩日ニ播種セリ

肥料

肥料名	施 用 量				所 含 成 分 量		
	總 量	元 肥	第1回追肥	第2回追肥	窒 素	磷 酸	加 里
堆 肥	150.000	150.000	—	—	1.065	.570	.750
人 尿	150.000	150.000	—	—	.645	.255	.450
人 糞 尿	120.000	—	50.000	70.000	.744	.588	.384
過 磷 酸 石 灰	3.000	3.000	—	—	—	.614	—
藥 灰	15.000	15.000	—	—	—	.239	.713
計	—	—	—	—	2.454	2.266	2.297

施肥期 元肥ハ播種ノ際ニ、第一回追肥ハ6月24日第二回追肥ハ7月19日ニ施セリ

中 耕 前記追肥ノ際之レヲ行フ

5. 大 豆

整地 前年秋期ニ於テ如地ヲ耕起シ置キ春期播種ノ準備ヲナス
畦 幅 2尺

株 間 早生7寸, 中生9寸, 晩生1尺1寸

選 種 中形整粒ノモノヲ選別ス

播種法 互ノ目2行ニ一ヶ所2—3粒宛播下シ發芽後2本立トス

播種期 5月下旬

肥料 反當施用量左ノ如シ

肥料名	總 量	元 肥	追 肥	價 額	所 含 成 分 量		
					窒 素	磷 酸	加 里
人 尿	30.000	—	30.000	.510	.129	.051	.090
強過磷酸石灰	3.000	3.000	—	.699	—	.613	—
藥 灰	24.000	24.000	—	2.280	—	.382	1.140
計	—	—	—	3.489	.129	1.046	1.230

施肥期 發芽後10日目ニ人尿全量ヲ追肥トシ其他ハ元肥トシテ作畦ノ際施セリ

中耕, 除草 中耕2回, 除草適宜之レヲ行フ

肥培管理ニ關スル試驗

第一 大 麥

1. 麥作豐凶考照試驗 (續第16年)

本試驗ハ毎年品種, 肥料, 耕種法等ヲ同一トナシ各期ニ於ケル生育狀況ヲ調査シ之ニヨリ其年ノ麥作豐凶ヲ豫想スルト同時ニ監督官廳及主務省ニ報告ノ基礎トスルニアリ

試驗別並ニ成績

(1) 生育狀況

區名	品 種 名	12月7日狀況		雪害 多少	5月6日狀況		收穫期		收穫當時狀況		
		草丈	畦1尺間莖數		草丈	畦1尺間莖數	收穫期	成熟期	稈長	畦1尺間莖數	剛柔
1	大麥長岡	.98	101	多	2.06	76	5.19	6.17	3.56	46	剛
2	全今朝白	.98	91	全	2.20	64	5.17	6.14	3.56	36	柔
3	全六角シユバリー	.99	85	全	1.93	62	5.19	6.16	3.34	29	剛
1	小麥横澤	1.00	103	全	2.21	57	5.28	6.28	4.30	56	稍剛
2	全赤皮赤	.98	132	全	1.92	55	5.30	7.2	4.45	29	全
3	全マーチンスアンバー	.96	140	全	2.00	52	6.1	7.3	4.12	44	全

(2) 収 穫

區 名	品 種 名	子實収量	1 升 重 量	秤 重 量
1	大 麥 長 岡	2,234	283	76.000
2	全 今 朝 白	2,173	275	66.500
3	全 六 角 シ ュ バ リ ー	2,006	285	69.630
1	小 麥 横 澤	1,616	359	97.250
2	全 赤 皮 赤	1,304	359	113.500
3	全 マーチンスアンバー	.946	362	117.150

備考 生育狀況並ニ收穫ノ狀況ハ二區制度ヲ平均セル成績ナリ
今各期ニ於ケル生育並ニ収量ノ調査ヲ監督官廳及主務省ニ報告シタルモ

ノヲ舉ゲ本年度麥作狀況ヲ更ニ明カニセントス

(1) 春分當日麥作況報告 (大正8年3月22日)

春分當日ハ毎年積雪下ニアリテ麥作狀況ヲ調査シ能ハズ從ツテ前年トノ比較對照ヲナシ難キモ今生育狀況ヲ調査シタルモノヲ舉グレバ下ノ如シ

品 種	草 丈	分 蘖
大麥三種平均	尺 5.3	本 69.5
小麥三種平均	尺 3.6	本 48.7

而シテ降雪前ハ莖葉ノ發育例年ニ比シ著シキ相違ナク冬季降雪モ少ナク春季融雪モ早カリシニヨリ雪害及野鼠害モ比較的少ナク目下ノ處ハ麥作況平作ト大差ナシ

(2) 立夏當日麥作況報告 (大正8年5月6日)

秋季播種當時ハ氣候適順ナリシ爲メ發芽整一ニシテ降雪前ハ寒暖相半バシ麥ノ生育極メテ良好ニシテ寧ロ徒長軟弱ノ傾キナリキ而シテ冬季降雪量少ナク從ツテ融雪期モ平年ニ比シ約3週間早ク爲メニ雪害並ニ鼠害ノ憂キコト近年稀ニ見ル狀態ナリキ然ルニ融雪後ニ於テハ別紙氣象概況ノ如ク寒暖ノ差甚シク更ニ日照少ナク降雨多キ爲メ4月中旬迄生育遅延シタリシガ其後ニ於テ天候恢復ト共ニ極メテ良好ナル生育ヲ遂グルヲ得タリ即チ立夏當日豊凶考照試驗大麥三種平均ニ於テ平年ニ比シ草丈8分長ク畦1尺間ノ莖數3本ヲ減ジ小麥三種平均ニ於テ草丈2寸1分長ク畦1尺間ノ莖數16本ヲ減ジタリ豊凶考照試驗以外ノ試驗區ニ於テハ試驗ノ目的ニ依リ生育區々ナレドモ大体ニ於テ前記豊凶考照試驗ト同一ナル傾向ヲ示セリ縣下一般當業者ノ栽培ニ係ルモノヲ觀ルニ從來其栽培法宜シキヲ得ザリシガ近年著シク進歩ヲ觀ルト共ニ本年ハ雪害少キ爲メ良好ナル生育ヲ觀タリト雖モ次ノ調査ヲ通覽スルニ今後ノ天候ニ於テ激變ナキ限リハ本年ハ平年作ト謂フベキ作況ナリトス

品 種	本 年		平 年		比 較 増 減	
	草 丈	分 蘖	草 丈	分 蘖	草 丈	分 蘖
大麥三種平均	尺 2.06	本 67	尺 1.98	本 70	尺 .08	本 △ 3
小麥三種平均	尺 2.04	本 55	尺 1.83	本 71	尺 .21	本 △ 16

表中 △印ハ平年ニ比シ減

附 氣 象 概 況

春分當日ヨリ立夏前日ニ至ル46日間ノ氣象狀態ヲ觀ルニ最高氣温ニ於テ平年ニ比シ6.8度昨年ニ比シ9.9度何レモ高温ニシテ最低氣温ニ於テハ平年ニ比シ15.9度昨年ニ比シ16.9度何レモ低温ヲ示シタリ而シテ最高最低ノ平均氣温ニ於テ平年ニ比シ2.9度昨年ニ比シ1.2度低温ナリキ即チ3月下旬前半ニ於テ高温ナリシモ全後半ヨリ4月上旬前半ニ至ル間ハ平年ト殆ンド差異ナク4月上旬後半ニ於テ稍高温ニシテ其後ハ通ジテ平年ヨリ1-2度低温ヲ示セリ

合計日照時間ニ於テハ平年ヨリ27時間昨年ヨリ25.6時間少ナク降雨量ニ於テハ3月下旬後半ノ58.8耗最モ多ク總降雨量ニ於テ平年ヨリ103.3耗昨年ヨリ157.4耗何レモ多カリキ

(3) 麥實収報告 (大正8年7月24日)

本年度ノ冬作生育期ニ於ケル天候ハ播種當時ハ平年ニ比シ氣温高ク日照時間多カリシヲ以テ麥ハ強剛ニ生育シタリ又冬季降雪量少ク且ツ消雪早カリシ爲メ雪害少ク春季融雪後ハ最高最低氣温ノ差甚シク麥ノ伸長ヲ遲緩ナラシメタルモ出穂前後ハ適度ノ乾濕ヲ得殊ニ日照時間多カリシタメ病害ノ發生極メテ少ク稔實ヲ良好ナラシメ1升重量ノ増加ヲ來セリ而シテ収量ハ平年ニ比シ大麥ハ1割3分8厘強小麥ハ1割3分4厘強ノ増収ヲ得タリ

今本年度収量ト平年収量トヲ比較シ舉グレバ次ノ如シ

品 種	大 正 7 年 度		平 年		比 較 増 減	
	收 量	1升重量	收 量	1升重量	收 量	1升重量
大麥三種平均	石 2.138	石 281	石 1.878	石 375	石 .260	石 27
小麥三種平均	石 1.289	石 360	石 1.136	石 353	石 .153	石 6

2. 窒素質肥料種類試驗 (繼續第4年)

本試驗ハ各種窒素質肥料ノ肥効ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 長岡

作付歩數 各區8歩ニシテ収量調査歩數6歩

肥 料 各種窒素質肥料中ニ含有セラル、窒素ヲ反當2貫ノ割合トシ補助肥料トシテ磷酸1貫500加里2貫200トシ其不足成分ハ過磷酸石灰及葉灰ヲ以テ補給セリ、尙各主要肥料ノ半量ヲ追肥トナセリ

試驗別並ニ成績
(1) 生育狀況

區名	試驗別	12月7日狀況			5月6日狀況			收穫當時狀況			備考	
		草丈	畦1尺間莖數	多少	草丈	畦1尺間莖數	出穂期	成熟期	稈長	畦1尺間莖數		剛柔
1	大豆 粕	.78	83	少	1.34	89	5.21	6.19	3.76	38	剛	收穫當時倒伏
2	硫酸安母尼亞	.86	80	全	2.15	84	5.18	6.17	3.82	54	柔	
3	人糞尿	1.02	81	全	1.58	91	5.18	6.18	3.55	28	剛	
4	鯨 粕	.94	94	全	2.68	83	5.21	6.20	4.00	42	全	
5	石灰窒素	.82	75	全	1.50	102	5.18	6.17	3.86	46	全	
6	米 糠	.74	55	全	1.21	62	5.21	6.20	3.52	23	全	
7	種 粕	.91	80	全	1.58	66	5.22	6.20	3.73	31	全	
8	智利硝石	.73	47	全	1.74	66	5.23	6.20	4.10	37	全	

(2) 収 穫

區名	試驗別	子實収量	1升重量	稈重量	4ヶ年平均収量
1	大豆 粕	2.041	278.0	68.500	(3) 1.600
2	硫酸安母尼亞	2.773	273.0	117.650	(3) 1.738
3	人糞尿	1.836	275.0	71.050	(3) 1.529
4	鯨 粕	2.718	285.5	98.350	(3) 1.737
5	石灰窒素	1.334	278.5	50.400	(3) 1.084
6	米 糠	1.928	278.5	59.900	(3) 1.300
7	種 粕	1.953	277.0	65.800	(3) 1.367
8	智利硝石	2.121	273.5	76.500	(3) 1.673

備考 本試験ハ大正4年播種ノモノヨリ試験開始シ本年度迄繼續年數4ヶ年トナレドモ大正6年播種翌7年ニ收穫セルモノヲ省キタルニ依リ平均収量ハ3ヶ年ヲ以テ示セリ

成績概要 本年度収量ヨリ之ヲ觀レバ硫酸安母尼亞區最モ多収ニシテ大豆粕區、石灰窒素區、鯨粕區ノ順位ナリ、而シテ3ヶ年平均収量ヨリ觀レバ硫酸安母尼亞區及鯨粕區最モ収量多ク大豆粕區、智利硝石區之レニ次ギ人糞尿區、種粕區、米糠區、石灰窒素區ノ順位ナリ

3. 磷酸質肥料種類試験 (繼續第4年)

本試験ハ各種磷酸質肥料ノ肥効ヲ知ラントスルニアリ

品 種 長岡

作付歩數 各區8歩ニシテ収量調査歩數6歩

肥料 供試磷酸肥料ニ含有セル磷酸ヲ反當1貫500ノ割合トシ補助肥料トシテ反當窒素2貫000加里2貫200ノ割合ニ施シ尙ホ不足成分ハ硫酸安母尼亞及硫酸加里ヲ以テ補給セリ
但シ窒素成分ノ半量ハ追肥トシテ硫酸安母尼亞ヲ施セリ

試驗別並ニ成績
(1) 生育狀況

區名	試驗別	12月7日狀況			5月6日狀況			收穫當時ノ狀況			備考	
		草丈	畦1尺間莖數	多少	草丈	畦1尺間莖數	出穂期	成熟期	稈長	畦1尺間莖數		剛柔
1	強過磷酸石灰	1.70	118	少	2.01	104	5.18	6.17	3.91	59	柔	倒伏
2	蒸製骨粉	1.15	115	全	2.17	111	5.18	6.17	4.22	58	全	
3	トーマス磷肥	1.00	97	全	2.14	96	5.18	6.17	4.17	58	全	
4	米 糠	1.13	103	稍多	2.23	97	5.18	6.17	4.29	57	全	
5	無 磷 酸	.68	58	全	1.55	54	5.18	6.17	3.21	36	全	

(2) 収 穫

區名	試驗別	子實収量	1升重量	稈重量	4ヶ年平均収量
1	強過磷酸石灰	2.977	260	122.550	(3) 2.177
2	蒸製骨粉	2.940	263	109.600	(3) 2.145
3	トーマス磷肥	2.573	273	127.250	(2) 1.931
4	米 糠	2.270	270	140.850	(2) 2.292
5	無 磷 酸	1.962	288	73.750	(3) 1.292

成績概要 本年度収量ニ於テ強過磷酸石灰區最モ多収ニシテ蒸製骨粉區之レニ次グ尙何レノ年ニ於テモ強過磷酸石灰區ノ優レルヲ觀ル、而シテ無磷酸區ニ於テハ何レノ年ニ於テモ各區ニ比シ其収量劣ルコト甚シ

4. 窒素對磷酸加里施用量試験 (繼續第4年)

本試験ハ施肥量ヲ増加シ多収ヲ得ントスル場合ニ窒素ニ對シ磷酸加里ノ適當ナル割合ヲ試験セントスルニアリ

供試品種 長岡

作付歩數 各區8歩ニシテ収量調査歩數6歩

肥料 窒素半量及磷酸加里ノ全量ヲ原肥トシテ施シ窒素半量ハ一般耕

種梗概ニ記シタル時期ニ追肥トシテ施ス原肥ニハ堆肥反當 100 貫ヲ施シ不足成分ハ硫酸安母尼亞過磷酸石灰及硫酸加里ヲ以テ補給シ尙更ニ石灰ヲ反當40貫ノ割合ニ各區ニ施ス

試驗別並ニ成績

(1) 生育狀況

區名	試驗別			12月7日狀況			雪害 多少	5月6日狀況			出穂期	成熟期	收穫當時狀況		
	窒素	磷酸	加里	草丈	畦1尺間莖數	本		草丈	畦1尺間莖數	本			尺	本	剛柔
1	2.500	2.000	1.800	1.02	109	稍多	2.35	130	5.18	6.17	4.29	82	柔		
2	2.500	2.500	2.300	1.06	99	全	2.47	112	5.18	6.17	3.92	82	全		
3	2.500	3.000	2.800	1.04	101	全	2.48	116	5.19	6.17	3.86	81	全		
4	3.500	2.000	1.800	1.10	79	全	2.40	61	5.18	6.17	3.81	45	全		
5	3.500	2.500	2.300	1.16	116	全	2.44	139	5.18	6.17	4.22	77	全		
6	3.500	3.000	2.800	1.12	104	全	2.15	105	5.18	6.17	4.25	66	全		

(2) 収 穫

區名	試驗別			子實重量	1升重量	秤重量	3ヶ年平均収量
	窒素	磷酸	加里				
1	2.500	2.000	1.800	3.256	238	160.850	2.393
2	2.500	2.500	2.300	2.732	244	174.000	2.231
3	2.500	3.000	2.800	3.365	243	168.600	2.390
4	3.500	2.000	1.800	2.766	273	149.450	2.366
5	3.500	2.500	2.300	3.076	251	167.000	2.432
6	3.500	3.000	2.800	2.978	253	162.600	2.297

成績概要 窒素2.500施用ノ場合並ニ3.500施用ノ場合共ニ磷酸加里多ク施用スルニ利アルヲ認メタリ、而シテ3ヶ年平均収量ヨリ觀ルモ略本年度ノ成績ト同一ナル傾向ヲ示セリ、尙ホ繼續試驗セントス

5. 施肥量試驗 (新設)

本試験ハ施肥量ノ多少ト収量トノ關係ヲ知ラントスルニアリ
 供試品種 長岡
 作付歩數 各區8歩
 播種期 9月25日

試驗別並ニ成績

(1) 生 育

區名	試驗別	12月7日狀況		雪害 多少	5月6日狀況		出穂期	成熟期	收穫當時ノ狀況			備考
		草丈	畦1尺間莖數		草丈	畦1尺間莖數			秤長	畦1尺間莖數	剛柔	
1	三割減肥料	96	56	稍多	1.58	79	5.18	6.15	3.36	42	剛	收穫當時倒伏
2	普通肥料	1.11	76	全	1.92	101	5.18	6.15	3.46	48	全	
3	三割増肥料	1.22	101	多	2.01	97	5.18	6.15	3.83	54	全	
4	六割増肥料	1.06	81	全	2.00	99	5.18	6.15	4.11	56	稍剛	
5	十割増肥料	1.24	115	全	2.13	112	5.18	6.15	4.05	66	柔	

備考 施肥量増スニ隨ヒ雪害程度甚シ

出穂當時ノ狀況ハ施肥量増加ニ伴ヒ生育良好ナレドモ出穂ハ施肥量ノ増減ニ關係ナシ

(2) 収 穫

區名	試驗別	子實収量	1升重量	秤重量
1	三割減肥料	1.351	274	51.850
2	普通肥料	1.873	267	79.700
3	三割増肥料	2.005	273	81.000
4	六割増肥料	2.400	275	112.500
5	十割増肥料	2.667	263	123.950

備考 三割減肥料ハ當場一般耕種梗概ニ示セル施肥量ノ三割減ニシテ普通肥料ハ耕種梗概ニ示セル施肥量ニヨル以下之ノ施肥量ヲ基礎トシテ施肥量ヲ増加シタルモノナリ

成績概要 本年度ノ収量ニ於テハ施肥量ト収量トハ正比例ノ状態ニシテ生育狀況ハ6割増肥料區、10割増肥料區ハ共ニ出來過ギノ傾向アリテ雪害ヲ被ル事多シ、當繼續試驗ニ於テ確定セントス

6. 播種法試驗 (繼續第4年)

本試験ハ作畦法ヲ異ニシ播種シタル場合其ノ生育並ニ収量ニ及ボス關係ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 長岡
 作付歩數 各區6歩

試驗別並ニ成績

(1) 生 育

區名	試驗別	12月7日狀況		雪害 多少	5月6日狀況		出穂期	成熟期	收穫當時ノ狀況		
		草丈	畦1尺間莖數		草丈	畦1尺間莖數			稈長	畦1尺間莖數	剛柔
1	二尺畦一行播	1.17	78	少	2.10	68	5.18	6.17	3.71	44	剛
2	三尺畦二行播	1.14	178	全	2.13	159	5.18	6.17	3.88	54	稍剛
3	二尺畦二行播	1.27	119	全	2.03	98	5.18	6.17	3.65	40	剛
4	一尺五寸畦一行播	1.15	65	全	1.73	64	5.18	6.17	3.56	30	稍柔
5	一尺畦一行播	1.18	126	全	1.96	54	5.18	6.17	3.89	28	柔

備考 徒長ノ傾向アリシタメ10月18日鎮壓ス

(2) 収 穫

區名	試驗別	子實收量	1升重量	秤重量	4年	5年	3年平均收量
1	二尺畦一行播	2.575	265	111.750	1.901	1.473	1.983
2	三尺畦二行播	2.519	268	125.250	2.361	1.388	2.089
3	二尺畦二行播	2.700	275	122.500	2.195	2.261	2.385
4	一尺五寸畦一行播	2.846	267	129.750	2.108	1.462	2.139
5	一尺畦一行播	2.634	268	133.450	2.482	1.566	2.227

成績概要 本年度ノ収量ニ於テハ1尺5寸畦1行播最モ収量多ク2尺畦2行播之レニ次グ而シテ3ヶ年平均収量ニ於テハ2尺畦2行播最多収量ヲ示セリ、要スルニ地積ヲ多ク使用セルモノ収量多キヲ示セリ但麥作栽培上ニ於ケル手入等ヨリ之レヲ觀ルニ1尺5寸畦、及1尺畦ノ如キハ畦幅狭ク中耕培土ニ不便ナル感アリ

7. 輪 栽 法 試 驗 (繼續第4年)

本試驗ハ他作物ト輪栽ヲ行ヒタル際麥ノ生育並ニ収量ノ關係ヲ見ントスルニアリ

供試品種 長岡
作付歩數 各區8歩

試驗別並ニ成績
(1) 生 育

區名	試驗別	12月7日狀況		雪害 多少	5月6日狀況		出穂期	成熟期	收穫當時ノ狀況			備 考
		草丈	畦1尺間莖數		草丈	畦1尺間莖數			稈長	畦1尺間莖數	剛柔	
1	大 麥 菘	1.78	138	少	1.62	62	5.21	6.22	4.00	41	剛	

2	大 麥 大 豆	.75	88	多	1.53	73	5.21	6.20	3.70	35	剛	雪害多ク 調査不能
3	全 三 叉 稗	.45	43	全	1.02	18	調査不能		3.41	18	柔	
4	全 稻 黍	.75	88	全	1.59	71	5.22	6.20	3.55	34	剛	
5	全 陸 稻	.88	78	全	1.40	70	5.22	6.20	3.63	35	全	
6	全陸稻大豆合作	.69	86	全	1.43	68	5.22	6.20	3.57	39	全	

(2) 収 穫

區名	試驗別	子實收量	1升重量	秤重量	4ヶ年平均收量
1	大 麥 (菘)	2.973	280	107.000	(3) 2.482
2	全 (大 豆)	2.330	286	74.850	(2) 2.472
3	全 (三 叉 稗)	—	—	—	(2) 2.546
4	全 (稻 黍)	2.175	285	78.100	(3) 2.415
5	全 (陸 稻)	2.342	278	77.250	(2) 2.279
6	全(陸稻大豆合作)	1.966	290	68.750	(3) 2.102

備考 括弧内ハ前作物タル夏作物名ヲ示ス

成績概要 本年度ノ成績ニヨレバ菘跡地ノ収穫最モ多シ、又累年平均成績ニアリテハ陸稻及ビ陸稻大豆合作跡地ノ兩區ハ他ノ3區ニ比較シ収穫量劣レリ

8. 土 入 回 數 試 驗 (新設)

本試驗ハ土入時期並ニ回數ガ収量ニ及ボス關係ヲ知ラントスルニアリ
供試品種 長岡
作付歩數 各區5歩

試驗別並ニ成績
(1) 生 育

區名	試驗別	12月7日狀況		雪害 多少	5月6日狀況		出穂期	成熟期	收穫當時狀況		
		草丈	畦1尺間莖數		草丈	莖數			稈長	畦1尺間莖數	剛柔
1	秋季無土入 春季二回土入	1.13	117	多	1.80	108	5.19	6.20	3.98	50	剛
2	秋季一回土入 春季二回土入	.99	82	全	1.62	92	5.19	6.20	3.95	37	全
3	秋季二回土入 春季一回土入	.96	94	全	1.41	82	5.19	6.20	3.70	59	全
4	秋季無土入 春季二回土入	1.14	66	極多	雪害鼠害多ク	タメ	調査不能				
5	秋季一回土入 春季二回土入	1.34	114	全	全						
6	秋季一回土入 春季三回土入	1.33	114	全	全						

備考 土入ノ時期及土入ノ深サ

秋季一回ノモノ	播種後	20日目	深サ6-7分
全 二回ノモノ	第一回土入後	20日目	全 1.0
春季一回ノモノ	消雪後	4月上、中旬	全 1.5
全 二回ノモノ	第一回土入後	20日目	全 3.0
全 三回ノモノ	第二回土入後	10日目	全 2.0

(2) 収 穫

區名	試 驗 別	子實收量	1升重量	稈重量
1	秋季無土入	1,805	277	77,750
2	秋季一回土入	1,731	273	80,250
3	秋季二回土入	1,757	278	78,500
4	春季無土入	1,800	277	83,000
5	春季一回土入	1,785	279	75,300
6	春季二回土入	1,804	275	65,800

成績概要 生育状況ニ於テ土入秋季2回行ヒタルモノハ1回行ヒタルモノニ
 リ雪害多ク又秋季無土入區ハ秋季1回行ヒタルモノヨリ稍々雪害多シ収量
 ニ於テハ本年度ノ氣候ニ於テ秋季無土入春季1回土入シタル區最高収量ヲ
 示セルガ更ニ試験繼續シテ決定セントス

9. 移植期試験 (繼續第3年)

本試験ハ麥生育期間中ニ於テ不時ノ事變ノ爲メ下種セル畑ニ被害アリテ
 既ニ其播種ノ適期ヲ失シタル場合ニ豫メ準備セル麥苗ヲ移植シ其ノ生育及
 収量ニ及ボス影響ヲ試験セントスルニアリ

供試品種 今朝白

試験別

區名	試 驗 別
1	10月29日播種(標準)
2	10月29日移植
3	11月8日移植
4	11月18日移植
5	11月28日移植

6 12月8日移植

7 3月21日移植(大正九年)

苗圃 苗床ハ畦幅2尺播幅1尺肥料糞灰歩當200匁人糞尿全1000匁播種
 量歩當1合播種期10月1日

備考 移植ノ苗數ハ2尺畦1尺間ニ36本

試驗別並ニ成績

(1) 生 育

區名	試 驗 別	12月7日狀況		雪害 多少	5月6日狀況		出穂期	成熟期	收穫當時狀況	
		草丈	畦1尺間莖數		草丈	畦1尺間莖數			草丈	畦1尺間莖數
1	10月29日播種	29	30	極多	—	—	調査不能	—	—	—
2	10月29日移植	.57	51	多	1.63	30	5.20	6.16	3.60	44
3	11月8日移植	.83	40	全	1.53	28	5.22	6.16	3.70	28
4	11月18日移植	.94	41	全	1.02	34	5.22	6.16	3.75	34
5	11月28日移植	1.07	33	全	1.59	34	5.22	6.18	3.95	25
6	12月8日移植	1.17	97	全	1.40	30	5.22	6.18	3.95	30
7	3月21日移植	—	—	—	1.39	37	5.23	6.18	3.90	34

(2) 収 穫

區名	試 驗 別	子實收量	1升重量	稈重量	3年平均収量
1	10月29日播種	調査	不能	—	(1) 1,570
2	10月29日移植	2,057	276	72,500	(2) 1,988
3	11月8日移植	1,736	280	62,000	(2) 1,780
4	11月18日移植	1,680	281	51,500	(2) 1,737
5	11月28日移植	1,675	283	61,200	(2) 1,708
6	12月8日移植	1,759	270	61,000	(2) 1,568
7	3月21日移植	1,738	263	74,500	(2) 1,337

成績概要 各移植期ニ於テ成ル可ク早く移植スルニ利アルヲ認メタリ、而
 シテ10月上旬ニ播種シ置キタル苗ニアリテハ翌年消雪後ニ移植スルモ尙ホ
 且ツ相當ノ収獲アルヲ認メタルト同時ニ10月29日即チ最も早キ移植區ニ比
 シ全日播種セルモノハ生育不完全ノ爲メ雪害多ク収量ヲ觀ル能ハザル状態
 ナリ

10. 栽培法試験 (繼續第4年)

本試験ハ栽培法ニヨリ麥ノ生育及収量ニ及ボス關係ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 長岡
作付歩數 各區9歩
播種量 4升

(1) 試 驗 別

區名	試 驗 別
1	權田式甲(全然全式ニ據リタルモノ堆肥4貫50餅給4斗5升強過7貫鳥屎1斗5升木灰1石)
2	權田式乙(肥料當場ノ標準肥料ヲ施シタルモノ)
3	權田式丙(肥料當場標準肥料ノ五割増ヲ施シタルモノ)
4	春季ノ三土入(但シ鎮壓ヲ行ハザルモノ)
5	平 畦(其他ハ權田式ニ準ジタルモノ)

整地 深サ6寸(3寸宛2度ニ打チ下部ノ土ヲ上部ニ上グル事)
畦幅 2尺(但シ播種後地面ヨリ播溝ヲ1寸位低クナス事)
播床幅 6寸
畦ノ方向 東西
土 入 第1回 麥ガ2寸位ニ伸長シタル頃6分位土入ス
第2回 10月末又ハ11月初旬8分位土入ス
第3回 4月上旬(融雪後)土壤ノ乾燥ヲ見計ヒテ1寸位土入ス
第4回 4月20日1寸5分位土入ス
第5回 5月10日3寸位土入ス
鎮 壓 第1回 第1回土入ノ際草鞋履キニテ横踏ミノ事
第2回 第1回鎮壓ト全様
第3回 前回ノ様ニ足ヲ並列ニセス左足ニ右足ヲ繼ギ播床ヨリ2寸位外へ掛ケテ踏ム事
第4回 麥ノ中心(畦ノ中央ヨリ)左右ニ葉先ヲ踏ミ分ケノ事

(2) 生、育 状 况

區名	試 驗 別	12月7日狀況		雪害 多少	出穂期	成熟期	收穫當時ノ狀況		
		草丈	畦1尺間莖數				草丈	畦1尺間莖數	剛柔
1	權田式甲	1.00	64	多	5.18	6.19	3.68	29	剛
2	權田式乙	1.10	91	全	5.18	6.19	3.66	30	全

3	權田式丙	1.12	73	多	5.20	6.20	4.23	61	剛
4	春季土入區	1.17	97	全	5.31	6.20	4.30	68	全
5	平 畦	1.14	107	全	5.21	6.20	4.04	46	全

(3) 収 穫

區名	試 驗 別	子實収量	1升重量	秤重量	4ヶ年平均収量
1	權田式甲	1.376	275	57.667	(3) 1.501
2	權田式乙	1.889	277	81.600	(3) 1.811
3	權田式丙	2.547	278	101.833	(1) 2.547
4	春季土入區	2.804	280	101.833	(1) 2.804
5	平 畦	2.529	283	109.567	(1) 2.529

第 二 水 稻

1. 豐凶考照試験 (繼續第14年)

本試験ハ乾田, 濕田兩地ニ於テ 毎年同一ノ田地ニ 同一品種ヲ當場一般耕種方法ニ依リ栽培シ一定ノ期間ニ生育調査ヲナシ以テ其年ノ稻作豐凶ヲ豫想スルト同時ニ監督官廳及主務省ニ報告ノ基礎トスルニアリ

供試品種 (早稻)冷水稻, 高田早稻, 早坊主, (中稻)大場, 中生高宮, (晚稻)愛國, 稻川, 美濃坊主

1歩株數及1株本數 早稻, 48株8本植, 中稻, 42株6本植, 晚稻, 36株4本植

肥 料 耕種梗概ノ施肥量ニ據ル

収 穫
(1) 乾 田

品 種 名	玄米収量	1 升 重 量		籾摺歩合	屑米重量	糶重量	藁重量
		玄 米	籾				
冷 水 稻	2.665	364.0	280.8	6.04	.772	.600	98.000
高 田 早 稻	2.965	363.0	289.5	6.25	2.016	1.100	114.150
早 坊 主	2.832	365.5	286.3	6.15	.912	.900	131.250
大 場	2.857	368.5	284.0	6.10	.920	1.250	114.600
中 生 高 宮	2.242	363.5	285.5	6.30	.623	1.000	112.050
石 白	2.743	366.5	288.8	6.20	.774	.500	150.700
愛 國	2.987	367.3	288.8	6.40	.350	.850	123.650

稻	川	2.916	368.5	289.0	6.30	.579	1.150	151.400
美濃坊主		2.813	371.0	286.3	6.18	.910	1.150	170.100

(2) 濕 田

品 種 名	玄米收量	1 升 重 量		籾摺歩合	屑米重量	糶重量	藁重量
		玄 米	籾				
冷水稻	—	—	—	—	—	—	—
高田早稻	石 2.947	363.0	287.5	歩 6.13	1.082	4.800	118.900
早坊主	2.611	360.0	271.5	5.75	1.703	1.200	130.036
大場	3.017	365.0	277.5	5.95	1.141	1.636	122.455
中生高宮	2.993	363.5	275.5	6.03	1.117	1.636	137.509
石白	2.634	362.0	275.5	5.78	.569	1.507	151.521
愛國	2.909	365.0	282.5	5.98	1.869	1.527	125.727
稻川	2.833	363.5	283.5	6.10	.929	1.091	164.564
美濃坊主	2.432	366.0	272.0	5.80	.629	1.351	143.972

備考 冷水稻ハ圃場ニ於テ野風害多ク成績不正確ノ恐レアルヲ以テ水量調査ヲ行ハズ
尙今年度稲作状況ヲ明カニセンガ爲メ定期報告ヲ掲載スレバ下ノ如シ

(1) 大暑當日報告 (7月24日)

苗代期ノ天候ハ晴雨相半バシタルモ日照時間多ク気温ハ最高最低ノ差大ナリシタメ苗ノ生育ハ遅緩シタル傾ナリシモ移植期ヲ遅延スルガ如キ事ナク苗ハ寧ロ強剛ニ生育セリ、生着期ノ天候ハ乾燥ニ傾キ稍々植傷ヲ見タルモ暴風等ノ被害ナク正常ニ経過セリ

分蘗期ノ天候ハ降雨量少ナク日照時間多ク大体ニ於テ所謂空梅雨ノ現象ヲ呈シタルタメ稲ハ強剛ニ生育シタリト雖モ7月上旬ニ至リ著シク下降シ降雨量多ク生育ヲ阻害シタリ然レモ7月8日ヨリ天候大ニ恢復シ大暑前日ニ至ル間ハ晴天持續シ爲メニ草丈ハ前4ヶ年平均ニ比シ短カキモ分蘗ハ多ク稲ハ強剛ニ生育シタリ而シテ目下ノ所螟虫ノ被害ハ激甚ナラズ又稻熱病ノ發生ヲ見ズ且ツ風水害ナク正常ニ生育シ早、中、晩ヲ通ジ前4ヶ年平均ニ比シ殆ンド差ナシ即チ本年度状況ト前4ヶ年平均状況トヲ對照スレバ次ノ如シ

品 種	大 正 8 年		前 4 ヶ 年 平 均		比 較 増 減	
	草 丈	分 蘗	草 丈	分 蘗	草 丈	分 蘗
早稻三種平均	2.70	25.0	2.75	22.6	△ .05	2.4

中稻三種平均	2.43	29.2	2.48	30.1	.05	△	.9
晚稻三種平均	2.35	27.5	2.45	27.5	△	.10	—

備考 表中△印ハ減ヲ示ス

附、氣 象 概 況 自立夏當日(5月6日) 至大暑前日(7月23日)

本期79日間ニ亙ル氣象状態ヲ觀ルニ最高気温ニ於テハ5月6日ヨリ全月10日ニ至ル5日間並ニ5月21日ヨリ6月15日ニ至ル26日間及7月16日ヨリ全月20日ニ至ル5日間ハ昨年並ニ平年ニ比シ1度乃至5度1ノ高キヲ示シタリシモ其他ノ43日間ハ0度2乃至6度9ノ低キヲ示セリ、而シテ本期5日毎ノ平均合計ニ於テハ昨年ヨリ8度7平年ヨリ3度4何レモ低温ナリキ

最低気温ニ於テ本期ハ昨年及平年ニ比シ低温連續シタリ最モ著シキ差異ヲ生ゼシハ昨年トノ比較ニ於テ7月6日ヨリ7月10日ニ至ル平均ニシテ6度9平年ニ比シテハ7月11日ヨリ全月15日ニ至ル平均ニシテ2度7ノ差ヲ示セリ而シテ本期5日毎ノ平均合計ニ於テハ昨年ヨリ59度1平年ヨリ24度8ノ低温ヲ示シタリ、最高最低平均気温ニ於テハ本期5日間ノ平均ノ合計ニ於テハ昨年ヨリ31度2平年ヨリ12度9何レモ低温ナリキ

日照時間ニ於テハ5月26日ヨリ全月31日ニ至ル間43時9最モ多照ニシテ6月15日ヨリ全月20日ニ至ル間5時4最モ少ナカリキ而シテ本期中合計日照ニ於テハ昨年ヨリ98時2平年ヨリ54時5何レモ多照ナリキ

降雨量ニ於テハ5月6日ヨリ5月10日ニ至ル5日間合計43糶8最モ多ク5月16日ヨリ全月25日ニ至ル10日間並ニ7月11日ヨリ15日ニ至ル5日間及7月21日(土用入)ヨリ全月23日ニ至ル間ハ更ラニ降雨ヲ見ザリキ而シテ本期合計降雨量ニ於テハ昨年ヨリ6糶8多ク平年ヨリ23糶9少ナカリキ

(2) 二百十日當日報告 (9月2日)

大暑以後ノ天候ハ平年ニ比シ気温一般ニ低ク8月上旬ニ至リ數日間ニ亙リ冷氣ヲ促シタルタメ中稻ノ出穂ヲ稍々遅延セシメタルモ8月中旬以後ハ天候恢復シ気温高ク日照時間多ク晚稻ノ出穂ヲ促進セリ、而シテ早、中、晩共出穂當時ハ暴風雨ナク平穩無事ニ経過シ又病虫害ノ發生モ著シカラザルヲ以テ作柄ハ目下ノ所前4ヶ年平均ニ比シ大差ナカルベシ

即チ本年度状況ト前4ヶ年平均状況トヲ對照スレバ次ノ如シ

品 種	大 正 8 年		前 4 年 平 均		比 較 増 減	
	草 丈	穂 數	草 丈	穂 數	草 丈	穂 數
早稻三種平均	3.86	1,023.4	3.70	923.3	.16	100.1
中稻三種平均	3.98	997.5	3.83	997.7	.15	.2
晚稻三種平均	3.93	798.5	3.75	855.8	.18	57.3

備考 1. 前4ヶ年平均ヲ擧ゲタルハ大正4年前ハ供試品種ヲ異ニシタルニヨル
2. 穂數ハ1歩當リトス

附, 氣 象 概 況 自大暑當日(7月24日) 至二百十日前日(9月1日)

大暑當日ヨリ二百十日前日迄40日間ニ亘ル氣象概況ヲ觀ルニ最高最低氣温ノ平均ニ於テハ常ニ低ク特ニ8月5日ヨリ全月14日ニ至ル間ハ低温ニシテ稻作ニ影響ヲ及ボシタルモノ、如シ然ドモ8月15日以後ハ適順ニ近キ氣温ニ恢復シタリ、即チ最高氣温合計ニ於テハ昨年ヨリ5度6年ヨリ3度6低シ、日照時間合計213時1ハ昨年ヨリ17時4年ヨリ9時4何レモ少シ降雨量ニ於テハ總雨量1716耗ニシテ昨年ヨリ45耗年ヨリ0耗1何レモ多キヲ示セリ

(3) 秋分當日報告 (9月24日)

二百十日以後ノ天候ハ別記氣象報告ノ如ク9月上旬ハ晴天持續シテ氣温高ケレドモ中旬以後ニ至リテハ降雨日數多ク殊ニ9月14日ニ於ケル暴風雨ノタメニ稻禾ノ倒伏ヲ見從ツテ米質並ニ収量ニ影響ヲ及ボスベキモ早稻ハ既ニ収穫ヲ了シ中稻ハ成熟期ノ過半ヲ經過シタルヲ以テ収量ニアリテハ合後ノ天候ニシテ恢復セバ前4ヶ年平均ニ比シ大差ナカルベシ
即チ本年度狀況ト前4ヶ年平均トヲ比較對照スレバ次ノ如シ

品 種	大 正 8 年		前 4 年 平 均		比 較 増 減	
	草 丈	穂 數	草 丈	穂 數	草 丈	穂 數
早稻三種平均	3.86	18.9	3.88	17.8	.02	1.1
中稻三種平均	4.00	22.4	3.98	21.6	.02	.8
晚稻三種平均	4.07	21.8	4.12	21.3	.05	.5

備考 1. 前4ヶ年平均ヲ擧ゲタルハ大正4年前ハ供試品種ヲ異ニシタルニヨル
2. 早稻中収穫ヲ了シタルモノハ収穫當時ノ調査ニヨル
3. 穂數ハ一株莖數ヲ以テ表セリ
4. 表中△印ハ減ヲ示ス

附, 氣 象 概 況 自二百十日當日(9月2日) 至秋分前日(9月23日)

二百十日ヨリ秋分前日ニ亘ル22日間ノ氣象狀態ヲ觀ルニ朝夕冷氣加ハリタルモ日中ハ昨年及平年ニ比シ稍々氣温高シ然レドモ9月9日以降ハ天候ノ

變化少キ爲メ此間降雨量モ亦多ク從ツテ日照時間多シ、最高氣温ニ於テハ今期中ノ合計氣温ハ昨年ヨリ0度5年ヨリ0度8高ク最低氣温ニ於テハ昨年ヨリ1度1低ク平年ヨリ1度3低シ尙最高最低兩平均氣温ニ於テハ昨年ヨリ0度3年ヨリ0度7低シ。日照時間ニ於テハ今期中ノ合計時間數ハ昨年ヨリ5時9年ヨリ0時2少シ降雨量合計ニ於テハ昨年ヨリ30耗0年ヨリ20耗5多キヲ示セリ

(4) 大雪當日報告 (12月8日)

苗代期ノ天候ハ晴雨相半バシ氣温稍々低温ナリシ爲メ苗丈短カ、リシガ日照時間多キニ依リ苗ハ強剛ニ生育シタリ而シテ活着期ニ於テハ暴風雨等ナク順當ニ經過シタリ、分蘗期ノ天候ニ於テハ7月上旬ニ至リ氣温著シク低下シ降雨量多カリシ爲メ生育ヲ阻害シタリシガ7月8日ヨリ天候大ニ恢復シ殊ニ伸長期タル土用中ハ稻作上遺憾ナキ天候ニシテ稻禾ハ強剛ナル生育ヲ遂ゲ前4ヶ年トノ比較ニ於テ分蘗伸長共ニ殆ンド差異ヲ認メザルノ生育ヲ見タリ、出穂期ニ於テハ概シテ適順ナル天候ニシテ早、中、晚稻共何等ノ障害ナク平穩ニ經過シタリ、成熟期ニ於ケル天候ハ早、中、晚稻ニ依リ異ナルモ大体ニ於テ適順ヲ得タリ然レドモ9月14日ノ強風ノ爲メ稻禾ノ倒伏ヲ見更ニ9月下旬乃至10月下旬ノ間雨天日數多ク從ツテ粗ノ發芽ヲ見尙10月15日以降氣温著シク下降シタルヲ以テ中、晚稻ニ於テハ収量並ニ米質ニ少ナカラザル惡影響ヲ來セリ病虫害ニ於テハ稻作期中ニ化螟虫ノ被害少キノミナラズ其他ノ病害モ亦認メザリキ

而シテ収量ハ前4ヶ年平均ニ比シ早稻ニ於テハ6分1厘ノ増収ヲ示シタレドモ中稻ニ於テハ3分3厘晚稻ニ於テハ1分9厘何レモ減収ヲ示セリ又1升重量ハ早稻ニ於テハ3匁ヲ増シ中、晚稻ニ於テハ何レモ同一ナル成績ヲ示タリ

今本年度収量ト前4ヶ年平均収量トヲ比較對照スレバ

品 種	大 正 8 年		前 4 年 平 均 収 量		比 較 増 減	
	収 量	1 升 重 量	収 量	1 升 重 量	収 量	1 升 重 量
早稻三種平均	2,781	363	2,620	360	.162	.3
中稻三種平均	2,748	365	2,842	365	-.094	-
晚稻三種平均	2,827	367	2,883	367	-.056	-

備考 1. 表中△印ハ減ヲ示ス
2. 品種改變ニ付前4ヶ年平均ヲ以テ比較對照セリ

附、氣象概況 自秋分當日(9月22日) 至大雪前日(12月7日)

秋分當日ヨリ大雪前日ニ亘ル75日間ノ氣象狀態ヲ觀ルニ最高氣温ニ於テハ10月中旬迄ハ昨年並ニ平年ト同一ノ傾向ヲ示シタルモ10月下旬ニ至ルモ尙依然ト高温ヲ保チシ爲メニ昨年並ニ平年ニ比シ2度乃至3度ノ高温ヲ示セリ、依ツテ5日間平均ノ合計ニ於テ昨年ヨリ18度1平年ヨリ11度2何レモ差ヲ生ジタリ、最低氣温ニ於テハ10月15日迄ハ昨年並ニ平年ニ比シ同一ノ傾向ナリシガ其後ハ氣温下降スル事3度—4度ノ低温ヲ示シタリ依ツテ5日間平均ノ合計ハ昨年ヨリ24度9平年ヨリ10度7何レモ低温ヲ示セリ而シテ最高最低ノ平均氣温ニアリテハ昨年ヨリ3度6平年ヨリ0度9低シ即チ以上ノ經過ヨリ觀テ寒暖ノ差甚シト言フベシ、日照時間ニ於テハ5日間平均ノ合計ニ於テ昨年ヨリ24時2平年ヨリ6時5何レモ多照ナリキ降水量ニ於テハ其量著シク少ク即チ昨年ヨリ294耗3平年ヨリ166耗5ノ少キヲ示セリ

2. 品種ト肥料施用量トノ關係試驗 (繼續第5年)

本試驗ハ稻ノ品種ニ對シ施用量ノ多寡ガ其収量及米質ニ及ボス關係ヲ知ラントスルニアリ

作付歩數 216歩各區6歩(區數36區)

肥料 反當施用量次ノ如シ

Table with 5 columns: 肥料名, 總量, 元肥, 追肥. Rows include 大豆粕, 強過磷酸石灰, 糞灰.

品種 早稻 小田珍光, 越前, 岩ノ下 中稻 畿内早稻二十二號, 大場, 小見川, 早生石白, 銀葉, 無芒愛國

1坪株數並ニ1株植本數 早稻 48株8本植 中稻 42株6本植

施肥量 3割減肥料, 普通肥料, 3割増肥料, 6割増肥料

備考 何割減又ハ増トアルハ普通肥料ヲ基本トセリ而シテ普通肥料ハ前記施肥量ナリ

試驗別並ニ成績

(1) 生育

Large table with 6 columns: 品種名, 施肥量, 出穂期, 成熟期, 收穫當時ノ狀況 (株長, 1株莖數). Rows list various rice varieties like 小田珍光, 越前, 岩ノ下, etc.

(2) 収 穫

品 種 名	施 肥 量	玄米収量	籾1升重	籾摺歩合	糶重量	藁重量	3ヶ年平均収
小田 珍光	三割減肥料	2.187	293.0	.640	1.800	73.000	2.088
	普通肥料	2.548	294.0	.644	1.700	82.300	2.570
	三割増肥料	2.897	285.0	.616	1.875	100.500	2.828
	六割増肥料	3.091	284.0	.613	2.460	112.620	2.934
越 前	三割減肥料	2.074	287.0	.612	.250	78.550	(2) 2.337
	普通肥料	2.148	285.0	.616	1.000	76.000	(2) 2.510
	三割増肥料	2.785	287.5	.623	.750	102.600	(2) 2.904
	六割増肥料	2.908	280.0	.602	1.000	129.750	(2) 2.413
岩ノ下	三割減肥料	2.540	278.0	.598	.700	96.750	(2) 2.748
	普通肥料	2.586	277.0	.595	1.650	102.100	(2) 2.732
	三割増肥料	2.817	282.5	.609	1.050	110.000	(2) 2.955
	六割増肥料	2.916	273.5	.587	1.800	126.500	(2) 3.101
畿内早稻廿二號	三割減肥料	2.785	260.0	.563	.800	90.000	2.904
	普通肥料	3.328	284.3	.614	1.750	111.000	3.295
	三割増肥料	3.219	288.3	.625	2.100	158.500	3.289
	六割増肥料	3.324	277.5	.596	3.500	145.250	3.332
大 場	三割減肥料	2.569	285.0	.616	1.000	97.000	2.717
	普通肥料	2.255	283.0	.610	1.650	106.500	2.612
	三割増肥料	3.004	278.0	.598	2.250	116.850	3.037
	六割増肥料	2.509	263.8	.569	2.800	137.050	2.501
小見川	三割減肥料	2.340	271.3	.583	2.000	94.500	2.813
	普通肥料	2.544	269.0	.578	2.850	105.750	2.890
	三割増肥料	3.083	272.5	.585	2.500	113.750	3.070
	六割増肥料	2.276	264.0	.569	9.000	192.500	2.564
早生石白	三割減肥料	2.645	297.5	.657	4.500	104.750	2.863
	普通肥料	2.991	291.0	.634	.750	133.500	2.961
	三割増肥料	2.742	288.5	.626	1.000	122.750	2.771
	六割増肥料	3.069	283.0	.610	2.370	166.500	2.955
銀 葉	三割減肥料	2.593	280.0	.620	1.500	111.000	(2) 2.762
	普通肥料	2.589	275.0	.591	2.000	148.300	(2) 2.747
	三割増肥料	2.659	270.5	.581	3.750	142.250	(2) 2.706
	六割増肥料	2.459	260.0	.563	5.500	159.500	(2) 2.683
無芒愛國	三割減肥料	2.673	293.8	.643	1.250	102.250	2.730
	普通肥料	2.824	286.8	.621	1.800	111.050	2.894

三割増肥料	3.064	281.5	.606	3.000	131.000	3.068
六割増肥料	2.786	266.8	.574	3.800	148.250	2.656

成績概要 以上ノ成績ヲ觀ルニ収量ニ於テ小田珍光, 越前, 岩ノ下, 畿内早稻二十二號, 及ビ無芒愛國ノ5種ハ施肥量増加ニ伴ヒテ収量ヲ増加スレドモ大場, 小見川, 銀葉ノ3種ハ3割増肥料ノ場合ニ最多収量ヲ示セリ早生石白ニ於テハ6割増肥料區第1位ヲ示シ普通肥料區3割減肥料區3割増肥料區ノ順位ヲ示セリ而シテ前年トノ平均収量ニ於テハ前記ト大体同様ナル傾向ヲ示セリ

3. 耕鋤ノ深淺ト施肥量トノ關係試驗 (繼續第5年)

本試驗ハ耕鋤ノ深淺ト施肥量ノ多少トニヨリ其ノ収量ニ及ボス影響ヲ調査シ其經濟的關係ヲ明カニセントスルニアリ

作付歩數 各區6歩

供試品種 改良美濃坊主

肥 料 當場一般標準量ヲ基礎トセリ

1坪植株數及1株本數 48株4本植

備考 前年度迄ハ供試品種石白ヲ使用シ結論ヲ得タルニヨリ本年度ヨリ品種ヲ改良シ美濃坊主ト改メタリ故ニ累年成績ハ算入セズ

試驗別並ニ成績

(1) 収 穫

試 驗 別	玄米収量	籾1升重	籾摺歩合	糶重量	藁重量
4寸耕標準量	2.544	287.5	.623	1.600	146.850
全 2割増	2.754	292.0	.637	1.100	159.250
全 4割増	2.889	285.8	.618	1.300	163.100
全 6割増	2.908	286.3	.619	1.750	170.500
全 10割増	2.913	285.0	.616	1.250	182.750
6寸耕標準量	2.688	292.5	.639	1.000	143.800
全 2割増	3.169	288.8	.627	1.150	165.500
全 4割増	3.201	299.0	.663	1.000	165.300
全 6割増	3.133	298.0	.659	1.350	165.000
全 10割増	3.226	298.8	.662	1.750	174.800
8寸耕標準量	2.774	297.5	.657	1.000	137.650

8寸耕標準量2割増	2.856	290.0	.631	1.750	158.000
全 4割増	2.847	292.0	.627	1.500	157.250
全 6割増	2.957	286.3	.619	1.000	170.750
全 10割増	2.846	286.5	.620	1.500	180.250
1尺耕標準量	2.912	300.5	.669	1.250	145.800
全 2割増	2.925	292.5	.639	1.000	159.050
全 4割増	2.975	280.0	.602	1.800	168.200
全 6割増	2.972	278.3	.598	1.750	172.250
全 10割増	3.291	288.3	.629	1.750	191.000

今更ニ本年度ニ於ケル玄米収量ヲ施肥量別ニ記載スレバ次ギノ如シ

施肥量	4寸耕	6寸耕	8寸耕	1尺耕
標準量	石 2.544	石 2.688	石 2.774	石 2.912
2割増	2.754	3.169	2.856	2.925
4割増	2.889	3.201	2.847	2.975
6割増	2.908	3.133	2.957	2.972
10割増	2.913	3.226	2.846	3.291

成績概要 本年度ノ成績ニ於テハ耕鋤ノ深淺ヲ問ハズ10割増肥料區最モ収量多ク而シテ各區ヲ通ジテ最多収量ヲ得タルハ1尺耕10割増肥料區ナリ、而シテ本年度ニ於テ10割増肥料區耕鋤ノ深淺ヲ問ハズ最高収量ヲ得タリト雖モ深淺別ニ依ル差異ハ1尺耕3石291ニ比シ6寸耕3石226ニシテ其差僅カニ6升5ナリ、之レニ依レバ1尺耕スルニ3本鋤ヲ以テ2手乃至3手ヲ要シ6寸耕スルニ僅カ1手ニテ所要ノ深サニナシ得ルナラバ勞力ノ關係ヨリ觀テモ1尺耕ノ如キ極端ノ深度ヲ必要トセザルベシ、尙ホ試験ヲ繼續シ確報セントス

4. 窒素ニ對スル磷酸加里施用量試験 (繼續第4年)

本試験ハ施肥量ヲ増加シ多収穫ヲ得ントスル場合ニ窒素ニ對シ磷酸加里ノ適當ナル割合ヲ知ラントスルニアリ

作付歩數 各區11歩半

供試品種 改良美濃坊主

肥料 各區共通肥料トシテ反當堆肥 200貫ヲ與ヘ其不足成分ヲ硫酸安

母尼亞、強過磷酸石灰及硫酸加里ヲ以テ施シ肥料ヲ2回分施ノモノハ元肥ニ6分追肥ニ4分3回分施ノモノハ元肥ニ4分第1回追肥ニ3分5厘第2回追肥ニ2分5厘ノ割合ヲ以テ施用セリ

試験別並ニ成績

區名	窒素	磷酸	加里	備考
1	2.000	1.500	1.500	元肥共2回分施
2	2.000	3.000	3.000	全 上
3	4.000	1.500	1.500	元肥共3回分施
4	4.000	3.000	3.000	全 上
5	4.000	4.500	4.500	全 上
6	5.000	4.500	4.500	全 上
7	5.000	6.000	6.000	全 上

収 穫

區名	試験別	玄米収量	籾1升重量	籾摺歩合	批重量	藥重量	大正5年度収量	大正6年度収量	大正7年度収量	大正6年以降3年平均収量
1	窒素 2.000	石 2.598	290.0	.631	.939	125.478	石 2.765	石 2.645	石 3.281	石 2.841
	磷酸 1.500									
	加里 1.500									
2	窒素 2.000	2.642	292.5	.639	.913	129.148	2.736	2.705	3.267	2.871
	磷酸 3.000									
	加里 3.000									
3	窒素 4.000	2.380	270.0	.580	3.130	183.600	2.433	3.134	3.213	2.909
	磷酸 1.500									
	加里 1.500									
4	窒素 4.000	2.298	274.3	.589	2.438	180.000	2.229	2.977	2.985	2.753
	磷酸 3.000									
	加里 3.000									
5	窒素 4.000	2.206	271.3	.583	3.470	204.470	1.773	3.232	2.650	2.696
	磷酸 4.500									
	加里 4.500									
6	窒素 5.000	1.574	265.5	.572	3.783	219.287	1.383	3.080	2.513	2.389
	磷酸 4.500									
	加里 4.500									

7	窒素 5.000									
	磷酸 6.000	1.393	263.3	.568	2.660	222.627	1.257	3.570	2.063	2.542
	加里 6.000									

備考 大正5年度収量ハ供試品種石白ニシテ大正6年以降ハ改良美濃坊主ナリ

成績概要 以上ノ成績ヲ觀ルニ本年度ニ於テハ窒素 2 貫匁ノ場合ニ於テハ磷酸及ビ加里ノ増施ノ効果ヲ認メタルモ窒素 4 貫匁以上施用シタル各區ニアリテハ之レヲ認メ得ザリキ之レ施肥量多キタメ稻禾ノ著シキ倒伏ヲ見タルト二化螟虫第 2 回發生虫ノ被害ヲ蒙リタルニヨル又既往ニ於ケル成績モ毎年同一ナル傾向ヲ示ササルハ出來過倒伏ガ主因ヲナスモノト認メタリ、換言セバ窒素 4 貫匁以上ノ施肥ハ本試験地ニ於テハ過多ナルヲ示セリ

5. 追肥期試験 (繼續第3年)

本試験ハ堆肥ヲ元肥トシテ使用シタル場合ニ大豆粕及ビ強過磷酸石灰ノ追肥期ト其ノ収量トノ關係ヲ知ラントスルニアリ

作付歩數 各區9歩半

供試品種 早坊主

肥料 第1區乃至第5區ハ堆肥200貫、大豆粕25貫、強過磷酸石灰4貫、藁灰20貫ヲ用ヒ追肥區ハ前記ノ内大豆粕10貫、強過磷酸石灰2貫ヲ追肥トシテ施セリ、又第6區以下ハ追肥トシテ大豆粕10貫ノ代リニ人屎尿100貫ヲ以テセリ

試験別並収穫成績

區名	試験別	玄米収量	籾1升重量	籾摺歩合	批重量	藁重量	大正6年度収量	大正7年度収量	3ヶ年平均収量
1	全量元肥	3.002	275.0	.591	1.500	130.067	2.466	3.419	2.962
2	7月10日追肥	2.893	284.0	.613	.900	115.033	2.559	3.323	2.925
3	7月20日追肥	2.967	281.5	.606	.833	113.833	2.549	3.256	2.924
4	8月1日追肥	3.037	287.5	.623	.900	119.900	2.780	3.176	2.997
5	8月10日追肥	2.906	284.3	.617	.700	115.233	—	3.036 (2)	2.971
6	7月20日追肥	2.816	278.0	.598	1.500	110.500	—	3.267 (2)	3.042
7	8月1日追肥	2.990	297.5	.657	.733	113.733	—	3.194 (2)	3.092
8	8月10日追肥	2.913	289.3	.632	.633	119.400	—	3.192 (2)	3.053

備考 第5區以下ハ大正7年度ヨリノ繼續トス

(2)印ハ2ヶ年ノ平均収量ヲ示ス

成績概要 本年度成績ニ於テ追肥期ノ遅ルハニ從ヒ収量ヲ増加シタルハ大正6年度成績ト一致セル處ニシテ大正7年度ニ於テ全ク之レト反對ノ成績ヲ示セルハ其年ニ於ケル氣候ガ最モ大ナル影響ヲナシタルモノニシテ3ヶ年平均収量ニ於テハ本年度ノ成績ト同一ナル傾向ヲ示セリ即チ早坊主ニ於テ大豆粕ヲ追肥スル場合ニ施肥ノ時期ニヨリ収量著シキ差ナキモ7月下旬ニ施用セルモノ稍其収量多キヲ認メタリ

人糞尿追肥ニ於テハ本年度ノ成績並ニ2ヶ年平均成績ニ依ルモ同一ナル傾向ニシテ8月初旬ニ於テ追肥ノ必要アルヲ認メ得ルモ尙試験ヲ繼續シ確メントス

6. 耕起法試験 (繼續第8年)

本試験ハ耕起ノ方法ヲ異ニシタル場合ニ其ノ収量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

作付歩數 7歩半

供試品種 石白

試験別並ニ成績

區名	試験別	玄米収量	籾1升重量	籾摺歩合	批重量	藁重量
1	塚形打	2.703	291.3	.635	.480	111.373
2	畦形打	2.572	294.0	.644	.400	107.320
3	平打	2.246	291.8	.636	.480	54.840

今前7ヶ年ノ玄米収量ト對照スレバ次ノ如シ

區名	本年度収量	前 7 ヶ 年 收 量						8ヶ年平均収量	
		大正元年	大正2年	大正3年	大正4年	大正5年	大正6年		大正7年
1	2.703	2.391	2.056	2.308	2.553	2.623	2.439	2.801	2.484
2	2.572	2.211	1.748	1.595	2.362	2.166	2.065	2.537	2.157
3	2.246	1.841	1.493	.940	2.196	2.007	1.794	2.930	1.843

備考 1.肥料 各區共無肥料栽培トス

2.耕起月日 5月5日毎年同一ノ日ニ耕起セリ

3.播種月日 6月5日全上

4.耕起法 塚形打、打チ起シアル株ヲ高サ2尺5寸1歩4個ノ割合ニテ積上ケ乾燥シタル

モノ
畦形打, 5株通リニ一畦ニ起シ乾燥シタルモノ
平打・普通一般ニ行ハル、ガ如ク平打ヲナシ乾燥シタルモノ

耕起ニ要スル勞力調査 耕起ノ深サハ5寸打チニシテ耕起ニ要スル勞力ノ割合ハ平打チニテ男1人ヲ要スル場合畦形打1人5分塚形打2人ヲ要セリ

成績概要 本年度ノ成績ニ於テ塚形打最多収量ヲ示シ畦形打、平打ノ順位ナリ、而シテ之レ本年度ノ成績ノミナラズ大正元年ヨリ大正7年迄ノ間ニ於ケル各年ノ成績ヨク之レニ一致セル處ニシテ次ニ示ス勞働賃銀ヲ差引キタル純益ヨリ觀ルモ耕起ニ際シテハ耕土ノ充分乾燥ヲ圖ルヲ以テ有利ナル事試験ノ結果明カナリ

以上試験別ノ耕起法ヲ異ニセル賃銀ヨリ算スレバ

試験別	1反歩ニ要スル人	賃銀	平打ニ比シ賃銀増シ高
塚形打	2.0	2.400	1.200
畦形打	1.5	1.800	.600
平打	1.0	1.200	-

更ニ以上ノ成績ニ依リ増収高ヲ計算スレバ

試験別	平打ニ比シ米増収高	米價1石35圓トセル全上價格	平打1反歩1人要スルトシ平打ニ比シ賃銀増高	殘高
塚形打	石 .641	22.435	1.200	21.235
畦形打	.313	10.955	.600	10.355
平打	-	-	-	-

備考 表中平打ニ比シ米増収高ハ8ヶ年平均収量ヲ以テセリ

7. 株間廣狹對一坪株數試験 (新設)

本試験ハ長方形植ニ於テ1坪株數ノ多少ト1坪株數同一ニシテ株間ノ廣狹トガ収量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 石白

作付歩數 3歩

一株本數 各區共3本植

肥料 當場一般耕種梗概ニ示ス施肥量ノ標準ニ據ル

試験別

區名	試 驗		驗 別		1坪株數
	縱 (東 西)	横 (南 北)	1	坪 株 數	
1	8.57 (7株)	6.66 (9株)			63株
2	10.00 (6株)	6.00 (10株)			60株
3	12.00 (5株)	5.00 (12株)			60株
4	15.00 (4株)	4.00 (15株)			60株
5	8.57 (7株)	5.45 (11株)			77株
6	10.00 (6株)	5.00 (12株)			72株
7	12.00 (5株)	4.00 (15株)			75株
8	15.00 (4株)	3.33 (18株)			72株
9	8.57 (7株)	4.615 (13株)			91株
10	10.00 (6株)	4.00 (15株)			90株
11	12.00 (5株)	3.33 (18株)			90株
12	15.00 (4株)	2.608 (23株)			92株
13	8.57 (7株)	1.935 (31株)			211株
14	10.00 (6株)	1.714 (35株)			210株
15	12.00 (5株)	1.428 (42株)			210株
16	15.00 (4株)	1.153 (52株)			208株

成 績

(1) 生育狀況

區名	試 驗 別	出穂期	成熟期	收穫當時ノ狀況		1坪莖數
				稈長	1株莖數	
1	7. 9. (63株)	8.24	10.13	3.70	18.3	1152.9
2	6. 10. (60株)	8.24	10.13	3.87	20.4	1224.0
3	5. 12. (60株)	8.24	10.13	3.74	18.3	1098.0
4	4. 15. (60株)	8.24	10.13	3.89	20.0	1200.0
5	7. 11. (77株)	8.24	10.13	3.80	18.2	1248.4
6	6. 12. (72株)	8.24	10.13	3.91	16.4	1180.8
7	5. 15. (75株)	8.24	10.13	3.76	18.0	1350.0
8	4. 18. (72株)	8.24	10.13	3.74	16.5	1188.0
9	7. 13. (91株)	8.24	10.13	3.53	15.0	1365.0
10	6. 15. (90株)	8.25	10.13	3.64	14.9	1341.0
11	5. 18. (90株)	8.25	10.13	3.70	13.5	1215.0
12	4. 23. (93株)	8.25	10.13	3.77	12.9	1186.8
13	7. 31. (211株)	8.25	10.13	不詳	不詳	不詳
14	6. 35. (210株)	8.25	10.13	全	全	全

15	5.	42.	(210株)	8.25	10.13	不詳	不詳	不詳
16	4.	52.	(208株)	8.25	10.13	全	全	全

(2) 収 穫

區名	試 驗 別	玄米収量	籾1升重量	籾摺歩合	糶重量	粟重量
1	7. 9. (63株)	2,608	294.0	.644	1,573	132,168
2	6. 10. (60株)	2,770	286.0	.619	1,200	146,800
3	5. 12. (60株)	2,509	287.5	.623	1,031	134,063
4	4. 15. (60株)	2,676	286.0	.619	1,200	135,700
5	7. 11. (77株)	2,867	295.0	.647	1,363	140,035
6	6. 12. (72株)	2,957	294.0	.644	1,700	147,500
7	5. 15. (75株)	2,343	286.5	.620	1,406	133,281
8	4. 18. (72株)	2,515	293.0	.640	1,500	134,500
9	7. 13. (91株)	2,817	296.0	.651	1,154	134,371
10	6. 15. (90株)	2,936	293.5	.642	1,000	135,900
11	5. 18. (90株)	2,728	292.5	.639	1,313	127,031
12	4. 23. (92株)	2,998	285.0	.616	2,000	154,000
13	7. 31. (211株)	2,409	278.0	.598	2,832	172,027
14	6. 35. (210株)	2,499	277.5	.597	2,200	170,000
15	5. 42. (210株)	2,176	282.5	.609	2,813	162,656
16	4. 52. (208株)	2,183	275.5	.592	2,500	152,500

成績概要 本年度成績以上ノ如ク1ヶ年ノ傾向ニヨリ結論シ難キヲ以テ試験ヲ繼續シ確定セントス

8. 品種ト一本植對株數試験 (續前第3年)

本試験ハ水稻早, 中, 晩ニ於テ1本植ヲナス場合ニ適當ナル株數ヲ知ラントスルニアリ

作付歩數 3歩

肥料其他 一般耕種梗概ニ準ズ

試験別並ニ成績

品 種 名	一 坪 植 株 數	出 穂 期	成 熟 期	取 穫 時 々 状 況		備 考
				程 長	1 株 莖 數	
岩ノ下	標準區(56株 5本植)	8. 6	9. 18	3.64	11.0	倒伏
	5 6 株	8. 7	9. 19	3.73	7.6	全

高田早稻	7 2 株	8. 8	9. 19	3.69	6.5	倒伏
	9 0 株	8. 8	9. 19	3.65	7.2	全
	標準區(56株 5本植)	8. 11	9. 19	3.06	12.0	全
	5 6 株	8. 12	9. 20	3.28	8.0	
	7 2 株	8. 12	9. 20	3.21	8.1	
改良愛國	9 0 株	8. 11	9. 20	3.18	9.5	
	標準區(56株 5本植)	8. 15	9. 23	3.33	17.2	
	5 6 株	8. 16	9. 24	3.52	14.7	
	7 2 株	8. 16	9. 24	3.42	13.1	
	9 0 株	8. 15	9. 24	3.40	10.8	
愛 國	標準區(56株 5本植)	8. 19	10. 3	3.55	15.4	
	5 6 株	8. 20	10. 3	3.66	10.8	
	7 2 株	8. 20	10. 3	3.62	9.8	
	9 0 株	8. 19	10. 3	3.61	9.2	
	標準區(56株 5本植)	8. 31	10. 4	3.64	18.3	
美濃坊主	5 6 株	9. 3	10. 4	3.66	12.5	
	7 2 株	9. 2	10. 4	3.64	10.7	
	9 0 株	9. 1	10. 4	3.60	9.7	

備考 1. 各品種共標準區ハ1坪56株5本植ナリ

2. 石白ノ調査ヲ欠ク

品 種 名	1 坪 植 株 數	玄 米 収 量	籾 1 升 重 量	籾 摺 歩 合	糶 重 量	粟 重 量	大 正 6 年 度 取 量	大 正 7 年 度 取 量	3 ヶ 年 平 均 取 量
岩ノ下	標準區	2,184	280.0	.602	1,400	88,000	—	—	—
	5 6 株	2,019	280.0	.602	1,300	68,500	2,002	2,578	2,197
	7 2 株	2,053	280.0	.602	.800	75,500	2,067	2,857	2,326
	9 0 株	2,050	281.0	.605	.700	80,600	1,899	2,639	2,196
高田早稻	標準區	2,809	283.5	.612	2,400	97,000	—	—	—
	5 6 株	2,430	288.5	.626	1,100	83,000	2,640	2,604	2,558
	7 2 株	2,457	297.0	.655	.900	80,500	3,435	2,431	2,788
	9 0 株	2,821	291.0	.634	.700	83,600	2,675	2,828	2,708
改良愛國	標準區	3,012	287.5	.623	1,400	109,800	—	—	—
	5 6 株	2,727	283.0	.610	2,000	89,000	—	3,247 (2)	2,987
	7 2 株	2,790	288.5	.626	1,400	93,500	—	3,139 (2)	2,965
石 白	9 0 株	3,142	287.5	.623	1,200	104,500	—	3,289 (2)	3,216
	標準區	2,753	286.0	.619	1,000	150,500	—	—	—
	5 6 株	2,578	288.0	.624	1,500	125,700	2,881	3,037	2,832

愛 國	7 2 株	2.665	292.5	.639	.900	124.000	3.478	3.114	3.086
	9 0 株	3.055	290.5	.632	1.500	140.500	2.806	3.140	3.000
	標準區	2.665	281.5	.606	1.800	110.500	—	—	—
	5 6 株	2.330	271.0	.582	1.200	85.000	3.136	2.975	2.814
	7 2 株	2.760	285.0	.582	1.200	93.500	3.113	3.025	2.966
美濃坊主	9 0 株	2.663	290.0	.631	1.600	96.000	3.048	3.244	2.985
	標準區	2.595	289.0	.627	1.800	196.300	—	—	—
	5 6 株	2.364	286.0	.619	1.500	118.100	—	2.704	2.534
	7 2 株	2.411	275.5	.592	1.200	126.600	—	2.965	2.688
	9 0 株	2.613	279.0	.600	.800	132.800	—	2.928	2.771

成績概要 本年度成績ニ於テ愛國ヲ除ク外凡テ1歩株數ヲ増スニ隨ヒ収量大ナルヲ觀タリ、尙試験ヲ繼續シ確定セントス

9. 二毛作跡地栽培法試験 (續前第4年)

本試験ハ水田二毛作跡地ニ對シ移植期ノ遲延ヨリ來ル場合収量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

作付歩數 各區6歩

供試品種 早坊主

試 驗 別

區 名	試 驗 別
1	坪2合播苗
2	坪4合播苗
3	出穂後全ク排水
4	收穫15日前排水
5	大豆粕、強過磷酸石灰、藥灰(全量元肥)
6	大豆粕、強過磷酸石灰(元肥 $\frac{2}{3}$ 追肥 $\frac{1}{3}$)、藥灰(全量元肥)
7	人糞尿、強過磷酸石灰、藥灰(全量元肥)
8	人糞尿、強過磷酸石灰(元肥 $\frac{2}{3}$ 追肥 $\frac{1}{3}$)、藥灰(全量元肥)

備考 第1區—第6區迄ノ肥料ハ大豆粕30貫強過磷酸石灰4貫藥灰20貫ヲ施シ第7.8.ノ兩區ハ大豆粕ノ代リニ人糞尿ヲ使用シタルモノニシテ三要素ニ於テ大豆粕ヲ施用セシモノニ準セリ

插秧期 6月9日

追肥期 7月8日

収 穫 ノ 成 績

區名	試 驗 別	玄米収量	粳1升重量	糶摺歩合	批重量	糶重量	大正5年度収量	大正6年度収量	大正7年度収量	4ヶ年平均収量
1	2合播苗	2.348	275.5	.592	2.750	166.750	3.004	2.910	3.009	2.818
2	4合播苗	2.840	262.5	.567	2.000	146.500	3.435	2.754	3.282	3.078
3	出穂後全ク排水	2.989	283.5	.612	2.000	112.500	3.034	2.942	3.135	3.025
4	收穫15日前排水	2.778	276.5	.594	4.000	138.750	2.987	2.404	3.309	2.870
5	大豆粕全量元肥	2.823	273.8	.588	2.500	155.750	2.567	2.685	3.089	2.791
6	全2回分施	2.783	271.5	.583	2.500	146.750	3.269	2.865	3.056	2.993
7	人糞尿全量元肥	3.000	279.0	.606	3.000	154.000	2.887	3.022	3.119	3.007
8	全2回分施	2.726	262.5	.567	1.500	151.500	3.145	2.953	3.049	2.968

成績概要 4ヶ年ノ平均成績ニヨレバ播種量ニ於テハ4合播苗移植區優レリ又排水時期ニ於テハ出穂後直チニ排水シ田面ノ乾燥ヲ圖ルヲ以テ成績良好ナルヲ示セリ、大豆粕施用區ニ於テハ2回ニ亙リテ施用シタルモノ有利ニシテ又人糞尿施用區ニ於テハ全量ヲ元肥ニ施シタルモノ優レリ、然レドモ各年ニ於ケル各區収量ヲ比較スルトキハ其ノ成績區々ニシテ大ニ其ノ年ノ氣候ニ左右セラレ結論ヲ下シ難キモ出穂後排水區及ビ大豆粕2回分施區収量多ク人糞尿ハ2回分施ノ効果少ナク、4合播苗ハ2合播ニ比シ良好ナルモノ、如シ

10. 遲 播 期 試 驗 (續前第3年)

本試験ハ天災其他ノ時變ノタメ普通ノ時期ニ播種シ能ハズシテ播種期ヲ遲延シタル場合ニ於ケル其ノ収量ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 石白

作付歩數 3歩

播種期及移植期 1, 5月25日播6月20日移植
2, 6月1日播6月25日移植
3, 6月5日播6月30日移植
4, 4月25日播(標準)6月1日移植(標準)

試 驗 別 並 ニ 成 績

區名	試 驗 別	玄米収量	粳1升重量	糶摺歩合	批重量	糶重量	大正6年度収量	大正7年度収量	3ヶ年平均収量
1	5月25日播	2.979	281.5	.606	1.300	162.333	2.765	2.555	2.766

2	6月1日播	2.556	292.5	.639	1.333	132.867	2.745	2.555	2.619
3	6月5日播	2.325	284.0	.613	.800	135.400	2.589	2.393	2.436
4	4月25日播	3.163	280.0	.602	.667	200.400	-	3.300	3.224

成績概要 天災其他ノ時變ノタメ播種期ヲ失シ6月5日ニ播種シタルモノニ於テモ相當収量ヲ觀ル事ヲ得、而シテ適當ノ播種期ヲ失シタル場合ニ於テハ速カニ追播シ適當ノ播種期ニ近キ程其収量大ナルヲ認メタリ

11. 遅直播・移植ト一株本數トノ關係試驗 (繼續第3年)

本試驗ハ遅直播遅移植ヲナス場合ニ1株苗數ノ多少ト其ノ収量トノ關係ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 中生高宮

作付歩數 各區6歩

試驗別並ニ収穫ノ成績

區名	試驗別	玄米収量	糶1升重量	糶歩合	糶重量	藥重量	大正6年度収量	大正7年度収量	3年平均収量
1	普通苗6月5日4本植	2.275	289.0	.627	1.333	114.667	2.446	3.561	2.760
2	6月5日播5本植	2.020	286.0	.619	1.667	126.333	2.571	2.317	2.302
3	全全7本植	2.156	283.0	.610	1.667	106.000	2.869	2.618	2.548
4	6月5日5粒直播	1.975	287.5	.623	2.000	103.333	2.374	2.505	2.285
5	全6粒直播	1.948	282.5	.609	1.400	100.733	2.619	2.638	2.694
6	全7粒直播	2.259	282.5	.609	1.333	172.400	2.763	2.739	2.587

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ遅播遅植ヲナス場合ニハ1株苗數5本植ヨリモ7本植収量多ク又直播ノ場合ニ於テモ5粒播ヨリモ6,7粒播ノ方収量多キヲ示セリ

12. 芽出ノ長短ト苗ノ生育關係調査 (新設)

本調査ハ芽出播ヲ行フ場合ニ芽出ノ長サニヨリ苗ノ生育ニ及ボス關係ヲ知ラントスルニアリテ各區3分1歩宛ノ面積ニテ下記ノ區別ニヨリ調査セリ

區名	試驗別	備	考
1	揚播	各區共播種期ナ同一ニスルタメ芽出ヲ要スルモノハ	
2	芽出播 2分	豫メ浸漬シ置キ芽出ヲ促進セシメタリ	
3	芽出播 4分		

播種期及播種量 5月1日,1坪3合(浸種前)播トセリ

調査成績

區名	試驗別	5月12日ニ於ケル狀況				5月22日ニ於ケル狀況			
		根長	草長	葉數	根數	根長	草長	葉數	根數
1	揚播	1.5	.6	1	1	2.3	1.8	4	4
2	芽出播(2分)	3.0	1.4	4	4	2.5	2.5	4	6
3	芽出播(4分)	3.5	1.6	4	4-5	2.5	2.8	5	6

區名	試驗別	移植當時ノ狀況						
		苗丈	分蘗	根長	苗整否	苗強弱	苗細太	
1	揚播	6.8	2.1	2.2	稍整	中	細	
2	芽出播(2分)	7.3	2.7	5.5	全	全	中	
3	芽出播(4分)	7.0	2.5	5.0	整	強	稍太	

成績概要 芽出ノ長キモノハ苗床稍堅キタメ流去セル傾キアリ、又播種期ハ5月1日ナリシニヨリ稍晚過ギタリ、播種後日數ヲ經ルニ從ツテ揚播ト芽出播ノ差ハ僅少ナルモ本年ノ成績ニヨリテ見レバ2分芽出區一般ニ生育良好ナリ

13. 生育調査 (繼續第8年)

本調査ハ其年ニ於ケル有効分蘗期ヲ確メシメガ爲メ次ギノ設計ノ下ニ之レヲ施行セリ

供試品種 早稻, 高田早稻, 中稻, 石白, 晚稻, 美濃坊主

作付歩數 18歩 各區6歩

移植期 6月1日

移植方法 早稻 1歩54株1本植

中稻 1歩48株1本植

晚稻 1歩42株1本植

肥料其他 當場一般耕種梗概ニ據ル

調査月日 6月20日ヨリ調査ヲ始メ 其後5日-6日毎ニ調査シ出穂期ニ至リテ止ム

調査方法 調査ハ畦畔際ノ2株ヲ除キ4隅及ビ中央ノ5ヶ所ヲ選定シ1ヶ所4株宛合計20株ヲ調査セリ

今本調査期間中ニ於ケル氣象概況ヲ記スレバ次ノ如シ

調査期間	平均気温	日照時間	全期間中天気日数			雨量
			晴	曇	雨	
6月上旬	19.7	52.1	8	1	1	18.9
中旬	19.0	14.6	5	3	2	55.4
下旬	19.8	38.8	5	4	1	37.7
7月上旬	21.0	53.4	5	2	3	45.0
中旬	23.8	99.4	9	1	0	3.0
下旬	27.2	64.3	6	3	2	91.8
8月上旬	24.2	36.6	6	2	2	6.4
中旬	23.5	48.4	7	0	3	54.9
下旬	26.8	77.0	7	4	0	18.5
9月上旬	23.2	67.0	8	2	0	86.5
中旬	21.4	14.6	3	4	3	125.6
下旬	18.5	23.1	2	5	3	155.1
10月上旬	17.5	19.2	3	4	3	78.0
中旬	14.9	32.6	5	3	3	58.4
下旬	13.9	35.2	5	3	3	86.1

成 績

(1) 伸長調査

品種名	調 査 月 日												出穂期
	6.20	6.25	7.1	7.5	7.10	7.15	7.20	7.25	8.1	8.5	8.10		
高田早稲	1.15	1.20	1.33	1.46	1.74	2.00	2.20	2.40	2.69	3.05	—	(8.7)	3.35
石 白	1.19	1.25	1.34	1.47	1.64	1.97	2.14	2.45	2.79	2.90	3.38	(8.25)	3.88
美濃坊主	1.14	1.18	1.27	1.41	1.63	1.91	2.12	2.40	2.69	2.70	2.89	(9.6)	3.59

(2) 莖数調査

品種名	調 査 月 日												出穂期
	6.20	6.25	7.1	7.5	7.10	7.15	7.20	7.25	8.1	8.5	8.10		
高田早稲	3.5	5.0	10.1	13.4	15.5	19.1	19.5	19.2	18.8	18.3	—	(8.7)	18.3
石 白	4.3	6.8	12.9	17.7	21.3	28.9	29.8	30.2	29.1	27.3	27.3	(8.25)	27.3
美濃坊主	4.0	6.1	11.8	15.3	17.9	20.8	21.9	21.0	20.6	20.2	20.0	(9.6)	20.0

(3) 穂長調査

品種名	調 査 月 日									
	6.20	6.25	7.1	7.5	7.10	7.15	7.20	7.25	8.1	8.10
高田早稲	6.60	5.76	6.44	6.35	5.90	—	5.20	5.90	5.40	—

石 白	7.41	6.85	7.40	6.66	6.50	—	5.80	4.70	—
美濃坊主	6.36	—	6.80	6.45	—	6.56	6.10	—	—

(4) 分枝調査

品種名	調 査 月 日							
	6.20	6.25	7.1	7.5	7.10	7.15	7.20	7.25
高田早稲	9.7	7.8	9.3	8.3	7.6	—	6.7	8.7
石 白	9.0	8.6	8.1	7.6	7.5	—	6.8	5.0
美濃坊主	9.3	9.0	8.6	8.7	—	9.3	9.0	7.7

(5) 粒数調査

品種名	調 査 月 日							
	6.20	6.25	7.1	7.5	7.10	7.15	7.20	7.25
高田早稲	106.4	73.2	100.9	87.4	77.8	—	61.5	97.7
石 白	91.6	80.4	93.9	67.3	66.5	—	49.5	33.3
美濃坊主	92.2	85.0	81.6	80.7	—	87.5	70.0	72.4

(6) 一穂重量

品種名	調 査 月 日							
	6.20	6.25	7.1	7.5	7.10	7.15	7.20	7.25
高田早稲	6.8	4.8	6.6	5.2	4.9	—	3.9	5.7
石 白	5.4	5.3	6.4	4.6	5.1	—	4.2	3.0
美濃坊主	4.8	6.1	5.0	5.4	—	5.0	4.2	4.9

成績概要 右ノ調査ニヨレバ本年度ノ氣候状態ニ於テ伸長ノ状況ハ高田早稲ニ於テハ8月1日ヨリ同月5日ニ至ル間石白ニ於テハ8月5日ヨリ同月10日ニ至ル間美濃坊主ニ於テハ7月25日ヨリ8月1日ニ至ル間最も多ク伸長セリ、而シテ莖数ニ於テハ1株最高莖数ヲ示セルハ3種共7月20日ニシテ調査期間中最盛分蘖ヲ示セル期間ハ6月25日ヨリ7月1日ノ間並ニ7月10日ヨリ同月15日ノ間ニシテ之レ3種共同ナル傾向ヲ示セリ
而シテ出穂期ニ於ケル分蘖数ハ3種共7月10日ヨリ同月15日ニ於ケル分蘖数ト一致セリ、而シテ7月15日以降ニ於テ分蘖セル莖数ハ3種共僅少ナルヲ以テ是等ノ莖数ガ有効莖数ナリトスルモ1穂ノ長さ、重量、粒附ノ調査ヨリ觀ルモ収量ニ大ナル影響ナシ、依ツテ3種共7月15日ヲ以テ最終有効分蘖期ト觀ルモ大過ナルベシ之前3ヶ年共同ナル傾向ヲ認メタリ

第三陸 稻

1. 旱害豫防試験 (繼續第3年)

イ 敷薬ト旱害トノ關係

試験別並ニ成績

(1) 生育狀況

區名	試験別	出穂期	成熟期	收穫當時ノ狀況			備考
				稈長	畦1尺間數	穗長	
1	無敷薬	8.15	9.28	3.60	30	—	發芽不良ノ爲メ
2	反當 50貫敷薬	8.15	9.28	3.40	36	—	各區共6月5日補
3	反當 100貫敷薬	8.15	9.28	3.54	37	—	植セリ
4	反當 150貫敷薬	8.15	9.28	3.72	40	—	

(2) 収 穫

區名	試験別	玄米量	籾1升重量	籾歩合	糶重量	薬重量	大正6年度収量	大正7年度収量	3ヶ年平均収量
1	無敷薬	1.206	250.0	.540	2.000	70.000	1.765	2.024	1.665
2	反當 50貫敷薬	1.296	246.0	.535	1.500	64.250	1.732	1.729	1.585
3	反當 100貫敷薬	1.211	245.0	.530	1.750	66.500	1.936	1.884	1.677
4	反當 150貫敷薬	1.247	245.0	.535	1.500	68.250	1.907	1.916	1.690

ロ 耕鋤深淺ト旱害トノ關係

試験別並ニ成績

(1) 生育狀況

區名	試験別	出穂期	成熟期	收穫當時ノ狀況			備考
				稈長	畦1尺間數	穗長	
1	三寸耕	8.16	9.28	3.45	135	—	發芽不良ノタメ
2	六寸耕	8.16	9.28	3.68	161	—	6月5日各區共補
3	九寸耕	8.16	9.28	3.62	156	—	植ス

(2) 収 穫

區名	試験別	玄米量	籾1升重量	籾歩合	糶重量	薬重量	大正6年度収量	大正7年度収量	3ヶ年平均収量
1	三寸耕	1.854	257.5	.555	1.150	72.000	1.758	1.971	1.861

2	六寸耕	3.238	251.0	.545	.750	97.000	1.358	1.999	1.862
3	九寸耕	1.962	252.5	.555	1.900	88.500	1.622	2.167	1.917

ハ 施肥期ト旱害トノ關係

試験別並ニ成績

(1) 生育狀況

區名	試験別	出穂期	成熟期	收穫當時ノ狀況		備考
				稈長	畦1尺間數	
1	全量元肥	8.16	9.28	3.45	149	發芽不良ノタメ6月5日
2	1回追肥	8.16	9.28	3.57	123	各區共補植ス
3	2回追肥	8.16	9.26	3.52	129	
4	3回追肥	8.16	9.26	3.41	115	
5	4回追肥	8.16	9.26	3.45	120	

備考 追肥期 1回 7月10日

2回 7月1日, 7月25日

3回 7月1日, 7月20日, 8月10日

4回 6月25日, 7月10日, 7月25日, 8月10日

追肥ハ人糞尿120貫ト定メ追肥回数ニ依リ分施セリ

(2) 収 穫

區名	試験別	玄米量	籾1升重量	籾歩合	糶重量	薬重量	大正6年度収量	大正7年度収量	3ヶ年平均収量
1	全量元肥	1.916	245.0	.540	1.350	79.750	1.249	1.435	1.530
2	1回追肥	1.767	246.0	.540	1.600	74.750	.931	1.781	1.490
3	2回追肥	1.182	238.5	.510	2.000	67.350	.937	1.998	1.370
4	3回追肥	1.189	245.0	.530	1.300	55.000	1.629	1.939	1.580
5	4回追肥	1.690	260.0	.570	.900	61.350	1.429	1.861	1.660

成績概要 旱害豫防ニ關スル試験ニ於テハ播種當時發芽不良ノタメ補植ノ數多ク又旱魃ヲ受クル年ニ於テハ其効果顯著ナルモ、其被害少ナキ年ニ於テハ効果モ随ツテ認メ難シ本年度ノ如キ被害少ナキ年ニ於テハ各豫防法共其ノ効果明カナラズ、從來ノ成績ニヨルモ敷薬及深耕ノ効果ハ多少認メ得ベク施肥ノ回数試験ニツキテハ各年各區差アリテ一定ノ傾向ヲ認メ得ザリキ

育種研究ニ關スル試驗

第一 大 麥

1. 品種比較本試驗 (續第20年)

本試驗ハ既往ニ於ケル試驗ノ結果優良ト認メタル品種ヨリ最モ優良ニシテ本縣ニ必適ノ品種ト確定シタルモノヲ縣獎勵原種トシテ既ニ原種圃ニ移シタル殘餘ノ品種及ビ新クニ品種比較豫備試驗ヨリ編入セルモノニ就キ詳細ニ其ノ優劣ヲ比較シ更ニ本縣ニ必適スル良品種ヲ選定セントスルニアリ
作付歩數 各區6步 2區制

供試品種並ニ兩區平均成績

(1) 生育狀況

品種番號	品 種 名	取 寄 先	雪害程度	出穂期	成熟期	倒伏多少	成 熟 期		
							稈長	穗長	1尺莖數
1	長 岡	標準(1)	極少	5.19	6.17	無	3.57	15.8	29.3
6	赤 蕪	石川縣	少	5.19	6.16	全	3.79	25.9	32.0
7	雄 勝	陸羽支場	極少	5.22	6.20	全	3.81	23.1	35.2
8	御 前	山形縣	全	5.19	6.18	全	3.51	22.2	40.0
10	大 麥 戊	北蒲原郡	全	5.21	6.21	全	3.80	16.9	31.0
14	六角シユバリー	西頸城郡	全	5.20	6.18	全	3.39	14.3	30.7
15	谷 風	日本農園	全	5.19	6.15	全	3.48	21.3	40.3
16	大 麥 甲	北蒲原郡	全	5.22	6.22	全	3.40	12.3	37.0
17	ケ ー プ	刈羽郡	全	5.20	6.20	全	3.70	16.6	37.0
1	長 岡	標準(2)	全	5.20	6.19	全	3.59	14.9	42.3
1	長 岡	標準(3)	全	5.19	6.17	全	3.85	15.7	43.3
33	甲23 ^{カリフォルニア}	畿内支場	全	5.20	6.18	全	3.75	14.1	39.7
48	陸羽2號	陸羽支場	全	5.22	6.20	少	3.76	19.5	41.0
50	ケ ー プ	日本農園	全	5.19	6.18	無	3.49	12.2	34.0
58	南魚沼在來種	南魚沼郡	全	5.19	6.16	全	3.43	18.1	35.0
1	長 岡	標準平均	全	5.19	6.18	全	3.67	15.5	38.3

(2) 収 穫

品種番號	品 種 名	子實収量	1升重量	子實品質	稈重量	累年平均収量
1	長岡(標準1)	石 1.969	283.0	中ノ中	70.950	

6	赤 蕪	2.169	283.0	中ノ中	77.880	(3)	石 1.515
7	雄 勝	2.135	277.5	全	81.285	(3)	1.526
8	御 前	2.039	287.0	全	77.055	(3)	1.479
10	大 麥 戊	2.214	274.5	中ノ下	73.095	(3)	1.485
14	六角シユバリー	1.945	281.0	中ノ上	63.030	(3)	1.336
15	谷 風	1.953	280.0	全	62.590	(3)	1.567
16	大 麥 甲	2.083	283.5	中ノ中	78.045	(3)	1.642
17	ケ ー プ	2.205	278.5	中ノ上	75.570	(3)	1.707
1	長岡(標準2)	2.135	285.5	中ノ中	73.750		
1	長岡(標準3)	2.476	274.5	全	68.400		
33	甲23 ^{カリフォルニア}	1.866	278.5	全	52.030	(2)	1.708
48	陸羽2號	2.232	274.0	全	60.720	(2)	1.691
50	ケ ー プ	2.432	277.5	全	67.430	(3)	1.844
58	南魚沼在來種	2.846	284.5	全	80.960	(2)	2.018
1	長岡(標準平均)	2.193	281.0	全	61.667	(2)	1.770

2. 品種比較豫備試驗 (續第6年)

本試驗ハ各地方ヨリ其ノ地方ニ於ケル優良品種又ハ本縣ニ栽培シテ見込アリト認メタル品種ヲ取寄セ本縣ニ適スルヤ否ヤヲ試驗セントスルモノニシテ其ノ有望ト認メタルモノハ之ヲ品種比較本試驗ニ移サンガ爲ニ行フモノナリ而シテ前年度ニ於テハ34品種ヲ供試セルモ内4品種ハ前記品種比較本試驗ニ移シ24品種ハ見込ナキヲ以テ廢棄シ本年度ハ單ニ殘餘ノ6品種ヲ供試スルニ止メタリ

作付歩數 各區3步

供試品種及成績

(1) 生育狀況

品種番號	品 種 名	取 寄 先	雪害程度	出穂期	成熟期	倒伏多少	成 熟 期		
							稈長	穗長	1尺莖數
18	三 月 麥	山形縣	極少	5.21	6.18	無	3.66	22.7	39.0
30	甲大二坊主ケープ	畿内支場	全	5.20	6.20	全	3.71	15.7	42.0
43	五 畝 四 石	秋田縣	全	5.19	6.16	全	3.72	20.5	41.7
44	濠 洲	全	全	5.19	6.16	全	3.55	21.9	50.7
45	細 麥	山形縣	全	5.21	6.19	全	3.33	26.7	54.0
46	細 釋	青森縣	全	5.21	6.20	全	3.59	24.8	34.0

(2) 収 穫

品種番號	品 種 名	子實収量	1 升重量	品 質	秤 重 量	累年平均収量
18	三 月 麥	2.020	275.0	—	66.000	(3) 1.427
30	早大二坊主ケーブ	2.324	284.0	中ノ上	88.770	(3) 1.690
43	五 畝 四 石	2.289	280.0	中ノ中	86.240	(2) 1.690
44	濠 洲	2.589	277.0	中ノ下	92.840	(2) 1.862
45	細 麥	2.239	285.0	上ノ下	77.550	(2) 1.693
46	細 稈	2.185	287.0	—	71.500	(2) 1.591

3. 純系淘汰試験

本試験ハ品種比較試験ノ結果優良ト認メタル長岡及ビ今朝白ノ2品種ニ就キ優良純系ヲ分離選抜センガ爲メ施行スルモノニシテ大正5年度ニ於テ縣下各2ヶ所ヨリ材料ヲ蒐集シ以テ試験ニ着手セリ、而シテ本年度ハ着手第3年目ニ當リ前年度ニ於テ選抜セル系統中長岡8系今朝白16系ニ就キテ収量調査ヲ行ヒ其ノ他ノ系統ハ圃場ノ都合上單ニ特性ノ調査ヲ繰返スニ止メ更ニ次年度ノ試験ニ供用スベキ系統ノ選抜ヲ行ヘリ、本年度マデノ調査ニ據レバ収量、品質、雪害多少、倒伏難易其ノ他經濟的特性ニ關シ成績有望ナリト認メラル試験經過次ノ如シ

品 種 名	初年目栽種 桶 株 數	初年目選 拔 株 數	2年目栽種 各系株數	2年目選 拔系統數	3年目栽種 各系坪數	全 上 平均區數	3年目選 拔系統數
長 岡	1,400	60	108	21	6	2	21
今 朝 白	1,400	60	108	27	6	2	27

尙ホ本年度試験成績中比較的多収ナル系統ト原種圃産原種ノ収量成績ヲ比較セバ次ノ如シ

品 種 名	系 統 別	子 實 収 量	原 種 = 比 シ 増 収	
			量	割 合
長 岡	原 種	2.231	—	—
	純系 47 號	2.501	石 .270	12.1
	全 24 號	2.451	.220	9.9
	原 種	1.909	—	—
今 朝 白	純系 55 號	2.177	.268	14.0
	全 54 號	2.138	.229	12.0

第二小 麥

1. 品種比較本試験 (繼續第13年)

本試験ハ既往ニ於ケル試験ノ結果優良ト認メタル品種ヨリ最モ優良ニシテ本縣ニ必適ノ品種ト確定シタルモノヲ縣獎勵原種トシテ既ニ原種圃ニ移シタル殘餘ノ品種及ビ新タニ品種比較豫備試験ヨリ編入セルモノニ就キ詳細ニ其ノ優劣ヲ比較シ更ニ本縣ニ必適スル良品種ヲ選抜セントスルニアリ作付歩數 各區6歩 2區制

供試品種並ニ兩區平均成績

(1) 生 育 狀 況

品種番號	品 種 名	取 寄 先	雪害程度	出穂期	成熟期	倒伏多少	成 熟 期		
							秤 長	穂 長	1 尺 莖 數
1	横 澤	標準1	極少	5.26	6.28	多	4.65	31.8	48.7
5	フォーストライヤ	石川縣	全	5.23	6.26	無	4.31	25.6	50.7
6	白 川	岩手縣	全	5.29	7.1	全	4.72	29.0	45.3
7	赤 皮 赤	山形縣	全	5.25	6.29	稍多	4.59	31.6	45.7
8	仙 北	秋田縣	全	5.29	7.2	多	4.49	27.8	50.0
9	カリフォルニヤ	山形縣	少	5.29	7.3	極少	4.24	27.5	37.3
11	富 國	茨城縣	全	5.29	7.2	全	4.31	32.8	27.3
17	甲16 {伊 賀 試 験 場 フォーストライヤ}	畿内支場	極少	5.23	6.26	無	4.01	26.0	34.7
19	甲40 {白 小 麥 フォーストライヤ}	全	全	5.24	6.26	全	4.21	28.8	51.0
1	横 澤	標準2	全	5.27	6.28	少	4.03	36.4	35.7
1	横 澤	標準3	全	5.27	6.28	多	4.50	31.2	40.0
34	フ ル ツ	秋田縣	少	5.29	7.5	無	4.62	34.4	36.7
35	マーチンズアンバー	北海道	稍少	6.3	7.6	全	4.63	35.2	39.3
39	丸 珍	青森縣	中	6.3	7.6	全	4.55	35.5	45.3
43	古志郡在來種	古志郡	極少	5.28	6.30	中	4.69	32.1	44.3
1	横 澤	標準平均	全	5.27	6.28	全	4.39	33.1	41.5

(2) 収 穫

品種番號	品 種 名	子實収量	1 升重量	子實品質	秤 重 量	累年平均収量
1	横 澤 (標準1)	1.262	369.0	中ノ上	115.250	—
5	フォーストライヤ	1.282	376.5	上ノ下	123.980	(3) 石 .807
6	白 川	1.070	371.0	中ノ下	106.375	(3) .740

7	赤皮赤	1.355	369.0	中ノ上	110.550	(2)	.904
8	仙北	1.197	371.5	上ノ下	160.875	(3)	.879
9	カリフォルニア	.779	363.0	中ノ上	73.260	(3)	.639
11	富國	1.458	368.5	中ノ中	131.395	(3)	1.066
17	甲16 {伊 我 農 機 ドオーストリア}	.971	377.0	上ノ中	94.215	(3)	.801
19	甲40 {白 小 麥 ドオーストリア}	1.064	376.0	中ノ上	94.930	(3)	.915
1	横澤 (標準2)	.746	361.0	全	74.850		—
1	横澤 (標準3)	1.179	358.5	全	102.550		—
34	フルツ	1.173	371.5	全	107.415	(2)	1.025
35	マーチンズアンバー	1.130	370.0	中ノ中	124.575	(2)	1.012
39	丸珍	1.182	376.0	上ノ下	123.750	(2)	1.009
43	古志郡在來種	1.262	361.0	中ノ中	104.995	(2)	1.067
1	横澤 (標準平均)	1.062	362.8	中ノ上	97.483	(2)	.919

2. 品種比較豫備試験 (繼續第6年)

本試験ハ各地ヨリ優良ト認メタル品種ヲ蒐集シ本縣ニ適スルヤ否ヤヲ試
ミ其ノ有望ナルモノハ前記品種比較試験ニ移サンガ爲メニ行フモノナリ
作付歩數 各區3歩

供試品種並ニ成績

(1) 生育状況

品種番號	品 種 名	取 寄 先	雪害程度	出穂期	成熟期	倒伏多少	成 熟 期		
							程 長	穂 長	1 尺 莖 數
12	フルツ	岩手縣	極多	6.13	7.15	無	4.07	43.6	29.3
15	2 {白 小 麥 カリフォルニア}	畿内支場	中	5.23	6.25	全	3.90	32.2	31.7
16	甲29 {早 熟 赤 毛 ドオーストリア}	全	全	5.28	7.3	全	4.24	38.8	38.7
18	甲1 {白 小 麥 カリフォルニア}	全	多	6.2	7.7	少	4.36	34.7	29.0
20	甲23 {不 揃 カリフォルニア}	全	中	5.25	6.27	無	4.13	30.7	45.0
22	甲6 {早 熟 赤 毛 カリフォルニア}	全	全	5.24	6.27	全	4.11	32.4	36.0
23	39 {佛 1 2 號 赤 小 麥}	全	多	5.29	7.3	全	4.07	34.8	41.3
24	24 {早 熟 赤 毛 カリフォルニア}	全	少	5.24	6.29	中	4.14	33.0	35.0
25	27 {早 熟 赤 毛 カリフォルニア}	全	中	5.26	6.28	少	4.28	36.0	33.7
33	カリフォルニア	秋田縣	極多	6.7	7.13	極少	4.50	36.4	34.7
36	穂 長	山形縣	全	6.7	7.14	少	4.14	45.9	27.7
41	西蒲原在來種	西蒲原郡	全	6.7	7.10	無	4.00	34.9	36.0

(2) 収 穫

品種番號	品 種 名	子實収量	1 升重量	子實品質	稈 重 量	累年平均収量
12	フルツ	雪害甚シキ 石 846	爲調査セズ	下ノ中	—	—
15	2 {白 小 麥 カリフォルニア}	.846	360.0	中ノ中	74.580	(3) .749
16	甲29 {早 熟 赤 毛 ドオーストリア}	.917	354.0	下ノ上	80.300	(3) .651
18	甲1 {白 小 麥 カリフォルニア}	.746	354.0	中ノ下	89.320	(3) .573
20	甲23 {不 揃 カリフォルニア}	1.070	370.0	上ノ下	106.150	(3) .803
22	甲6 {早 熟 赤 毛 カリフォルニア}	.886	360.0	下ノ上	83.600	(3) .798
23	39 {佛 1 2 號 赤 小 麥}	.561	346.0	全	61.930	(3) .547
24	24 {早 熟 赤 毛 カリフォルニア}	1.109	371.0	中ノ中	100.210	(3) .766
25	27 {早 熟 赤 毛 カリフォルニア}	.870	354.0	中ノ下	104.500	(3) .589
33	カリフォルニア	.558	335.0	中ノ上	90.860	(2) .608
36	穂 長	雪害甚シキ	爲調査セズ	下ノ下	—	—
41	西蒲原在來種	全	上	中ノ中	—	—

第三水 稻

1. 品種比較本試験 (繼續第12年)

本試験ハ既往ニ於ケル試験ノ結果優良ト認メタル品種中ヨリ最モ優良ニ
シテ本縣ニ最適ノ品種ヲ選抜決定シタル殘餘ノ品種ト後記品種比較豫備試
験ニ於テ優良ト認メタル品種トヲ加ヘ詳細ニ其ノ優劣ヲ比較調査シテ更
ニ本縣最適ノ品種ヲ選擇セントスルモノニシテ本年度ニ於テハ前年度供試
品種中試験完結セルモノ3品種ヲ除キ品種比較豫備試験ニ於テ優良ト認メ
タルモノヲ新タニ3品種加ヘ合計20品種ヲ供試セリ、而シテ本年度迄ノ試験
ノ結果米光及ビ水野錦(但シ米光ハ大正7年度迄試験)ノ兩品種ハ成績優良
ニシテ普及スルノ價值アルモノト認メタルヲ以テ新タニ縣獎勵原種トシテ
種子ノ配付ヲ行ハンガ爲メ原種圃ニ移シテ繁殖スルノ計劃ヲ立テタリ
作付歩數 各區6歩 2區制

供試品種並ニ兩區平均成績

(1) 生育状況

品種番號	品 種 名	取 寄 先	出穂期	成熟期	倒伏多少	成 熟 後		
						程 長	穂 長	莖 數
—	石 白	標準(1)	8.25	10.1	多	3.63	6.4	24.2

—	高田早稻	標準(1)	8.7	9.12	中	3.35	6.3	21.3
1	小田珍光	中蒲原郡	7.31	9.8	無	2.95	6.0	21.1
2	庄内坊主	全	8.6	9.13	極多	3.91	6.6	16.5
3	新庄内	北蒲原郡	8.5	9.13	全	3.70	7.2	12.9
4	早生大黒	古志郡	8.17	9.18	全	3.94	7.5	15.9
5	岩本	北蒲原郡	8.14	9.17	全	3.44	6.8	15.3
7	東京府	富山縣	8.15	9.18	少	3.36	6.8	13.4
8	水野錦	全	8.16	9.20	全	3.56	6.3	14.2
9	白玉	古志郡	8.24	9.30	全	3.56	6.4	19.9
12	早生大野	山形縣	8.2	9.9	無	3.55	7.0	10.8
13	國富	中蒲原郡	8.13	9.17	多	3.82	7.0	13.5
—	石白	標準(2)	8.24	10.1	稍多	3.66	6.8	24.1
—	高田早稻	全	8.6	9.15	中	3.26	6.5	18.5
14	東郷2號	山形縣	8.16	9.19	全	3.15	5.6	23.9
15	改良愛國	埼玉縣	8.22	9.29	多	3.57	6.9	14.7
16	改良愛國	群馬縣	8.13	9.20	全	3.53	6.8	20.7
21	畿内早稻22號	畿内支場	8.15	9.20	全	3.48	6.7	21.4
25	全39號	全	8.17	9.25	全	3.53	6.3	20.1
27	全57號	全	8.24	10.2	無	3.69	7.1	25.4
30	全73號	全	8.26	10.3	全	3.78	7.0	19.2
32	全91號	全	8.22	9.29	全	3.69	7.0	22.2
39	早生石白	中蒲原郡	8.17	9.18	多	3.63	7.1	22.4
40	黄金早稻	刈羽郡	8.13	9.17	全	3.76	6.9	19.5
—	石白	標準(3)	8.26	10.1	全	3.69	6.8	25.5
—	高田早稻	全	8.8	9.15	中	3.31	6.2	24.4
—	石白	標準平均	8.25	10.1	多	3.66	6.7	24.6
—	高田早稻	全	8.7	9.14	中	3.31	6.3	21.5

(2) 収 穫

品種番號	品 種 名	玄米収量	1 升 重 量		糠摺歩合	米 質	糶重量	果年平均収量
			粳	玄米				
—	石白(標準1)	2.628	289.7	376.3	.627	上ノ中	.650	—
—	高田早稻(標準1)	2.504	281.7	382.4	.607	全	1.375	—
1	小田珍光	2.157	288.0	374.7	.625	全	1.150 (3)	1.852
2	庄内坊主	2.164	274.2	374.1	.591	上ノ下	3.100 (3)	2.467
3	新庄内	2.473	267.5	379.3	.576	全	2.150 (3)	2.673
4	早生大黒	2.423	279.7	377.8	.602	上ノ中	.625 (3)	2.476

5	岩本	2.365	285.5	377.8	.617	中ノ下	.750 (3)	2.520
7	東京府	2.332	281.5	376.2	.607	全	1.350 (3)	2.528
8	水野錦	2.402	287.5	382.4	.623	上ノ中	.450 (3)	2.457
9	白玉	2.636	296.0	383.8	.651	全	.675 (3)	2.697
12	早生大野	2.059	266.0	378.5	.573	中ノ中	.760 (3)	2.396
13	國富	2.161	277.5	378.5	.596	全	.760 (3)	2.382
—	石白(標準2)	2.532	293.5	379.0	.642	上ノ中	.875	—
—	高田早稻(標準2)	2.415	284.5	375.4	.614	全	1.025	—
14	東郷2號	2.400	277.2	379.3	.596	上ノ下	2.600 (3)	2.816
15	改良愛國	2.854	284.5	378.0	.614	中ノ上	2.550 (3)	2.895
16	改良愛國	2.662	288.7	382.3	.626	—	1.425 (3)	2.938
21	畿内早稻22號	2.790	288.0	382.0	.624	—	1.250 (3)	2.778
25	全39號	2.151	282.7	382.3	.609	上ノ下	.600 (3)	2.935
27	全57號	2.599	292.5	385.0	.638	—	.850 (3)	2.738
30	全73號	2.819	281.5	379.3	.606	中ノ上	2.550 (3)	2.902
32	全91號	2.675	276.2	376.0	.599	—	1.250 (3)	2.760
39	早生石白	2.594	287.0	379.3	.621	上ノ下	.300 (3)	2.676
40	黄金早稻	2.444	281.0	377.0	.605	中ノ下	.850 (3)	2.610
—	石白(標準3)	2.546	287.7	380.0	.625	上ノ中	1.300	—
—	高田早稻(標準3)	2.615	280.0	374.7	.602	全	2.175	—
—	石白(標準平均)	2.569	290.0	378.4	.631	全	.942 (3)	2.790
—	高田早稻(標準平均)	2.511	282.1	377.5	.608	全	1.525 (3)	2.536

尙ホ新タニ獎勵原種トスル目的ヲ以テ選抜決定セル米光及ビ水野錦兩品種ノ累年平均成績概要次ノ如シ

イ. 米光 大正4年度ニ於テ北蒲原郡ヨリ取寄セタルモノヲ同年度品種比較豫備試験ニ供試セルニ成績有望ナルヲ以テ同5年度ヨリ品種比較本試験ニ移シ同7年度迄3ケ年繼續試験セルニ成熟期ハ獎勵原種石白ニ比シ稍早ク稈比較的強健ニシテ3ケ年平均反當玄米収量3.081石ヲ示シ(石白同年平均2.949石)米質亦良好ナル成績ヲ得タリ

ロ. 水野錦 大正2年度ニ於テ富山縣ヨリ取寄セタルモノヲ同年度ヨリ品種比較豫備試験ニ供用シ成績有望ト認メタルヲ以テ大正5年度ヨリ品種比較本試験ニ移シ其ノ後本年度迄試験ヲ繼續施行セルニ稈比較的強ク9月20日前後ニ於テ成熟シ4ケ年平均反當玄米収量2.490石ニシテ差シテ多カラズト雖モ米質良好ニシテ其ノ特性ヨリ判ズレバ多肥栽培又ハ水腐地等ニ比較的適スベク現ニ縣下ニ於テモ斯クノ如キ土地ニ栽培シ良好ナル成績ヲ舉

ゲツ、アルモノ少ナカラズ

次ニ調査成績ノ平均ニ依リ兩品種ノ主ナル特性ヲ擧グレバ次ノ如シ

品 種 名	出穂期	成熟期	稈				葉			
			稈長	葉數	細太	強弱	長サ	幅	色	
米 光	8.21	9.27	3.65	14.8	中ノ細	中	中	中	中	
水 野 錦	8.14	9.19	3.81	17.9	中	中ノ強	全	全	濃	

品 種 名	穂			柱頭ノ色	成熟後 穀類色	芒又ハ稈先ノ色		芒ノ長 短及多少
	長サ	粒着	脱粒			未熟期	成熟後	
米 光	6.6	中	難	白	白	白	白	無
水 野 錦	6.0	中ノ密	全	赤	淡褐	赤	褐	稀

品 種 名	籾1升重	玄				米			籾摺歩合
		1升重量	千粒重量	1升粒數	大小	形状	品質		
米 光	286.2	369.8	6.84	57413	中ノ大	中ノ中	上ノ下	.627	
水 野 錦	290.7	370.1	6.15	60218	中ノ中	短	全	.632	

2. 品種比較豫備試験 (繼續第9年)

本試験ハ各地方ヨリ其ノ地方ニ於ケル優良品種ヲ蒐集シ本縣ニ對スル適否ヲ比較調査シ上記品種比較本試験ニ供用スベキ品種ヲ選定セシメガ爲メニ行フモノトス、本年度ニ於テハ前年度供試品種中ヨリ3品種ヲ選抜シテ上記品種比較本試験ニ移シ2品種ハ見込ナキヲ以テ廢棄シ新クニ20品種ヲ取寄セ合計70品種ニ就キテ試験ヲ施行セリ

作付歩數 各區3歩

供試品種並ニ其ノ成績

(1) 生育狀況

品種番號	品 種 名	取寄先	出穂期	成熟期	倒伏 多少	成 熟 後		
						稈長	穗長	葉數
18	畿内早稻3號	畿内支場	8.27	10.3	極少	3.78	6.9	21.4
19	全 10號	全	8.28	10.7	全	3.77	7.3	18.3
20	全 21號	全	8.8	9.17	極多	3.39	6.0	24.3
22	全 27號	全	8.8	9.16	無	3.33	6.0	17.8
23	全 29號	全	8.21	9.30	全	3.98	6.4	15.1
29	全 68號	全	8.11	9.18	多	3.59	6.3	18.3

33	畿内早稻92號	畿内支場	8.25	10.1	少	3.65	6.8	15.4
34	陸 羽 90號	陸羽支場	8.16	9.20	極多	4.42	7.4	13.0
35	全 108號	全	8.17	9.23	全	4.75	7.1	13.0
42	和 太 郎	北蒲原郡	8.29	9.29	少	3.63	6.3	14.1
43	萬 倍	富山縣	8.27	10.2	稍少	4.17	6.9	28.3
46	銀 坊 主	全	9.8	10.11	無	4.45	7.5	12.8
47	豊 國 1號	山形縣	8.4	9.13	中	3.74	6.4	11.8
49	鶴ノ尾	全	8.5	9.13	全	3.78	6.3	14.9
50	大 場	富山縣	8.11	9.20	稍多	3.37	6.8	16.7
57	かげあはせ	南魚沼郡	8.22	10.4	多	3.63	6.1	16.0
58	米 山	全	8.23	10.3	全	4.24	6.7	14.2
59	島 坊 主	全	8.16	9.24	全	4.21	7.3	13.7
92	三 升 成	南蒲原郡	8.18	9.24	全	4.32	7.1	13.9
93	乙 坊 主	古志郡	8.12	9.18	全	3.49	6.1	18.1
94	忠 七 白	南魚沼郡	8.11	9.14	無	3.58	5.9	16.4
95	木 妙	東頸城郡	8.4	9.2	中	3.80	6.7	13.9
96	最 上	全	7.31	9.8	無	3.80	7.0	11.2
97	小 坊 主	佐渡郡	8.21	9.30	多	4.14	7.1	17.8
98	銀 坊 主	中蒲原郡	9.3	10.13	無	3.72	5.9	22.0
99	大 正 大 場	石川縣	8.15	9.21	中	3.40	6.3	23.3
100	白 早 稻	全	8.11	9.15	無	3.19	6.0	18.0
101	女 流	長野縣	8.10	9.13	全	3.66	6.8	12.0
102	珍 光	全	8.7	9.11	全	3.30	6.2	21.5
103	中 稿 坊 主	全	8.25	10.2	稍多	4.36	7.7	13.0
105	皇 國	島根縣	8.25	10.2	全	4.23	6.9	9.6
106	朝 日 山	全	9.1	10.10	無	4.17	6.9	11.9
107	丸 山	鳥取縣	8.26	10.2	全	3.77	6.9	12.8
108	改 其 芋 釜 2號	全	9.4	10.15	全	3.95	6.0	13.8
109	早 大 黒	全	8.31	10.13	全	3.43	5.5	17.8
110	廿 日 早 稻 28號	岩手縣	7.27	8.29	全	3.48	6.1	15.9
111	關 山 37號	全	8.1	9.10	稍多	3.64	7.6	13.5
121	鶴ノ尾 1號	青森縣	8.5	9.13	中	3.65	6.2	13.8
122	豊 後 15號	福島縣	8.7	9.15	無	3.60	7.5	15.0
123	東 郷 21號	全	8.16	9.20	多	3.19	6.1	22.0
124	金 子 1號	全	8.7	9.14	少	3.23	6.3	23.6
125	畿内早稻11號	畿内支場	8.29	10.14	無	3.59	6.0	19.8
126	全 66號	全	8.28	10.9	全	3.53	5.7	20.3

127	畿内早稻67號	畿内支場	8.18	9.27	稍多	3.35	7.1	20.8
128	愛國 2 號	全	8.19	9.30	多	3.86	7.0	18.2
129	細程 4 號	青森縣	8. 3	9. 9	極多	9.61	6.3	17.8
131	陸羽 42號	陸羽支場	8.10	9.13	少	3.40	5.7	17.2
132	全 116號	全	8.11	9.13	極少	3.61	6.2	15.6
133	全 118號	全	8.10	9.14	中	3.68	6.0	16.6
134	畿内早稻15號	畿内支場	8.26	10.12	無	3.32	6.5	21.7
135	全 32號	全	9. 1	10.15	全	3.40	6.4	20.8
136	大場 1 號	全	8.14	9.18	中	3.32	6.8	18.4
137	保村 8 號	埼玉縣	8.19	9.30	多	4.19	6.6	18.5
138	石 白	富山縣	8.25	9.30	全	3.78	7.0	24.1
139	白 藤	三島郡	8.15	9.19	無	3.40	6.8	18.8
140	赤 見 出	石川縣	8.14	9.18	稍多	3.70	6.7	24.1
52	籠 甲 糶	西蒲原郡	8. 3	9.10	少	3.69	7.7	15.4
53	× 張 糶	全	8.24	10. 2	稍少	3.86	7.0	16.8
54	御 膳 糶	古志郡	8.25	10. 2	多	4.31	7.4	14.2
55	太郎兵衛糶	埼玉縣	8.17	9.20	全	4.21	7.3	15.4
56	大阪 糶	中頸城郡	8. 4	9.13	稍多	3.76	6.5	14.1
89	山 崎 糶	北蒲原郡	8.12	9.18	全	4.11	6.7	13.2
90	御 膳 糶	古志郡	8.24	10. 2	多	4.31	8.0	14.3
112	豊 後 糶	佐渡郡	8. 5	9.12	稍多	3.85	6.3	14.2
114	大 仙 糶	島根縣	8.27	10. 9	多	4.26	7.0	12.8
116	河 邊 糶	秋田縣	8. 6	9.15	極多	3.82	7.9	14.4
117	黄 肌 糶	山形縣	8.10	9.18	一	3.96	7.3	20.7
118	辨 慶 糶	全	8.10	9.16	極多	4.02	7.5	12.3
119	大 野 糶	福島縣	8. 8	9.14	多	3.37	6.0	24.6
120	鶴 ノ 糶	宮城縣	8.12	9.14	中	3.40	5.7	22.5

(2) 収 穫

品種 番號	品 種 名	玄米収量	1 升 重 量		糶摺 歩合	米 質	糶重量	果 均	年 収	平 量
			石	玄 米						
18	畿内早稻 3號	2.428	274.0	361.0	.589	中ノ中	1.850	(3)	石	2.572
19	全 10號	2.632	289.5	376.3	.626	上ノ下	1.402	(3)	石	2.651
20	全 21號	2.302	277.5	379.3	.597	全	1.100	(3)	石	2.701
22	全 27號	2.835	287.5	376.3	.623	中ノ上	1.900	(3)	石	2.575
23	全 29號	1.953	273.5	382.3	.587	中ノ中	.400	(3)	石	2.591

29	畿内早稻68號		2.293	277.5	373.1	.597	中ノ中	.800	(3)	2.624
33	全 92號		2.534	277.5	380.8	.597	中ノ上	1.000	(3)	2.923
34	陸羽 90號		2.336	267.5	370.5	.576	下ノ上	1.600	(3)	2.548
35	全 108號		2.326	263.0	372.0	.568	全	1.300	(3)	2.565
42	和 太 郎		2.284	287.5	380.8	.623	中ノ中	.400	(3)	2.502
43	萬 倍		2.487	267.5	385.2	.576	上ノ下	.200	(3)	2.712
46	銀 坊 主		2.824	291.0	377.0	.634	一	1.200	(3)	2.949
47	豐 國 1 號		2.214	288.5	377.8	.626	上ノ下	.700	(2)	2.261
49	龜 ノ 尾		2.248	277.5	380.8	.597	中ノ上	1.100	(3)	2.357
50	大 場		2.608	286.0	377.8	.619	中ノ中	.400	(3)	2.954
57	か け あ げ		2.275	279.0	373.1	.600	全	3.300	(2)	2.320
58	米 山		2.868	286.0	380.8	.619	中ノ下	.650	(2)	2.909
59	島 坊 主		2.119	277.5	370.5	.597	下ノ中	1.200	(2)	2.380
92	三 升 成		2.441	289.0	373.1	.631	中ノ上	.800	(2)	2.562
93	乙 坊 主		2.683	286.5	376.3	.620	中ノ中	1.150	(2)	2.824
94	忠 七 白		2.533	272.5	382.3	.585	上ノ中	.300	(2)	2.674
95	本 妙		2.540	276.0	379.3	.593	上ノ下	1.900	(2)	2.574
96	最 上		1.822	286.0	374.9	.619	中ノ下	1.100	(2)	1.793
97	小 坊 主		2.207	269.0	374.9	.578	(糶)上ノ下	1.150	(2)	2.377
98	銀 坊 主		2.750	291.0	383.8	.634	上ノ中	1.100	(2)	2.639
99	大 正 大 場		2.766	277.5	376.3	.597	中ノ上	.600	(2)	2.872
100	白 早 稻		2.430	262.5	377.8	.567	上ノ下	.300	(2)	2.732
101	女 濫		2.259	285.0	372.0	.616	中ノ中	1.000	(2)	2.419
102	珍 光		2.612	280.0	376.3	.602	中ノ上	1.600	(2)	2.600
103	中 竊 坊 主		1.998	276.5	377.8	.594	全	1.200	(2)	2.120
105	皇 國		2.113	283.0	366.0	.610	一	.800	(2)	2.328
106	朝 日 山		2.137	276.5	383.8	.594	上ノ中	4.500	(2)	2.424
107	丸 山		2.395	285.0	375.0	.616	一	.700	(2)	2.579
108	改良芋釜 2號		2.193	280.0	385.2	.602	上ノ中	.400	(2)	2.361
109	早 大 黒		2.562	283.5	383.8	.612	中ノ上	.700	(2)	2.805
110	廿日早稻28號		.736	279.0	374.9	.600	下ノ上	.200		
111	關 山 37號		2.085	282.5	376.3	.609	上ノ下	1.500	(2)	2.319
121	龜 ノ 尾 1號		2.203	271.5	377.8	.583	全	1.200	(2)	2.420
122	豊 後 15號		2.500	283.0	374.9	.610	中ノ上	1.300	(2)	2.705
123	東 郷 21號		2.492	270.0	374.9	.580	上ノ中	.200	(2)	2.070
124	金 子 1 號		2.613	278.5	379.3	.599	全	2.400	(2)	2.506
125	畿内早稻11號		2.932	287.5	379.3	.623	全	2.000	(2)	3.203

126	畿内早稻66號	2.779	289.0	377.0	.627	中ノ中	1.500	(2)	2.813
127	全 67號	2.843	291.5	373.1	.635	下ノ上	1.500	(2)	2.898
128	愛 國 2 號	2.802	283.0	371.0	.610	全	1.000	(2)	2.826
129	細 稈 4 號	2.136	257.5	379.5	.559	中ノ中	4.600	(2)	2.307
131	陸 羽 42號	2.583	263.0	379.3	.568	上ノ下	.700		—
132	全 116號	2.206	263.5	373.1	.569	全	.900		—
133	全 118號	2.454	269.0	376.3	.578	全	2.500		—
134	畿内早稻15號	2.809	278.0	374.9	.598	上ノ中	1.300		—
135	全 32號	2.246	284.0	376.3	.613	上ノ下	5.000		—
136	大 場 1 號	2.343	281.0	377.8	.605	中ノ下	2.000		—
137	保 村 8 號	2.882	287.5	374.9	.623	中ノ上	14.500		—
138	石 白	2.736	293.5	376.0	.642	—	2.000		—
139	白 藤	2.551	283.5	379.3	.612	中ノ中	8.500		—
140	赤 見 出	2.571	280.0	383.8	.602	中ノ上	8.500		—
52	鼈 甲 糯	1.733	259.0	376.3	.561	—	3.000	(3)	2.148
53	メ 張 糯	2.442	260.5	372.0	.564	—	1.100	(3)	2.632
54	御 膳 糯	2.380	274.0	373.0	.589	—	.900	(3)	2.569
55	太郎兵衛糯	2.325	267.5	360.0	.576	—	.500	(3)	2.382
56	大 阪 糯	2.537	267.5	376.3	.576	—	27.500	(3)	2.251
89	山 崎 糯	2.273	250.5	369.1	.550	中ノ中	39.000	(2)	2.430
90	御 膳 糯	2.599	277.0	365.0	.595	—	11.000	(2)	2.539
112	豊 後 糯	2.446	265.0	376.3	.571	(梗)中ノ上	15.000	(2)	2.643
114	大 仙 糯	2.278	252.5	372.0	.552	中ノ上	16.000	(2)	2.270
116	河 邊 糯	2.207	258.5	373.1	.561	上ノ下	26.000	(2)	2.500
117	黄 肌 糯	2.553	262.5	379.3	.567	中ノ中	18.000	(2)	2.745
118	辨 慶 糯	2.127	258.0	370.5	.560	中ノ上	22.000	(2)	2.309
119	大 野 糯	3.032	280.0	373.1	.602	(梗)上ノ下	43.000	(2)	2.838
120	鷄 ノ 糯	2.739	267.5	376.3	.576	全	.900	(2)	2.813

備考 110. 廿日早稻28號著シク早熟ナル爲基シク雀及鼠ノ害ヲ受ケタリ

3. 品種特性調査 (繼續第2年)

本縣ニ於ケル水田面積中其ノ約6割ハ本縣獎勵原種ヲ栽培シ且ツ漸次之ガ面積ヲ増加シツ、アリト雖モ本縣ハ總水田面積廣大ナルノミナラズ天然的境遇ノ變異頗ル大ナルト共ニ地方的ニ小面積ニ栽培セラル、品種甚ダ多キヲ以テ之等ニ就キテ其ノ特性ヲ調査シ以テ本縣内水稻品種ノ整理分類ヲ

行ヒ兼テ本縣内地方的境遇ノ差異ト分布品種ノ特性トノ關係ヲ知り品種改良ニ關スル諸試驗ノ參考ニ供セントスル目的ヲ以テ本調査ヲ行フ

本年度ニ於テハ各郡市農會又ハ町村農會其ノ他ニ依頼シテ212品種ヲ蒐集シ前年度ニ於テ蒐集セル350品種共合計562品種ヲ栽植シテ調査ヲ行ヒタルヲ以テ之ガ調査成績ニ基キ所期ノ研究ヲ行ヒ完結ノ上ハ其ノ結果ヲ別ニ報告スル處アラントス

4. 純系淘汰試驗 (繼續第5年)

本試驗ハ縣下ニ廣ク栽培セラレ又品種比較本試驗ニ於テ優良ト認メタル品種ヨリ優良系統ヲ分離選抜セントスルモノニシテ其ノ經過及ビ成績ニ關シテハ別ニ報告スル處アルベキモ今其ノ概要ヲ記述セバ次ノ如シ

1. 大正4年度着手試驗

本年度ハ着手第5年目ニシテ前年度迄ノ試驗調査ノ結果選抜セル系統ニ就キテ収量調査ヲ行ヒ併セテ一部ノ特性ヲ調査シ本年度迄ノ成績ニ依リ縣下ニ普及スルノ目的ヲ以テ8系ヲ選抜決定シ原種圃ニ移スノ計劃ヲ立テタリ、而シテ効果比較の少ナキ品種ニ就キテハ次年度ニ於テ遙カニ優良ナルモノヲ後記大正5年度着手試驗ヨリ選抜シ得ル見込充分ナルヲ以テ原種圃ニ移スコトヲ特ニ延期スルコト、セリ

本年度迄ノ試驗施行經過次ノ如シ

品 種 名	初年目栽植株數	初年目選抜株數	2年目栽植各系株數	2年目選抜系統數	3年目選抜系統數	4年目選抜系統數	3,4,5年目栽培各系株數	全平均區數	上
石 白	560	52	102	45	29	22	10		2
高田早稻	560	60	102	22	10	6	10		2
二本三	560	36	102	13	8	7	10		2
中生高宮	560	50	102	19	8	5	10		2
早坊主	560	27	102	9	4	3	10		2
愛 國	560	11	102	4	4	3	10		2
大 場	560	12	102	10	5	3	10		2
龜 之 尾	560	7	102	4	3	3	10		2
銀 葉	560	7	102	4	3	3	10		2
岩 之 下	560	14	102	8	5	3	10		2
越 前	560	17	102	5	3	3	10		2
越 中坊主	560	6	102	4	4	4	10		2
計	6.720	299	—	147	86	65	—		—

尙ホ本年度ニ於テ今後配付ノ目的ヲ以テ選抜決定セル系統ノ名稱並ニ之
ト在來種及ビ原種圃産種子トノ3ヶ年平均比較成績ヲ擧グレバ次ノ如シ
(表中原種トハ原種圃産種子ノ意ナリ)

新名稱	系統名	反當収量 石	原種ニ比シ増収		在來種ニ比シ増収	
			量(石)	%	量(石)	%
新石白	石白原種	2.697				
	石白在來種	2.643				
	石白5號	3.085	.388	14.4	.442	16.7
新一本 新二本	二本三原種	2.609				
	二本三在來種	2.460				
	二本三14號	2.794	.185	7.1	.334	13.6
	二本三8號	2.925	.316	12.1	.465	18.9
新高	高田早稻原種	2.475				
	高田早稻在來種	2.389				
	高田早稻12號	2.751	.276	11.2	.362	13.1
新愛國	愛國在來種	2.698				
	愛國6號	3.199			.501	18.6
新大場	大場原種	2.678				
	大場在來種	2.570				
	大場9號	2.979	.301	11.2	.409	15.9
岩之下 新岩	岩之下原種	2.197				
	岩之下在來種	2.032				
	岩之下9號	2.351	.154	7.0	.319	15.7
	岩之下10號	2.501	.304	13.8	.469	23.1

備考 二本三在來種ハ晩生二本三ヲ用ヒタリ

更ニ之等選抜系統ニ就キテ上表ノ増収ノ外從來ノ原種圃産種子ニ比シテ
異ル主要ノ點ヲ擧グレバ次ノ如シ

新石白(石白) 稈長平均約2寸短ク強健ニシテ出穂成熟整一ナリ、近來一
般ニ肥料ヲ多用スルノ傾向アル結果石白ノ莖稈軟弱ニシテ倒伏シ易キハ
大欠點ナリト唱フルモノ少ナカラズ、斯カル場合ニ於テ本種ハ特ニ有望ノ
見込ナリ

新一本(二本三) 出穂成熟約4日早ク且ツ頗ル整一ニシテ從來ノモノニ
比シ稈強健ナリ

● 新二本(二本三) 中蒲原郡地方ニ於テハ土地ノ狀況ニ依リ晩生二本三ヲ
希望スルモノ少ナカラザルヲ以テ特ニ選定セルモノニシテ出穂成熟期ハ新
一本ニ比シ約2週間遅ク恰モ從來ノ晩生二本三ニ相當シ稈短ク強健ニシテ
分蘖多シ

新高(高田早稻) 出穂成熟整一ニシテ稈強健ナルモ外觀上大差ナシ

新愛國(愛國) 在來種ニ比シ粒着稍疎ナレドモ在來愛國ノ如ク糞多カラ
ズ且ツ米質稍良好ニシテ出穂成熟整一ナリ

新大場(大場) 稈強健ニシテ出穂成熟整一ナリ

岩之下(岩之下) 稈強ク出穂成熟整一ナリ

新岩(岩之下) 稈強健米質稍良好ニシテ上記岩之下ニ比シ出穂成熟約
3日遅シ

次ニ調査成績ノ平均ニ依リ主ナル特性ニ就キテ以上各系ト從來ノ原種圃
産種子トヲ比較表示セバ次ノ如シ

品種名	出穂期	成熟期	稈				葉		
			長	莖數	細太	強弱	長サ	幅	色
石白原種	8.27	10.1	4.05	23.8	細	中ノ弱	中	中ノ狭	中
新石白	8.27	10.1	3.80	23.9	全	中ノ強	全	全	全
二本三原種	8.19	9.23	3.66	21.7	中ノ細	中	全	中	全
新一本	8.15	9.19	3.64	18.2	全	全	中ノ長	中ノ狭	全
新二本	8.28	9.29	3.45	24.4	全	強	中ノ短	全	中ノ濃
高田早稻原種	8.9	9.17	3.68	20.2	細	中	中	全	中
新高田	8.10	9.17	3.69	20.4	全	全	全	全	全
新愛國	8.31	9.28	3.82	18.4	中	極強	短	中ノ廣	濃
大場原種	8.13	9.18	3.65	16.4	全	中ノ強	中	全	中ノ濃
新大場	8.13	9.19	3.68	17.3	全	全	全	全	全
岩之下原種	8.5	9.11	4.01	10.1	中ノ太	強	長	全	全
岩之下	8.4	9.11	3.83	10.7	全	全	全	全	全
新岩	8.7	9.14	4.20	8.7	全	全	全	全	全

品種名	穂			柱頭ノ色	成熟後 護顔色	芒又ハ稈先ノ色		芒ノ長 短多少
	長サ	粒着	脱粒			未熟期	成熟後	
石白原種	71	中ノ疎	難	白	白	白	白	短ノ少
新石白	70	全	全	全	全	全	全	全
二本三原種	68	全	全	全	全	全	全	長ノ多

新 一 本	67	中	全	全	全	全	全	長ノ多
新 二 本	68	中ノ疎	全	全	全	全	全	全
高田早稻原種	62	中	全	全	全	全	淡褐	無
新 高	66	全	全	全	全	全	全	全
新 愛 國	68	中ノ密	全	赤	淡褐	赤	褐	中ノ中
大 場 原 種	67	中ノ疎	全	白	白	一時淡赤	白	種 全
新 大 場	65	全	全	全	全	全	全	全
岩 之 下 原 種	77	中	全	全	全	全	全	長ノ中
岩 之 下	77	全	全	全	全	全	全	全
新 岩	79	全	全	全	全	全	全	全

品 種 名	籾1升重	玄			米			籾摺歩合
		1升重量	千粒重量	1升粒數	大 小	形 狀	品 質	
石 白 原 種	285.8	367.7	5.80	62800	中ノ小	中ノ中	上ノ中	.623
新 石 白	281.2	360.3	5.70	63211	全	全	全	.612
二本三原種	285.2	368.6	5.80	62420	全	中ノ長	全	.620
新 一 本	285.8	366.0	5.57	65756	全	全	全	.620
新 二 本	280.4	365.2	5.57	65589	全	全	全	.605
高田早稻原種	277.3	368.9	4.92	75460	小ノ大	全	全	.600
新 高	279.3	368.7	5.37	68608	中ノ小	全	全	.595
新 愛 國	288.7	371.1	5.88	63123	中ノ中	短	中ノ中	.627
大 場 原 種	283.6	369.2	6.60	55720	中ノ大	中ノ中	全	.612
新 大 場	285.8	366.2	6.48	55785	全	全	全	.618
岩 之 下 原 種	274.5	368.4	6.60	53450	全	中ノ短	中ノ下	.593
岩 之 下	274.5	370.7	6.65	53668	全	全	全	.594
新 岩	278.2	369.3	6.64	54162	全	全	中ノ中	.606

□. 大正5年度着手試験

本年度ハ着手第4年目ニシテ前年度迄ノ試験調査ノ結果選抜セル系統ニ就キテ収量調査ヲ行ヒ併セテ一部ノ特性ヲ調査シ其ノ成績ニ依リ更ニ次年度ニ於テ第3年目ノ収量調査ヲ行フベキ系統ノ選抜ヲ行ヘリ、本年度迄ノ調査ニ依レバ収量、米質、倒伏ノ難易其ノ他ノ經濟的特性ニ關シ成績有望ト認メラル

本年度迄ノ試験施行經過次ノ如シ(2年目選抜系統數ノ欄中△印ヲ附セルハ大正7年度ニ於テ圃場ノ都合上収量調査ヲ行フコトナク採種スルニ止メ併セテ特性調査ヲ繰返シタルモノナリ)

品 種 名	初年目栽植株數	初年目選抜株數	2年目栽植株各系統數	2年目選抜系統數	3年目選抜系統數	3,4年目栽植株各系統平均區數	全平均區數	上4年目選抜系統數
石 白	8,160	300	112	△ 62	25	10	2	18
高 田 早 稻	8,160	61	112	30	16	10	2	15
中 生 高 宮	8,160	51	112	30	22	10	2	13
二 本 三	8,160	53	112	30	15	10	2	10
早 坊 主	8,160	69	112	30	11	10	2	10
愛 國	8,160	59	112	30	13	10	2	13
大 場	8,160	61	112	30	19	10	2	15
龜 之 尾	8,160	59	112	30	19	10	2	12
銀 葉	8,160	52	112	△ 26	11	10	2	7
岩 之 下	8,160	61	112	△ 41	16	10	2	12
越 前	8,160	80	112	30	11	10	2	8
越 中 坊 主	8,160	62	112	△ 28	14	10	2	10
新 庄 内	8,160	59	112	△ 34	18	10	2	16
庄 内 坊 主	8,160	59	112	△ 42	24	10	2	17
計	114,240	1,086	—	473	234	—	—	176

ハ. 大正6年度着手試験

從來ノ試験ノ結果愛國種ハ他品種ニ比シ變異性比較的大ナルコト及ビ米質優良ナル系統ヲ發見スルコト比較的困難ナルコトヲ認メタルニ依リ大正6年度ニ於テ縣下56ヶ所ヨリ材料ヲ蒐集シ合計840株ヲ栽培シ2年目ニ於テ系統ヲ作ルベキ母本ノ選抜ヲ行フニ當リ普通ノ調査項目以外ニ個体ニ就キテ米質ノ直接鑑定ヲ行ヒテ參考ニ供シ以テ60株ヲ選抜セリ、而シテ2年目ニ於テ各系統150株宛ヲ栽植シ特性調査ヲ行ヒテ28系ヲ選抜シ本年度ニ於テハ之等ニ就キテ収量調査ヲ行ヒ併セテ一部ノ特性ヲ調査シ以テ次年度栽培用トシテ21系ヲ選抜セリ、本年度マデノ成績ニ依レバ實用上甚ダ有望ノ系統アル見込ナリ

5. 人為雜種淘汰試驗 (新設)

雜種ノ子孫ヨリ多収、強稈、米質良好其ノ他ノ經濟的優良特性ヲ具フル純系ヲ淘汰發見センガ爲メニ本年度ニ於テ新タニ次ノ人為雜種ヲ作成セリ

5年着手純系石白207號(母) × 5年着手純系愛國35號(父)

全 中生高宮34號(母) × 全 全 (父)

6. 自然雜種淘汰試驗 (續第4年)

大正4年度着手純系淘汰試驗愛國系統中第2年目ニ於テ自然雜種ニ依ル分離ヲナシツ、アルモノヲ發見シ同年度ノモノヲF₂ト見做シ其ノ後分離栽培ヲ行ヒツ、アルモノニシテ本年度F₃ニ於ケル諸種ノ調査ノ結果次年度家族ヲ作ランガ爲メニ將來優良純系發見上有望ト認メタルモノ合計240株ヲ選抜セリ

第四陸 稻

1. 品種比較試驗 (續第9年)

本試驗ハ各地方ヨリ収獲多量品質佳良ナル品種ヲ蒐メ其ノ優劣ヲ比較調査シ本縣ニ適スル良種ヲ選抜セントスルニアリ、本年度ニ於テハ次記9品種ニ就キテ試驗ヲ施行セルモ發芽當時蠶蝻ノ食害甚シク成績ノ不正確ヲ恐レ収量ヲ調査セザルコト、セリ

作付歩數 6步 2區制

供試品種並ニ生育狀況

品 種 番 號	品 種 名	取 寄 先	出 穗 期	成 熟 期	倒 伏 多 少	成 熟 後		
						稈 長	穗 長	1 尺 畦 面 本 數
9	江 曾 島 糯	標 準	8.15	9.28	多	3.45	6.5	43.0
1	久 藏	埼 玉 縣	8.14	9.22	全	3.82	7.5	23.0
2	冰 川	神 奈 川 縣	8.19	9.28	全	4.02	8.1	30.0
3	關 取	茨 城 縣	8.11	9.18	稍 多	3.69	7.7	30.3
4	秩 父 糯	埼 玉 縣	8.15	9.23	多	3.69	7.1	31.3
5	早 生 梗	中 嶺 城 郡	8.15	9.24	全	3.95	7.1	40.3
6	糯	全	8.16	9.24	全	3.73	6.8	32.7
7	中 生 梗	全	8.17	9.25	全	3.53	6.9	34.7
8	藤 藏 糯	東 京 府	8.22	9.28	全	3.77	6.9	37.0
10	黒 鬚 選 出	當 場	8.28	10. 6	全	4.08	7.3	33.3
11	尾 張 糯	標 準	8.19	9.29	全	3.57	6.8	32.7

2. 純系淘汰試驗 (續第3年)

本試驗ハ品種比較試驗ノ結果優良ト認メタル江曾島糯ニツキ系統ヲ分離シ優良純系ヲ選抜セントスルモノニシテ大正6年度ニ於テ縣下5ヶ所ヨリ材料ヲ蒐集シ合計2,370株ヲ栽植シ之ヨリ選抜セル株ニ依リテ2年目60系ヲ108株宛栽培シテ特性ヲ調査シ以テ選抜セル14系ニ就キテ本年度ハ収量調査ヲ行ハンガ爲メ栽植セルモ發芽當時蠶蝻ノ食害甚シク成績不正確ナルノ恐レアリシヲ以テ収量ヲ調査スルコトナク圃場肉眼鑑定及ビー部ノ収量調査ヲ行フニ止メ以テ次年度栽培用トシテ10系ヲ選抜セリ

第五大 豆

1. 品種比較試驗 (續第8年)

本試驗ハ從來本場ニ於テ試驗ノ結果優良ト認メタル品種中ヨリ最モ優良ニシテ本縣ニ必適ノ品種ヲ選抜シタル殘餘ノ品種ト更ニ新タニ取寄セタミ品種トニ就キテ比較ヲ行ヒ詳細ニ其ノ優劣ヲ調査シ以テ本縣必適ノ良品種ヲ決定セントスルニアリ

作付歩數 各區6步 2區制

供試品種並ニ兩區平均成績

(1) 生育狀況

品 種 番 號	品 種 名	取 寄 先	開 花 期	成 熟 期	毛 色	花 色	子 實		
							子 葉 色	種 皮 色	目 色
—	刈 羽 瀧 谷	標 準 1	7.24	9.13	—	—	—	—	—
1	小 福	茨 城 縣	7.29	9.28	白	白	黃	黃	褐
2	兄	秋 田 縣	7.30	10.12	褐	紫	全	全	全
3	秋 田	全	7.26	10. 9	白	全	全	全	淡 褐
4	自 玉	岩 手 縣	8. 5	10.27	全	白	全	全	白
7	陸 羽 2 號	陸 羽 支 場	7.23	9.24	褐	紫	全	全	黒 褐
8	全 3 號	全	7.26	9.25	白	董	全	全	淡 褐
9	全 5 號	全	8. 2	10.19	褐	白	全	全	白
10	全 7 號	全	7.27	9.21	全	紫	全	全	褐
11	全 9 號	全	7.29	10.17	全	全	全	全	全
12	全 11 號	全	8. 4	10.17	全	白	全	全	黒 褐
—	刈 羽 瀧 谷	標 準 2	7.24	9.13	—	—	—	—	—
—	刈 羽 瀧 谷	標 準 3	7.24	9.13	—	—	—	—	—
23	陸 羽 6 號	陸 羽 支 場	8. 1	10.31	白	紫	黃	黃	淡 褐

24	陸羽 10號	陸羽支場	8.8	11.2	白	紫	黃	黃	淡
25	全 19號	全	8.5	10.8	褐	白	全	全	全
26	全 23號	全	8.5	10.17	全	紫	全	全	褐
27	全 24號	全	8.6	10.17	全	全	全	黃(茶鞍)	黑
28	全 25號	全	7.31	10.12	全	全	全	全	褐
29	全 26號	全	8.7	10.19	全	白	全	全	白
30	全 27號	全	8.1	10.9	全	全	全	全	黑
31	田 海	西頸城郡	8.4	11.4	白	全	全	全	白(淡褐混)
32	ふたくびり	東蒲原郡	8.3	10.16	褐	全	全	全	淡褐(褐混)
—	刈羽瀧谷	標準4	7.24	9.14	—	—	—	—	—
—	刈羽瀧谷	標準平均	7.24	9.13	褐	白	黃	黃	褐

(2) 収 穫

品種番號	品 種 名	子實 収量	子 實			腐豆 重量	累年平均収量
			1升重量	千粒重量	粒形 品質 紫斑 多少		
—	刈羽瀧谷(標準1)	1.632	349.0	178.0	—	1.650	—
1	小 福	1.453	349.5	160.5	中ノ中	3.187 (3)	1.964
2	兄	1.677	348.5	225.5	圓ノ中	3.187 (3)	2.604
3	秋 田	1.805	347.5	308.5	圓ノ圓	3.718 (3)	2.599
4	白 玉	1.488	347.5	288.0	全	1.875 (2)	1.484
7	陸羽 2號	1.246	351.5	180.0	圓ノ扁	2.825 (3)	1.655
8	全 3號	2.136	345.0	235.5	全	1.312 (3)	2.360
9	全 5號	1.978	347.5	227.0	全	1.575 (3)	2.270
10	全 7號	1.493	347.0	148.0	全	4.262 (3)	1.898
11	全 9號	1.636	345.5	211.5	圓ノ中	2.937 (3)	2.189
12	全 11號	1.793	348.5	255.0	全	2.125 (3)	2.181
—	刈羽瀧谷(標準2)	1.628	349.0	166.5	—	.781	—
—	刈羽瀧谷(標準3)	1.262	349.0	153.0	—	.572	—
23	陸羽 6號	1.113	333.0	335.0	圓ノ圓	4.656	—
24	全 10號	.833	332.0	330.0	全	3.668	—
25	全 19號	1.187	339.0	163.5	圓ノ中	2.487	—
26	全 23號	1.317	355.5	165.0	中ノ中	1.312	—
27	全 24號	1.144	349.5	265.0	中ノ圓	1.031	—
28	全 25號	2.005	247.0	220.5	圓ノ中	1.406	—
29	全 26號	1.587	346.0	216.5	全	1.431	—
30	全 27號	1.638	346.0	211.5	圓ノ扁	1.625	—
31	田 海	1.005	334.0	365.0	圓ノ中	2.811	—

32	ふたくびり	1.186	347.0	153.0	中ノ圓	中ノ下	少ノ少	1.231	—
—	刈羽瀧谷(標準4)	1.054	347.0	170.5	—	—	—	.462	—
—	刈羽瀧谷 (標準平均)	1.394	348.5	167.0	中ノ圓	上ノ下	少ノ少	.584 (2)	1.916

2. 純系淘汰試験 (繼續第3年)

品種比較試験ノ結果優良ト認メタル下記2品種ニ就キ系統ヲ分離シ優良純系ヲ選抜セントスルモノニシテ今試験經過ノ概要ヲ擧グレバ次ノ如シ

品 種 名	初年目 栽植株數	初年目 選抜株數	2年目栽 植株各系 數	2年目選 抜系統數	3年目栽 植株各系 數	全 上 平均區數	3年目選 抜系統數
赤 莢 瀧 谷	4,660	60	72	14	6	2	12
赤 莢 瀧 谷	4,660	60	72	14	6	2	12

3. 綠肥大豆品種比較試験 (繼續第5年)

本試験ハ綠肥用トシテ青刈スル場合ノ大豆品種ニ就キテ本縣ニ於ケル適否ヲ決定セントスルニアリ
作付步數 各區6步 2區制
播種量 反當8升 條播
播種期 5月5日

供試品種並ニ成績

品種番號	品 種 名	取寄先	開花 摘期	刈取期	刈取當 時草丈	収 量		乾草 歩合	累年平均収量
						生 草	乾 草		
11	陸羽 9號	陸羽支場	7.28	8.12	3.32	620.250	113.000	18.2 (2)	572.275
12	陸羽 11號	全	7.31	8.12	3.58	484.000	144.750	29.9 (2)	484.440
13	青 大 粒	北海道	7.18	8.12	2.21	456.500	111.750	24.5 (2)	434.000
14	朝 鮮	岡山縣	7.26	8.12	3.45	522.750	144.500	27.6 (2)	471.535
15	いざり	全	9.3	9.13	4.19	682.000	126.000	18.5 (2)	649.500
16	黑	全	8.25	9.4	4.54	449.500	124.500	27.7 (2)	538.150
17	紫	石川縣	8.4	8.12	3.40	432.000	83.000	19.2 (2)	438.550
18	黑 千 石	靜岡縣	9.5	9.13	3.98	451.500	103.500	22.9 (2)	501.750
19	丹 波 黑	廣島縣	8.18	9.4	3.47	480.500	140.000	29.1	—
20	白 大 八 輪	全	8.25	9.4	3.70	581.000	151.000	26.0 (2)	654.025
21	端 川 薄 青	朝 鮮	7.25	8.12	2.40	454.500	112.000	24.6	—

第六小 豆

1. 純系淘汰試験 (繼續第3年)

本試験ハ品種比較試験ノ結果優良ト認メタル大納言種ニ就キ大正6年度ニ於テ縣下3ヶ所ヨリ材料ヲ取寄セ合計1,180株ヲ栽植シ60株ヲ選抜シテ2年目ニ系統トシテ各108個体宛栽植シ以テ8系ヲ選抜シ本年度ニ於テハ之等ニ就キテ収量調査ヲ行ヘリ

農具ニ關スル試験

農具ニ關シテハ大正4年度ヨリ豫算ヲ計上シ新農具ニ關スル試験鑑定調査ヲ行ヒ來タレリ本年度ニ於テハ下記農具ニツキ試用セリ

(1) 廻 摺 臼

名 稱	製 造 販 賣 所	廻 摺 下 時 間	全 廻 轉 上 數	殘 粒 目	脱 稈 歩 合
大 正 式	長岡市新町 (多川政之丞)	2.45	125	.73	5.5
丹 波 式	兵庫縣三原郡夙列村(丹波市藏)	2.10	107	.87	3.4
三 益 式	福井縣遠敷郡今宮村(田島商會)	2.32	131	.45	6.0

名 稱	全 体 ノ 高 サ	上 白 重 量	下 白 重 量	白 直 徑	一 區 劃 内 齒 植 條 數	樹 直 徑
大 正 式	2.80	10.400	13.000	2.20	18	7.5
丹 波 式	2.50	15.000	16.000	1.95	21	7.0
三 益 式	2.60	12.800	9.700	1.95	18	6.5

(2) 廻 轉 稻 扱 機

器 械 名	1 分 間 足 踏 數	1 分 間 廻 轉 數	100 束 ヲ 扱 落 シ 要 セ ン 時 間	100 束 粒 量	中 切 穂	落 穂
駒 野 式	55	500	4.30	60.800	5.700	.500
報 國 式	88	328	6.40	56.500	5.770	.350
丸 宮 式	61	592	2.00	57.000	6.950	.250
新 農 式	156	483	6.20	55.400	8.250	.600
⊕ 式	78	410	4.50	61.900	4.900	.520

備考 供試機ノ製造所下ノ如シ

駒野式	新潟縣長岡市弓町	駒野 廣 治
報國式	東京市赤坂區溜池町三十番地	日本器具株式會社
丸宮式	新潟縣岩船郡村上町	宮本商店農具製作部
新農式	全 縣中頸城郡新井町	吉村製作所
⊕ 式	長野縣北安曇郡池田町	飯 島 農 園

依 托 試 驗

1. 麥 作 試 驗 地

前年ニ繼續シ北蒲原郡南濱村及全郡岡方村ニ設置シ前者ハ品種比較試驗栽培法試驗,後者ハ品種比較試驗,石灰加用試驗,施肥量試驗ヲ行ヒタリ本年度ノ成績下ノ如シ

(1) 品 種 比 較 試 驗

品 種 名	南 濱 村 (反當収量)	岡 方 村 (反當収量)
在 來 種	1.500	2.720
五 畝 四 石	1.520	2.340
關 東 六 角	1.520	2.640
長 岡	1.540	2.450
飛 驒	1.380	2.520

(2) 栽 培 法 試 驗

品 種 名	反 當 収 量
權 田 式 (飛 驒)	2.200
全 上 (坊 主)	2.550

(3) 石 灰 加 用 試 驗

試 驗 別	反 當 収 量
石 灰 10 貫 加 用	2.600
全 20 貫 加 用	2.800
全 30 貫 加 用	2.850

(4) 施 肥 量 試 驗

試 驗 別	反 當 取 量
三 割 減 肥 料	石 2.250
標 準 肥 料	2.550
三 割 増 肥 料	2.800

2. 水田二毛作試験

前年度ニ繼續シ左記3ヶ所ニ設置セリ本年度ノ成績下ノ如シ。

位 置	紫 雲 英	大 麥
四 蒲 原 郡 太 田 村	1.600	—
刈 羽 郡 四 中 通 村	—	石 1.440
北 蒲 原 郡 中 浦 村	雪 害 多 全 滅	—

耕種梗概 夏作物(大豆)収穫後6寸ニ耕起シ土塊ヲ碎キ地均シヲナシ、種子ハ比重1.12ノ鹽水選ヲ以テ選種シ、麥奴豫防ヲナシ畦幅2尺2寸、播種量反當4升肥料ハ反當堆肥200貫、下肥80貫、強過磷酸石灰4貫、糞灰20貫ヲ元肥トシ人尿100貫ヲ追肥トス但追肥ハ3月下旬トシ中耕3回、除草2回之ヲ行フ

3. 麥作模範作地 (新設)

本模範作地ハ本年度ヨリノ新設ニシテ下記11ヶ所ニ設置シ其ノ成績次ノ如シ

郡	町 村	大字名	大小麥	品 種 名	反 當 取 量
南 蒲 原	大 面	萩 島	大 麥	長 岡	石 1.600
			小 麥	マーチンスアンバー	.900
全 頓 城	大 野	大 野	大 麥	長 岡	2.370
			小 麥	全 赤 皮 赤	2.080
全 蒲 原	松 野 尾	松 山	大 麥	全 赤 皮 赤	4.340
			小 麥	マーチンスアンバー	1.400
全 南 蒲 原	赤 塚 島	赤 塚 田	大 麥	長 岡	2.000
			小 麥	赤 皮 赤	1.200
全 岩 船	平 林	北 新 保	大 麥	飛 驒	4.810
			小 麥	飛 驒	1.840
全 佐 渡	吉 井	吉 井	大 麥	長 岡	1.313
			小 麥	長 岡	

備考 耕種梗概ハ各地ニヨリ多少異ナルモ其ノ標準トスルトコロハ下ノ如シ
前作物跡地ヲ耕起シ土塊ヲ碎キ地均ラシヲナシ、肥料ハ反當堆肥200貫、大豆粕6貫、強過磷酸石灰4貫、糞灰20貫、人尿180貫ヲ施ス、畦幅ハ2尺5寸、播種幅6寸トス、播種期ハ9月下旬ヨリ10月上旬トシ反當種子大麥5升小麥3升トス、土入ハ秋二回、春二回トセリ

4. 水稻品種比較依託試験 (繼續第3年)

1. 湛水地ニ對スル品種比較試験

水稻品種ノ湛水地ニ對スル適否ヲ試験セントスルモノニシテ本年度ニ於テハ1ヶ所5畝歩トシ各品種ヲ甲乙2區ニ栽培シテ試験ヲ施行セリ

(1) 試験地及ビ擔當者氏名

- イ. 中蒲原郡石山村大字西山ニツ 菊田熊太郎
ロ. 全 郡全 村大字姥ヶ山 五十嵐榮吉

(2) 本田肥料反當用量

肥 料 名	大 字 西 山 二 ツ	大 字 姥 ヶ 山
大 豆 粕	15.300	14.000
下 肥	—	—
骨 粉	5.500	—
過 燐 酸 石 灰	—	5.000
蚶 粉	—	4.000
人 糞 尿	90.000	150.000
藁 灰	13.200	—

備考 大字姥ヶ山ニ於テハ過燐酸石灰及ビ蚶粉ハ二番除草前追肥トシテ用キ其ノ他ノ全部元肥トス

(3) 耕 種 梗 概

試 驗 地 名	播 種 期	1 坪 播 種 量	播 種 期	1 坪 株 數	1 株 苗 數	除 草 回 數
大 字 西 山 二 ツ	5.21	3.0	6.16	30	3	3
大 字 姥 ヶ 山	5.13	6.0	6.17	30	4	3

(4) 試驗成績(甲乙兩區平均反當換算)

試 驗 地 名	品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	玄 米 取 量	倒 伏 多 少	備 考
大 字	大 場	8.18	9.24	2.742	無	稈短キニ過カ
	二 本 三	9.1	10.20	2.632	稍 少	

西山二ツ	石白	9.2	10.30	2.847	無	脱粒シ易シ 晩生ニ過ケ 種類稍熟アリ
	改良愛國	8.26	10.5	2.545	稍少	
	小見川	8.23	9.25	2.702	全	
	美濃撰出	8.29	9.25	2.018	多	
	改良美濃坊主	9.4	10.27	2.377	無	
	水野錦	8.20	9.27	2.753	稍少	
	露出錦	9.1	10.25	2.862	極多	
	米光	8.25	10.10	2.570	無	
	大場	-	10.10	1.825	稍多	
	二本三	-	10.18	2.357	全	
大字姥ヶ山	改良愛國	-	10.18	2.122	少	脱粒シ易シ
	小見川	-	10.10	1.993	稍多	
	美濃撰出	-	10.18	2.028	少	
	改良美濃坊主	-	10.27	2.204	無	
	水野錦	-	10.10	1.727	少	
	露出錦	-	10.27	2.182	全	
	銀坊主	-	10.27	2.076	無	
	石白	-	10.18	2.137	稍多	

□. 山間地ニ對スル品種比較試験

本試験ハ水稻品種ノ山間地ニ對スル適否ヲ知ラントスルモノニシテ本年度ニ於テハ1ヶ所5畝歩トシ各品種2區制トシテ試験ヲ施行セリ

(1) 試験地及ビ擔當者氏名

- イ. 東頸城郡松代村大字太平 市川林八
- ロ. 全郡全村大字小屋丸(濕田) 柳定吉
- ハ. 中魚沼郡中條村大字四日町新田(甲區乾田 乙區濕田) 小宮山孝二郎

(2) 本田肥料反當用量

肥料名	松代村太平	松代村小屋丸	中條村	
			甲區	乙區
堆肥	300,000	350,000	450,000	450,000
米糠	10,000	10,000	-	-
木灰	10,000	10,000	-	-
藥灰	-	-	-	10,000
人糞尿	50,000	50,000	60,000	70,000
過磷酸石灰	-	-	3,000	-
藥木灰	-	-	6,000	-

備考 松代村太平及ビ同村小屋丸ノ人糞尿ハニ番除草ノ際追肥トシテ用キ其ノ他ハ全部元肥トス

(3) 耕種梗概

試験地名	播種期	1坪播種量	插秧期	1坪株數	1株苗數	除草回數
松代村太平	4.29	2.0	6.6	60	3	3
松代村小屋丸	5.3	2.0	6.9	60	3	3
中條村	6.6	4.0	6.13	50	品種別	3

(4) 試験成績(甲乙兩區平均反當換算)

試験地名	品種名	出穂期	成熟期	玄米収量	倒伏多少	備考
松代村太平	改良愛國	8.22	10.1	2.633	無	鳥害ノ爲收穫ヲ得ズ 甲區倒伏 甲區白穂多シ
	龜之尾	8.20	-	-	-	
	銀葉	8.25	9.29	2.543	甲區倒伏	
	高田早稻	8.24	9.25	1.990	全	
	岩之下	8.15	9.20	1.797	全	
	改良美濃坊主	9.4	9.7	2.265	全	
	愛國	8.24	10.1	2.704	無	
	白愛國	8.26	10.1	2.494	全	
	大場	8.20	9.30	2.167	全	
	改良福山	8.27	9.30	2.909	全	
松代村小屋丸	改良美濃坊主	8.31	10.12	2.265	全	甲區螟虫被害アリ 乙區倒 乙區螟虫被害アリ
	改良愛國	8.18	9.12	3.013	全	
	銀葉	8.18	9.10	2.813	乙區少倒	
	改良福山	8.25	9.15	2.603	甲區少倒	
	龜之尾	8.5	8.31	2.754	乙區倒	
	大場	8.20	9.13	2.750	乙區少倒	
	高田早稻	8.18	9.9	2.550	無	
	岩之下	8.4	9.1	2.141	甲乙少倒	
	白愛國	8.23	9.18	2.660	無	
	愛國	8.23	9.18	2.739	全	
中	輿板	8.22	9.20	2.322	全	乙區苞虫被害アリ 螟虫被害アリ 全上害少アリ 虫害ナシ 苞虫被害アリ
	岩之下	8.7	9.18	2.717	多	
	龜之尾	8.9	9.21	2.745	稍多	
	高田早稻	8.12	9.22	2.505	中	
	大和坊主	8.24	10.5	2.814	稍多	

條 村	銀葉	8.25	10.5	2.894	多	苞虫被害アリ
	石白	8.29	10.16	2.776	無	虫害ナシ
	大場	8.16	9.27	2.874	全	苞虫被害少シアリ
	改良美濃坊主	9.2	10.19	2.798	全	全上
	改良愛國	8.19	10.2	2.729	全	苞虫被害アリ
愛國	8.23	10.7	2.785	全	全上被害多シ	

5. 陸稻旱害豫防試験 (繼續第2年)

本試験ハ中魚沼郡下船渡村ニ設置シ之レガ管理ハ全部農事研究所ニ委託セリ

(1) 敷藁試験

區名	試験別	出穂期	收穫期	收穫當時ノ状況			早魃多少	玄米 収量	玄米1 升重量	備考
				草丈	分蘗	病虫害				
1	無敷藁	8.29	10.4	2.70	5.0	ナシ	多少旱害アリ	.525	335	播種ハ各區 共5月19日
2	反當50貫	8.29	10.4	2.70	5.0	全	藁敷藁ノ多 少ニヨリ著	.615	340	ニ行ヘリ以
3	全100貫	8.29	10.4	2.80	5.0	全	シキ差異ナ シ	.600	340	下各試験共
4	全150貫	8.30	10.4	2.80	6.0	全		.645	330	同シ
5	全200貫	8.30	10.4	2.80	6.0	全		.675	335	

(2) 深耕試験

區名	試験別	出穂期	成熟期	收穫當時ノ状況			早魃多少	玄米 収量	玄米1 升重量	備考
				草丈	分蘗	病虫害				
1	3寸耕	8.27	10.4	2.80	4-5	ナシ	異狀ナシ	.645	340	旱害ヲ受ク ル程度ニ持
2	6寸耕	8.27	10.4	2.80	4-5	全	全	.600	340	
3	9寸耕	8.27	10.4	2.70	4-5	全	全	.630	345	續セズ

(3) 中耕試験

區名	試験別	出穂期	成熟期	收穫當時ノ状況			早魃多少	玄米 収量	玄米1 升重量	備考
				草丈	分蘗	病虫害				
1	無中耕	8.27	10.4	2.70	4-5	ナシ	ナシ	.525	330	
2	淺中耕	8.27	10.4	2.70	4-5	全	全	.495	335	
3	深中耕	8.27	10.4	2.70	4-5	全	旱害ヲ蒙リ易シ	.630	335	

(4) 追肥回数試験

區名	試験別	出穂期	成熟期	收穫當時ノ状況			早魃多少	玄米 収量	玄米1 升重量
				草丈	分蘗	病虫害			
1	全量元肥	8.26	10.4	2.70	2-3	ナシ	多少アリ	.450	345
2	1回追肥	8.26	10.4	2.70	4-5	全	全	.495	320
3	2回追肥	8.26	10.4	2.80	5	全	稍多シ	.320	330
4	3回追肥	8.26	10.4	2.80	5	全	全	.510	335
5	4回追肥	8.26	10.4	2.80	5	全	全	.520	330

備考 1回追肥 7月1日
2回追肥 7月1日 7月25日
3回追肥 7月1日 7月15日 8月5日
4回追肥 7月1日 7月16日 7月30日 8月10日

本試験ノ耕種梗概下ノ如シ

5月中旬耕起シ畑土ヲ轉換シ淺ク畦ヲ立テ幅2尺ノ畦トナス、播種期ハ5月中旬ニシテ反當施肥量ハ堆肥200貫、過磷酸石灰6貫、硫酸2貫ヲ施シ、中耕ハ7月下旬之ヲ行フ

優良種子普及事業

第一 原種圃事業

1. 水稻原種圃

水稻原種圃ハ大正6年度ヨリ古志郡栖吉村大字成願寺地内ニ其ノ反別2町歩ヲ設置シ當場ノ直營ニシテ之レガ設計次ノ如シ

(1) 苗代

整地 秋期ニ於テ3-4寸ノ深サニ耕起シ排水シ置キ、春期融雪後再耕ヲ行ヒ土塊ヲ碎キ、稻株ヲ拔キ去リテ肥料ヲ與ヘ、播種前ニ至リ灌水シ町寧ニ代掻ヲナシタル後短冊形ニ播代ヲ作レリ、其形狀ハ幅4尺周圍ニ幅1尺ノ溝ヲ設ケ灌溉ニ便シ、播種床面ノ周圍ニハ更ニ繩ヲ張り粗止メヲ設ケ、品種別ニ畦ヲ設ケ混入ヲ豫防セリ

肥料 苗代1歩用量次ノ如シ

肥料名	人尿	強過磷酸石灰	糞灰	硫酸アンモニア
用量	480	20	120	30

選種 比重1.13ノ鹽水ヲ以テ選種シ清水ニテヨク洗滌セリ
 浸種 藁俵ニ入レ池中ニ7日間浸漬シ後引き上ゲ1夜間水ヲ滴下シタル後
 播種セリ

播種量 1歩ニ付浸種前ノ種籾高田早稻及改良愛國ハ1合5勺銀葉, 中生高宮
 岩ノ下ノ3種ハ2合5勺其他ノ品種ハ2合トセリ

播種期 4月26日

管理 播種後2-3日間ハ1寸位ノ淺水トシ其後溫暖ナル日中ニハ時々數
 時間(午前10時頃ヨリ午後3時頃迄)1度宛排水シ, 夜間及雨天ノ日
 ニハ稍深ク水ヲ灌ギ苗ノ1寸以上ニ生長シタル頃ヨリ夜間2-3回
 排水シ其後ハ常ニ1寸前後ノ水ヲ湛ヘ3日乃至5日毎ニ水ヲ排シテ
 田面ヲ乾シ移植數日前ヨリ灌水シテ苗取りヲ便ニセリ, 又他ノ品
 種トノ混入ヲ避クルタメ水口ニハ金網框ヲ設置シタリ

(2) 本 田

整地 春期融雪後5寸前後ノ深サニ馬耕シ5月中旬ニ灌水シテ一番小切ヲ
 ナシ更ニ同月下旬ニ到リ二番小切ヲナシ移植數日前ニ至リ精細ニ
 代掻ヲナシ移植ノ準備ヲナセリ

肥料 (反當用量)

肥料名	大豆粕	蒸製骨粉	強過磷酸石灰	藥 灰	堆 肥
元 肥	10,000	4,000	2,000	14,000	150,000
追 肥	-	-	2,000	-	-

以上ハ改良愛國, 越中坊主, 大場, 二本三, 石白ニ對スル施肥量トス

肥料名	大豆粕	蒸製骨粉	強過磷酸石灰	藥 灰	堆 肥
元 肥	9,000	3,300	1,800	12,000	150,000
追 肥	-	-	1,800	-	-

以上ハ中生高宮, 高田早稻, 早坊主ニ對スル施肥量トス

肥料名	大豆粕	蒸製骨粉	強過磷酸石灰	藥 灰	堆 肥
元 肥	8,000	2,700	1,800	12,000	150,000
追 肥	-	2,700	1,800	-	-

以上ハ越前, 岩之下, 龜之尾, 銀葉ニ對スル施肥量トス

施肥期 堆肥ハ一番小切ノ際ニ大豆粕, 藥灰, 蒸製骨粉ハ代掻前ニ強過磷酸
 石灰ハ7月上旬ニ之ヲ施用ス

移植期 6月8日ヨリ同月12日ノ間ニ移植ス

株數及苗數 1尺ニ5寸ノ田植框ヲ用ヒ1株1本植トヒリ

除草 早稻3回中稻4回移植後10日乃至2週日目ニ之ヲ行フ

灌排水 移植後一番除草迄ハ1寸乃至2寸位ノ水ヲ注ギ其後ハ每除草ノ際及
 其中間ニ1回宛排水シテ一兩日間田面ヲ乾シ, 出穂期ニハ常ニ濕氣
 ヲ保タシメ穗揃収花後ハ全ク排水シテ田面ノ乾燥ヲ圖ル

病虫防除 移植後ハ常ニ注意シ螟虫採卵ヲ行ヒ又出穂後ハ被害莖ノ摘採ヲ
 行フ

異種拔取 出穂前後ヨリ傾穂期ニ至ルマデニ於テ數回異品種變種株ヲ拔取
 ル

(3) 生育狀況

品 種 名	出穂期	成熟期	取 穫 當 時			病虫害 多 少
			程 長	分 蘗	穗 長	
越 前	8.1	9.25	3.00	12.0	7.4	稍 多
岩 之 下	8.2	9.27	3.45	9.5	7.9	全
龜 之 尾	8.5	9.24	3.50	9.3	6.9	少
高 田 早 稻	8.10	9.29	2.80	14.9	6.5	全
早 坊 主	8.13	10.3	2.90	10.0	7.2	全
大 場	8.13	10.2	2.75	16.5	7.0	全
改 良 愛 國	8.16	10.10	2.94	13.2	7.0	稍 多
越 中 坊 主	8.17	10.6	3.24	11.0	7.5	少
中 生 高 宮	8.17	10.7	3.60	9.1	7.9	稍 少
銀 葉	8.20	10.9	3.20	8.5	7.9	少
二 本 三	8.21	10.5	2.74	16.0	7.2	稍 少
石 白	8.28	10.16	3.00	17.0	6.7	多

(4) 収 穫

品 種 名	作付反別	1 等 原 種		雜 穀	合 計	反當収量	糶収量
		石	石				
越 前	193.1	.670	.170	1.030	1.870	2.907	.230
龜 之 尾	286.7	2.240	1.370	1.760	5.370	5.633	.150
岩 之 下	163.3	.800	.510	1.300	2.610	4.804	.280

大 場	300.4	2.470	1.000	1.200	4.670	4.670	.120
高 田 早 稻	290.7	1.740	1.450	1.200	4.390	4.541	.180
早 坊 主	300.6	2.100	1.310	1.180	4.590	4.590	.110
改 良 愛 國	1,113.3	7.620	4.840	4.460	16.920	4.561	.400
越 中 坊 主	161.9	.930	.500	.740	2.170	4.018	.100
中 生 高 宮	304.9	2.060	.790	1.310	4.160	4.106	.110
銀 葉	129.0	.760	.320	.330	1.410	3.411	.100
二 本 三	281.1	2.550	.950	1.000	4.804	4.804	.080
石 白	948.9	5.550	2.160	3.100	10.810	3.413	.200
合 計	4,474.9	29.490	15.370	18.610	66.930	—	2.200

備考 合計反別2町歩ヨリ少ナキハ苗代跡地其他實際作付セザル面積ヲ除ケルニヨル

(5) 原種配付成績

品 種 名	生産數量	配付數量	配 付 數 量 内 容			
			場 用	有償配付	無償配付	採種用
越 前	石 840	石 815	—	石 .110	石 .355	石 .350
龜 之 尾	3.610	3.610	—	.460	1.710	1.440
岩 之 下	1.310	1.285	石 .154	.850	.036	.245
大 場	3.410	3.264	.183	2.170	.171	.740
高 田 早 稻	3.190	2.349	.061	1.250	.088	.950
早 坊 主	3.410	3.342	.222	1.870	.130	1.120
改 良 愛 國	12.460	12.460	.000	8.770	.240	3.360
越 中 坊 主	1.430	1.430	—	.789	.131	.510
中 生 高 宮	2.850	2.850	.341	1.720	.189	.600
銀 葉	1.080	1.014	.049	.767	.041	.157
二 本 三	3.500	2.892	—	.990	1.325	.577
石 白	7.710	4.840	.300	1.340	1.463	1.837
合 計	44.860	40.151	1.400	20.986	5.879	11.886

2. 陸稻原種圃

陸稻原種圃ハ北魚沼郡堀之内村及同郡城川村ノ2個所ニ委託栽培セリ、
今其設計ノ大要ヲ舉グレバ次ノ如シ
秋期畑地ヲ5-6寸ニ耕起シ春期打チ均ラシ5月中旬畦幅2尺株間4寸反當4
升ノ割合ヲ以テ播種ス
肥料ハ反當堆肥 100貫、人屎尿75貫、糞灰 10貫ヲ元肥トシ追肥トシテ人屎
尿100貫ヲ施ス

品種別生産數量及配付數量左ノ如シ

品 種 名	作 付 反 別	生 産 數 量	配 付 數 量
江 曾 島 糯	反 2.0	石 1.600	石 1.580
戰 捷	1.0	.500	.480
合 計	3.0	2.100	2.060

3. 麥原種圃

麥原種圃ハ大麥 1反5畝歩小麦 1反歩ニシテ之ヨリ生産セル品種別數量及
配付數量左ノ如シ

品 種 名	生 産 數 量	配 付 數 量	配 付 先 別 數 量			
			採種圃	參觀人	直接農家	其他
大 麥 今 朝 白	石 .600	石 .600	石 .300	石 .050	石 .350	—
全 長 岡	.600	.600	.400	.050	.150	—
全六角シユバリー	.600	.600	.150	.050	.380	石 .020
小 麥 横 澤	.350	.350	.080	.020	.232	.018
全 赤 皮 赤	.210	.210	.100	.010	.100	—
全 マーチンズアンダー	.140	.140	.070	.020	.050	—
計	2.500	2.500	1.000	.200	1.262	.038

4. 水稻原種試作地

獎勵原種ヲ廣ク當業者へ紹介シ原種ノ生育状態ヲ周知セシメンガタメ原
種試作地ヲ各部へ設置シタリ今其成績ヲ品種別ニ舉グレバ次ノ如シ

(1) 龜ノ尾

播種期	播種量	移植期	移植株數	移植苗數	出穂期	成熟期	玄米収量	郡 別	町 村 別
月日 5. 1	合 1.5	月日 6. 4	株 72	本 1	月日 8.10	月日 9.17	石 2.335	四 蒲 原	和 納
4.16	6.0	5.31	47	4-5	8.10	9.15	2.930	北 蒲 原	鴻 沼
4.18	4.0	5.30	44	5	7.28	9.21	2.439	全	中 浦
4.15	5.0	5.20	49	5	8. 5	9.20	3.300	佐 波	畑 野
4.20	6.5	6. 1	49	5	8. 9	9.10	2.270	岩 船	館 腰
4.28	4.0	6. 9	60	5	8.12	9.16	3.500	全	保 内
4.28	2.0	6. 7	71	1	8.16	9.27	2.052	中 蒲 原	菅 名
4.20	7.0	6. 2	40	5	8.20	9.30	1.860	全	小 林
4.27	5.0	6. 1	46	5	8.12	9.20	2.500	三 島	大 河 津

(2) 早 坊 主

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	西蒲原	和 納
5. 1	1.5	6. 4	72	1	8.13	9.20	2.210	東頸城	奴奈川
5. 8	4.0	6.10	50	4	8.28	10. 1	1.600		

(3) 高 田 早 稻

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	西蒲原	大 原
4.28	4.0	6. 5	42	2	8. 5	9.30	2.659	西蒲原	菅 名
4.28	2.0	6. 7	72	1	8.18	9.27	2.172	中蒲原	菅 名
4.20	7.0	6. 2	40	4-5	8.15	9.30	2.196	全	小 林
4.20	3.0	5.31	62	5	8.12	9.20	3.280	西頸城	糸魚川
5. 1	2.0	6.15	53	4	8.20	10.7	2.620	中頸城	津 有

(4) 石 白

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	西蒲原	大 原
4.28	4.0	6. 5	42	2	8.25	10.10	2.808	東頸城	奴奈川
5. 8	4.0	6.10	50	4	9. 6	10.15	1.900	全	小 黒
5. 4	2.0	6.10	56	1	8.25	10.10	2.100	全	上北谷
4.27	3.5	6. 3	42	4	8.26	9.25	3.737	古 志	富曾龜
4.29	5.0	6. 4	42	3	8.22	10. 4	2.860	全	東
5. 9	4.0	6.13	54	3	8.30	10.13	2.740	南魚沼	六日町
5. 2	4.0	6. 6	53	4	8.25	10.14	2.213	全	糸魚川
4.24	5.0	6. 6	54	3	9. 4	10.10	2.850	西頸城	十日町
5. 3	2.5	6. 5	72	1	8.26	10.12	2.400	中魚沼	岩 船
4.20	6.5	6. 1	49	5	9. 7	9.25	1.920	岩 船	館 腰
4.28	4.0	6. 9	60	5	9.10	10.12	3.200	全	保 内
4.28	4.0	6. 9	42	2	8.25	10.15	2.635	南蒲原	本成寺
4.28	4.0	6. 7	42	3	8.25	10.15	2.830	全	大 崎
5. 1	2.0	6.16	53	4	9. 9	10.10	2.420	中頸城	津 有

(5) 銀 葉

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	東頸城	奴奈川
5. 8	4.0	6.10	50	4	9. 1	10. 5	2.500	東頸城	奴奈川
5. 4	2.0	6.10	56	1	8.28	10.10	1.700	全	小 黒
5. 2	4.0	6. 6	48	3	8.16	9.27	2.940	北魚沼	堀之内

(6) 改 良 愛 國

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	東蒲原	上 條
4.25	2.5	6.20	85	2	8.22	10. 1	3.000	東蒲原	上 條
5. 6	5.0	6.14	56	3	8.24	10.19	2.550	全	小 川
4.16	6.0	5.31	47	3	8.25	9.22	2.400	北蒲原	鴻 沼

4.18	4.0	5.30	44	5	8. 9	10. 6	2.670	北蒲原	中 浦
4.27	3.5	6. 3	42	4	8.20	9.22	2.940	古 志	上北谷
4.29	5.0	6. 4	42	4	8.18	10. 1	1.920	全	富曾龜
5. 9	4.0	6.13	54	4	8.30	10.13	2.740	南魚沼	東
5. 2	4.0	6. 6	53	4	8.25	10.15	2.459	全	六日町
4.20	3.0	5.31	62	4	8.18	8.30	3.505	西頸城	糸魚川
4.28	4.0	6. 3	50	3	8.17	9.28	3.180	刈 羽	中 通
5. 1	3.0	6.15	72	1	8.15	9.24	1.525	中魚沼	田 澤
4.20	6.5	6. 1	49	5	8.30	8.22	2.210	岩 船	館 腰
4.28	4.0	6. 9	60	5	8.28	9.20	3.300	全	保 内
4.28	4.0	6. 9	42	3	8.17	10. 6	3.031	南蒲原	本成寺
4.28	4.0	6. 7	42	5	8.17	10. 6	2.350	全	全
4.28	2.0	6. 7	72	1	8.25	10.18	2.610	中蒲原	菅 名
4.20	7.0	6. 2	40	5	8.25	10.10	2.326	全	小 林
4.25	3.0	6. 8	63	4	8.18	9.24	2.743	中頸城	春 日

(7) 中 生 高 宮

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	北魚沼	堀之内
5. 2	4.0	6. 6	48	4	8.16	9.27	3.300	北魚沼	堀之内
4.20	6.5	6. 1	49	5	9. 2	9.22	1.930	岩 船	館 腰
4.28	4.0	6. 9	60	5	9.20	10. 5	3.500	全	保 内
4.25	5.0	6. 3	48	5	8.19	10. 8	2.360	三 島	王寺川

(8) 大 場

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	西頸城	糸魚川
4.24	5.0	6. 6	51	4	8.25	10. 2	3.300	西頸城	糸魚川
4.15	5.0	5.20	49	5	8.11	10.10	3.060	佐 渡	畑 野
4.25	3.0	6. 8	63	4	8.16	9.21	2.830	中頸城	春 日

(9) 越 中 坊 主

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	北魚沼	廣 瀬
5. 2	2.0	6. 9	72	1	8.10	9.26	2.400	北魚沼	廣 瀬
4.21	2.0	6. 2	38	3	8.15	9.29	2.740	刈 羽	中 鮎石

(10) 二 本 三

月日	合	月日	株	本	月日	月日	石	中蒲原	菅 名
4.28	2.0	6. 7	72	1	8.24	10. 5	2.420	中蒲原	菅 名
4.20	7.0	6. 2	40	5	8.25	10.10	2.100	全	小 林

第二 採種圃事業

1. 米 採 種 圃

新潟縣米獎勵原種普及計劃ニ基キ一層純良ナル種子ノ普及ヲ速カナラシムルタメ本年度ニ於テハ第一次採種圃40町歩ヲ郡市農會ノ經營トシタル外第二次採種圃497町歩ヲ町村農會ノ經營トナセリ、而シテ第一次採種圃ハ農事試驗場指定採種圃ニシテ試驗場ヨリ原種ヲ無償交付セル外郡市又ハ郡市農會ニ補助金ヲ交付シ之ガ經營ヲ行ヒ、郡市又ハ郡市農會中第一次採種圃ヲ直營セシモノアリシモ多クハ其郡市内ノ精農家ヲ選定シ擔當料ヲ給與シテ委託栽培ヲ行ヒタリ、其個所數124ヶ所ナリシガ旱害混種其他擔當人ノ不注意ノタメ廢棄セシモノ7ヶ所之レガ面積8反3畝歩ニシテ純良種子ノ採種ヲ行ヒシハ3937畝歩ナリキ其成績次ノ如シ

大正8年度第一次採種圃郡市別品種反別

郡市名	石白	中生高宮	高田早稻	大場	改良愛國	二本三	越中坊主	銀葉	岩之下	越前	早坊主	龜之尾	合計
北蒲原	.50	—	—	.70	1.00	.50	—	.50	—	.30	—	1.50	5.00
中蒲原	.60	—	.30	—	1.40	1.00	.30	—	.30	—	.30	.30	4.50
西蒲原	.50	—	.50	—	.80	.40	—	—	—	—	1.50	.80	4.50
南蒲原	2.40	—	—	—	1.10	.20	—	—	—	—	.30	—	4.00
東蒲原	—	—	—	—	.35	—	—	—	—	—	—	.10	.45
三島	.60	.30	.10	—	.30	—	.10	—	—	—	.30	.30	2.00
古志	1.20	—	.20	—	.40	—	—	—	—	—	.40	—	2.20
北魚沼	.30	.10	—	—	.40	—	.20	.20	—	—	.10	—	1.30
南魚沼	.10	—	—	—	1.00	—	.10	.10	.10	—	—	.10	1.50
中魚沼	.40	—	.20	—	.40	—	—	.10	.20	—	—	.20	1.50
刈羽	.50	.50	—	.20	.60	—	.10	—	—	—	.10	—	2.00
東頸城	.05	.20	.05	.05	.50	.05	.05	.05	.10	—	.20	.20	1.50
中頸城	.70	.70	.20	1.10	1.00	—	.30	—	.50	—	—	—	4.50
西頸城	.60	—	.10	—	.30	—	—	—	—	—	.10	.10	1.20
岩船	.30	.10	—	—	.50	—	—	—	—	—	—	.80	1.70
佐渡	.10	—	—	—	.20	—	—	—	—	1.10	—	.50	2.00
新潟	—	—	.10	—	—	.05	—	—	—	—	—	—	.05
長岡	.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	.05
高田	—	—	—	—	.05	—	—	—	—	—	—	—	.05
計	8.90	1.90	1.75	2.05	10.30	2.20	1.15	.95	1.20	1.40	3.30	4.90	40.00

郡市別生産種籾配付數量

郡市名	採種圃反別	配付數量	郡市名	採種圃反別	配付數量
北蒲原	町 5.00	石 44,876	中魚沼	町 1.50	石 21,497
中蒲原	4.50	14,030	中頸城	4.50	90,400
西蒲原	4.50	90,000	東頸城	1.50	8,125
南蒲原	4.00	72,870	西頸城	1.30	24,000
東蒲原	.45	9,000	岩船	1.70	23,490
三島	2.00	33,920	佐渡	2.00	40,000
古志	2.20	34,888	長岡	.05	1,000
刈羽	2.00	41,600	高田	.05	1,000
北魚沼	1.30	26,000	新潟	.05	1,000
南魚沼	1.50	30,000	合計	40.00	607,696

米採種圃事業ニ關シ施行シタル主ナル事項ヲ擧グレバ下ノ如シ

- イ・ 擔當人協議會開催 採種圃ノ經營上重要ナル事項ノ外栽培管理並ニ採種上必要ナル事項ニツキ各郡市毎ニ春季擔當人ヲ集メ協議會ヲ開催シテ斯業ノ經營上遺憾ナキヲ期セリ
- ロ・ 印刷物配付 擔當人心得書ヲ擔當人ニ配付シテ種子ノ貯藏管理苗代本田ノ位置選定、栽培並ニ管理、混種ノ除去、種籾ノ調製包裝等ノ採種圃擔當人トシテ重要ナル事項ニツキ注意指導セリ、又獎勵原種ノ特性表ヲ印刷配付シ混種、變種等除去ノ際判別ヲ容易ナラシムルニ努メタリ、又栽培管理簿ヲ配付シ採種圃栽培上重要ナル事項ヲ其都度記入セシメ本場並ニ郡市又ハ郡市農會指導員指導監督ノタメ出張セシ際ハ之レヨリ特ニ諸般ノ指導注意ヲ受クルコトハセリ
- ハ・ 挿秧ニ關シテハ特ニ各郡市農會長ニ依頼シ1本植ヲ勵行セシメタリ、又病虫害豫防ニ關シテハ郡市又ハ郡市農會ヲシテ常ニ發生ノ模様ヲ報告セシメタル外特ニ螟虫驅除ニ就テハ郡市長又ハ郡市農會長ニ依頼シ郡市技術員ヲシテ其ノ驅除ニ努メシメタリ、又異變種除去ニ就テハ郡市又ハ郡市農會技術員ヲシテ數回指導監督ヲ行ハシメタルノ外特ニ各郡市ニ對シ本場ヨリ監督員ヲ出張セシメ嚴重ニ異變種ノ除去ヲ勵行セリ又生産籾ノ調製ニ際シテハ郡市又ハ郡市農會技術員ヲシテ實地ニ之ガ監督ヲ行ハシメタリ、又生産籾ノ良否ヲ鑑定スル爲メ各品種別種籾1升ヲ當場ニ送付セシメ異種混淆ノ有無乾燥調製ノ優劣粒形其他ニツキ

検査ヲ行ヒタリ

2. 麥 採 種 圃

麥採種圃ハ大麥1町5反歩小麥5反歩合計2町歩13ヶ所ニ設置シタリ其成績ハ寒雪害極メテ少ナク、又病虫害ニハ赤澁病斑葉病ヲ點々見タルモ被害程度極メテ僅少ナリキ、今農家ニ對シ直接配付セル種子ノ數量及ビ町村種圃用種子ノ數量ヲ舉グレバ前者ハ1775升後者ハ375升ナリトス、尙ホ麥採種圃事業ニ關シ施行セル主ナル事項ハ採種期ニ際シ監督員出張ノ上施肥、整地、播種等ニツキ實地指導ヲナシ、尙ホ融雪後本場監督員出張シテ雪害鼠害ニ對スル移植等ノ指導ヲナシ、出穂期ニ際シテハ本場監督員出張シテ異種變種ヲ除去シタルノ外米採種圃ニ準ジテ行ヒタリ

3. 種 子 配 付

當場生産種子(水陸稻麥原種圃産種子ヲ除ク)配付數量次ノ如シ

品 目	水 稻	陸 稻	落花生	大 麥	小 麥
配 付 數 量	石 .353	石 .120	石 .070	石 1.155	—
購 入 幹 旋 數 量	11.370	—	—	7.900	6.300

園 藝 部

耕 種 梗 概

特殊ノ試験ヲ除ク外次ノ如シ

1. 胡 瓜

苗床踏込ミ 苗床ハ木框ヲ用ヒ其幅4尺長サ2間ニシテ3月15日踏込ミヲナセリ其法最底部ニ水ニ浸シタル藁4寸ヲ敷キ其上ニ馬糞1分ニ對シ糞葉2分ノ割合ニ混シタルモノヲ7寸程ニ踏込ミ更ニ半熟堆肥約3寸ノ厚サニ置キ尙苗床1坪ニ對シ米糠2升人尿尿1荷ヲ水ニ薄メテ撒布シ完熟堆肥約2寸及ビ床土(肥土5分堆肥3分砂2分)2寸ヲ置キ床面ヲ平坦トナシ其ノ上ニ菰類ヲ覆ヒ攝氏23度位ニ溫度ノ平均シタル時菰ヲ除キ播條ヲ作りテ播下シ種子ノ見エザル程度ニ細土ヲ篩ヒ掛ケ一面ニ砂ヲ撒布シ輕ク鎮壓ヲ行ヒ充分灌水ヲナシ硝子障子ヲ覆ヒ更ニ其上ニ菰ヲ被ヒ乾燥ヲ防ギ置キ發芽スルニ及ビ菰ヲ除ク

苗床管理 發芽後日中ハ菰ヲ除去シ夜間雨天寒冷ノ日ハ菰ヲ被ヒ又時々灌水シ苗ノ發育ニ努ム

播 種 3月19日2日間水ニ浸漬セルモノヲ播下シタリ

假 植 4月9日, 5月8日ノ2回假植ヲ行フ

本圃ノ整地 5月10日畑地ヲ耕起細碎シ同月15日畦立ヲナシ元肥ヲ施シ定植ノ準備ヲナセリ

定 植 5月19日本圃ニ定植ヲ行フ

畦幅株間 畦幅3尺株間1.5尺

肥 料 1反歩用量代價及所含三要素量次ノ如シ

肥料名	堆 肥	石 灰	菜 灰	人 糞 尿	強過磷酸石	米 糠	合 計
總 量	400.000	10.000	20.000	300.000	4.000	20.000	—
原 肥	400.000	10.000	20.000	—	—	—	—
追 肥 1 回	—	—	—	50.000	4.000	—	—
2 回	—	—	—	100.000	—	20.000	—
3 回	—	—	—	150.000	—	—	—
價 額	8.000	0.680	1.900	9.000	0.932	4.800	25.312

三要素量	窒素	2,844	—	1,870	—	.410	5.124
	磷酸	1,427	—	.318	1,470	.829	4.875
	加里	2,002	—	.850	.955	—	.111

備考 鉢ハ豫メ腐熟シタルモノヲ人糞尿ト混シテ施セリ

追肥 6月1日, 6月19日, 7月13日ノ3回ニ施シタリ
 除草 追肥ノ都度行フ
 中耕 除草ト同時ニ行フ
 手入 定植ト同時ニ藁ニテ日覆ヲナシ5月1日日覆除去ト同時ニ支柱ヲ立テ6月25日, 7月10日ノ2回ニ蔓ノ誘引ヲナシタリ
 病虫害驅除豫防 露菌病炭疽病ノ豫防トシテ6月5日, 7月3日ノ2回ニ3斗5升式生石灰ボルドー液ヲ撒布ス

2. 茄 子

苗床 踏込ミ並ニ管理ハ胡瓜ニ準ズ
 本圃整地 5月20日畑ヲ耕起シ同25日畦立ヲナシ原肥ヲ施シ定植ノ準備ヲナセリ
 前作 第一試験區午旁 第二試験區甘藷
 畦幅株間 畦幅3尺株間2尺
 肥料 1反歩當用量代價及所含三要素量次ノ如シ

肥料名	堆肥	藁灰	油粕	人糞尿	過磷酸灰	米糠	合計
總量	400,000	30,000	10,000	450,000	4,000	30,000	—
原肥	400,000	30,000	10,000	—	—	—	—
追肥	1回	—	—	50,000	4,000	—	—
	2回	—	—	100,000	—	30,000	—
	3回	—	—	150,000	—	—	—
	4回	—	—	150,000	—	—	—
價額	8,000	2,850	4,000	12,000	.932	7,200	35,448
三要素量	窒素	2,844	—	.534	2,806	—	.606
	磷酸	1,427	.378	.230	2,205	.829	1.146
	加里	2,002	1,425	.123	1,432	—	.159

備考 米糠及油粕ハ豫メ腐熟シタルモノヲ施シタリ

播種 3月19日豫メ催芽セシメタルモノヲ温床内ニ播下セリ
 假植 4月25日, 5月20日ノ2回ニ行フ
 定植 6月1日
 追肥 6月20日, 7月11日, 7月27日, 8月10日ノ4回ニ施シタリ
 中耕除草 追肥ノ都度之ヲ行フ
 間引 温床内ニテ發芽後第1回ノ假植迄ニ2回行ヒタリ
 手入 定植ト同時ニ日覆ヲナシ6月26日除藁ヲ行ヒ7月1日支柱立ヲナス尙8月5日ヨリ17日ノ間2-3回灌水ヲ行ヒタリ
 病虫害驅除豫防 6月26日青枯及立枯病豫防ノ爲石灰硫黄合劑0.5度液ヲ坪4升ノ割合ニ撒布セリ

3. 菜 豆

整地 4月18日畑地ヲ耕起細碎シ同19日整地畦立ヲナシ原肥ヲ施シ播種ノ準備ヲナス
 前作 西瓜
 供試品種 サツボロスモールシードライマビーン, ホワイトシードランナー, コンコード, ホワイトエツダ, バーカースグリーンボットボール, カーターズジュビリー, 金時丸鶉, フラツクマーシュレット, サウザントプロリフイツク, アレンテーブル, 長鶉
 畦幅株間 畦幅2尺株間6寸
 肥料 1反歩當用量代價及所含三要素量左ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追肥			價額	三要素量		
			1回	2回	3回		窒素	磷酸	加里
堆肥	300,000	300,000	—	—	—	6,000	2,113	1,145	1,502
石灰	30,000	30,000	—	—	—	1,950	—	—	—
藁灰	30,000	30,000	—	—	—	2,850	—	.478	1,425
人糞尿	300,000	—	50,000	100,000	150,000	9,000	1,871	1,470	.955
強過磷酸石灰	4,000	—	4,000	—	—	.932	—	.829	—
合計	—	—	—	—	—	20,732	3,984	3,922	2,380

播種 4月19日本圃ニ點播セリ
 追肥 5月18日, 6月6日, 6月25日ノ3回ニ追肥ス
 中耕 追肥ノ都度行ヒタリ

除 草 追肥ノ都度其前ニ於テ行ヘリ
 間 引 第一回追肥ノ際間引ヲナシ1株2本立トス
 手 入 6月6日支柱立ヲナス

4. 南 瓜

苗 床 踏込ミ並ニ管理ハ胡瓜ニ準ズ
 本圃整地 5月10日畑地ヲ耕起細碎シ畦立ヲナシ原肥ヲ施シ定植ノ準備ヲナス

前 作 菜菔, 京菜

供試品種 飯寺

畦幅株間 畦幅5尺株間3尺

肥 料 1反歩當用量代價及所含三要素量左ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追 肥			價 額	三 要 素 量		
			1 回	2 回	3 回		窒素	磷酸	加里
堆 肥	250,000	250,000	—	—	—	5,000	1,778	954	1,252
石 灰	6,000	6,000	—	—	—	.390	—	—	—
燐 灰	10,000	10,000	—	—	—	.950	—	.159	.475
人 糞 尿	300,000	—	50,000	100,000	150,000	9,000	1,811	1,470	.955
強過磷酸石灰	4,000	—	4,000	—	—	.932	—	.829	—
米 糠	30,000	—	—	30,000	—	7,300	.616	1,156	.160
合 計	—	—	—	—	—	23,470	3,705	4,568	2,842

備考 米糠ハ豫メ腐熟セシメタルモノヲ用フ

播 種 4月16日温床ニ播下ス
 假 植 5月5日温床内ニテ行ヒタリ
 定 植 5月13日本圃ニ定植ス
 追 肥 5月30日, 6月12日, 6月26日ノ3回ニ施シタリ
 中耕除草 追肥ト同時ニ行ヒタリ
 間 引 温床内ニテ發芽後5日目ニ1回行ヒタリ
 手 入 5月13日定植ト同時ニ日覆ヲナシ6月26日止肥後畑一面ニ敷藁ヲ行ヒ其ノ後時々除糞摘心ヲナス

病虫害驅除豫防 病虫害ノ發生ナカリシタメ別ニ之レヲ行ハズ

5. 蘿 蔔

整 地 8月1日畑地ヲ耕起細碎シ8月10日畦立ヲナシ原肥ヲ施シ播種ノ準備ヲナス

前 作 第一試驗區馬鈴薯, 第二試驗區豌豆, 第三試驗區胡瓜, 第四試驗區胡瓜, 第五試驗區馬鈴薯

供試品種 宮重

畦幅株間 畦幅2尺株間1尺

肥 料 1反歩當用量代價及所含三要素量次ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追 肥				價 額	三 要 素 量		
			1 回	2 回	3 回	4 回		窒素	磷酸	加里
堆 肥	400,000	400,000	—	—	—	—	8,000	2,844	1,527	2,002
燐 灰	15,000	15,000	—	—	—	—	1,425	—	.239	.712
人 糞 尿	400,000	50,000	50,000	70,000	100,000	130,000	12,000	2,494	1,960	1,273
強過磷酸石灰	6,000	—	6,000	—	—	—	1,398	—	1,244	—
米 糠	10,000	—	—	10,000	—	—	2,400	.205	.385	.053
合 計	—	—	—	—	—	—	25,223	5,543	5,355	4,049

播 種 8月15日本圃ニ條播ス

追 肥 9月4日, 9月16日, 9月22日, 10月8日ノ4回ニ分施ス

中耕除草 追肥ノ都度之ヲ行フ

間 引 8月21日, 8月30日, 9月10日, 9月25日ノ4回ニ間引ヲ行フ

手 入 追肥ノ都度其ノ前ニ枯葉ヲ掻キ取リタリ

病虫害驅除豫防 蚜虫驅除トシテ8月20日, 9月2日ノ2回除虫菊石鹼合劑ヲ撒布ス

6. 馬 鈴 薯

耕種梗概

整 地 4月12日畑地ヲ耕起細碎シ畦立ヲナシ原肥ヲ施シ播種ノ準備ヲナス

前 作 豌豆

畦幅株間 畦幅2尺株間1尺5寸

肥 料 1反歩當用量代價所含三要素量次ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追 肥		價 額	三 要 素 量		
			第1回	第2回		窒素	磷酸	加里
堆 肥	400,000	400,000	—	—	8,000	2,844	1,527	2,002

石 灰	30,000	30,000	-	-	1.950	-	-	-
藥 灰	20,000	20,000	-	-	1.900	-	.318	.950
人 糞 尿	200,000	-	100,000	100,000	6.000	1.247	.980	.636
強過磷酸石灰	6,000	-	6,000	-	1.400	-	1.244	-
合 計	-	-	-	-	19.250	4.091	4.069	3.588

播 種 4月13日本圃ニ直播ス
 追 肥 5月17日, 6月2日ノ2回ニ分施ス
 中耕除草 第1回追肥ノ際中耕ヲ行ヒ除草ハ追肥ノ都度3回ニ行フ
 手 入 5月13日除藥シテ1株3本立トナシ7月5日摘花ス
 病虫害驅除豫防 5月24日疫病豫防ノ爲メ3斗5升式ボルドー液ヲ撒布シ6月26日又豫防トシテ土寄ヲナス

7. 甘 藷

整 地 前年秋季畑地ヲ耕起シ5月24日整地畦立ヲナシ同月27日原肥ヲ施シ定植ノ準備ヲナス
 前 作 第一試験區白菜, 第二試験區甘藷, 第三試験區大根
 畦幅株間 畦幅2尺株間1尺5寸
 肥 料 1反歩當用量代價及所含三要素量次ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追肥	價額	三要素量		
					窒素	磷酸	加里
藥 灰	30,000	30,000	-	2.750	.478	1.425	-
骨 粉	7,000	7,000	-	3.290	.303	1.590	-
米 糠	30,000	30,000	-	7.200	.616	1.156	.160
人 糞 尿	150,000	-	150,000	4.500	.935	.735	.577
合 計	-	-	-	17.740	1.854	3.959	2.162

播 種 4月15日
 苗 取 5月28日苗ヲ切り取り屋内土間ニ並列シオケリ
 定 植 5月30日本圃ニ船底植トナス
 追 肥 7月3日
 中 耕 追肥ノ際淺ク行フ
 除 草 6月15日, 7月3日ノ2回ニ行ヒタリ
 手 入 7月10日, 8月15日ノ2回ニ蔓返シヲ行ヒタリ

病虫害驅除豫防 病虫害發生セザリシタメ行ハザリキ

8. 苧 類

整 地 春作収獲後畑地ヲ耕起細碎シ8月9日燒土法ヲ行ヒ同月15日畦立ヲナシ原肥ヲ施シ播種ノ準備ヲナス
 畦幅株間 畦幅3尺株間2尺
 肥 料 1反歩當用量代價及所含三要素量ハ次ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追 肥				價額	三要素量		
			1 回	2 回	3 回	4 回		窒素	磷酸	加里
堆 肥	600,000	600,000	-	-	-	-	12.000	4.267	2.290	3.003
石 灰	30,000	30,000	-	-	-	-	1.950	-	-	-
藥 灰	30,000	30,000	-	-	-	-	2.850	-	.478	1.425
蒸製骨粉	10,000	10,000	-	-	-	-	4.700	.436	2.271	-
人糞尿	600,000	100,000	100,000	100,000	150,000	150,000	18.000	3.742	2.920	1.877
強過磷酸石灰	6,000	-	6,000	-	-	-	1.398	-	1.244	-
合 計	-	-	-	-	-	-	40.898	8.445	9.203	6.305

播 種 8月18日本圃ニ直播ス
 追 肥 8月31日, 9月14日, 9月29日, 10月20日ノ4回ニ分施ス
 中 耕 追肥ノ都度其ノ前ニ行フ
 除 草 中耕ト同時ニ行フ
 間 引 8月25日, 9月10日, 9月29日, 10月10日ノ4回ニ行ヒタリ
 手 入 第一回及第二回ノ間引ノ際補植ヲ行ヒタリ
 病虫害驅除豫防 腐敗病豫防ノ爲メ8月9日畑全面ニ藥ヲ反當200貫ノ割合ニ撒布シ燒土法ヲ行ヒ8月25日, 9月10日, 9月29日ノ3回金龜子ノ幼虫捕殺ヲ行ヒ9月13日蚜虫驅除トシテ除虫菊石鹼合劑ヲ撒布ス

9. 甘 藍

整 地 4月25日畑ヲ耕起シ原肥ヲ施シ定植ノ準備ヲナス
 前 作 大根
 畦幅株間 畦幅2尺株間1尺5寸
 肥 料 1反歩當用量代價及所含三要素量次ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追 肥				價額	三 要 素 量		
			1 回	2 回	3 回	4 回		窒素	磷酸	加里
堆 肥	600,000	600,000	—	—	—	—	12,000	4,267	2,290	3,003
石 灰	30,000	30,000	—	—	—	—	1,950	—	—	—
燐 灰	30,000	30,000	—	—	—	—	2,850	—	.478	1,425
人糞尿	400,000	—	100,000	100,000	100,000	100,000	12,000	2,494	1,960	1,273
強過磷酸石灰	4,000	—	4,000	—	—	—	.932	—	.822	—
米 糠	30,000	—	—	30,000	—	—	7,200	.616	1,156	.160
合 計	—	—	—	—	—	—	36,932	7,377	6,706	5,861

播 種 大正7年9月25日冷床ニ播種ス
 假 植 10月26日1回假植ヲ行ヒシノミ
 定 植 4月28日本圃ニ定植ス
 追 肥 5月8日, 5月20日, 6月5日, 6月20日ノ4回ニ施肥ス
 中耕除草 追肥ノ都度行ヒタリ
 病虫害驅除豫防 病虫株發見次第除去シ其ノ跡ニ石灰乳ヲ撒布ス

10. 葱

整 地 5月25日畑地ヲ耕起シ畦立ヲナシ原肥ヲ施シ定植ノ準備ヲナス
 前 作 白菜
 供試品種 中島葱
 畦幅株間 畦幅2尺株間5寸
 肥 料 1反歩當用量代價及所含三要素量次ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追 肥					價額	三 要 素 量		
			1 回	2 回	3 回	4 回	5 回		窒素	磷酸	加里
堆 肥	600,000	600,000	—	—	—	—	—	12,000	4,267	2,290	3,003
燐 灰	20,000	20,000	—	—	—	—	—	1,900	—	.318	.950
人糞尿	500,000	—	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	15,000	3,118	2,449	1,567
強過磷酸石灰	6,000	—	6,000	—	—	—	—	1,398	—	1,223	—
米 糠	30,000	—	—	10,000	10,000	10,000	—	7,200	.616	1,156	.160
合 計	—	—	—	—	—	—	—	37,498	8,001	7,436	5,680

播 種 大正7年10月3日豫メ準備セル冷床ニ下種ス
 定 植 大正8年6月7日本圃ニ定植ス

追 肥 7月7日, 7月22日, 8月13日, 9月3日, 9月25日ノ5回ニ分施ス
 中耕土寄 追肥ノ都度及10月4日ノ6回ニ中耕及土寄ヲ行ヒタリ
 除 草 中耕ト同時ニ行ヒタリ
 病虫害驅除豫防 9月3日スリップ發生ノ兆ヲ認メタルニヨリ除虫菊石鹼水ヲ撒布シタリ

11. 胡 蘿 蔔

整 地 4月20日畑地ヲ耕起細碎シ畦立ヲナシ原肥ヲ施シ播種ノ準備ヲナス
 前 作 南瓜
 畦幅株間 畦幅1尺5寸株間4寸ノ千鳥形
 肥 料 1反歩當用量代價及所含三要素量次ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追 肥		價額	三 要 素 量		
			1 回	2 回		窒素	磷酸	加里
堆 肥	200,000	200,000	—	—	4,000	1,422	.763	1,001
燐 灰	20,000	20,000	—	—	1,900	—	.318	.950
人 糞 尿	100,000	100,000	—	—	3,000	.624	.489	.318
人 尿	300,000	—	150,000	150,000	5,100	1,292	.513	.904
米 糠	15,000	—	—	15,000	3,600	.308	.578	.080
合 計	—	—	—	—	17,600	3,646	2,661	3,253

備考 米糠ハ豫メ腐熟セシメタルモノヲ人尿ニ混シテ用フ

播 種 4月29日本圃ニ條播ス
 追 肥 6月10日, 7月2日ノ2回ニ分施ス
 中耕除草 追肥ト同時ニ行ヒタリ
 病虫害驅除豫防 發生ノ兆ナキヲ以テ施行セズ

12. 豌 豆

耕種梗概
 整 地 大正7年11月9日前作収穫ト同時ニ跡地ヲ耕起細碎シ畦立ヲナシ原肥ヲ施シ播種ノ準備ヲナセリ
 前 作 葱
 畦幅株間 畦幅2尺4寸株間6寸
 肥 料 1反歩當用量代價及所含三要素量次ノ如シ

肥料名	總量	原肥	追肥		價額	三要素量		
			1回	2回		窒素	燐酸	加里
堆肥	200.000	200.000	—	—	4.000	1.422	.763	.101
石灰	30.000	30.000	—	—	1.300	—	—	—
燻灰	30.000	30.000	—	—	2.850	—	.477	1.425
強過燐酸石灰	4.000	—	4.000	—	.932	—	.830	—
人糞尿	200.000	—	100.000	100.000	6.000	1.247	.980	.636
合計	—	—	—	—	15.082	2.669	3.050	2.162

播種 11月23日1株3粒宛點播セリ
 追肥 4月24日, 5月10日ノ2回ニ追肥ス
 中耕 追肥ト同時ニ行ヒタリ
 除草 中耕ノ回数毎ニ及ビ5月25日ノ3回ニ行ヒタリ
 間引 4月25日間引ヲ行ヒ1株2本宛トスルト同時ニ缺損部ハ補植補播ヲ行ヒタリ
 手入 5月10日支柱立ヲ行ヒ同月27日蔓ヲ誘引纏絡セシメタリ
 病虫害驅除豫防 別ニ行ハズ

肥培管理ニ關スル試験

第一果樹

本縣ノ園藝ハ近時長足ノ進歩ヲナシ果樹栽培ノ技術的方面ニ付キ一層ノ試験研究ヲ促スノ時運ニ向リ依テ本縣産業是ノ示ス方針ニ則リ果樹栽培ノ學理的並ニ實際的方面ノ試験研究ヲ行ハントシ大正6年從來ノ果樹園ヲ改植セリ從ツテ未ダ樹齡ハ其ノ成績ヲ示スノ域ニ達セズト雖モ之レガ本年度ニ於ケル狀況ヲ述ブレバ次ノ如シ

1. 李 試 驗

本試験ハ培養管理ノ方法ヲ一般ニ示スト同時ニ結果不良ノ原因ニ就キ調査研究シ併セテ其ノ豫防法ヲ知ラントスルニアリ
 位置面積 第一號圃 24歩
 栽植距離 2間四方ノ正方形植

品 種

種 類	樹 數	年 度
コンビネーション	本 2	明 治 4 3 年 生
寺 田	1	大 正 2 年 生
神 産	2	全

生育概要 前年度斷根法ノ効果ヲ奏シ結果頗ル良好ニシテ其ノ良好ナルハコンビネーションニシテ300顆ノ完全果ヲ得タリ

2. 桃 試 驗

本試験ハ獎勵品種ノ特性ト培養管理ノ方法トヲ一般ニ示シ併セテ剪定法ト下枝ノ枯死ヲ防グ方法ヲ研究セントスルニアリ
 位置面積 第二號圃2畝歩, 第三號圃1畝18歩
 栽培距離 2間四方ノ正方形植

品 種

種 類	本 數	種 類	本 數
アムスタンジュューン	本 3	離核水蜜桃	本 3
カールマン	3	上海水蜜桃	3
魁	3	ロペル	2
トライアンプ	3	アディラルジュエー	1
土用水蜜桃	3	アーヴィングロフォード	1
ミューア	1	エルバード	1
クロスミニオン	3	スニード	1

生育概要 前年大雪ノタメ損傷ヲ被リタル結果適當ノ結果枝少ナク良好ノ成績ヲ見ルヲ得ズ

3. 櫻桃 試 驗

本試験ハ獎勵品種ヲ栽培シ一般管理ノ方法ヲ示スト同時ニ自花授精ト結實トニ關スル研究ヲ行ハントス
 位置面積 第四號圃2畝歩
 栽培距離 2間四方ノ正方形植

品 種

種 類	木 数	年 度	種 類	木 数	年 度
エルトン	3	大正4年生	ガバナーウツト	3	大正4年生
ブラックターリアン	3	全	レンホルテンス	3	全
ナボレオンビガロー	3	全			

生育概要 多少結果枝ヲ生ジ開花シタルモ結實少ナク完熟ノ域ニ至ラズシテ落果シタリ

4. 栗 試 験

本試験ハ獎勵品種並ニ有望品種ヲ栽植シ其ノ管理法ノ一般ヲ示シ傍ラ加工用品種ノ研究ヲナサントスルニアリ
位置面積 第五號圃2畝12歩
栽培距離 2間四方ノ正方形植

品 種

種 類	本 数	種 類	本 数
成 從 栗	2	美 濃 大 栗	2
長 光 寺	2	霜 カ ヅ キ	2
銀 寄	2	出 野	2
甲 洲 丸	2	岸 根	2

生育概要 圃場地下水高ク爲メニ生育不良ニシテ大部分結果ニ至ラザルモ出野ニ於テ10顆,霜カヅキニ於テ20顆ノ生産ヲ得タリ

5. 柿 試 験

本試験ハ獎勵品種ヲ栽植シ其培養管理ノ一般ヲ實地ニ示スト同時ニ整枝法ニ就キ研究ヲ重ネ今後増植改植スベキ柿樹栽培ノ範ヲ示サントスルニアリ

位置面積 第六號圃1畝18歩, 第十號圃1畝18歩

栽培距離 2間四方ノ正方形植

品 種 甘柿 白乳, 三國一, 子成場, 富有
澁柿 早生寺社, 身不知, 堂上蜂屋, 西條

樹 形

區 別	樹 形	區 別	樹 形
第 1 區	矮性木立仕立	第 3 區	扁圓形仕立
第 2 區	盃狀形仕立		

生育概要 既ニ結果ニ達シ白乳,三國一及子成場中多少ノ結果ヲ見タルモノアレドモ一般ニ地下水高ク徒長ノ傾キアリ殊ニ冬季雪中ニ於テ野鼠ノ害ヲ受ケ衰弱ヲ來シ又寒害ノ爲メ芽ノ枯死ヲ來シ生育良好ナラザルモノアリ

6. 和 梨 試 験

本試験ハ獎勵品種ニツキ肥料ニ關スル試験ヲ行ハントスルニアリ
位置面積 第七號圃3畝10歩
栽培距離 2間四方ノ正方形植

品 種

種 類	本 数	種 類	本 数
赤 穂	5	早 生 赤	10
長 十 郎	10		

生育概要 本圃ハ棚作りノ豫定ナルモ前年多量ノ降雪ノタメ枝條ノ折傷セルモノアリ又寒害ヲ蒙リ發育極メテ不良ナルモノ等アリテ前年春季補植セルモノアリテ未ダ棚架設ノ程度ニ至ラズ專ラ生育ヲ良好ナラシムルニ努メタリ

7. 洋 梨 試 験

本試験ハ洋梨栽培上最モ苦心ヲ要シ且収量及樹勢ニ多大ノ關係ヲ有スル夏季簇生ノ徒長枝處分法ヲ獎勵品種ニ付キ研究シ尙ホ自花授粉ニ關スル研究ヲ行ハントスルニアリ

位置面積 第八號圃2畝20歩

栽培距離 2間四方ノ正方形植

樹 形 棚作り

品 種

種類	本数	種類	本数
ポートレット	5	ハツスクラサマ	5
ジュッセスダングレーム	5	ホースターボーレ	5

生育概要 發育概ネ良好ナレドモ尙ホ腐爛病ニ侵サレタルモノアルヲ見ル

8. 苹果試験

本試験ハ苹果栽培上綿虫ノ被害ヲ軽減セシムル爲メ免疫砧木ノ使用ヲ奨励センガ爲メ獎勵品種ト免疫砧木トノ間ニ如何ナル關係アルカヲ知ラントスルニアリ

位置面積 第六號圃3畝10歩

品 種

種類	本数	年 度	種類	本数	年 度
紅 魁	5	大正5年生	國 光	5	大正5年生
祝 倭	5	全	旭	5	全
倭 錦	5	全			

生育概要 未ダ全般ニ結果期ニ達セザルモノ内祝及倭錦種ニ於テ各2個宛ノ結果ヲ見タリ

9. 葡萄試験

本試験ハ本縣ニ於ケル葡萄ノ整枝法ハ多ク棚作りナルモ日光ノ透照空氣ノ流通ヲ充分ナラシムル點病虫害驅除豫防實施上手入ノ便宜ナル點及雪害ニ對スル便宜ナル點等ヨリ垣作りノ方得策ナル地方アリ仍テ之ガ整枝法ニ關スル研究ヲ行ハントスルニアリ

位置面積 第11號圃2畝20歩

栽培距離 1間四方ノ正方形植

品 種

種類	本数	年 度	種類	本数	年 度
カンフェルスアーリー	8	大正5年生	ナイヤガラ	8	大正5年生
レデーアシントン	8	全	ミルズ	8	全

ハーバート	8	大正5年生	セツシカ	8	大正5年生
フライトン	8	全	ブラックハンブルグ	8	全

樹 形

區別	樹 形	區別	樹 形
第1區	ホーイアレン整枝	第4區	ニツフロン整枝
第2區	ギューロー整枝	第5區	棚架整枝
第3區	弓狀整枝		

生育概要 發育良好ニシテ漸次収量増加スルモ冬季積雪ノ爲メ折傷セラルト融雪後ノ寒氣ノタメ寒害ヲ被リ完全ナル整枝ヲ行フニ頗ル困難ヲ感ズ殊ニ垣用ノ八番線ハ雪ノ爲メ切斷又ハ支柱ニ定着部ノ個處ヨリ拔取ラルト支柱倒崩スル等ノ爲メ益々整枝ノ困難ヲ感ズ

カンフェルスアーリーハ開花充分ナルモ落花多ク粒ノ粗着ヲ免レズ、ブラツクハンブルグハ袋覆ヲ行ハ、晩腐病ニ侵サル、コト少ク収量多シ最モ豊産ナルハナイヤガラナリトス

第 二 蔬 菜

1. 茄子硫黄効果試験 (續第4年)

目 的 茄子ニ對スル硫黄華ノ刺戟作用ノ効果並ニ其ノ適量ヲ知ラントスルニアリ

施 用 法 本圃ニ定植前其ノ定植スベキ位置ニ硫黄華ヲ撒布シ土壤ト能ク攪拌混合セリ

試験別及生育状況次ノ如シ

試 驗 別	播種期	發芽期	定 植 當 時 ノ 狀 況					
			草 勢	整 否	色 澤	草 丈	本 葉 數	
無 加 用	3.19	4.7	強	整	綠	4.3	8	
反 當	3.19	4.7	全	全	全	4.3	8	
全	300 匁	3.19	4.7	全	全	全	4.3	8
全	450 匁	3.19	4.7	全	全	全	4.3	8
全	600 匁	3.19	4.7	全	全	全	4.3	8
全	750 匁	3.19	4.7	全	全	全	4.3	8

反當	900 匁	3.19	4.7	強	整	綠	4.3	8
全	1,050 匁	3.19	4.7	全	全	全	4.3	8

開花當時及開花ヨリ最後ノ収穫期迄ノ狀況次ノ如シ

試驗別	開花當時ノ狀況6月20日調					開花ヨリ最後ノ収穫期迄ノ狀況(9月13日調)				
	草勢	整否	色澤	本葉數	開花始	草勢	整否	色澤	病株歩合	
無加用	強	整	綠	10.1	6.16	稍強	稍整	濃綠		66
反當 200 匁	全	全	全	9.9	6.16	弱	不整	全		92
全 300 匁	全	全	全	10.0	6.16	全	全	綠		92
全 450 匁	全	全	全	11.1	6.16	全	全	全		85
全 600 匁	全	全	全	10.1	6.17	全	全	全		88
全 750 匁	全	全	全	10.9	6.16	全	全	濃綠		70
全 900 匁	全	全	全	8.9	6.17	全	全	綠		81
全 1,050 匁	全	全	全	8.9	6.17	稍強	稍整	濃綠		51

収 穫

試驗別	收穫始	收穫終	反當個數	反當重量	1 顆平均		1 株平均		累年平均成績	
					重	量	個數	重量	個數	重量
無加用	6.28	9.13	55797	1022.984	18.3強	31.0弱	59.899	1087.928		
反當 200 匁	6.28	9.13	20730	355.196	17.1強	11.5強	20.730	335.196		
全 300 匁	6.28	9.13	21086	405.127	19.2強	11.7強	52.662	1040.809		
全 450 匁	6.28	9.13	34295	683.729	19.9強	19.0強	55.965	1119.409		
全 600 匁	6.28	9.13	30597	642.848	21.0強	17.0弱	49.199	960.549		
全 750 匁	6.28	9.13	44328	855.173	19.2強	24.6強	63.909	1280.491		
全 900 匁	6.28	9.13	33198	607.997	18.3強	18.4強	57.566	1203.365		
全 1,050 匁	6.28	9.13	50707	885.664	17.4強	28.2弱	33.198	885.664		

成績概要 以上ノ成績ニヨリ見ルニ重量、個數共ニ無加用區ニ於テ最モ多量ナレドモ之レ畑地ノ關係ニヨリ病害株比較的少ナカリシニヨルモノニシテ之異例トスベシ之ニ次ゲルハ1貫050匁區ニシテ本區ハ多量ナル硫黃華施與ノ爲メ病害ニ侵サルハモノ少ナカリシニ依ルナリ其ノ他ノ區ニアリテハ累年ノ成績ニヨリ考フルモ病害多ク900匁以下ノ硫黃華ヲ以テシテハ猛烈ナル立枯病ヲ防止スルヲ得ズ從ツテ加用量ノ多少ニヨリテ収量ノ増減ヲ左右シ得ザルヲ知レリ

2. 南瓜落果防止法試驗 (新設)

本縣ニ於ケル南瓜栽培法進歩ノ遅々タルハ其ノ落花ヨリ來ル影響甚大ナリト思惟ス依リテ如何ナル手段ヲ以テセバ落花ヲ防止シ得ルヤヲ試驗研究セントスルニアリ

試驗別及生育狀況次ノ如シ

(1) 生育狀況

試驗別	本葉數	草丈	草勢	整否	色澤	雌花開花期		備 考
						月日	月日	
本葉6枚ニテ摘心ヲナシ4本ノ子蔓ヲ出シ子蔓ノ結果部ヨリ1枚ヲ殘シ摘心ス	3	2.5	強	整	綠	6.27	6.27	
全上3枚ヲ殘シテ摘心ス	2	2.5	全	全	全	6.23	6.27	
全上5枚ヲ殘シテ摘心ス	2	2.5	全	全	全	6.26	6.25	
3要素等量區	2	2.5	全	全	全	6.23	6.28	各要素1貫500匁宛
窒素多量區	2	2.5	全	全	全	6.21	6.27	(窒素3貫匁、磷酸1貫500匁加里1貫500匁)
磷酸多量區	2	2.5	全	全	全	6.28	7.01	(磷酸3貫匁、窒素1貫500匁加里1貫500匁)
加里多量區	2	2.5	全	全	全	6.21	6.26	(加里3貫匁、窒素1貫500匁磷酸1貫500匁)
人工交配區	2	2.5	全	全	全	6.23	6.27	
自然區	2	2.5	全	全	全	6.23	6.25	

(2) 収 穫

試驗別	8月6日收穫		8月20日收穫		合計	
	重量	個數	重量	個數	重量	個數
本葉6枚ニテ摘心ヲナシ4本ノ子蔓ヲ出シ子蔓ノ結果部ヨリ1枚ヲ殘シテ摘心ス	150.000	300	671.400	1320	821.400	1620
全上3枚ヲ殘シテ摘心ス	223.200	400	592.900	1200	815.400	1600
全上5枚ヲ殘シテ摘心ス	183.060	420	565.800	1380	748.860	1800
3要素等量區	89.400	240	620.100	1260	709.500	1500
窒素多量區	20.700	60	796.200	1920	816.900	1980
磷酸多量區	47.400	120	804.000	1800	851.400	1920
加里多量區	97.100	180	540.000	1300	637.100	1380
人工交配區	32.400	60	1026.300	2100	1059.300	2160
自然區	119.400	300	825.600	1740	945.000	2040

成績概要 以上ノ成績ヲ通覽スルニ摘心區ニアリテハ結果部ヨリヒ1枚ヲ殘シテ切リタルモノハ3枚或ハ5枚ヲ殘シテ切リタルモノニ比シ又3枚ノモノハ5枚ノモノニ比シ収量多シ之ニヨリテ見レバ結果部以上ニアル蔓ハ葉數1枚以上成ルベク少數ヲ殘シテ切ルヲ最良好トス、又肥料區ニアリテハ磷

酸多量區最モ収量多シ然ルニ加里多量區及三要素等量區ニアリテハ第一回ノ収量ハ第二回ニ比シ多量ナルニ反シ窒素及磷酸多量區ニアリテハ第一回収量ハ第二回ニ比シ遙カニ少ナシ故ニ加里ノ多量ナルハ収穫期ヲ早メ窒素磷酸ノ多量ナルハ収穫期ヲ遅ラシムルコトヲ知ル又人工交配區ニアリテハ交配セルモノハ交配セザルモノニ比シ収穫多キヲ知ル

3. 蘿蔔鬆入ニ關スル試験

本縣ノ蘿蔔ハ煮食用トシテ漬物用トシテ將タ亦切干用トシテ冬季蔬菜ノ重要ナル位置ヲ占ムルモノニシテ品種ノ改良耕種法ノ改善ヲ要スル點少ナカラザルモ一般ニ鬆入甚ダシク爲メニ其ノ品質ヲ損スルコト鮮少ナリトセズ依リテ之ガ原因ヲ調査研究スルト同時ニ其ノ防止方法ヲモ知ラントスルニアリ

試験項目次ノ如シ

- (イ) 播種期トノ關係試験 2年目
- (ロ) 追肥期トノ關係試験 3年目
- (ハ) 収穫期トノ關係試験 4年目
- (ニ) 種子トノ關係試験 3年目
- (ホ) 三要素トノ關係試験 3年目

1. 播種期トノ關係試験

本試験ハ播種ノ時期ト鬆入トノ關係ヲ知ラントスルニアリテ耕種法ハ本場標準法ニヨル

試験區別成績

(1) 生育狀況

試験別	追肥期	定植當時ノ狀況			彼岸當時ノ狀況				
		整否	色澤	子葉大小	整否	色澤	草丈	根長	根ノ周圍
8月中旬區	9月4日, 9月28日	整	綠	小	整	綠	1.23	7.0	3.2
	10月5日, 10月19日								
8月下旬區	9月15日, 9月28日	全	全	全	不整	全	.88	8.9	1.0
	10月5日, 10月19日								
9月上旬區	9月15日, 9月28日	全	全	全	整	全	.25	2.1	.3
	10月5日, 10月19日								

備考 8月中旬當時ハ生育良好ニシテ何等病虫ノ被害ナカリシモ8月下旬區及9月上旬區ハ蚜虫ノ被害ヲ受ケ腐敗病ヲ誘發シ生育ノ初期ハ發育不良ナリシモ蚜虫ノ驅除ト共ニ恢復スルヲ得タリ

(2) 鬆入狀況及収穫

試験別	供試本數	鬆ノ入りタルモノ				鬆ノ入ラザルモノ			白腐病被害歩合	内評			青味歩合	總収歩合	
		本多	本中	本少	重量	本數	重量	1本平均重量		上	中	下			
8月中旬區	40	3	2	10	5.471	364.7	25	7.829	313.2	12.5	22	10	8	22.5	7.5
8月下旬區	40	1	1	3	1.335	267.0	35	7.930	226.6	-	35	4	1	40.0	10.0
9月上旬區	40	-	-	2	.396	148.0	38	5.623	148.0	-	37	2	1	22.5	2.5

同上

試験別	大正8年度鬆入歩合	大正7年度鬆入歩合	平均	反當収量		
				葉重量	根重量	總本數
8月中旬區	37.5	12.0	24.75	492.450	1995.000	6000
8月下旬區	12.5	3.8	8.15	511.300	1389.750	6000
9月上旬區	5.0	2.3	3.60	393.600	901.350	6000

成績概要 以上成績ニヨレバ8月中旬及下旬播下セル早播區ハ鬆入歩合大ニシテ夫レヨリ以後ノ9月上旬區ハ鬆入歩合少ナキヲ見ル、白腐病ハ8月中旬區ノ早播ノモノニ發生歩合多ク8月下旬區以後ノモノハ著シク少キヲ見ル収量ハ8月中旬區最モ多ク8月下旬區之ニ次ギ9月上旬區ハ最モ少シ

□. 追肥期トノ關係試験

本試験ハ追肥ノ時期及回数ニ依リテ發育ノ狀況ヲ異ニシ從ツテ収穫時期ニ於ケル鬆入ニ差異ヲ來スベキニ依リ之ノ關係ヲ知ラントスルニアリ

試験區別

追肥期	9月上旬	9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬
2回分施	150,000	-	200,000	-	-	-	-
3回分施	50,000	-	150,000	-	150,000	-	-
4回分施	50,000	50,000	-	100,000	-	150,000	-
5回分施	50,000	50,000	50,000	100,000	-	100,000	-
6回分施	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	100,000	-
7回分施	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000

成績

試験別	供試本數	鬆ノ入りタルモノ				鬆ノ入ラザルモノ			白腐病被害歩合	内評			青味歩合	總収歩合	
		本多	本中	本少	重量	本數	重量	1本平均重量		上	中	下			
2回分施	40	5	2	6	3,980	306.3	27	6,561	243.0	2.5	28	6	6	27.5	10.0

3 回分施	40	1	5	11	4.780	281.1	23	5.688	247.3	5.0	24	12	4	32.5	—
4 回分施	40	4	12	2	4.781	265.6	22	5.504	250.2	5.0	11	22	7	20.0	5.0
5 回分施	40	4	1	5	3.035	303.5	30	7.383	246.1	5.0	28	8	4	20.0	10.0
6 回分施	40	1	3	7	3.582	325.6	29	6.570	226.6	7.5	30	8	2	21.5	7.5
7 回分施	40	1	2	11	3.411	243.6	26	5.460	210.0	17.5	22	9	9	40.0	7.5

同上

試験別	大正8年度鬆入歩合	大正7年度鬆入歩合	大正6年度鬆入歩合	1 反歩當収量			
				鬆入累年	葉重量	根重量	木數
2 回分施	32.5	35.0	40.0	35.83	427.200	1581.115	6000
3 回分施	42.5	22.0	42.0	35.50	373.800	1570.200	6000
4 回分施	45.0	26.0	40.0	37.00	373.950	1542.750	6000
5 回分施	25.0	6.0	30.0	20.33	396.150	1562.700	6000
6 回分施	27.5	16.0	20.0	21.75	380.100	1522.800	6000
7 回分施	35.0	21.0	20.0	25.33	283.350	1330.650	6000

成績概要 右成績ニ示スガ如ク追肥回数少ナキ時ハ之ガ回数多キ時ニ比シ鬆入多キヲ知ル之レ鬆入ハ蘿蔔ノ生育中肥料分ノ缺乏シ發育中止シタル時
起ルモノタルヲ察知シ得

ハ. 収獲期トノ關係試験

本試験ハ蘿蔔ノ鬆入ハ其ノ發育作用停止シ抽莖、開花等生殖作用ニ移ラントスル場合ニ起ル現象ナリト思惟セラルハヲ以テ同一耕種法ノ下ニ生殖セル蘿蔔ヲ各種ノ時期ニ収獲シテ鬆入トノ關係ヲ探究セントスルニアリテ耕種法ハ本場標準ニヨリ8月16日播種セルモノニツキ行フ

試験區別及成績

(1) 鬆入狀況及収獲

試験別	供試本數	鬆ノ入りタルモノ				鬆ノ入ラザルモノ				白腐病歩合	内譯			青味歩合	龜裂歩合
		多	中	少	全	本數	重量	一本平均重量	上		中	下			
10月27日収獲	40	—	—	—	—	37	5.033	135.0	2.5	30	8	2	30.0	7.5	
10月31日収獲	40	2	1	4	1.486	212.3	33	4.794	145.3	7.5	24	11	5	27.5	7.5
11月5日収獲	40	4	2	8	3.552	253.7	26	5.610	215.8	5.0	14	15	11	47.5	15.0
11月10日収獲	40	—	2	5	2.641	293.4	31	6.932	223.6	—	29	8	3	35.0	22.5
11月15日収獲	40	—	3	5	2.384	298.0	32	7.479	233.7	7.5	29	9	2	15.0	7.5
11月20日収獲	40	2	4	4	3.112	311.2	30	7.880	262.7	7.5	9	18	13	35.0	30.0
11月25日収獲	40	4	3	11	5.499	305.5	23	7.013	318.8	15.0	19	10	11	12.5	7.5
11月30日収獲	40	2	2	7	3.831	348.3	29	9.530	328.8	—	31	5	4	22.5	2.5

同上

試験別	大正8年度鬆入歩合	大正7年度鬆入歩合	大正6年度鬆入歩合	平均	反當収量		
					葉重量	根重量	木數
10月27日収獲	7.5	10.0	40.0	19.17	321.300	884.950	6000
10月31日収獲	17.5	11.0	10.0	12.83	389.700	942.000	6000
11月5日収獲	35.0	欠	—	11.67	400.500	1374.300	6000
11月10日収獲	22.5	22.0	—	14.83	391.650	1435.950	6000
11月15日収獲	20.0	16.0	—	12.00	431.400	1479.450	6000
11月20日収獲	25.0	16.0	—	13.57	540.100	1648.800	6000
11月25日収獲	45.0	—	40.0	28.33	495.600	1876.800	6000
11月30日収獲	27.5	21.0	40.0	29.50	511.350	2004.150	6000

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ年々其ノ成績ヲ異ニシ一定ノ結論ヲ下シ得ザレドモ大体ヨリ之レヲ云ヘバ10月下旬及11月初旬収獲ノモノ最モ鬆入ノ少ナキヲ知ル

ニ. 種子トノ關係試験

本試験ハ種子ノ新古大小及ビ比重ノ異ナルニ從ヒ鬆入ニ如何ナル關係アリヤヲ比較探究セントスルニアリ、耕種法ハ本場標準ニヨル

試験區別及成績

(1) 生育狀況

試験別	備考	發芽當時			彼岸當時ノ狀況			備考
		整否	色澤	子葉大小	整否	色澤	草丈	
新種子	大正8年産	整	綠	中	整	綠	9.6	一部分蚜虫ニ被害セラル
古種子	大正7年産	全	全	全	稍整	全	8.0	腐敗病ニ侵レト全區ノ3割
全	大正6年産	不整	全	大小不同	不整	全	7.5	前區ニ比シ生育甚ダ不良
大粒		整	全	大	稍整	全	9.1	生育良好
中粒		全	全	中	全	全	8.3	腐敗病ノ被害大ナリ
小粒		全	全	小	全	全	8.7	被害程度前區ヨリ少シ
比重大	1.1以上	全	全	中	全	濃綠	8.6	生育良好
比重小	1.1以下	全	全	全	整	全	11.5	生育甚ダ良好

本試験區ハ各區共、少腐敗病蘿蔔ノ幼時ヨリ發生シ加フルニ蚜虫ヲモ併發シ爲メニ彼岸當時迄ハ生育一般ヲ通ジ不良ナリキ

(2) 鬆入狀況及収獲

試験別	鬆ノ入りタルモノ				鬆ノ入りザルモノ			白腐病	内 評			青味	龜裂		
	供試本数	多	中	少	重量	1本平均重量	本数		重量	1本平均重量	歩合			上	中
新 種 子	40	3	2	7	2.883	240.3	28	5.915	211.3	7.5	21	10	9	20.0	22.5
前年種子	34	2	4	8	2.975	212.5	20	4.021	201.1	2.4	13	7	14	11.8	14.7
前々年種子	40	5	4	11	3.504	175.2	20	3.087	154.4	7.5	16	9	15	22.5	30.0
大 粒	40	4	5	5	2.427	173.4	26	5.291	203.3	7.5	19	11	10	15.0	17.5
中 粒	40	1	4	7	1.459	121.6	28	4.563	163.0	15.0	20	8	12	17.5	15.0
小 粒	40	5	2	10	2.914	171.4	23	5.474	238.0	5.0	17	10	13	15.0	5.0
比重大	40	—	5	9	3.429	244.9	26	5.560	213.8	7.5	14	11	15	20.0	17.5
比重小	40	4	2	7	2.412	185.5	27	6.665	246.9	10.0	17	12	11	37.5	10.0

同 上

試験別	大正8年度	大正7年度	大正6年度	累年平均	1反歩當収量		
	度鬆入歩合	度鬆入歩合	度鬆入歩合		葉重量	根重量	總本数
新 種 子	30.0	22.0	—	17.33	516.900	1319.700	6000
前年種子	41.1	17.0	40.0	32.70	519.150	1234.500	6000
前々年種子	50.0	—	—	50.00	488.850	988.650	6000
大 粒	35.0	22.0	30.0	29.00	446.400	1157.700	6000
中 粒	30.0	28.0	20.0	26.00	382.050	903.300	6000
小 粒	42.5	11.0	80.0	44.50	450.150	1258.200	6000
比重大	35.0	18.0	40.0	31.00	408.150	1348.350	6000
比重小	32.5	22.0	30.0	28.17	432.450	1361.550	6000

成績概要 以上ノ成績ヨリ見レバ種子ハ新シキモノ程鬆入少ナキヲ知ル又、比重ノ小ナルモノハ大ナルモノニ比シ良好ナレドモ尙試験ヲ經ルノ要アリ、粒ノ大小ニ至リテハ成績區々ニシテ更ニ繼續試験スルヲ要ス

本 肥料三要素トノ關係試験

本試験ハ蘿蔔ニ對スル三要素ガ鬆入ニ及ボス影響ヲ調査研究セントスルニアリ

試験ノ方法

1. 窒素磷酸加里ノ標準施用量ハ各4貫匁宛トシテ施シタリ
2. 窒素ハ硫酸安母尼亞(20%)、磷酸ハ強過磷酸石灰(20%)、加里ハ硫酸加里(20%)ヲ用ヒタリ

耕種法 本場耕種法ニヨリタルモ肥料ハ特ニ次ノ如ク施用シタリ

1. 各區共原肥ヲ施サズ

1. 各區共各肥料ヲ4回ニ分施セリ

1. 硫酸安母尼亞ハ100匁ニ就キ水1斗ニ稀釋シテ施シタリ

1. 過磷酸石灰、硫酸加里ハ其儘施セリ

試験區別及成績

(1) 鬆入歩合及収獲

試験別	鬆ノ入りタルモノ				鬆ノ入りザルモノ			白腐病	内 評			青味	龜裂		
	供試本数	多	中	少	重量	1本平均重量	本数		重量	1本平均重量	歩合			上	中
無 窒 素	40	4	1	10	1.517	101.1	25	3.248	129.9	5.0	18	12	10	27.5	12.5
窒素2貫匁	40	2	3	10	2.460	164.0	25	2.771	118.4	2.5	19	9	12	15.0	2.5
全 4貫匁	40	7	1	13	2.634	125.4	19	2.720	143.2	5.0	12	16	12	30.0	7.5
全 6貫匁	40	5	—	10	2.034	135.6	25	4.064	162.6	10.0	15	15	10	25.0	12.5
無 磷 酸	40	8	—	8	2.503	156.8	24	3.300	137.5	2.5	14	12	14	35.0	2.5
磷酸2貫匁	40	—	2	1	.555	185.0	37	5.315	143.6	2.5	32	6	2	27.5	7.5
全 4貫匁	40	8	1	9	2.867	159.3	22	3.600	163.6	5.0	12	16	12	30.0	10.0
全 6貫匁	40	—	2	1	.678	224.3	37	5.952	168.6	—	33	4	3	45.0	7.5
無 加 里	40	9	3	7	2.798	147.3	21	3.035	144.6	7.5	14	11	15	37.5	5.0
加里2貫匁	40	4	5	11	2.874	143.7	20	3.178	158.9	15.0	12	18	10	32.5	10.0
全 4貫匁	40	9	1	9	3.026	159.3	21	2.869	136.6	5.0	14	16	10	40.0	15.0
全 6貫匁	40	1	3	10	2.133	152.4	26	4.983	191.5	7.5	17	15	8	35.0	12.5

同 上

試験別	大正8年度	大正7年度	大正6年度	平均	1反歩収量		
	度鬆入歩合	度鬆入歩合	度鬆入歩合		葉重量	根重量	本数
無 窒 素	37.5	17.0	90.0	48.17	204.000	714.750	6000
窒素2貫匁	37.5	38.0	90.0	55.17	194.250	784.650	6000
全 4貫匁	52.5	11.0	50.0	37.83	214.350	803.100	6000
全 6貫匁	37.5	32.0	40.0	36.50	279.300	914.700	6000
無 磷 酸	40.0	34.0	70.0	48.00	255.000	870.450	6000
磷酸2貫匁	7.5	28.0	50.0	28.50	327.150	880.500	6000
全 4貫匁	45.0	39.0	50.0	44.67	275.400	970.050	6000
全 6貫匁	7.5	28.0	40.0	25.17	320.550	993.750	6000
無 加 里	47.5	50.0	30.0	42.50	280.350	875.100	6000
加里2貫匁	50.0	37.0	40.0	42.33	281.850	907.800	6000
全 4貫匁	47.5	36.0	70.0	51.17	303.150	884.250	6000
全 6貫匁	35.0	17.0	30.0	27.33	337.200	1067.400	6000

成績概要 以上ノ成績ヨリ之ヲ見レバ三要素ノ多少ト鬆入トノ關係ハ年ニ依リテ異リ一定ノ成績ヲ見出ス能ハズ尙繼續試驗セントス

4. 甘藷貯藏法試驗 (繼續第2年)

近年本縣ニ於ケル甘藷ノ栽培面積ハ大ニ増加セリト雖モ収獲當時ニ於テハ價格低廉ニシテ冬季ノ候頗ル高價ナルハ本縣ノ氣候寒冷ニシテ貯藏ノ困難ナルニ基因ス故ニ完全ナル貯藏法ノ發見ハ甘藷栽培ノ發達上頗ル重要ナル事項ナルヲ以テ茲ニ貯藏ニ關スル研究調査ヲ施行シタル所以ナリ而シテ本試驗ハ本場ノ貯藏窖ノ外中魚沼郡内數ヶ所ノ貯藏窖ヲ用ヒ本年度ニ於テハ次ノ試驗ヲ施行セリ

- (イ) 品種ト貯藏カトノ關係試驗 (本場)
- (ロ) 収獲期ト貯藏カトノ關係試驗 (本場及中魚沼郡川治村山本)
- (ハ) 處理法ト貯藏カトノ關係試驗 (中魚沼郡水澤村字馬場)
- (ニ) 形狀大小ト貯藏カトノ關係試驗(全 上)
- (ホ) 詰物ト貯藏カトノ關係試驗 (中魚沼郡下船渡村字卯之木)
- (ヘ) 貯藏窖ト貯藏カトノ關係試驗 (中魚沼郡芦ヶ崎村字赤澤, 水澤村馬場, 下船渡村卯之木及十二ノ木, 川治村字山本)

1. 品種ト貯藏カトノ關係試驗 (本場貯藏庫)

本試驗ハ品種ニ依ル貯藏力ノ強弱ヲ知ラントスルニアリ
 供試諸 總テ病虫害ヲ被ラザル完全ナル藷ヲ選ビタリ
 貯藏庫ノ構造 地上ニ方7尺高サ7尺ノ土藏櫓ノモノヲ建テ8寸壁トシ此ノ壁ヨリ2尺ヲ隔テ、丸太ヲ以テ框ヲ作り框ノ内側ニ1尺5寸ノ厚サニ土ヲ堅ク詰メ此ノ土ト壁面トノ間ニ粗穀ヲ約5寸ノ厚サニ詰メ以テ外氣ノ影響ヲ防ギタリ
 詰方 貯藏庫下部ハ石礫ヲ敷キ其上ニ藷ヲ3寸更ニ粗穀ヲ1寸ノ厚サニ敷キ藷ヲ並ベタリ而シテ藷ト藷ノ間ニハ一層毎ニ粗穀ヲ詰タリ

試驗區別及成績

品 種 名	貯藏前		貯藏後		完全藷		腐 敗 藷		1個平均重量			
	總個數	總重量	總個數	總重量	個數	重量	個數	重量	貯藏前	貯藏後		
紅 赤	25	1,000	25	914	16	589	6	278	3	047	40.0	36.4

川 越 赤	28	1,000	28	.818	25	.754	—	—	2	.056	35.7	27.8
八 幡 輻	16	1,000	16	.738	5	.238	6	.372	5	.128	62.5	46.1
屋 久 島	20	1,000	20	.891	20	.891	—	—	—	—	50.0	44.6
栗 藷	21	1,000	21	.906	17	.696	4	.210	—	—	47.6	43.2
紫 藷	42	1,000	42	.826	18	.377	13	.325	9	.093	23.8	19.7
蔓 無	19	1,000	19	.767	15	.628	4	.139	—	—	52.6	43.6
金 時	25	1,000	25	.837	23	.780	1	.040	1	.017	40.0	33.5
石川縣產金時	16	1,000	16	.852	16	.820	1	.032	—	—	62.5	53.1
三 洲	13	1,000	13	.852	13	.852	—	—	—	—	76.9	65.5
紅 藷	10	1,000	10	.861	9	.780	1	.081	—	—	100.0	86.1
千 葉 赤	25	1,000	25	.814	25	.814	—	—	—	—	40.0	32.5
チ ヤ ホ	11	1,000	11	.830	11	.830	—	—	—	—	96.9	75.5

備考 鼠害ヲ受ケタフルノ川越赤ニ於テ1個8匁紫藷ニ於テ2個31匁

腐敗藷中食用ニ堪フルモノトハ藷ノ尖端約4分1ニ止マリ4分3ハ食用ニ堪フルモノナ云フ
 成績概要 以上ノ成績ニ於テ良好ナルモノハ大正7年度ノ良好ナルモノト略品種ヲ同一ニシ即チ三洲, 屋久島, 石川縣產金時, 金時等トシ新加入品種トシテハ千葉赤, チヤボヲ良好トス就中貯藏力良好ナラザルハ八幡, 紫藷等ナリ而シテ紅赤, 川越赤, 蔓無, 栗藷等ハ前年度ト稍成績ヲ異ニシタルモ貯藏ニ對シテハ中庸ノ品種ト見做サル、モ試驗ヲ繼續スルノ必要アリ

ロ. 収獲期ト貯藏カトノ關係試驗 (本場貯藏庫)

本試驗ハ甘藷ノ収獲期ト貯藏カトハ如何ナル關係アルヤヲ知ラントスルニアリ

供試品種 紅赤種

貯藏法 各區共石油箱中ニ粗穀ヲ層積シ本場貯藏庫中ニ貯藏ス

貯藏庫構造 品種ト貯藏力關係試驗ノモノニ同ジ

試驗區別及成績

第一區10月1日収獲貯藏セルモノ

試 驗 別	貯 藏 前		貯 藏 後		完 全 藷	
	總個數	總重量	總個數	總重量	個 數	重 量
丸 形	10	.792	10	.575	1	.080
大 形	20	1.020	15	.611	1	.039
中 形	20	.624	全部腐敗	シ泥狀ナ呈	シ秤量シ	得ズ
小 形	15	.343	全	上	—	—
平 均	—	—	—	—	—	—

同 上

試 験 別	腐 敗 諸				鼠 害		1ヶ平均		腐 敗 歩 合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個数	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個数	重量	個数	重量						
丸形	1	.050	8	.445	—	—	77.2	57.6	6.32	56.19
大形	4	.188	6	.224	4	160	51.0	38.0	18.43	21.96
中形	—	—	—	—	—	—	31.2	—	—	100.00
小形	—	—	—	—	—	—	17.1	—	—	100.00
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	6.19	69.54

備考 丸形トハ圓形ノモノ大形中形小形トハ品種固有ノ形状ノ大中小ナリ
鼠害ヲ受ケタルモノハ腐敗セズ

第二區10月10日収穫貯藏セルモノ

試 験 別	貯 藏 前		貯 藏 後		完 全 諸	
	總個数	總重量	總個数	總重量	個数	重量
丸形	10	.925	10	.764	8	.588
大形	20	1.030	20	.848	16	.711
中形	20	.624	20	.547	13	.360
小形	15	.343	15	.233	5	.089
平均	—	—	—	—	—	—

同 上

試 験 別	腐 敗 諸				鼠 害		1ヶ平均		腐 敗 歩 合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個数	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個数	重量	個数	重量						
丸形	2	.176	—	—	—	—	92.5	76.4	19.02	—
大形	4	.137	—	—	—	—	51.5	42.4	13.30	—
中形	7	.187	—	—	—	—	31.2	27.4	29.97	—
小形	—	—	7	.111	3	33	17.1	15.5	—	32.23
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	15.57	8.06

備考 鼠害ヲ受ケタルモノハ残りハ腐敗セズ

第三區10月20日収穫貯藏シタルモノ

試 験 別	貯 藏 前		貯 藏 後		完 全 諸	
	總個数	總重量	總個数	總重量	個数	重量
丸形	10	.927	10	.735	4	.312
大形	20	1.172	14	.716	3	.160

同 上

試 験 別	腐 敗 諸				鼠 害		1ヶ平均		腐 敗 歩 合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個数	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
個数	重量	個数	重量							
中形	20	.770	—	—	—	—	14	.419	—	—
小形	20	.441	—	—	—	—	—	—	—	—
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

試 験 別	腐 敗 諸				鼠 害		1ヶ平均		腐 敗 歩 合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個数	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個数	重量	個数	重量						
丸形	4	.306	2	.117	—	—	92.7	73.5	33.01	12.62
大形	4	.213	7	.343	6	不明	58.6	35.8	18.17	29.26
中形	3	.106	11	.292	6	内5個不明	38.5	20.9	13.63	37.92
小形	—	—	—	—	—	—	22.0	—	—	—
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	16.20	19.95

備考 貯藏庫ノ最上層ニ在リタル爲メ庫内空氣中ノ水分及甘露ノ呼吸作用ニヨリ生シタル水分
貯藏庫ノ天井裏ニ凝縮水滴トナリテ落下シタル結果腐敗歩合ヲ多クシタリ

第四區10月30日収穫貯藏セルモノ

試 験 別	貯 藏 前		貯 藏 後		完 全 諸	
	總個数	總重量	總個数	總重量	個数	重量
丸形	10	1.280	10	.596	—	—
大形	20	1.630	20	1.359	18	1.264
中形	20	.780	20	.608	11	.340
小形	20	.380	8	.094	3	.043
平均	—	—	—	—	—	—

同 上

試 験 別	腐 敗 諸				鼠 害		1ヶ平均		腐 敗 歩 合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個数	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個数	重量	個数	重量						
丸形	—	—	—	—	10	—	128.0	59.6	—	—
大形	2	.095	—	—	—	—	81.5	67.9	5.83	—
中形	3	.103	6	.165	—	—	39.0	30.4	13.21	21.15
小形	—	—	3	.028	2	23	19.0	11.7	—	7.37
平均	—	—	—	—	12	—	—	—	6.35	9.57

備考 小形ノ鼠害ヲ受ケタル残り2個ハ腐敗セズ

第五區11月10日収穫貯藏セルモノ

試験別	貯蔵前		貯蔵後		完全諸	
	総個数	総重量	総個数	総重量	個数	重量
丸形	10	1,620	9	1,440	7	1,195
大形	20	2,060	17	1,883	12	799
中形	20	810	20	630	15	485
小平	20	410	20	283	15	225
平均	—	—	—	—	—	—

同上

試験別	腐敗諸				鼠害		1ヶ平均		腐敗歩合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個数	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個数	重量	個数	重量						
丸形	2	.245	—	—	1	不明	160.0	160.0	15.12	—
大形	5	.384	—	—	3	全上	103.0	69.5	18.64	—
中形	4	.125	1	.020	—	—	40.5	31.5	15.44	2.47
小平	2	.029	3	.029	—	—	20.5	14.1	7.07	7.07
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	14.04	2.39

第六區11月20日収獲貯蔵セルモノ

試験別	貯蔵前		貯蔵後		完全諸	
	総個数	総重量	総個数	総重量	個数	重量
丸形	10	1,900	10	1,477	8	1,237
大形	20	1,603	20	1,337	16	1,080
中形	20	708	20	590	18	530
小平	20	336	20	279	17	249
平均	—	—	—	—	—	—

同上

試験別	腐敗諸				鼠害		1ヶ平均		腐敗歩合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個数	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個数	重量	個数	重量						
丸形	2	.240	—	—	—	—	190.0	147.7	12.84	—
大形	4	.257	—	—	—	—	80.2	66.8	16.03	—
中形	2	.060	—	—	—	—	35.4	29.5	8.47	—
小平	2	.030	—	—	—	—	16.8	13.9	8.93	—
平均	—	—	—	—	—	—	—	—	11.57	—

成績概要 以上各區ノ試験成績ニヨレバ収獲期最モ遅キ第六區ニ於テ優良

ナル結果ヲ示シ収獲期最モ早キ第一區,第二區ニ於テ其ノ結果不良ナルヲ示ス而シテ其ノ貯蔵力ノ順位ハ數字ノ示ス處ニヨレバ第六區,第四區,第五區,第二區,第三區,第一區ノ順位ナルモ開庫當時ノ目測ニヨレバ第六,五,四,二,三,一區ノ状態ニ置カレタリト觀察セラレタリ而シテ之ヲ前年度成績ニ比較スレバ10月20日以後ノモノニ於テ良結果ヲ得タルハ全然反對ノ結果ナレドモ之ヲ要スルニ其ノ貯蔵力ノ良否ハ降霜降雨等ノ關係ニヨリテ左右セラル、事極メテ大ナリ即チ甘藷ノ貯蔵ハ其ノ収獲期ノ遅クシテ完熟ノ状態ニアルモノ最モ貯蔵力強キガ如ク思惟セラル、モ尙繼續試験セントス

ハ. 所理法ト貯蔵力トノ關係試験 (中魚沼郡水澤村字馬場)

本試験ハ所理法ガ貯蔵ニ如何ナル關係アルヤヲ知ラントスルニアリ

供試品種 紅赤種

貯蔵法 収獲期ト貯蔵力關係試験ニ同ジ

貯蔵管構造 礫質粘土ノ斷崖ニ横穴ヲ穿ツコト12間ニシテ右折シ更ニ3間ヲ穿テ高4尺巾4尺5寸トシタリ

試験區別及成績

試験別	貯蔵前		貯蔵後		完全諸	
	総個数	総重量	総個数	総重量	個数	重量
蔓ヲ切離セルモノ	42	1,500	42	1,243	34	1,030
1尺ノ蔓ヲ附シタルモノ	31	1,500	31	1,159	26	.981
3尺全上	28	1,500	28	1,123	24	1,083

同上

試験別	腐敗諸				鼠害		1ヶ平均		腐敗歩合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個数	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個数	重量	個数	重量						
蔓ヲ切離セルモノ	3	.080	1	.023	4	110	35.7	29.6	5.33	1.53
1尺ノ蔓ヲ附シタルモノ	—	—	—	—	5	178	45.7	37.4	—	—
3尺全上	—	—	—	—	4	40	50.4	40.1	—	—

備考 蔓ヲ切離ストアルハ地下莖ノ細キ部分ヲ切離スルヲ云フ

蔓切離區ノ腐敗ハ地下莖ノ切離部分ヨリ起リタル形跡アリ

成績概要 以上試験ノ結果ニヨレバ1尺及3尺ノ蔓(地下莖ヲ含ム)ヲ附シタルモノニ於テ腐敗ナク諸ト蔓ヲ切離セルモノニ於テ腐敗歩合ヲ多クシタリ尙ホ繼續試験セントス

ニ. 形狀大小ト貯蔵力トノ關係試験 (中魚沼郡水澤村字馬場)

本試験ハ甘藷ノ大小形状ガ貯藏ニ如何ナル關係アルヤヲ知ラントスルニアリ

供試品種 紅赤種

貯藏法 石油箱ヲ用ヒ籾殻ト層積シ貯藏ス

貯藏室構造 處理法ト貯藏力關係試験ノモノニ同ジ

試験區別及成績

試験別	貯藏前		貯藏後		完全諸	
	總個數	總重量	總個數	總重量	個數	重量
丸形	30	1.660	30	1.453	29	1.398
長形	30	1.000	30	.843	22	.620
大形	30	2.310	30	2.299	27	2.054
中形	30	1.390	30	1.241	23	.963
小形	30	.821	30	.500	5	.111

同上

試験別	腐敗諸				鼠害		横徑平均	縦徑平均	腐敗歩合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個數	重量			食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個數	重量	個數	重量						
丸形	—	—	1	.065	—	—	1.64	4.81	—	3.31
大形	8	.223	—	—	—	—	1.07	9.73	23.30	—
中形	3	.244	—	—	—	—	1.74	6.12	10.56	—
小形	5	.205	2	.073	—	—	1.41	5.52	14.68	5.23
平均	—	—	15	.327	10	.62	1.11	4.49	—	39.85

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ貯藏力強キハ丸形區ニシテ之ニ次グハ大、中兩區ナリ而シテ長形、小形ノ兩區ハ最モ結果良好ナラズ尙ホ繼續試験セントス

ホ 詰物ト貯藏力トノ關係試験 (中魚沼郡下船渡村字卯之木)

從來本縣ノ甘藷ノ貯藏ニハ普通詰物ヲ用ヒザレドモ關東地方ニ於テハ籾殻ヲ用ヒテ完全ニ貯藏セラル、ヨリ見レバ詰物ノ有無及其ノ種類ガ貯藏力ト關係アルモノ、如シ依ツテ如何ナル詰物ヲ最良トナスカヲ知ラン爲メ此試験ヲ行ハントス

供試品種 紅赤種病虫害ヲ被ラザル完全ノモノニシテ大サ中等大ノモノヲ選ビタリ

貯藏室構造 屋内床下ニ深サ9尺ニ堀込ミ之ヨリ横ニ1.5立方坪ニ室ヲ穿テ

此ノ室内ヲ藁束ヲ以テ8區ニ等分シタリ
詰方 最初藁ヲ敷キ詰物ヲ2—3寸ノ厚サニ敷キ其ノ上ニ甘藷ヲ一層ニ並列シ更ニ1寸程詰物ヲ入レ又甘藷ヲ並ベ斯クシテ最上層ハ詰物3寸程入レ其儘トス

試験區別及成績

試験別	貯藏前		貯藏後		完全諸	
	總個數	總重量	總個數	總重量	個數	重量
無詰物	45	2.000	45	1.767	37	1.517
籾殻	47	2.000	47	1.915	42	1.777
籾屑	47	2.000	47	2.026	47	2.026
石灰	59	2.000	59	2.303	55	2.134
砂	59	2.000	59	2.307	59	2.307
稗殻	56	2.000	56	1.957	48	1.856
切藁	52	2.000	52	1.882	51	1.856
藁	50	2.000	50	1.446	6	.049

同上

試験別	腐敗諸				鼠害		1ヶ平均		腐敗歩合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個數	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個數	重量	個數	重量						
無詰物	—	—	—	—	8	250	44.4	39.3	—	—
籾殻	—	—	—	—	5	138	42.5	47.4	—	—
籾屑	—	—	—	—	—	—	42.5	43.1	—	—
石灰	—	—	4	.169	—	—	33.6	39.0	—	8.45
砂	—	—	—	—	—	—	33.9	39.1	—	—
稗殻	—	—	—	—	8	200	39.9	34.9	—	—
切藁	—	—	1	.016	—	—	38.4	36.2	—	.80
藁	—	—	44	1.397	—	—	40.0	28.9	—	69.90

備考 鼠害ヲ受ケタルモノハ腐敗セズ

成績概要 以上試験ノ結果其ノ成績ニ於テ籾殻、糶殻、切藁、無詰物ノ各區良結果ヲ得タリ他區ニ於テモ腐敗セザルモノアレドモ一般ニ其ノ状態極メテ不良ナリ尙ホ試験ヲ繼續セントス

ハ 貯藏室ト貯藏力トノ關係試験 (中魚沼郡及本場)

本試験ハ貯藏室構造ガ其ノ貯藏力ニ及ボス影響極メテ大ナルヲ以テ各種構造ノ室ニ付キ其ノ關係ヲ知ラントスルニアリ

供試品種 紅赤種總テ病虫害ヲ被ラザル中等大ノモノヲ選ビタリ

貯藏窖構造

水澤村貯藏窖 礫質粘土ノ斷崖ニ横穴ヲ穿ツコト12間ニシテ右折シ更ニ3間ヲ穿チ又其ノ反對側ニ此ノ穴ヨリ3間ニシテ左折シ4間ノ穴ヲ穿チ高サ4尺巾4尺5寸トシタリ

川治村貯藏窖 屋内爐端ニテ巾4尺長サ6尺深サ5尺ノ穴ヲ穿チ穴ノ上部ハ板ヲ以テ被ヒ其ノ上ニ藁ヲ敷キ更ニ藁ヲ敷キタリ

下船渡村卯之木貯藏窖 屋内爐端ニテ3尺平方深サ7尺ノ穴ヲ堀リ下ゲ更ニ横ニ8尺巾5尺高サ7尺ノ穴ヲ穿ツ其窖ノ入口上端ハ板ヲ以テ被ヒ藁ヲ敷キ更ニ藁ヲ敷キタリ

下船渡村十二ノ木貯藏窖 露地ノ高燥ナル赤色粘土地ニ於テ巾4尺5寸深サ7寸長サ6尺ノ淺キ穴ヲ穿チ更ニ其ノ淺穴内ニ巾3尺2寸長サ5尺深サ2尺ノ穴ヲ穿ツ即チ2段堀ノ形式ヲトリタリ而シテ貯藏後ハ丸太又ハ板ヲ以テ其ノ小穴上ニ渡シ其ノ上ニ藁ヲ敷キ其ノ上部ハ土ヲ積ミテ蒲鉾形トナシタリ

芦ヶ崎村赤澤貯藏窖 屋内床下ニ3尺平方深サ9尺ノ穴ヲ堀リ下ゲ更ニ横ニ1.5立方尺ノ穴ヲ穿チ入口穴ト貯藏窖ノ間ニ板戸ヲ設ク而シテ入口穴ノ上部ハ板ヲ敷キ其ノ上部ハ床張リトス

本場貯藏窖 地上ニ方7尺高サ7尺ノ土藏様ノモノヲ建テ8寸厚サノ壁トシ此ノ壁ヨリ2尺ヲ隔テ丸太ヲ以テ框ヲ作り框ノ内側ニ1尺5寸ノ厚サニ土ヲ堅ク詰メ此ノ土ト壁面トノ間ニ粗穀ヲ約5寸ノ厚サニ詰メ以テ外氣ノ影響ヲ防ギタリ而シテ其ノ入口ノ巾ハ2尺トシ貯藏後ハ板ヲ下シ蓋ノ出來得ル如ク裝置シ其ノ上部ハ土ヲ積ミテ外氣ノ影響ヲ防ギタリ

試驗區別及成績

甲 粗穀ヲ以テ貯藏シ窖ノ比較ヲナシタルモノ

試驗別	貯藏前		貯藏後		完全諸	
	總個數	總重量	總個數	總重量	個數	重量
水澤村窖	53	1,500	49	1,137	43	1,012
川治村窖	40	1,340	40	1,078	21	.636
下船渡村卯ノ木窖	47	2,000	47	1,915	42	1,777
全村十二ノ木窖	257	10,000	全部腐敗	泥狀ヲ呈シ	秤量シ得ズ	
芦ヶ崎村窖	100	3,000	100	2,509	67	1,915
本場庫	25	1,000	25	.881	16	.586

同上

試驗別	腐敗諸				鼠害		1ヶ平均		腐敗歩合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個數	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個數	重量	個數	重量						
水澤村窖	4	.054	—	—	2	71	28.3	23.2	3.60	—
川治村窖	14	.356	5	.086	—	不明	33.5	27.9	26.57	5.41
下船渡村卯ノ木窖	—	—	—	—	5	138	42.6	40.7	—	—
全村十二ノ木窖	—	—	—	—	—	—	38.9	—	—	100.00
芦ヶ崎村窖	16	.329	17	.255	—	—	30.0	25.1	10.97	8.50
本場庫	6	.248	3	.047	—	—	40.0	34.7	24.80	4.70

備考 鼠害ヲ受ケタルモノハ腐敗セズ尙ホ水澤村貯藏窖ニテ「鼠害ノ4個不明」トアルハ鼠害サレタルモノニシテ痕跡ナシ

乙. 詰物ヲ用ヒズシテ貯藏シ比較ヲナシタルモノ

試驗別	貯藏前		貯藏後		完全諸	
	總個數	總重量	總個數	總重量	個數	重量
水澤村	69	1,500	33	.294	9	.152
川治村窖	20	1,000	20	.711	1	.042
下船渡村卯ノ木窖	45	2,000	45	1,767	37	1,517
全村十二ノ木窖	100	3,100	全部腐敗シ	泥狀ヲ呈シ	秤量シ得ズ	
芦ヶ崎村窖	129	4,000	全	上		

同上

試驗別	腐敗諸				鼠害		1ヶ平均		腐敗歩合	
	食用ニ堪フ		食用ニ堪ヘズ		個數	重量	貯前	貯後	食用ニ堪フ	食用ニ堪ヘズ
	個數	重量	個數	重量						
水澤村窖	—	—	10	.142	14	皮殘	21.9	8.9	—	9.40
川治村窖	4	.133	15	.536	36	不明	50.0	35.6	13.30	53.60
下船渡村卯ノ木窖	—	—	—	—	8	250	44.4	39.3	—	—
全村十二ノ木窖	—	—	—	—	—	—	31.0	—	—	100.00
芦ヶ崎村窖	—	—	—	—	—	—	31.0	—	—	100.00

備考 水澤村貯藏窖ノ試驗物ハ容内土砂ノ崩壞シタル下敷トナリタル結果腐敗シタルモノニシテ之ト同時ニ別ニ同窖内ニテ位置ヲ變シ貯藏シ置キタル5貫匁ハ土砂崩壞ヲ免レタル爲腐敗ナシ
水澤村貯藏窖ニテ「鼠害14ヶ皮殘」トアルハ鼠害ヲ受ケタルモノ各個ノ皮部ノ殘シアリタルニヨリ記載シタルナリ

成績概要 以上試驗ノ成績ニヨレバ各貯藏窖ニ於テ粗穀ヲ以テ貯藏セルモノ

ノ、内ニテ成績良好ナルハ下船渡村卯之木貯藏窖、水澤村貯藏窖ニシテ之ニ次グハ芦ヶ崎村貯藏窖、本場貯藏窖、川治村貯藏窖ナリ然レドモ目測ニヨレバ貯藏後ノ諸ノ状態ハ本場貯藏窖ノモノ最モ成績佳良ナリ又詰物ヲ用ヒズシテ貯藏窖ノ比較ヲナシタルモノ、内ニテ成績良好ナルハ下船渡村貯藏窖之ニ次グハ水澤村貯藏窖ニシテ其他ハ概シテ成績良シカラズ而シテ水澤村貯藏窖ハ理論上最モ成績良好ナルベキニ第二位ニアルハ貯藏窖ノ構造即チ高サ巾等大ナル爲メ窖内温度及湿度ニ關係アルモノ、如シ尙ホ横穴ノ大小形状ニツキテハ更ニ研究シ重ネテ報告スル機會アラン又本試験ハ漸次一ヶ所ニ集メ試験ヲ繼續セントス

5. 結球白菜肥料試験 (繼續第2年)

本試験ハ普通追肥トシテ使用セラル、下記5種ノ肥料中何レガ最モ經濟的ナルカラ知ルト共ニ品質及病虫害ニ對スル影響ヲモ併セ知ラントスルニアリ

供試品種 金州
前作物 葱頭

試験區別成績

肥料名	總量	原肥	追肥					價格	三要素量		
			1回	2回	3回	4回	5回		窒素	磷酸	加里
人糞尿	550.000	50.000	100.000	100.000	100.000	100.000	100.000	16.500	3.430	2.694	1.750
米糠	233.200	21.200	42.400	42.400	42.400	42.400	42.400	55.967	4.788	8.988	1.430
油粕	78.210	7.110	14.220	14.220	14.220	14.220	14.220	31.284	4.280	1.800	.961
硫酸アンモニア	20.350	1.850	3.700	3.700	3.700	3.700	3.700	27.472	3.882	-	-
智利硝石	27.720	2.520	5.040	5.040	5.040	5.040	5.040	22.176	4.086	-	-

備考 施肥總量ハ含有窒素量ヲ以テ定ム、第1回追肥ハ9月5日、第2回ハ9月12日、第3回ハ9月25日、第4回ハ10月5日、第5回ハ10月15日トス

成績

(1) 生育狀況

肥料名	播種期	發芽當時ノ狀況		播種1ヶ月後ノ狀況		備考		
		發芽期	整否	色澤	整否		色澤	
人糞尿	8.19	8.22	整	綠	稍整	綠	1.05	9月5日頃迄ハ各區共野

米糠	油粕	硫酸アンモニア	智利硝石	整	綠	稍整	綠	1.03	1.03
8.19	8.22	8.22	8.22	全	全	全	全	.91	1.07

虫ノ爲メ1區ノ半ハ萎縮シ殆ンド生育ノ見込ナカリシモ、移植ト共ニ移植チ行ハタル結果本調査期ニハ既ニ勢力恢復シツ、アリ

(2) 収穫

試験別	被病歩合	收穫當時ノ狀況		収量		前年度収量		累年平均収量	
		一般狀況	重量	個數	重量	個數	重量	個數	
人糞尿	19%	モクフノ被害ヲ蒙リ腐敗病ニ罹ルモノ多シ	1542.500	4400	1361.000	2550	1451.750	3475	
米糠	3%	色澤シク肥不足ノ狀ヲ呈ス	1938.250	5000	893.050	2500	1415.650	3750	
油粕	3%	一般綠色濃緑ナレドモ比較的不整ノ發育ナリ	1927.000	4850	912.000	2150	1419.500	3500	
硫酸アンモニア	4%	生育不揃ナリ、然レドモ前年ヨリ良好ナルハ焼土法ヲ施シタルタメ灰ヲ加用シタルト同機酸性ヲ中和シタルニヨルナラン	1673.000	4650	1082.000	2800	1382.500	3750	
智利硝石	2%	全上	2047.350	5350	867.300	3000	1457.325	4175	

成績概要 以上ノ成績ニ依レバ腐敗病ノ被害ハ人糞尿最モ多ク智利硝石最少ナリ収量ハ年々區々ニシテ一定セザレドモ智利硝石、人糞尿、油粕、米糠、硫酸ノ順次ナリ尙本試験ハ繼續施行セントス

6. 甘藍結球歩合ト土砂トノ關係試験 (新設)

甘藍ノ結球歩合ハ苗ノ良否ニ關係スル事大ナリ而シテ最モ結球シ易キ良苗即チ節間ノ短キ開張性ヲ有スル堅實ナル苗ヲ得ルニハ移植ノ回數及施肥等ハ勿論又土性ト大ナル關係ヲ有スルモノ、如シ依ツテ土砂ヲ土壤ニ混合シ並土性ヲ改良スルニヨリ甘藍ノ結球ニ及ボス影響ヲ調査研究センガ爲メ本試験ヲ施行セリ

試験區別及成績

(1) 生育狀況

試験別	定植當時ノ狀況4月28日				定植30日後ノ狀況5月28日							
	草勢	整否	色澤	草丈	草勢	整否	色澤	草丈	本葉數	本葉開張	病株	
無砂土	強	整	濃綠	5.10	無	強	整	濃綠	9.25	11.3	13.50	無
坪2升區	全	稍整	全	5.60	全	全	稍整	全	9.56	12.3	13.05	全
坪4升區	全	整	全	5.00	全	全	整	全	8.38	11.0	13.20	全
坪6升區	全	全	全	5.10	全	全	全	全	7.12	10.8	11.34	全

坪 8 升 區	強	整	濃綠	4.90	無	強	帶整	濃綠	6.12	11.6	11.85	無
坪 1 斗 區	全	全	綠	5.30	全	全	整	全	6.99	11.0	10.35	全
坪 1 斗 2 升 區	全	全	全	4.60	全	全	全	全	7.10	11.0	10.42	全
坪 1 斗 4 升 區	全	全	全	4.90	全	全	全	全	7.45	10.3	11.75	全
坪 1 斗 6 升 區	稍強	全	全	4.50	全	全	全	全	6.93	8.9	12.54	全
坪 1 斗 8 升 區	全	全	全	4.10	全	全	全	全	8.30	9.1	11.25	全
坪 2 斗 區	全	全	全	4.30	全	全	稍整	全	7.31	9.7	10.70	全

備考 砂土ハ各區共所定ノ量ヲ表土ト攪拌混合セルモノナリ

(2) 収 穫

試験別	大ノ部600匁以上		中ノ部400匁以上		小ノ部400匁以下		合 計		不結球株	腐敗病株	破裂株	最大株	最小株
	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數					
無 砂 土	311.500	450	287.500	600	180.250	550	779.250	1600	25	125	25	800	110
坪 2 升 區	407.000	600	702.500	1100	361.000	1400	1470.500	3100	25	—	—	750	190
坪 4 升 區	263.000	300	1101.000	2000	289.000	900	1653.000	3200	25	25	—	775	280
坪 6 升 區	549.000	800	407.000	300	414.000	1500	1370.000	3200	50	75	25	775	120
坪 8 升 區	665.000	100	1219.000	2500	222.000	800	1507.500	3400	—	50	—	665	200
坪 1 斗 區	255.000	400	1009.000	2400	220.000	700	1484.000	3500	—	25	—	715	215
坪 1 斗 2 升 區	265.000	400	940.000	2000	245.000	1000	1450.000	3400	—	25	—	760	140
坪 1 斗 4 升 區	722.000	1100	603.000	1300	356.000	1100	1681.000	3500	—	25	—	860	240
坪 1 斗 6 升 區	623.000	800	926.000	1900	223.000	700	1772.000	3500	—	25	—	790	240
坪 1 斗 8 升 區	463.500	700	542.500	1100	535.000	1700	1541.000	3500	—	25	—	950	260
坪 2 斗 區	661.000	900	600.000	1300	305.000	1000	1567.000	3200	—	100	—	940	125

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ1斗4升乃至1斗8升區ノ成績優良ナルヲ知ルベシ殊ニ最小球ノ重量他ニ比シ極メテ大ナルヲ見ル砂土少ナキ區ニアリテハ不結球株ヲ生ジタルノミナラズ最大最小球ノ重量ノ少ナキヲ知ルベシ之ニ依リテ見レバ苗床ハ土砂ノ多キヲ以テ良好ナルコトヲ察知シ得ベシ

7. 葱 種 子 試 験 (新設)

葱ノ種子ハ花球ニ着生スル部分ニヨリ開花成熟ニ遲速アルガ如シ從ツテ其ノ部分ニヨリ生育抽葖収穫期及収量ニ影響ヲ及ボスモノト思惟セラルハヲ以テ本試験ヲ施行セリ

耕種梗概 本場耕種標準ニ依ル

試験區別及成績

(1) 生 育 状 况

試験別	發芽當時ノ狀況			定 種 營 時 ノ 状 况							
	發芽期	整否	色澤	草勢	整否	色澤	分蘖力	草丈	抽葖時期及歩合	一般生育狀況	
花球上半部	10.18	不整	淡綠	稍真	稍整	綠	無シ	1.086	無シ	稍真	
花球下半部	10.18	整	全	不整	不整	黃綠	全	1.092	5月下旬ヨリ6月上旬迄ノ間1%	不真	

備考 發芽當時ハ下半部ハ上半部ニ比シ生育甚ガ良好ニシテ發芽歩合ノ如キ上半部ハ約5割ニ過ギザシモ下半部ハ殆ンド10割ノ割合ナリキ

(2) 収 穫

試験別	収 獲 期	重 量
花球上半部	11.17	960.000
花球下半部	11.17	871.879

成績概要 以上ノ結果ニヨレバ花球上半部ノ種子ヲ用ヒタルモノ収量多ク下半部ヲ用ヒタルモノ其ノ収量少ナキヲ知ル尙ホ試験ヲ繼續セントス

育種研究ニ關スル試験

第一果 樹

1. 果 樹 見 本 園

獎勵品種以外ノ梨樹ヲ栽培シ各品種ノ特徴ヲ調査シ新品種育成ノ材料ニ供セントスルヲ目的トス

位置面積 號外地 2畝12歩

栽培距離・整枝法及品種

種 類	距 離	種 類	距 離
カンテラアル整枝	尺 4	バルメツトホリゾンタル	尺 6
ベリエーバルメツト	6	コルドンオブリキュ-	2
バルメツトオブリキュ-	6		

品 種

種類	本数	種類	本数
カ ル モ ル ツ ウ	2	上 旭 梨	2
ラ フ ラ ン ス	2	力 獨 乙	2
ホ ー レ ー ア ー ガ ー	2	春 木 野	2
プ レ コ ー ス	2	大 古 河	2
クラツアスフエボリツト	2	平 ノ 子	2
ドワイアマンヤペール	2	日 上 花	2
ホ ー レ ー ガ ー ル	2	伯 帝 龍	2
ルイボンズセルシー	2	市 原 早 生	2
ウイカスウヰンクロールド	2	谷 衣 通 渡	2
ウイスターネリス	2	今 村 秋	2
ナボレオン	2	廿 世 紀	2
ドワイヤンズコムス	2	吾 妻 錦	2
フレミツシユビウデー	2	奥 六	2
ロ ー レ ン ス	2	早 生 赤	2
世 界 一	2		
大 廣 丸	2		
日 ノ 丸	2		
雅 梨	2		

生育概要 冬季凍害及雪ノ機械的傷害ヲ受ケタルモノ頗ル多ク、融雪時ニ於テハ線金切斷ノ爲メ之ニ結付セル枝條ノ傷折頗ル多カリシガ直ニ改植又ハ支柱ノ修理ヲ行ヒ春肥トシテ人糞尿ヲ1升宛施シ發生セル新梢ハ誘引ヲ行ヒ整枝ノ完全ニ努メタリ

2. 砧木見本園

果樹苗木ニ使用スル各種砧木ヲ植栽シ一般ニ示スト同時ニ其ノ特性ヲ調査シ又之ヲ施シテ砧木研究ヲ行ハントスルヲ目的トス
位置面積 號外圃 1畝歩

種類	本数	種類	本数
リバリヤルバストリス	1	バ ラ シ 一	1
山 葡 萄	1	楯 梓	1

ドフオンテニュー	1	山 櫻	1
山 梨	1	枝 垂 櫻	1
野 生 梨	1	マ ハ レ ア	1
三 葉 海 棠	1	粘 櫻	1
九 葉 海 棠	1	豆 柿	1
ズ ー サ ン	1	李	1

3. 果樹試作

普通試験ノ外次記ノ種類ヲ栽植セリ

- 無花果 セントジョーン 5本
サンベテロホワイト 3本

前年度マデハホワイトゼノアヲ栽培セシモ積雪中ニ於テ野鼠ノ爲メ全部皮部ヲ嚙ミ喰ハレ全滅セリ依テ本春前2種ヲ改植セリ

- 胡 桃 姫胡桃 3本
- 須具利類 總須具利 8株

4. 苗圃

果樹苗木ノ配布ヲ行ハントスル之レガ養成ヲ行フト同時ニ砧木ニ關スル試験研究ヲ行ハントスルヲ目的トス
位置面積 苗圃 2畝歩
養成數量

種類	本数	種類	本数
砧 木 柿	10,000	苗 木 葡 萄	1,000
全 桃	500	全 櫻 桃	100
苗 木 桃	150		

5. 歐洲葡萄品種特性調査

本縣ニ於ケル歐洲葡萄ノ露地栽培ハ近時盛大ノ域ニ向ヒツ、アルモ果シテ如何ナル品種ガ適當セルヤヲ試験セントシ特性調査ヲ施行セントシ北蒲原郡築地村佐藤佐忠次氏模範果樹園ニ就キテ調査セルモノ次ノ如シ

調査事項及品種名	カワラフレッツ	シヤスラーローズ	スキートウスター	フォスターシードリンク
發芽期	4月20日	4月23日	4月25日	4月25日
幼芽ノ色	赤褐色	淡黄赤色	淡黄色	淡黄色
開花初期	6月10日	6月17日	6月15日	6月15日
開花終期	6月15日	6月25日	6月25日	6月20日
一結果枝上ノ果房數	1-2個	2-3個	2-3個	2個
果穗着成位置	第4,5節	第4,5,7節	第3,4,6節	第4,5節
收穫初期	8月15日	9月1日	9月5日	9月5日
收穫終期	本種ハ全樹ノ成熟期ニ整ナリ	9月10日	9月20日	9月15日
一房ノ重量	80匁	50匁	50匁	120匁
一房ノ長さ及幅	長さ6寸幅5寸	8寸3寸	7.5寸2.5寸	8.3寸
粒ノ形状及大小	圓形中	圓形中ノ小	圓形小	楕圓中
全色澤及重量	淡黄0.8匁	淡赤0.65匁	淡黄0.6匁	淡黄微細ナル黒色ノ斑點アリ
粒粉ノ多少	中	少	少	少
粒着ノ粗密	稍密	稍密	密	極密
一本平均収量	1貫500匁	1貫500匁	1貫500匁	2貫000匁
反當収量及収益	不明	不明	不明	不明
枝ノ強弱	強(但シ細シ)	強シ	強シ(但シ伸長力鈍シ)	強シ
葉ノ形状,色澤,裏毛ノ有無	中形,濃綠色,裏毛アリ	中形,綠,裏毛ナシ	小形,綠,裏毛ナシ	中形,綠,裏毛ナシ
病虫害ニ對スル抵抗力	炭疽病ニ弱シ其他ノ抵抗力強シ	抵抗力強シ	抵抗力強シ	炭疽病ニ弱シ
果實ノ風味	甘味強ク多漿	甘味中,多漿	甘味中,多漿	甘味稍強シ
貯藏力	成績ナシ	成績ナシ	成績ナシ	成績ナシ
品質	上	中ノ上	中ノ上	上ノ下
得失	早熟ニシテ品質ヨシ,果皮薄ク,房形不整ナリ	早生ニシテ外觀美ナレドモ小粒ニシテ甘味稍乏シ	粒小形ナルチ缺點トス	粒着密ニスガ缺點アリ

備考 カワラフレッツシユハ北海道ニテハアドリアジャント稱ス 株間ハ一間半

調査事項及品種名	ブラックハンブルク	龍眼	ゴールデンクイン	ゴールデンチヤムピオン
發芽期	4月25日	5月1日	4月25日	5月1日
幼芽ノ色	淡黄色	—	淡黄色	淡黄色
開花ノ初期	6月20日	7月1日	6月10日	6月25日
開花ノ終期	6月28日	7月5日	6月20日	7月3日
一結果枝上ノ果粒	2個	2個	2個	2個
果穗着成ノ位置	第5,6節	第5,6節	第4,5節	第4,5又ハ4,6節

收穫初期	9月5日	9月20日	9月25日	10月15日
收穫終期	10月5日	—	10月10日	10月25日
一房ノ重量	100匁	100匁	150匁	120匁
一房ノ長さ及幅	長さ6寸幅3寸5分	5寸4寸	8寸4寸	6寸4寸
粒ノ形状及大小	稍扁圓形大	圓形中	楕圓形大	圓形中果
全色澤及重量	黒色1.0匁	淡赤色ノ不規則的縱縞ヲ有スル黄色	黄緑, 1.2匁	綠黄0.8匁
粒粉ノ多少	多シ	少シ	少シ	中
粒着ノ粗密	極密	中	中	中
一本平均収量	2貫000匁	不明	2貫700匁	1貫500匁
反當収量及収益	300貫	全	400貫	—
枝ノ強弱	強シ	—	強シ	強シ
葉ノ形状,色澤,裏毛ノ有無	中形,淡緑,裏毛ナシ	小形,濃緑,裏毛ナシ	大形,綠色,裏毛厚シ	小形,綠,裏毛無シ
病虫害ニ對スル抵抗力	萎黄病,炭疽病ニ弱シ	抵抗力強シ	炭疽病,白齋病,晚腐病ニ弱シ	炭疽病ニ頗ル弱シ
果實ノ風味	甘味強ク肉質多漿ニシテ淡白	甘味稍乏シク多漿ニシテ淡白	甘味中,微ナル芳香アリ	甘味稍乏シ酸味稍強シ
貯藏力	強シ	不明	強シ	不明
品質	上	中ノ上	上ノ下	中
得失	甘味強ク,貯藏性ニ富ム	収量稍少シ	樹勢旺盛豊産ナレドモ甘味稍乏シキ缺點アリ	収量乏シク病虫害ニ對スル抵抗力弱シ

備考 ゴールデンクインハ免疫性砒木ニ接木セルモノ

反當支出計算書

1. 人夫賃 126圓 但男1人1.50圓 女1人1.00圓

内 譯

冬季剪定人夫	男2人
主枝結果枝結束人夫	男3人
夏季剪定人夫	男4人 女3人
施肥人夫	男5人 女5人
耕耘人夫	男2人
除草人夫	女4人
病虫害驅除豫防人夫	男3人
摘果人夫	女10人
袋掛人夫	女6人
収穫人夫	男8人

荷造運搬人夫	男15人 女15人
其他	男10人 女5人
2. 肥料代金 69.90圓	
内	譯
泥土(20車)	9.00圓
硫安(18貫700匁)	24.00圓
大豆粕(21貫)	9.00圓
特製過磷酸石灰(27貫700匁)	16.60圓
硫酸加里(11貫)	11.00圓
3. 袋代(官報6貫600匁製作費共)	10.60圓
4. 藥劑代金(硫酸銅1貫500匁, 石灰, 亞硫酸其他)	4.00圓
5. 荷造材料(函200個, 繩, 粉殼其他)	25.00圓
6. 修繕費其他	20.00圓
支出總計	255.50圓

備考 供試品種ハブラックハンブルク6年生反當150本植

第二 蔬 菜

1. 節成胡瓜品種比較試験

各府縣ニテ優良品種ト稱セラル、數種ノ節成種ヲ試作シ從來本縣ニ最モ適セリト思惟サレタル刈羽節成ト比較試験セントスルニアリ

定植當時ノ生育次ノ如シ

品 種 名	整否	色澤	草丈	木葉數	剛柔	雌花着有無	病害多少	備 考
刈羽節成	稍整	綠	8	4	柔	有	多	節間遠ク軟弱ニシテ病害ニ罹ルモノ多シ
金澤節成	整	濃綠	4	4	剛	無	少	節間近ク最モ強健ナリ
針ヶ谷節成	稍整	綠	9	4	柔	有	稍多	節間甚ダ長ク軟弱
青長針ヶ谷	整	濃綠	3	4	剛	無	全	金澤ニ酷似シ節間近ク比較的強健

収獲成績次ノ如シ 但1段歩當リ

収 穫 量

品 種 名	試験坪數	個 數	重 量	反 當		備 考
				個 數	重 量	
金澤節成胡瓜	18	985	59.966	49250	999.432	収獲ハ6月下旬ヨリ

針ヶ谷節成胡瓜	6	194	12.436	9700	621.800	八月中旬ニ亙ル
青長針ヶ谷節成胡瓜	12	563	33.545	14050	838.625	
刈羽節成胡瓜	12	1165	67.399	29125	1684.975	

成績概要 右ノ成績ニヨレバ刈羽節成胡瓜最モ成績良好ニシテ之ニ次グハ金澤節成胡瓜ナリトス

2. 茄子品種比較試験

目 的 從來試験ノ結果優良ト認メラレタル品種及未ダ無試験ノ新品種ニツキ比較試験ヲ行ハントス

試験別及生育狀況次ノ如シ

定植當時ノ狀況

品 種 名	播種期	發芽期	草勢	草丈			葉柄長	莖直徑	開花當時ノ狀況			
				寸	寸	寸			草勢	草丈	分蘗力	開張性
中生山茄	3.19	4.10	強	6.3	5.9	1.6	1.25	強	8.1	強	中	剛
蒂紫茄	3.19	4.10	全	7.6	6.3	1.4	2.20	全	9.5	全	全	全
行徳茄	3.19	4.9	弱	5.4	5.5	1.1	9.00	全	8.2	全	大	稍剛
民田茄	3.19	4.9	稍強	7.8	6.4	1.5	2.00	稍強	10.3	全	全	全
窪田茄	3.19	4.9	全	5.6	5.7	1.2	1.60	全	8.2	中	全	全
魚沼茄	3.19	4.9	強	7.6	6.7	1.2	2.00	全	16.6	弱	小	全
改良巾着	3.19	4.9	全	6.3	5.5	1.4	1.60	強	11.2	全	全	剛
折戸茄	3.19	4.9	稍強	4.7	4.9	1.0	1.70	稍強	7.9	強	大	稍剛

収獲當時ノ特性次ノ如シ

品 種 名	草勢	分蘗力	開張性	葉柄太	莖ノ太	莖色	開花	全上	全上	全上	類ノ	類ノ最
							日	日	日	縦徑		
中生山茄	強	中	中	中	中	濃紫	13	26.3	2.02	3.05	1.71	
蒂紫茄	全	強	全	全	全	綠紫	13	26.0	2.00	2.82	1.87	
行徳茄	全	全	全	全	全	濃紫	13	24.0	1.84	3.10	1.77	
民田茄	稍強	中	開張	細	細	全	13	18.0	1.38	2.55	1.72	
窪田茄	全	全	全	全	全	淡紫	13	19.0	1.46	2.05	2.10	
魚沼茄	弱	弱	直立	太	太	濃紫	13	35.5	2.73	2.55	2.30	
改良巾着	稍強	中	全	全	全	淡紫	13	39.0	3.00	2.32	2.46	
折戸茄	全	全	開張	細	細	濃紫	13	13.0	1.00	2.35	1.42	

備考 収獲日數調査ハ各種共7月3日開花セルモノ20個平均トス

収 穫

試 験 別	6月下旬収穫		7月 収 穫		8月 収 穫		9月 収 穫	
	個 数	重 量	個 数	重 量	個 数	重 量	個 数	重 量
中 生 山 茄	1200	9.900	2750	336.700	29700	690.500	54600	487.500
蒂 紫 茄	1700	17.000	9300	489.200	37600	815.100	44300	397.000
行 徳 茄	1100	8.500	26100	481.500	40500	700.100	59400	535.500
民 田 茄	2400	24.100	19300	300.500	25300	507.800	29200	1526.000
窪 田 茄	1500	14.200	22000	378.100	29200	587.500	32000	324.000
魚 沼 茄	1600	30.000	15400	414.000	15700	940.000	13000	107.600
改 良 巾 着	—	—	12200	360.700	35300	1003.200	14800	260.000
折 戸 茄	1200	7.500	19400	119.600	23600	426.200	19200	161.500

同 上

試 験 別	10月下旬収穫		反 當 収 穫 高		1 顆 平 均	1 株 平 均 個
	個 数	重 量	個 数	重 量		
中 生 山 茄	14000	59.500	118900	1584.100	13.3強	66.1弱
蒂 紫 茄	9300	72.000	118400	1790.300	15.2強	65.8弱
行 徳 茄	5200	33.000	132300	1758.600	13.3弱	73.5
民 田 茄	4000	20.000	80200	1212.900	15.1強	44.6弱
窪 田 茄	3700	16.500	88400	1877.600	15.6弱	49.1強
魚 沼 茄	2000	18.000	47700	876.000	18.4強	26.5
改 良 巾 着	9600	83.500	71900	1712.400	23.8弱	39.9強
折 戸 茄	8900	36.800	72300	951.600	13.2弱	40.3弱

備考 各月ノ収穫高ハ反當重量及個數ニ換算ス

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ蒂紫茄ノ反當収量1790貫ヲ最多トシ之ニ次
ゲルハ行徳茄ノ1758貫、改良巾着ノ1712貫トス尙本試験ハ繼續施行セント
ス

3. 種實用菜豆品種比較試験 (繼續第4年)

各地方ニ於テ品質優良若クハ収穫多量ヲ以テ稱セラル、種實菜豆「主ト
シテ輸出向」ノ各品種ヲ試作シ當地ニ適スル良種ヲ選擇セントスルニアリ
試験別及生育状況次ノ如シ

(1) 生 育 状 况

品 種 名	發芽20日後當時ノ狀況			開 花 當 時 ノ 狀 況				
	整 否	色 澤	草 丈	整 否	色 澤	草 丈	開 花 始 日	花 色
サツボロホモース、 シードライマビーン	整	濃綠	1.65	整	濃綠	4.50	7.10	白
ホワイトシードランナー	全	淡綠	5.71	全	綠	6.00	6.24	全
コンコード	全	綠	3.26	全	淡綠	8.50	6.15	全
ホワイトエツダ	全	全	3.32	全	全	6.60	6.13	全
スーカースグリーン、 ポットボール	全	濃綠	3.07	全	濃綠	7.90	6.20	全
カータース、ジュビリー	稍整	綠	4.02	不整	綠	7.70	6.12	赤
金 時	整	全	2.40	整	全	1.30	6.10	薄紫
丸 鶉	全	淡綠	3.99	全	淡綠	6.65	6.15	全
ブラックマー、 ジュレット	全	全	3.01	全	綠	6.70	6.22	全
サウザントプロリ ファイック	全	綠	2.30	全	全	8.10	6.23	白
アレンテール	全	淡綠	2.85	全	淡綠	1.50	6.9	薄紫
長 鶉	全	綠	3.10	全	綠	1.60	6.6	全

備考 6月20日ノ暴風ニ多少ノ被害アリ

(2) 収 穫

品 種 名	収 穫 期	1 升 重 量	1 升 粒 數	反 當 収 量		果 年 平 均	
				重 量	容 積	重 量	容 積
サツボロホモース、 シードライマビーン	8.12	300	4370	32.900	.8700	40.566	1.0900
ホワイトシードランナー	8.12	340	2190	66.000	1.9600	54.250	1.7283
コンコード	8.12	360	2530	63.400	1.7100	50.238	1.8200
ホワイトエツダ	8.4	370	2660	69.300	1.7750	44.586	1.2216
スーカースグリーン、 ポットボール	8.4	380	5110	74.000	1.9500	53.106	1.4400
カータース、 ジュビリー	8.12	250	1650	19.000	.6700	14.450	.4950
金 時	8.2	330	2530	42.600	1.2400	49.875	1.3700
丸 鶉	8.12	370	3240	83.400	2.2700	53.850	1.4850
ブラックマー、 ジュレット	8.12	350	4040	70.000	2.0100	70.000	2.0100
サウザントプロリ ファイック	8.12	390	6020	90.800	2.4200	90.800	2.4200
アレンテール	8.2	340	3240	39.000	1.1500	39.000	1.1500
長 鶉	8.2	340	1950	61.700	1.8000	61.700	1.8000

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ重量容積共ニサウザントプロリファイックノ
成績拔群ニシテ之ニ次ギテハブラックマー、ジュレット、長鶉、コンコード
ホワイトシードランナーハ重量、容積共ニ多シ

4. 蘿蔔品種比較試験 (繼續第2年)

各地方ニ於テ優良品種トシテ獎勵サレツ、アルモノ、内尙ホ試験ヲ經ザル數種ノモノヲ試作シ本縣ニ最モ適スル良種ヲ選擇セントスルニアリ

(1) 生育狀況

Table with columns: 試験別, 發芽當時ノ狀況, 第一回追肥當時ノ狀況, 彼岸當時ノ狀況, 備考. Rows include 御器所, 早生方領, 白上り, 赤筋, 下條, 津島屋, 宮重, 春福.

(2) 収穫

Table with columns: 品種名, 御器所, 早生方領, 宮重, 津島屋, 赤筋, 白上り, 春福, 下條. Rows include 葉重量, 根重量, 木數.

備考 本年度ハ第2回追肥當時ヨリ腐敗病蔓延シ例年ニ比シ収量甚ダ劣レリ

5. 馬鈴薯品種比較試験 (繼續第10年)

從來本場ニ於テ試験セラレタル品種ニシテ優良ト認メタルモノ及ビ新品種ニツキ比較試験セントス

試験區別及成績

(1) 生育狀況

Table with columns: 品種名, 除莠當時ノ狀況, 收穫當時ノ狀況, 備考. Rows include アーリーローズ, スノーフレーキ, グットタイムス, エツキスプレス.

Table with columns: 品種名, 葉数, 葉ノ少, 葉ノ多, 葉ノ色, 節間ノ長短, 花色. Rows include 疫不知赤, 疫不知白, 長崎赤, アスカバリー.

(2) 品種ノ特性

Table with columns: 品種名, 幼芽色, 葉數, 葉ノ少, 葉ノ多, 葉ノ色, 節間ノ長短, 花色. Rows include アーリーローズ, スノーフレーキ, グットタイムス, エツキスプレス, 疫不知赤, 疫不知白, 長崎赤, アスカバリー.

同上

Table with columns: 品種名, 薯色, 薯ノ光澤, 皮質, 芽ノ深淺多少, 形狀. Rows include アーリーローズ, スノーフレーキ, グットタイムス, エツキスプレス, 疫不知赤, 疫不知白, 長崎赤, アスカバリー.

(3) 収穫

Table with columns: 品種名, 收穫月日, 大ノ部, 中ノ部, 小ノ部, 合計. Rows include アーリーローズ, スノーフレーキ.

グッドタイムス	7.24	281.400	9600	171.600	12720	51.600	10380	504.600	32700
エキस्पレッツス	7.24	98.400	4320	354.300	33960	132.000	33600	584.700	71880
疫不知赤	7.24	200.250	9000	219.750	19350	45.750	12750	465.750	41100
疫不知白	7.10	74.100	3975	54.000	5100	117.000	20625	245.100	29700
長崎赤	7.10	68.760	3540	54.000	5460	88.800	23160	211.560	32160
アスカバリー	7.24	-	-	108.000	11875	97.500	23625	205.500	35500

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ本年度ニ於テハ生育ノ關係上ア-リー-ローズ以下早生種ニアリテハ収量極メテ少ナクグッドタイムス以下晩生種ニアリテハ比較的収量多カリシモ累年成績ニヨレバア-リー-ローズ種ノ如キ第二位ニアリ品質外觀等ヨリ見テ優良ナルモノト云フベクエキस्पレッツス種ノ如キハ薯稍小ナレドモ収量形状等ニ於テ優良種タルヲ失ハザルナリ尙繼續試験セントス

6. 甘藷品種比較試験 (繼續第11年)

本試験ハ各地方ニ適スル優良品種ヲ栽培シ當地方ニ適スル良種ヲ選擇セントスルニアリ

成績
(1) 収穫

品種名	反當重量	反當個數	反當重量	最大1株重量	全上個數	最大1個重量	1個平均重量	諸100個ニ對スル反當重量
紅赤	493.650	11550	1155.000	.331	4	.156	.043	234.256
金時	563.550	16950	1080.000	.192	5	.130	.033	191.642
川越赤	501.000	15750	1207.500	.183	4	.114	.032	241.018
八幡	561.000	9750	1132.500	.300	3	.189	.058	201.872
屋久島	550.500	18650	1665.000	.155	1	.155	.037	302.452
栗藷	504.000	13350	1470.000	.256	3	.105	.038	291.609
紫藷	634.500	10350	1350.000	.226	9	.069	.061	212.764
蔓無シ	933.000	16800	872.400	.315	3	.210	.056	93.505
三州	388.800	6900	1668.200	.169	2	.127	.056	427.778
千葉赤	351.000	2100	837.450	.170	4	.099	.032	238.590
石川縣産金時	430.200	9450	1627.200	.167	2	.118	.046	378.243
紅藷	752.700	7950	1380.000	.327	1	.327	.095	183.340
源氏	459.300	10800	1470.000	.221	2	.170	.043	320.052
チヤボ	836.400	11700	879.300	.342	3	.256	.071	105.129

成績概要 上記ノ成績ニヨレバ本年度収量ニ於テハ蔓無シ、チヤボ、紅藷、紫藷等多ケレドモ之レヲ累年成績ニヨリ見レバ蔓無シ、チヤボ、紫藷、紅藷、紅赤等ノ順序トナル然ルニ収量ノ多キモノハ品質劣等ニシテ食用トシテハ頗ル不適當ナリ故ニ品質収量ノ二點ヨリ考察シテ優良種ト認ムルハ紅赤、金時、八幡、栗藷等ナリトス

7. 甘藷純系淘汰試験 (新設)

本試験ハ從來栽培セル品種中ヨリ優良ナル系統ヲ選抜センガ爲メ行フモノニシテ今年度ニ於テハ紅赤、金時ノ2品種ヲ供試用トシ各36系統ヲ選抜セリ

8. 結球白菜品種比較試験 (繼續第2年)

從來本場ニテ試験ノ結果優良ト認メタル品種及ビ新品種ニツキ比較試験ヲ行ヒ本縣ニ最モ適スル良種ヲ選擇セントスルニアリ
前作物 豌豆

(1) 生育狀況

試験別	播種期	發芽期	發芽當時ノ狀況			播種1ヶ月後ノ狀況			備考
			整否	子葉ノ色	子葉ノ大	整否	色澤	草丈	
金州	8.18	8.21	整	綠	大	整	綠	1.08	生育甚ダ良好
開城	8.18	8.21	全	全	全	全	淡綠	1.35	生育前區ニ次キ良好
直隸	8.18	8.21	全	全	全	全	全	1.30	生育狀況前區ニ全シ
茨城	8.18	8.21	全	濃綠	小	稍整	濃綠	.67	補植セル部活着シ生育稍良
長崎	8.18	8.21	全	淡綠	中	全	黃綠	.59	性柔軟ニシテ生育不良
芝罘	8.18	8.21	全	綠	全	不整	濃綠	.93	補植セル部活着不良ニシテ生育不良
包頭連	8.18	8.21	全	全	全	稍整	全	.81	前區ニ全シ

備考 本年度ハ各區共發芽後20日目迄ハ野虫ノ被害甚シク殆ンド生育ノ見込ナキ迄衰弱セシモ之ガ驅除及補植ニヨリ恢復スルコトヲ得タリ

(2) 収穫

試験別	株色	球ノ堅軟	球ノ形状	株ノ長サ	株ノ周圍	1株重量	反當収量		大正7年度収量		累年平均収量	
							重量	個數	重量	個數	重量	個數
金州	綠	稍堅	圓筒	1.23	1.76	819	2476.400	4467	1096.150	2400	1786.275	3434
開城	淡綠	軟	長圓筒	1.78	1.54	568	1274.687	5000	-	-	1274.667	5000
直隸	綠	稍堅	全	1.43	1.55	742	2053.467	4600	1282.100	3250	1667.784	3425

茨城	濃緑	堅	楕圓	.97	2.10	890	1997.000	4600	—	—	1997.000	4600
長崎	淡緑	軟	楕圓形	1.35	1.65	504	1055.667	6267	339.700	2850	728.184	4559
芝罘	濃緑	堅	楕圓	1.25	1.96	841	1996.667	4533	1068.650	3200	1532.658	3866
包頭連	全	全	全	.94	2.11	757	1946.333	4467	666.650	2300	1306.491	3384

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ金州白菜最モ収量多ク直隸、芝罘、茨城、包頭連白菜等之ニ次グ又1個ノ重量ニ於テモ金州白菜、直隸白菜等大ナルヲ見ル即チ金州、直隸等ハ本縣ニ於テ有望ナル品種ト認ムルコトヲ得

9. 春蒔胡蘿蔔品種比較試験 (新設)

胡蘿蔔ハ其ノ播種時季ニヨリ抽藎スルコト甚ダ大ナルガ故ニ普通栽培ニ於テハ6月中旬乃至7月上旬ノ候ニ於テ播種シ11月乃至12月ノ候収獲スルヲ最良トセラレタリ然ルニ7、8月ノ候ニ之レヲ収獲シ市場人參ノ缺乏セル際ニ搬出センガ爲メ其ノ早播ニ適スル品種ヲ選出セントスルニアリ

試験區別及成績

(1) 生育狀況

試験別	抽藎歩合	1.0 本 平均 調査										備考
		根重	根長	頸下5分直径	根色	葉ノ重量	葉ノ長さ	葉ノ色	莖ノ数	莖ノ色		
札幌三寸	—	20.3	1.13	81	紅	28.0	2.00	濃緑	8.6	綠	大小不同ニシテ裂傷セルモノ多シ 大小不同裂傷多ク肌悪シ 裂傷セルモノアレドモ肌極メテ美シ	
東京大長	—	13.3	.34	113	全	7.6	1.28	全	7.3	全		
金時人參	—	34.5	21.0	.85	微紅黃	16.6	1.48	全	7.6	紫		
金澤赤太	—	8.2	12.3	.58	微紅	25.6	1.43	全	10.0	綠		
札幌太	—	30.9	16.6	.70	微紅黃	16.0	1.60	綠	8.6	全		
フレンチフォーシング	—	1.1	19.0	1.06	紅	19.0	1.86	全	6.7	全		
		—	20.0	.23	172	全	11.0	1.30	全	8.6	全	

(2) 収 穫

試験別	反當本數	内 譯		反當根重量	内 譯		葉ノ重量	内 譯		分岐歩合
		分岐セルモノ	分岐セルモノ		分岐セルモノ	分岐セルモノ		分岐セルモノ	分岐セルモノ	
札幌三寸	25000	14000	11000	394.000	231.000	162.000	495.000	152.000	243.000	44
東京大長	31000	27300	3700	283.000	247.000	36.000	175.000	147.000	28.000	12
金時人參	16500	9500	7000	164.000	84.000	80.000	152.000	63.000	89.000	42
金澤赤太	11000	8900	2100	60.000	43.000	17.000	92.000	72.000	20.000	19
札幌太	17500	15700	1800	102.000	82.000	20.000	129.000	103.000	26.000	10

札幌太	26200	15100	11100	330.000	196.000	134.000	430.000	220.000	210.000	42
フレンチフォーシング	37200	35100	2100	403.500	381.000	22.500	255.000	232.500	22.500	6

成績概要 以上ノ成績ニヨレバフレンチフォーシング収量ニ於テ最モ多ク分岐抽藎少ナケレドモ本縣ニ於ケル一般嗜好ハ尙西洋種ヲ好マザルガ如シ日本種ハ札幌種収量多ケレドモ畑ノ心土ニ石礫アリタル爲メ分岐セルモノ多シ一般ニ長形種ハ抽藎多ク短形種ハ少シ要スルニ本試験ニ於テハ三寸人參ハ最モ適當ナリト稱スルヲ得

10. 豌豆品種比較試験

各地ニ於テ品質優良若シクハ収獲多量ナリト稱セラル、種實用豌豆ノ各品種ヲ試作シテ良品種ヲ撰出セントス
耕種梗概 本場耕種標準ニ依ル

試験區別及成績

(1) 生育狀況

試験別	發芽期	消 雪 後 ノ 状 況					發芽 50 日 後 ノ 状 況					
		整否	色澤	草丈	追播株數	補植株數	完全株數	整否	色澤	草丈	株數	總本數
エキストラアーリー	3.17	不整	淡緑	2.8	5500	125	1875	稍整	綠	3.14	6875	9875
露西亞早生	3.17	整	全	3.5	—	—	7500	整	全	5.78	7500	15000
プリューバンダム	3.17	稍整	全	3.2	375	1375	5750	稍整	全	5.66	7250	10250
カットンスペリー	3.17	全	全	1.9	4125	—	3375	全	全	2.59	7125	10375
ベストエキストラアーリー	3.17	整	全	5.3	—	—	7500	整	全	7.01	7500	15000
ブライズウィンナー	3.17	稍整	全	2.5	4125	500	2885	稍整	全	3.75	7250	13750
カットンスペリー	3.17	不整	綠	1.2	7250	—	250	不整	濃緑	2.23	3375	4250
インボツテット	3.17	整	淡緑	5.3	—	—	7500	整	淡緑	6.99	7500	15000
アラスカ	3.17	全	全	3.1	—	500	7000	全	全	4.80	7500	14750
グラシュエーター	3.17	全	綠	2.8	—	—	7500	全	濃緑	4.36	7500	15000
テレフォン	3.17	全	淡緑	5.9	—	—	7500	全	淡緑	6.26	7500	15000
ブリティッシュランダー	3.17	不整	綠	1.0	7250	—	250	不整	濃緑	1.73	1375	1375
珍種青豌豆	3.17	整	淡緑	3.2	—	—	7500	整	綠	4.51	7500	15000
チャムピオン	3.17	稍整	全	3.0	3000	—	4500	稍整	全	4.03	7500	15000
札幌青手無	3.17	不整	全	4.5	5250	—	2250	不整	全	5.38	2000	2000

(2) 特 性

品 種 名	開花始日	花 色	草 丈	莢 ノ 部			一莢粒數
				縦 徑	横 徑	寸	
エキストラアーリー	5.19	白	5.5	2.6	4.5	8	
クラツター							
露 西 亞 早 生	5.18	全	3.3	2.3	3.5	6	
アリュバンダム	5.17	全	5.8	2.4	4.0	6	
サットンベリーアーリー	5. 8	全	1.3	2.4	6.0	4	
ベストエキストラアーリー	5. 6	全	3.0	2.2	4.0	7	
ブライズウイナー	5.13	全	—	—	—	—	
サットンエキゼルサー	5.12	全	—	—	—	—	
インボテット	5. 7	全	2.5	2.1	4.0	6	
アラスカ	5.10	全	4.5	2.0	4.0	6	
クラジュエーター	5.10	全	1.7	2.8	6.0	6	
テレフオン	5. 7	全	5.0	2.1	4.5	6	
ブリタイシユワンダー	5.22	全	2.5	2.8	6.0	5	
チャムピオン	5.22	全	7.8	2.7	5.0	6	
札幌青手無	5.13	全	6.0	2.2	4.0	5	

同 上

品 種 名	1本着莢數	1合粒數	1合重量	粒 色	粒 ノ 状 態
クラツター				白色ノモノト混ズ	粒ニシテ皺ナシ有シ光澤少ナク
露 西 亞 早 生	12	640	36	黄ノ白地ニ少シク	粒大ニシテ皺ナシ有スルモ比較的光澤アリ有望
アリュバンダム	60	530	41	褐色ヲオプ	粒大ナルモ著シク皺ナシ有シ光澤アリ有望
サットンベリーアーリー	11	401	33	白	粒大ナルモ著シク皺ナシ有シ光澤アリ有望
ベストエキストラアーリー	10	800	35	黄 白	粒大ニシテ皺多ク外觀悪キモ粒揃整一ニシテ有望
ブライズウイナー	—	480	36	淡綠色ノモノト混ズ	粒大ニシテ皺多ク粒ニ腐敗セルモノアリ見込ナシ
サットンエキゼルサー	—	440	22	黄白ノ地ニ淡緑ヲオプ	粒大ニシテ皺多ク粒ニ腐敗セルモノアリ見込ナシ
インボテット	15	550	39	緑	粒大ニシテ皺多ク粒ニ腐敗セルモノアリ見込ナシ
アラスカ	36	810	39	淡 緑	粒丸ク光澤アリ皺ナシ
クラジュエーター	15	630	37	全	粒丸ク光澤アリ整一ニシテアラスカニ似ル有望
テレフオン	32	800	40	全	粒大ニシテ皺多ク粒ニ腐敗セルモノアリ見込ナシ
ブリタイシユワンダー	8	600	33	全	粒大ニシテ皺多ク粒ニ腐敗セルモノアリ見込ナシ
チャムピオン	29	540	36	淡綠色ノモノト黄	粒大形ニシテ皺ナシ有スルモ光澤アリ將來有望
札幌青手無	45	560	35	淡綠色ノモノト混ズ	粒大ニシテ皺ナシ有スルモ比較的光澤アリ有望

(3) 収 穫

品 種 名	反 當 収 量	
	重 量	容 量
エキストラアーリークラツター	79.000	2.1500
露 西 亞 早 生	25.875	.7125
アリュバンダム	89.125	2.1250
サットンベリーアーリー	17.500	.5375
ベストエキストラアーリー	33.000	.9350
ブライズウイナー	80.625	2.2500
サットンエキゼルサー	1.375	.0625
インボテット	47.500	1.2250
アラスカ	31.250	.8000
クラジュエーター	21.875	.5875
テレフオン	51.875	1.3125
ブリタイシユワンダー	1.250	.0375
チャムピオン	69.000	1.9250
札幌青手無	21.875	.6250

成績概要 以上ノ成績ニヨレバブライズウイナー種最モ収量多クエキストラアーリークラツター、アリュバンダム、チャムピオン、テレフオン等之ニ次グ然レドモ形状品質等ヨリ考フレバテレフオン、インボテット、エキストラアーリークラツター、ブライズウイナー、チャムピオン等有望ナリト認ムルコトヲ得

依 托 試 験

1. 蔬菜水田二毛作試験 (繼續第6年)

本試験ハ水田二毛作トシテノ蔬菜栽培ノ方法ヲ研究シ併セテ種類ノ適否經濟上ノ得失ヲ調査セントスルニアリ

擔 當 人 南蒲原郡裏館村大字西裏館 川俣由太郎氏
刈羽郡比角村大字比角 三井田辰治氏
高田市鷹部屋町 戸倉 辨治氏

栽培面積 1反歩 内4畝歩甘藍 3畝歩葱頭 3畝歩蕪菁

供試種類及品種 葱頭エローダンパース、ニューク井ン、甘藍アーリエスト

オフオール, 燕膏寄居燕膏

耕種梗概

整地 早生稻ノ収穫後直ニ耕起シ畦幅6尺高サ1尺5寸ノ高畦ヲ築キ數日ヲ經テ表面ノ土塊稍乾燥スルヲ俟テ畦頭ノ土塊ヲ細碎シ元肥ヲ施シ播種又ハ移植ノ準備ヲナス, 風害烈シキ處ニテハ風上ニ麥ヲ播種スルカ苫又ハ簀ヲ以テ防風装置ヲナス

播種 (イ) 葱頭9月中旬及4月中旬畑地ニ苗床(其ノ構造ハ普通ノ葱苗床ニ準ズ)ヲ設ケテ播種ス

(ロ) 甘藍ハ葱頭ト同様9月中旬苗床ニ下種シ10月下旬同様ノ苗床ニ1回ノ假植ヲ行フ

(ハ) 燕膏ハ別記設計ニヨル播種期ニ於テ本圃ニ直播ス

定植 (イ) 葱頭ハ9月中旬播ノモノハ11月中旬本圃ニ定植ス畦幅3尺ナルヲ以テ3列4寸隔テニ基ノ目形ニ植ユ4月中旬ノモノハ8月中旬収穫シ日陰ニ貯藏シ10月上旬畦立ト共ニ3列4寸隔テニ基ノ目形ニ植ユ

(ロ) 甘藍ハ11月中旬株間1尺ニ別記設計ニヨル畦ニ定植ス

肥料 1畝歩當用量次ノ如シ

(1) 葱 頭

肥料名	總量	元肥	追肥		備考
			第1回	第2回	
堆肥	20,000	20,000	-	-	追肥ハ第1回ハ3月下旬
油粕	3,000	3,000	-	-	第2回ハ4月下旬ニ施ス
燻灰	3,000	-	3,000	-	
人糞尿	20,000	5,000	5,000	10,000	

(2) 燕 膏

肥料名	總量	元肥	追肥			
			第1回	第2回	第3回	第4回
燻灰	3,000	3,000	-	-	-	-
人糞尿	5,000	5,000	-	-	-	-
人糞尿	45,000	-	5,000	10,000	15,000	15,000

(3) 甘 藍

肥料名	總量	元肥	追肥		
			第1回	第2回	第3回
堆肥	40,000	40,000	-	-	-
油粕	3,000	1,000	-	1,000	1,000
燻灰	3,000	3,000	-	-	-
人糞尿	40,000	-	10,000	10,000	20,000

4. 高田試験地成績

葱頭及ビ甘藍試験

試験別	播種期	發芽期	假植期		定植期		融雪後ノ状況	收穫期	備考
			月日	状況	月日	状況			
葱頭	9.18	9.26	-	-	11.8	長3.4寸葱苗狀	枯死セルモノナシ	-	9月中旬播
葱頭	5.30	6.15	-	-	11.8	球徑1.5寸	全	6.5	設計書ニヨル4月中旬播
甘藍	9.16	9.19	10.17	3.4葉開張1寸5分	11.18	5.6葉寸	全	-	6月5日後作關係上収穫見込ナキタメ畑ニ移植ス

寄居燕膏播種期試験

試験別	播種期	發芽期	降雪前後状況	融雪後状況	第3回追肥期	收穫期		備考
						月日	状況	
10月中旬播	10.19	10.25	直徑1寸	-	-	1.2	直徑1寸	降雪ナキタメ冬季収穫ムシ得
4月上旬播	4.10	4.18	-	-	莖葉長5.6寸	2.28	直徑2寸	
4月中旬播	4.20	4.27	-	-	直徑1寸-2寸	5.27	莖葉長6.7寸	
						6.5	直徑1寸5分-2寸3分	

備考 4月中旬播ハ播種當日ヨリ風雨激甚ニシテ種子露出シ發芽不長ノタメ成績ヲ得ル能ハズ

葱頭, 甘藍, 燕膏収支計算表

試験別	畝當収量		單價	畝當收入金額	畝當支出金額		畝當差引損益	備考
	個數	重量			入夫賃肥料代	損益		
秋播葱頭	-	-	-	-	-	-	-	前表ノ如ク本表ニ掲グルニ至ラズ
春播葱頭	-	-	-	-	-	-	-	収量少キニヨリ收支計算ヲ略ス
甘藍	-	-	-	-	-	-	-	前表ノ理由ニヨリ收支計算ヲ略ス
10月中旬播寄居燕膏	1080	1	1.4	1,540	1,500	.800	.760	損
4月上旬播全	1240	1	2.0	2,480	1,500	.800	.180	益
4月中旬播全	-	-	-	-	-	-	-	前表ノ理由ニヨリ收支計算ヲ略ス

○. 刈羽試験地成績

葱頭及寄居蕪菁試驗

Table with columns: 試驗別, 播種期, 發芽期, 降雪前狀況, 融雪後狀況, 第3回追肥期狀況, 收穫期 (月日, 狀況). Rows include 葱頭, 10月上旬播寄居蕪菁, 3月下旬播上全, 4月上旬播上全, 4月中旬播上全.

葱頭及寄居蕪菁収支計算表

Table with columns: 試驗別, 畝當収量 (個數, 重量), 單價 (單位, 價格), 畝當收入額, 畝當支出額, 畝當差引損益, 備考. Rows include 葱頭, 10月上旬播寄居蕪菁, 3月下旬播上全, 4月上旬播上全, 4月中旬播上全.

ハ 三條試驗地成績

葱頭及甘藍試驗

Table with columns: 試驗別, 播種期, 發芽期, 假植期, 定植期, 融雪後狀況, 收穫期 (月日, 狀況). Rows include 葱頭直播, 葱頭移植(苗床), 葱頭セツト, 甘藍.

寄居蕪菁試驗

Table with columns: 試驗別, 播種期, 發芽期, 降雪前狀況, 融雪後狀況, 第1回追肥期狀況, 收穫期 (月日, 狀況). Rows include 10月中旬播, 3月中旬播, 4月上旬播.

Table with columns: 播種期, 畝當収量 (個數, 重量), 單價 (單位, 價格), 畝當收入額, 畝當支出額, 畝當差引損益, 備考. Rows include 4月中旬播, 4月上旬播, 小泉紅蕪.

葱頭, 甘藍, 寄居蕪菁収支計算表

Table with columns: 試驗別, 畝當収量 (個數, 重量), 單價 (單位, 價格), 畝當收入額, 畝當支出額, 畝當差引損益, 備考. Rows include 葱頭直播, 葱頭移植, 葱頭セツト, 甘藍, 10月下旬播寄居蕪菁, 3月下旬播全上, 4月上旬播全上, 4月中旬播全上, 小泉紅蕪.

備考 葱頭ハ底畦ノ爲メ濕氣多ク生育不長ニシテ収量ヲ擧ケルコト能ハズ, 甘藍ハ春期移植後未ダ完全ナル結球ヲ見ザリシタメ掲ゲズ小泉紅蕪ハ購入者ナキタメ自家用トシタリ

累年畝當収支成績

高田試驗地成績

Table with columns: 試驗別, 大正6年 (畝當收入, 全支出), 大正7年 (畝當收入, 全支出), 大正8年 (畝當收入, 全支出), 差引損益. Rows include 9月15日播葱頭, 11月20日植葱頭セツト, 9月16日播甘藍, 10月中旬播寄居蕪菁, 4月初旬播全上, 4月中旬播全上.

刈羽試驗地成績

Table with columns: 試驗別, 大正6年 (畝當收入, 全支出), 大正7年 (畝當收入, 全支出), 大正8年 (畝當收入, 全支出), 差引損益. Rows include 9月中旬播葱頭, 10月中旬播寄居蕪菁, 3月下旬播全上, 4月上旬播全上, 4月中旬播全上.

三條試驗地成績

試驗別	大正6年		大正7年		大正8年		差引損益
	畝當収入	全支出	畝當収入	全支出	畝當収入	全支出	
9月下旬播葱頭	-	-	10,200	2,950	-	3,975	益 7,250
9月初旬播移植葱頭	-	-	-	-	-	4,475	-
9月下旬植葱頭セツト	-	-	11,400	2,950	-	3,975	益 8,450
9月中旬播甘藍	-	-	-	-	-	-	-
10月中旬播寄居蕪菁	-	-	400	2,800	4,110	3,500	損 895
3月下旬播全上	1,580	2,220	4,020	3,330	12,175	5,175	益 2,350
4月上旬播全上	4,574	2,420	4,520	3,450	12,550	5,520	全 3,385
4月中旬播全上	3,744	2,420	5,980	3,730	12,900	6,200	全 3,405

成績概要 以上ノ成績ニ依ルトキハ秋播葱頭ハ高田、三條ノ如キ冬季積雪多キ地方ニアリテハ其ノ被害ノ爲メ消滅シ生育ヲ完フスルコト能ハザリシガ積雪ニ乏シキ刈羽試驗地ニアリテハ生育良好ニシテ好成績ヲ舉グルヲ得タリ而シテ積雪多キ地方ニアリテモ高畦トナシ排水ヲ良好ナラシムルトキハ相當良成績ヲ舉ゲ得ベキハ勿論ナリ又葱頭セツトニヨルモノハ冬季降雨雪ノ被害ヲ蒙ルコト直播ニヨルモノニ比シ僅少ナルガ爲メ刈羽試驗地ノ如キハ畝當實ニ8圓強ノ収益ヲ舉ゲ得タリ

甘藍ハ三試驗地共冬季ノ降雨雪ノ爲メ被害ヲ受クルコト甚シク生育不良ナリ然レドモ播種期ヲ早メ高畦トナシ排水ヲ良好ナラシムル等栽培法ヲ研究スレバ將來望ナキニハ非ザルベシ

秋播寄居蕪菁ハ刈羽試驗地以外ニアリテハ冬季ノ降雨雪ノ爲メ過半消滅シ生育不良ニシテ収益ヲ舉グルコト不可能ナル状態ナレバ積雪多キ地方ニアリテハ播種期ヲ早メ排水ヲ良好ナラシムル等耕種法ニ留意スルトキハ好成績ヲ舉グルヲ得ベシ、春播寄居蕪菁ハ各試驗地共何レモ畝當2,3圓ノ純益アリテ極メテ好成績ナリ但シ早春播ハ往々寒氣ノ爲メ幼苗ヲ害セラルコトアレバ4月上旬ニ播種セルモノ安全ニシテ収益多キガ如シ

模範果樹園

明治43年10月模範果樹園内規ニヨリ公共ヲ利スルヲ目的トスル個人又ハ町村其他ノ團體ニ於テ經營スル果樹園ニ對シテハ特ニ場員出張シテ設計並ニ實地指導ヲナシ其ノ他ノ利便ヲ附與スルコト、シ前年度ニ引續キ左記9

個所ニ對シ指導セリ

所在地	園主名	反別	果樹種類	指定事項
刈羽郡刈羽村下高町	渡邊 文平氏	1.0	桃	肥料三要素試験
北蒲原郡聖籠村大夫	相馬 龍吉氏	7.0	梨、葡萄	整枝法試験
三島郡深才村福田	横山 清次氏	8.0	柿、梨、桃、葡萄	柿ノ整枝法試験
中蒲原郡小合村大鹿	木村 泉氏	4.0	苹果、梨、桃、櫻桃	苹果品種試験
北魚沼郡廣瀬村並柳	關矢 孫一氏	8.0	苹果、葡萄	全上
南魚沼郡城内村下原	佐藤美太郎氏	7.0	桃、櫻桃、苹果、葡萄	櫻桃品種試験
中蒲原郡中通村茅ノ山	清水新一郎氏	1.0	梨	晚三吉収量調査
北蒲原郡築地村宮瀬	佐藤佐忠次氏	8.0	歐洲葡萄	品種特性調査
佐渡郡新穂村	田中 亮一氏	3.0	柿	干柿試験

尙果樹園ニ於テ調査セシ成績ヲ舉グレバ次ノ如シ

和梨晚三吉収支調査

本調査ハ中蒲原郡早通村模範果樹園ニ於ケル丸形晚三吉1反當35本ニ對スル大正8年度實施ノ調査ナリ

支出之部

種目	數量		價格		備考	
	男	女	男	女		
人夫	除草	2,415	5,175	2,415	1,208	單價 男 1,000 女 500
	中耕	3,450	-	3,450	-	
	施肥	2,070	-	2,070	-	
	整枝	5,175	-	5,175	-	
	剪定	4,800	-	4,800	-	
	摘果	3,150	-	3,150	-	
	袋掛	-	17,485	-	8,745	
	風害豫防	2,415	-	2,415	-	
	病虫害豫防	4,800	1,725	4,800	863	
	收穫	4,140	-	4,140	-	
肥料	堆肥	-	103,500	-	1,035	
	大豆粕	-	12,035	-	6,018	
	木灰	-	6,900	-	483	
	過磷酸石灰	-	1,380	-	1,208	
	人糞尿	-	2,760	-	459	
	人尿	-	2,760	-	182	

袋代	第1回	12.075	5,555
	第2回	9,609	14,410
藥品代	石灰ホド液	2,760	1,725
	苛性曹達	1,380	1,908
棚修繕			5,909
	小作料		23,649
合計			104,372

収入之部

種目	數量	價格
上等品	635,317 (7807)	317,659
下等品	17,930	4,485
合計	653,247	322,144

總收入322,144圓 總支出104,372圓 純益217,772圓
 即チ反當217圓ノ純利アリテ極メテ有望ナルヲ知ル殊ニ晩三吉ニハ繰狀
 ヲナセルト丸形トアリ後者ハ風味良トシテ尊バル

採種組合

明治43年10月採種組合内規ヲ制定シ縣下ニ於ケル果菜ノ特產地ニ之ガ組
 合ヲ設置セシメ其ノ生産種苗ハ之ヲ檢査シ一般當業者ニ販賣セシメ以テ縣
 外ヨリ不良種苗ノ移入ヲ防グト共ニ其特產地ノ保護發展ヲ圖ラントシ昨年
 度迄ニ設立ヲ認可シタルモノ19ヶ所組合アリ而シテ本年度採種組合ノ改廢
 ヲ行ヒ現在11ヶ所組合アリテ何レモ其ノ成績佳良ナリ其組合位置並ニ事業
 ノ成績ヲ示セバ次ノ如シ

位 置	組 合 名	採 種 品 種	大正8年 度採種 數量
刈羽郡西中通村橋場	刈羽節成胡瓜採種組合	刈羽節成胡瓜	20,000
中蒲原郡庄瀬村庄瀬	庄瀬葱頭採種組合	エロダンバース外各種	10,000
中蒲原郡小須戸町	小須戸種苗組合	果樹苗木盆栽	25,000
古志郡種芋原村	種芋原甘藷採種組合	サクセツション	400
古志郡石津村岩野	石津甘藷採種組合	紅赤金時八幡	250,000
長岡市上中島町	長岡菜採種組合	長岡菜	15,000
全	中島葱採種組合	中島葱	370

南魚沼郡城内村下原新田	城内茄子採種組合	魚沼巾着茄子	.500
全	城内牛蒡採種組合	蕪牛蒡	.800
西蒲原郡坂井輪村青山	青山蔬菜採種組合	寄居蕪菁	38,000
全	全	白莖休菜	13,000

之等組合ノ生産種子ハ普通販賣種子ニ比シ遙カニ優良ニシテ且ツ整一ナ
 ルノ故ヲ以テ需用甚ダ多ク單ニ縣内ノミニ止ラズ縣外ニ向ツテ多數移出セ
 ラレツ、アルノ現況ナリ

養鶏ニ關スル試驗其他

1. 一代雜種試驗 (繼續第3年)

本試驗ハ交配ニヨリ得タル一代雜種ニシテ本縣ニ最モ適シタルモノヲ育
 成セントシテニ示ス種類ニ付キ試驗ニ着手シタリ

試驗區別

號 名	親 鷄		子 鷄		孵化月日	産卵初月日
	雌	雄	雌	雄		
第1號雜種	横斑フリマスロツク	褐色レグホーン	3	1	大正8年4月10日	大正8年11月27日
第2號雜種	名古屋交趾	白色レグホーン	3	1	全	全年12月1日
第3號雜種	褐色レグホーン	横斑フリマスロツク	4	1	全	大正9年1月23日

雜種鷄ノ特徴

號 名	雌雄	肉 冠		耳 朶 色	嘴 色	羽 毛 色
		形 狀	色			
第1號雜種	雄	大形褐レグニ似ル	赤	黃赤	淡黃白	黑白斑點、褐色毛稍有ス
	雌	小形褐レグニ似ル	全	淡黃	黃色	濃黑白斑點
第2號雜種	雄	大形白レグニ似ル	全	淡白赤	淡黃白	濃黃白色毛アリ
	雌	大形一方ニ傾ク	全	白色	黃白	濃黃稍赤色ヲ帶ブ
第3號雜種	雌	中形褐レグニ似ル	全	淡白赤	黑黃色	黑稍褐色毛有リ

同 上

號 名	雌雄	尾 羽 色	脚		体 重	備 考
			色	毛有無		
第1號雜種	雄	黃 稍 黑	淡黃	無	.822	横斑フリマスロツク種ヨリ黒 色毛多ク体形卵用形ナリ
	雌	濃黑淡白斑點	黃	全	.500	

第2號雜種	雌	白	色	帶白赤色	無	.619	雄ニ於テハ白色毛頸部尾胸等ニアリ他ハ黄色卵用形ナリ雌ハ黄色毛ニシテ兼用種ナリ一見全体黒色毛ト見ユ卵用形ナリ
第3號雜種	雌	黄白ナレドモ白多 又黒毛帯アルアリ	帯黒白色	全	.403		
	雌	黒稍褐色帯	黒黄色	全	.463		

産卵初メヨリ滿1ケ年間ノ生産卵數

號	名	滿1ケ年 間ノ生産 卵數	1羽平均 産卵數	卵ノ平 均重量	備	考
第1號	雜種	208	69.3強	13.10	産卵ハ3羽平均	卵平均重量ハ10個
第2號	雜種	180	60.0	13.79	全	3羽平均 全 上
第3號	雜種	210	52.5	13.89	全	4羽平均 全 上
白色	レグホーン	601	67.1強	15.02	全	9羽平均 全 5個
褐色	レグホーン	470	58.7強	13.26	全	8羽平均 全 10個
横斑	プリマスロツク	384	54.8強	13.84	全	7羽平均 全 5個
名古屋	交趾	307	61.4	12.40	全	5羽平均 全 9個

2. 飼 育

本場ニ於テ飼養シツ、アル鶏ハ左ノ如シ

種類名	羽數	種類名	羽數	備	考
白色レグホーン	2雄7雌	名古屋交趾	3雄5雌	但シ白色ワイヤンドツトハ	
褐色レグホーン	1雄7雌	黒色ミノルカ	1雄5雌	大正8年4月末日迄飼養ス	
横斑プリマスロツク	1雄7雌	白色ワイヤンドツト	1雄5雌		

飼料ハ1日1羽ニ就キ粃2勺米糠3勺糠5勺大麥2勺糠粕5勺青菜若干貝殻粉末ヲ適宜與フ

本年度ノ産卵數2482個内種卵トシテ配付セルモノ817個孵化用トセルモノ277個實驗用ニ供セルモノ27個他ハ全部食用卵トシテ拂下ゲタリ

3. 種卵種禽ノ配付

配付種卵種禽内譯次ノ如シ

種類名	種 卵		種 禽	
	有價配付	無價配付	有價配付	無價配付
褐色レグホーン	240	-	8雄3雌	-
白色レグホーン	200	-	1雄4雌	-

横斑プリマスロツク	107	12	9雄5雌	1雄1雌
名古屋交趾	112	-	5雄11雌	
黒色ミノルカ	-	-	3雄1雌	
白色ワイヤンドツト	129	-	7雄6雌	
小計	788	12	33雄30雌	1雄1雌
果計	800			34雄31雌

4. 養 鶏 組 合

明治43年養鶏組合準則ヲ制定シ縣下ニ適スル優良純粹種ノ統一ヲ圖リ種禽種卵ノ普及ト卵肉ノ販路ヲ拓キ以テ養鶏上ノ利益ヲ確實ニ増大セシムル爲メ之ガ組合ヲ組織セシメ更ニ組合ノ聯絡ヲ密ニシ以テ完全有利ナル事業ヲシムル爲メ養鶏組合ノ設立ヲ獎勵シ現在組合數12組合員434名ニ達シ且ツ之等ノ組合ニ對シ請求ニヨリ種禽種卵ノ無償配付ヲナセリ其ノ組合次ノ如シ

名稱	認可月日	主ナル飼禽種類	所在地
橋家禽組合	明治44年1月	白色、褐色レグホーン	中島沼郡橋村
柿木養鶏組合	全 年2月	全 上	三島郡西越村柿木
本明養鶏組合	全 年4月	褐色レグホーン	古志郡上北谷村本明
椿澤養鶏組合	全 年5月	白色、褐色レグホーン、名古屋交趾	全郡全村椿澤
戊申家禽組合	全 年5月	褐色レグホーン	全郡全村名木野
田井家禽組合	全 年5月	褐色、白色レグホーン	全郡全村田井
下大蒲原家禽組合	全 年5月	全 上	中蒲原郡大蒲原村
二十日家禽販賣組合	全 年6月	褐色レグホーン、名古屋交趾	北蒲原郡安田村字大野
桂澤養鶏組合	全 年8月	褐色レグホーン	古志郡山本村桂澤
新關養鶏組合	全 年12月	褐色、白色レグホーン	中蒲原郡新關村船越
松崎養鶏組合	大正5年3月	褐色、白色レグホーン	全郡大形村松崎
上條養鶏組合	全 年6月	全 上	刈羽郡上條村
築地養鶏組合	全 年8月	褐色レグホーン、白色ワイヤンドツト	北蒲原郡築地村字下野

農藝化學部

耕種梗概

本試験ニハ木框及ワグネル氏圓筒ヲ使用セリ、其ノ耕種梗概ハ次ノ如シ

1. 木框試験

面積 1反歩ノ1200分ノ1ニ相當スル木框ヲ使用シ各試験ハ木框3個ヲ以テ一區トス

供試品種 石白

移植期 6月13日

株數及本數 1框9株3本植

2. ワグネル氏圓筒

面積 1反歩ノ20000分ノ1ニ相當スルワグネル氏圓筒ヲ使用シ各試験區ハ圓筒2個ヲ以テ一區トス

供試品種 石白

移植期 6月13日

株數及本數 1框3本植

肥料ニ關スル試験

1. 水稻過磷酸石灰施用法試験 (稲稈第5年)

本場土壤ニ於テ蒸製骨粉ト過磷酸石灰トハ肥効上著シキ差異アリ、從テ過磷酸石灰獎勵上甚シキ支障アルヲ以テ之ヲ施シタル場合蒸製骨粉ト匹敵スル丈ノ肥効ヲ得ンニハ如何ナル施用法ニ據ルベキヲ試驗セントスルモノニシテ木框ヲ用ヒ施行セリ

試験區別

區名	試験區別	1框ニ對スル施用量				
		硫酸安母尼亞石	過磷酸石灰	硫酸加里	人尿	蒸製骨粉
1	過磷酸石灰元肥トシテ施用	10.405	8.223	3.061	—	—
2	全ク追肥トシテ施用	10.405	8.223	3.061	—	—

3	過磷酸石灰=石灰加用元肥トシテ施用	10.405	8.223	3.061	-	-
4	過磷酸石灰=石灰加用追肥トシテ施用	10.405	8.223	3.061	-	-
5	過磷酸石灰=人尿尿ヲ混シ元肥トシテ施用	-	5.824	3.061	31.998	-
6	過磷酸石灰=人尿尿ヲ混シ追肥トシテ施用	-	5.824	3.061	31.998	-
7	蒸製骨粉元肥區	8.980	-	3.061	-	7.531
8	無磷酸區	10.405	-	3.061	-	-
9	無肥料區	-	-	-	-	-

成績

(1) 生育狀況

區名	植付後30日		土用入		穂孕期		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.48	40	1.68	43	2.69	37	3.35	34	3.39	34
2	1.44	38	1.69	40	2.70	30	3.11	28	3.27	27
3	1.42	33	1.62	37	2.62	33	3.19	32	3.32	32
4	1.49	36	1.51	46	2.63	32	3.29	30	3.30	30
5	1.42	38	1.57	39	2.66	33	3.17	38	3.22	31
6	1.43	33	1.52	38	2.65	30	3.16	29	3.20	28
7	1.43	40	1.49	45	2.60	31	3.16	30	3.21	29
8	1.50	39	1.55	42	2.62	35	3.15	31	3.23	30
9	1.29	25	1.41	30	2.61	30	3.19	28	3.20	26

(2) 収量

區名	精穀重量	枇重量	藁重量	5ヶ年ノ平均	
				精穀重量	藁重量
1	97.1	2.6	84.4	119.5	101.5
2	116.7	2.9	82.4	115.7	95.3
3	118.4	4.7	137.1	117.5	120.3
4	128.4	2.0	134.2	115.4	122.6
5	93.0	3.3	139.7	91.7	129.6
6	83.9	3.9	90.8	88.0	95.8
7	131.9	3.0	148.9	124.3	131.9
8	114.4	2.5	163.9	108.3	131.5
9	94.8	2.6	84.9	80.9	90.9

成績概要 既往5ヶ年平均成績ニヨレバ蒸製骨粉元肥區成績優良ニシテ過磷酸石灰=石灰加用追肥區之ニ次ギ過磷酸石灰=石灰加用元肥區、過磷酸石灰追肥區ノ順序其成績劣レルヲ知ル之ニヨルトキハ本場土壤ニ於テハ蒸製骨粉ノ肥効大ナルヲ知ル尙又過磷酸石灰ノ肥効ヲシテ蒸製骨粉ニ匹敵セシメシハ石灰ヲ加用シ追肥トスルニアリ

2. 水稻三要素天然供給量檢定試験 (繼續第7年)

本試験ノ目的ハ水稻生育中土壤灌溉水中ヨリ天然ニ供給セラル、三要素量ヲ知ラントスルモノニシテ木框ニ於テ肥料ハ硫酸安母尼亞、過磷酸石灰、炭酸加里ヲ用ヒ施行セリ

試験區別

區名	試験區別	反當用量			1 框 當 用 量		
		窒素	磷酸	加里	窒素	磷酸	加里
1	完全區	5.0	5.0	5.0	20.4	20.5	6.1
2	無窒素區	-	5.0	5.0	-	20.5	6.1
3	無磷酸區	5.0	-	5.0	20.4	-	6.1
4	無加里區	5.0	5.0	-	20.4	20.5	-
5	無肥料區	-	-	-	-	-	-

成績

(1) 生育狀況

區名	植付後30日		土用入		穂孕期		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.67	40	1.76	47	2.82	41	3.38	37	3.40	38
2	1.49	37	1.60	42	2.54	35	3.30	35	3.32	34
3	1.58	38	1.65	39	2.71	33	3.24	32	3.27	31
4	1.51	32	1.58	36	2.59	28	3.15	28	3.19	28
5	1.41	29	1.43	32	2.41	26	3.00	26	3.00	25

(2) 収量

區名	精穀重量	枇重量	藁重量	7ヶ年平均	
				精穀重量	藁重量
1	133.2	3.0	234.7	150.6	221.6
2	109.4	1.5	116.0	106.8	106.8

3	131.0	2.9	230.5	130.7	206.5
4	120.9	2.9	182.9	120.3	220.2
5	97.4	2.4	97.4	88.3	88.2

成績概要 7ヶ年ノ平均ニヨレバ完全區成績最モ優良ニシテ無磷酸區、無加里區、無窒素區ノ順次ニ其ノ収量ヲ減ズ即チ本場土壤ニ於テハ水稻栽培上磷酸加里ノ天然ニ供給セラル、量ハ可ナリ大ナルコトヲ示ス

3. 水稻窒素質肥料試験 (繼續第4年)

本試験ハ本場土壤ニ於テ如何ナル種類ノ窒素質肥料ガ最モ肥効ヲ奏スルヤ否ヤヲ知ラントスルモノニシテワグネル氏圓筒ヲ用ヒ試験ヲ甲乙二區ニ分チ磷酸ヲ過磷酸石灰ニテ供給スルモノト蒸製骨粉ニテ供給スルモノトニ區別セリ

試驗區別

甲. 過磷酸石灰ヲ基礎トシタルモノ

區名	試驗區別	1圓筒當量	區名	試驗區別	1圓筒當量	區名	試驗區別	1圓筒當量
1	硫酸安母尼亞	2.3800	4	大豆粕	7.6080	7	人糞尿	73.1330
	過磷酸石灰	1.8490		過磷酸石灰	1.4350		過磷酸石灰	1.3020
	炭酸加里	.6990		炭酸加里	.5370		炭酸加里	.5100
2	紫雲英	97.6553	5	紫雲英	97.6563	8	鷄糞	28.5800
	過磷酸石灰	1.4183		過磷酸石灰	1.4183		過磷酸石灰	1.4200
	炭酸加里	.1694		炭酸加里	.1694		炭酸加里	.4980
3	堆肥	97.9000	6	堆肥	4.5507		堆肥	4.5507
	過磷酸石灰	1.4535		硫酸安母尼亞	2.2700		硫酸安母尼亞	2.2700
	炭酸加里	.4720		過磷酸石灰	1.7550		過磷酸石灰	1.7550
				炭酸加里	.0690			

乙. 蒸製骨粉ヲ基礎トシタルモノ

區名	試驗區別	1圓筒當量	區名	試驗區別	1圓筒當量	區名	試驗區別	1圓筒當量
1	硫酸安母尼亞	2.1400	2	紫雲英	86.6660	3	堆肥	97.9000
	蒸製骨粉	1.2230		蒸製骨粉	1.6000		蒸製骨粉	1.0580
	硫酸加里	2.1400		硫酸加里	.7535		硫酸加里	1.9071

4	大豆粕	7.6080	6	堆肥	4.6900	8	鷄糞	28.5800
	蒸製骨粉	1.3040		硫酸安母尼亞	2.2700		蒸製骨粉	.1430
	硫酸加里	1.4400		蒸製骨粉	1.5900		硫酸加里	2.0730
5	紫雲英	86.6660	7	硫酸加里	2.1740			
	蒸製骨粉	1.6600		人糞尿	73.1330			
	石灰	5.5007		蒸製骨粉	1.1780			
	硫酸加里	.7535		硫酸加里	2.2810			

成績

(1) 生育狀況

甲. 過磷酸石灰ヲ基礎トシタルモノ

區名	植付後30日		土用入		穗孕期		出穂期		収穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.65	54.0	1.68	67.0	2.35	46.0	2.36	41.0	2.85	44.0
2	1.66	37.5	1.68	54.0	2.34	40.0	2.34	40.0	2.88	40.0
3	1.71	34.5	1.72	40.0	2.16	38.0	2.79	37.0	2.56	36.0
4	1.60	29.0	1.64	32.0	2.17	29.0	2.41	28.0	2.50	27.0
5	1.51	26.5	1.54	39.0	2.34	33.0	2.43	32.0	2.60	30.0
6	1.42	26.5	1.39	28.0	2.24	25.0	2.55	24.0	2.68	23.0
7	1.46	19.0	1.47	30.0	2.20	20.0	2.50	19.0	2.49	19.0
8	1.72	48.0	1.74	52.0	2.32	43.0	2.70	41.0	2.68	40.0

乙. 蒸製骨粉ヲ基礎トシタルモノ

區名	植付後30日		土用入		穗孕期		出穂期		収穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.66	46.0	1.70	54.0	2.31	43.0	2.92	38.0	2.73	38.0
2	1.45	29.0	1.47	41.0	2.40	39.0	3.20	36.0	2.95	35.0
3	1.61	38.0	1.50	50.0	2.35	35.0	3.00	30.0	2.95	29.0
4	1.51	28.0	1.49	36.0	2.31	34.0	3.10	32.0	2.97	31.0
5	1.48	33.0	1.47	41.0	2.32	36.0	3.11	36.0	2.85	34.0
6	1.37	28.0	1.41	34.0	2.16	27.0	2.92	24.0	2.65	22.0
7	1.43	21.0	1.45	27.0	2.24	21.0	3.11	30.0	2.95	29.0
8	1.72	46.0	1.77	65.0	2.27	51.0	3.00	48.0	2.82	45.0

(2) 収量

甲. 過磷酸石灰ヲ基礎トシタルモノ

區名	精 穀 重 量	藥 重 量	4 ヶ 年 平 均	
			精 穀 重 量	藥 重 量
1	27.18	34.75	21.84	35.63
2	24.18	26.45	28.13	24.72
3	14.95	16.35	17.43	18.18
4	24.72	28.85	29.11	30.93
5	25.18	27.38	29.34	29.69
6	27.28	33.70	32.14	37.83
7	17.25	19.88	19.34	30.44
8	17.38	20.45	19.69	22.75

乙. 蒸製骨粉ヲ基礎トシタルモノ

區名	精 穀 重 量	藥 重 量	4 ヶ 年 平 均	
			精 穀 重 量	藥 重 量
1	26.14	30.73	29.07	34.61
2	23.05	26.33	26.53	29.42
3	21.31	23.64	22.91	26.07
4	30.86	22.94	34.68	37.22
5	27.41	29.81	31.21	33.91
6	24.81	35.54	27.41	40.02
7	34.43	28.89	30.47	31.95
8	24.16	-	-	23.03

成績概要 磷酸肥料ノ供給原トシテ過磷酸石灰ヲ施用スルモノニアリテハ硫酸安母尼亞ニ堆肥ヲ加用シタル區成績優良ニシテ硫酸安母尼亞區紫雲英ニ石灰加用區、大豆粕區、紫雲英區、鶏糞區、人糞尿區等順次ニ其ノ収量ヲ減ジ堆肥單用區成績最モ劣レリ

又磷酸ノ給源トシテ蒸製骨粉ヲ施用シタルモノニアリテハ大豆粕區最モ成績優良ニシテ紫雲英ニ石灰加用區、硫酸安母尼亞ニ堆肥加用區、人尿區、紫雲英區等順次ニ其ノ収量ヲ減ジ堆肥單用區成績最モ劣レリ

4. 水稻磷酸質肥料試験 (繼續第4年)

本試験ハ本場土壤ニ於テ主要ナル磷酸質肥料ノ肥効ヲ知ラントスルモノニシテワグネル氏圓筒ヲ用ヒ試験ヲ甲乙二區ニ分テ窒素ヲ硫酸安母尼亞ニテ供給セルモノト石灰窒素ニテ供給セルモノトニ區別セリ

試驗區別

甲. 硫酸安母尼亞ヲ基礎トシタルモノ

區名	試驗區別	1圓筒當量	區名	試驗區別	1圓筒當量
1	硫酸安母尼亞	2,3870	3	硫酸安母尼亞	2,0750
	過磷酸石灰	1,8490		粗骨粉	1,6830
	炭酸加里	.6990		炭酸加里	.6990
2	硫酸安母尼亞	2,0550	4	硫酸安母尼亞	1,4500
	蒸製骨粉	1,6740		米 糠	8,5117
	炭酸加里	.6990		炭酸加里	.8620

乙. 石灰窒素ヲ基礎トシタルモノ

區名	試驗區別	1圓筒當量	區名	試驗區別	1圓筒當量
1	石灰窒素	2,8370	3	石灰窒素	3,6850
	過磷酸石灰	1,8490		粗骨粉	1,6840
	硫酸加里	.3270		硫酸加里	.3270
2	石灰窒素	2,4920	4	石灰窒素	1,8130
	蒸製骨粉	1,6740		米 糠	8,5170
	硫酸加里	.3270		硫酸加里	.1635

成 績

(1) 生育狀況

甲. 硫酸安母尼亞ヲ基礎トシタルモノ

區名	植付後 30 日		土 用 入		穗 孕 期		出 穂 期		収 穫 期	
	草 丈	1 株 本 數	草 丈	1 株 本 數	草 丈	1 株 本 數	草 丈	1 株 本 數	草 丈	1 株 本 數
1	1.75	41.0	1.75	57.0	2.32	38.0	2.89	38.0	2.85	37.0
2	1.73	41.0	1.75	57.0	2.52	40.0	2.85	40.0	2.85	38.0
3	1.63	43.0	1.70	56.0	2.44	36.0	2.82	33.0	2.83	32.0
4	1.56	37.0	1.65	51.0	2.35	38.0	2.92	36.0	2.90	35.0

乙. 石灰窒素ヲ基礎トシタルモノ

區名	植付後 30 日		土 用 入		穗 孕 期		出 穂 期		収 穫 期	
	草 丈	1 株 本 數	草 丈	1 株 本 數	草 丈	1 株 本 數	草 丈	1 株 本 數	草 丈	1 株 本 數
1	1.54	27.0	1.63	42.0	2.45	45.0	3.16	43.0	3.16	36.0
2	1.50	20.0	1.53	39.0	2.43	43.0	3.10	40.0	3.11	33.0

3	1.53	26.0	1.56	44.0	2.51	50.0	3.10	45.0	3.09	35.0
4	1.50	22.0	1.54	33.0	2.41	35.0	2.99	29.0	2.90	29.0

(2) 収 量

甲. 硫酸安母尼亞ヲ基礎トシタルモノ

區名	精粒重量	枇重量	藁重量	4ヶ年平均	
				精粒重量	藁重量
1	32.61	.65	36.33	33.06	38.92
2	33.18	.65	35.95	36.95	38.73
3	30.38	.60	32.35	31.69	35.43
4	30.90	.90	30.05	31.95	32.26

乙. 石灰窒素ヲ基礎トシタルモノ

區名	精粒重量	枇重量	藁重量	4ヶ年平均	
				精粒重量	藁重量
1	36.80	.62	40.30	40.30	43.90
2	35.75	.85	34.63	37.95	36.57
3	33.33	.98	42.61	35.05	46.31
4	34.78	.75	34.78	35.34	35.36

成績概要 窒素ノ供源トシテ硫酸安母尼亞ヲ施用セル場合ニアリテハ蒸製骨粉區成績優良ニシテ米糠區、粗骨粉區之ニ次ギ過磷酸石灰區成績最モ不良ナリ

又窒素ノ供源トシテ石灰窒素ヲ施用シタル場合ニアリテハ過磷酸石灰區成績最モ優良ニシテ蒸製骨粉區、米糠區之ニ次ギ粗骨粉區最モ成績劣レリ

5. 水稻三要素適量試験 (繼續第8年)

本試験ハ本場土壤ニ於テ三要素ヲ如何ナル割合ニ供給セバ最モ適當ナルカラ知ラントスルモノニシテワグネル氏圓筒ヲ用ヒ窒素ハ硫酸安母尼亞、磷酸ハ過磷酸石灰、加里ハ炭酸加里ヲ以テ供給セリ

試験區別

區名	試験區別	反當用量	區名	試験區別	反當用量	區名	試験區別	反當用量
1	窒素	2.0	2	磷酸	2.0	3	加里	5.0
	加	5.0		加	5.0		加	5.0
	里	5.0		里	5.0		里	2.0

4	窒素	4.0	7	窒素	5.0	10	窒素	6.0
	加	5.0		加	5.0		加	6.0
	里	5.0		里	5.0		里	5.5
5	窒素	5.0	8	窒素	5.5	11	窒素	6.0
	加	4.0		加	5.0		加	6.0
	里	5.0		里	5.0		里	6.0
6	窒素	5.0	9	窒素	6.0			
	加	5.0		加	5.5			
	里	4.0		里	6.0			

成 績

(1) 生育狀況

區名	植付後30日		土用入		穂孕期		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.65	49.0	1.67	63.0	2.47	42.0	3.06	39.0	2.80	39.0
2	1.56	48.0	1.58	63.0	2.64	52.0	3.29	39.0	2.79	39.0
3	1.72	42.0	1.74	71.0	2.59	54.0	3.29	50.0	3.09	49.0
4	1.76	58.0	1.79	65.0	2.71	49.0	3.27	48.0	3.14	47.0
5	1.69	47.0	1.71	79.0	2.71	55.0	3.26	45.0	3.21	44.0
6	1.76	57.0	1.85	74.0	2.79	57.0	3.19	51.0	3.19	50.0
7	1.76	50.0	1.82	80.0	2.79	58.0	3.26	45.0	3.64	44.0
8	1.75	60.0	1.81	67.0	2.69	55.0	3.46	52.0	3.11	51.0
9	1.79	42.0	1.82	63.0	2.69	57.0	3.39	44.0	3.36	43.0
10	1.74	44.0	1.82	77.0	2.76	63.0	3.39	50.0	3.24	46.0
11	1.34	33.0	1.69	58.0	2.76	66.0	3.36	53.0	3.29	51.0

(2) 収 量

區名	精粒重量	枇重量	藁重量	8ヶ年平均	
				精粒重量	藁重量
1	27.21	.79	31.06	30.73	27.66
2	28.52	.80	41.93	32.39	38.09
3	33.39	1.64	45.89	37.08	50.05
4	30.13	1.20	42.34	34.98	49.90
5	32.73	.91	47.96	33.32	52.97
6	19.19	2.34	43.98	20.26	52.47
7	21.86	1.56	20.46	24.88	31.28

8	21.97	2.11	50.44	24.94	63.40
9	30.88	2.07	50.13	29.98	58.55
10	56.13	1.54	56.13	35.71	30.68
11	54.87	2.44	54.87	30.68	65.54

成績概要 累年試験ノ平均ニヨレバ窒素5貫目、磷酸4貫目、加里5貫目施用區最モ成績優良ニシテ之ニ次グハ窒素5貫目、磷酸5貫目、加里2貫目施用區良好ナリ最モ成績不良ナルハ窒素5貫目、磷酸5貫目、加里4貫目施シタルモノナリ

6. 水稻ニ對スル主要窒素質肥料極量試験 (繼續第3年)

本試験ハ窒素質肥料中硫酸安母尼亞、大豆粕、腐敗大豆粕及人糞尿ノ4種ヲ選ビ之等ノ關係及各種肥料ノ安全ナル限界ヲ知ラントスルモノニシテワグネル氏圓筒ヲ用ヒ試験ヲ施行セリ

試驗區別

區名	試驗區別	反當用量	區名	試驗區別	反當用量	區名	試驗區別	反當用量
1	硫酸安母尼亞	7.0	2	硫酸安母尼亞	6.0	3	硫酸安母尼亞	5.0
	過磷酸石灰	7.0		過磷酸石灰	6.0		過磷酸石灰	5.0
	炭酸加里	7.0		炭酸加里	6.0		炭酸加里	5.0
4	硫酸安母尼亞	4.0	5	大豆粕	6.0	6	大豆粕	5.0
	過磷酸石灰	4.0		過磷酸石灰	6.0		過磷酸石灰	5.0
	炭酸加里	4.0		硫酸加里	6.0		硫酸加里	5.0
7	大豆粕	4.0	8	大豆粕	3.0	9	腐敗大豆粕	6.0
	過磷酸石灰	4.0		過磷酸石灰	3.0		過磷酸石灰	6.0
	硫酸加里	4.0		硫酸加里	3.0		硫酸加里	6.0
10	腐敗大豆粕	5.0	11	腐敗大豆粕	4.0	12	腐敗大豆粕	3.0
	過磷酸石灰	5.0		過磷酸石灰	4.0		過磷酸石灰	3.0
	硫酸加里	5.0		硫酸加里	4.0		硫酸加里	3.0
13	人尿尿	7.0	14	人尿尿	6.0	15	人尿尿	5.0
	過磷酸石灰	7.0		過磷酸石灰	6.0		過磷酸石灰	5.0
	硫酸加里	7.0		硫酸加里	6.0		硫酸加里	5.0
16	人尿尿	4.0						
	過磷酸石灰	4.0						

成績 (1) 生育狀況

區名	植付後30日		土用入		穂孕期		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.90	24.0	2.18	33.0	2.24	38.0	3.24	35.0	3.54	34.0
2	2.34	27.0	2.43	37.0	3.06	32.0	3.88	31.0	3.89	29.0
3	2.14	26.0	2.43	31.0	3.08	30.0	3.69	29.0	3.70	25.0
4	2.19	27.0	2.31	34.0	3.75	29.0	3.74	27.0	3.81	24.0
5	2.64	12.0	2.91	21.0	3.11	30.0	3.64	28.0	3.72	23.0
6	2.02	13.0	2.34	24.0	2.85	31.0	3.74	29.0	3.76	25.0
7	2.04	18.0	2.24	26.0	2.87	28.0	3.64	26.0	3.79	21.0
8	2.05	18.0	2.31	24.0	2.86	29.0	3.74	23.0	3.81	20.0
9	2.04	14.0	2.16	21.0	3.06	31.0	3.94	27.0	3.95	23.0
10	1.89	12.0	2.00	19.0	3.09	27.0	3.91	23.0	3.90	19.0
11	1.59	16.0	1.81	24.0	3.54	30.0	3.01	29.0	3.00	25.0
12	1.67	14.0	1.89	20.0	2.85	30.0	3.55	28.0	3.56	23.0
13	1.99	21.0	2.21	33.0	2.86	34.0	3.65	31.0	3.64	27.0
14	1.96	24.0	2.24	31.0	2.94	31.0	3.61	28.0	3.60	21.0
15	1.81	21.0	2.04	32.0	2.85	37.0	3.21	31.0	3.64	25.0
16	1.59	21.0	1.90	27.0	2.84	26.0	3.25	24.0	3.71	20.0

(2) 収量

區名	精穀重量	批重量	袋重量	3ヶ年平均	
				精穀重量	袋重量
1	33.50	3.05	42.00	24.49	41.93
2	30.50	2.50	51.00	25.70	41.73
3	28.00	1.25	46.50	36.44	42.95
4	25.25	1.50	42.27	36.34	44.59
5	25.00	2.50	43.57	16.69	39.85
6	23.00	2.00	25.00	15.58	41.52
7	22.00	1.75	31.87	14.55	45.00
8	20.50	2.00	30.70	24.50	43.10
9	33.96	2.50	45.36	24.49	41.93
10	36.05	1.75	38.15	25.70	41.93
11	32.32	1.50	40.15	36.44	42.95
12	34.27	3.00	37.47	36.34	44.59

13	13.75	3.15	15.69	16.69	39.85
14	14.27	2.50	15.58	15.58	41.52
15	14.77	1.70	14.55	14.55	45.00
16	26.00	3.00	24.50	24.50	43.10

成績概要 累年試験ノ平均ニヨレバ硫酸安母尼亞ニアリテハ4貫目區成績最モ優良ニシテ5貫目區成績最モ劣レリ、大豆粕ニアリテハ5貫目區成績最モ優良ニシテ3貫目區成績最モ劣レリ、腐敗大豆粕ニアリテハ5貫目區成績最モ優良ニシテ4貫目區成績最モ劣レリ、人屎尿ニアリテハ4貫目區成績最モ優良ニシテ7貫目區成績最モ劣レリ、又之等窒素肥料中ニテ成績最モ良好ナルハ硫酸安母尼亞ニシテ腐敗セシメタル大豆粕及其儘ノモノ之ニ次ギ人屎尿成績最モ劣レリ

7. 水稻米糠施用法試験 (繼續第3年)

本試験ハ水稻ニ對スル米糠ノ施用法ニ關シ最モ効果アル方法ヲ探究セントスルモノニシテワグネル氏圓筒ヲ用ヒ施行セリ

試験區別

區名	試験區別	肥料名並ニ施用量(1圓筒當)				
		米糠	硫酸安母尼亞	炭酸加里	過磷酸石灰	蒸製骨粉
1	米糠其儘施用	8.517	1.450	.682	—	—
2	施用前1週間腐敗	8.517	1.450	.682	—	—
3	全上2週間腐敗	8.517	1.450	.682	—	—
4	全上3週間腐敗	8.517	1.450	.682	—	—
5	過磷酸石灰	—	2.380	.699	1.849	—
6	蒸製骨粉	—	2.055	.699	—	1.674

成績 (1) 生育狀況

區名	補付後30日		土用入		穂孕期		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
	尺	本	尺	本	尺	本	尺	本	尺	本
1	1.33	40.0	2.34	41.0	3.11	38.0	3.06	36.0	3.05	36.0
2	1.38	41.0	2.39	42.0	3.16	37.0	3.06	36.0	3.06	36.0
3	1.38	43.0	2.50	45.0	3.21	39.0	3.13	37.0	3.12	37.0
4	1.38	40.0	2.39	42.0	3.20	38.0	3.25	38.0	3.23	34.0

5	1.40	44.0	2.47	46.0	3.29	40.0	3.27	39.0	3.28	39.0
6	1.55	55.0	2.56	63.0	3.34	41.0	3.30	40.0	3.29	40.0

(2) 収量

區名	精穀重量	批重量	薬重量	3ヶ年平均	
				精穀重量	薬重量
1	36.25	1.25	42.85	40.13	43.93
2	31.82	.75	40.51	38.91	43.76
3	28.60	.50	40.91	33.05	44.96
4	24.92	1.50	40.00	35.26	43.00
5	27.80	.95	59.42	35.90	53.66
6	39.72	1.25	54.20	43.39	51.10

成績概要 累年試験ノ成績ニヨレバ米糠ヲ其儘施用セルモノ成績最モ優良ニシテ長時間腐敗セシメタルモノ程成績不良ナリ

8. 水稻ニ對スル鹽化曹達ノ有害

程度並ニ之ガ豫防法試験 (新設)

本試験ハ鹽化曹達ノ水稻ニ及ボス有害ノ程度ヲ査定スルト同時ニ之ガ豫防法ヲ知ラントスルモノニシテワグネル氏圓筒ヲ用ヒ試験ヲ施行セリ

試験區別

區名	試験區別	肥料名並ニ1圓筒當施肥量				
		硫酸安母尼亞	過磷酸石灰	硫酸加里	鹽化曹達	石灰
1	標準區	5.0	5.0	1.0	—	—
2	鹽化曹達0.01%加用區	5.0	5.0	1.0	22.2	—
3	全上0.05%加用區	5.0	5.0	1.0	110.0	—
4	全上0.1%加用區	5.0	5.0	1.0	222.0	—
5	全上0.5%加用區	5.0	5.0	1.0	1110.0	—
6	鹽化曹達0.01%ナ鹽化石灰ニ變ズル様石灰ヲ加用シタル區	5.0	5.0	1.0	22.2	11.1
7	鹽化曹達0.05%ナ鹽化石灰ニ變ズル様石灰ヲ加用シタル區	5.0	5.0	1.0	110.0	55.0
8	鹽化曹達0.1%ナ鹽化石灰ニ變ズル様石灰ヲ加用シタル區	5.0	5.0	1.0	222.0	111.0
9	鹽化曹達0.5%ナ鹽化石灰ニ變ズル様石灰ヲ加用シタル區	5.0	5.0	1.0	1110.0	555.5

成績

(1) 生育状況

區名	植付後30日		土用入		穂孕期		出穂期		収穫期	
	草丈	1株本数	草丈	1株本数	草丈	1株本数	草丈	1株本数	草丈	1株本数
1	1.75	42.0	1.85	57.0	2.32	41.0	2.90	37.0	2.85	36.0
2	1.65	43.0	1.90	59.0	2.42	43.0	3.00	39.0	2.90	38.0
3	1.65	41.0	1.75	55.0	2.37	40.0	2.85	36.0	2.80	35.0
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	1.52	40.0	1.95	58.0	2.45	44.0	3.10	41.0	3.15	40.0
7	1.67	45.0	2.01	60.0	2.56	48.0	3.15	45.0	3.20	43.0
8	1.50	5.0	1.60	7.0	1.80	5.0	1.75	4.0	1.70	4.0
9	1.50	4.0	1.60	6.0	1.66	4.0	1.70	3.0	1.70	2.0

(2) 収量

區名	精穀重量	枇重量	莖重量
1	10.50	1.50	27.13
2	12.90	1.25	31.33
3	10.50	2.00	33.30
4	—	—	—
5	—	—	—
6	11.13	1.75	28.90
7	13.00	2.25	27.50
8	8.90	1.50	18.60
9	1.69	2.00	1.50

成績概要 コノ成績ニヨレバ鹽化曹達0.05%加用セシモノニ石灰ヲ鹽化石灰ニ變ズルカ加用シタル區成績最モ優良ニシテ之ニ次グハ鹽化曹達0.01%加用シタル區ナリ即チ鹽化曹達ハ其量少キ時ハ反テ水稻ニ對シ良好ナル結果ヲ與フレドモ其量多キ時ニハ著シク水稻ノ生育阻害ナル然レドモ之ニ石灰ヲ加用シ鹽化曹達ヲ鹽化石灰ニ變ゼシムル時ハ幾分其被害ヲ豫防シ得ラルハガ如シ

不良土壤ニ關スル試験

1. 大豆月夜病豫防試験 (繼續第3年)

本試験ハ本縣特ニ中魚沼郡ニ於テ俗ニ大豆月夜病ト稱シ大豆ノ結實不完全ナルモノアリ、其原因素ヨリ單純ナルモノニ非ズト雖モ土壤中ノ成分欠乏ニ由來スルヤ否ヤトノ見地ヨリ肥料的ニ之ガ發病ヲ豫防セントスルモノニシテワグネル氏圓筒ヲ用ヒテ試験セリ

供試土壤 中魚沼郡下船渡村正面ケ原土壤

供試品種 水滸

播種期 4月23日

移植期 6月13日

本數 1圓筒3本植

試験區別

區名	肥料名重ニ反當施肥量			
	窒素	磷	加里	石灰
1	—	—	—	—
2	500	2,000	2,000	—
3	1,000	2,000	2,000	—
4	1,000	2,500	2,500	—
5	1,000	2,500	2,500	10,000
6	1,000	2,500	2,500	20,000
7	1,000	2,500	2,500	30,000

成績
収量

區名	精豆重量	總重量	稈長	莢數	豆粒數	3ヶ年平均	
						精豆重量	總重量
1	1.35	2.40	.72	10.0	11.0	1.18	2.10
2	.75	1.10	.45	5.0	5.0	.45	.87
3	.90	1.40	.65	6.0	6.0	.60	1.23
4	1.40	2.60	.67	11.0	7.0	.90	1.90
5	1.50	2.70	.86	19.0	27.0	1.43	2.50
6	1.30	2.90	.78	18.0	25.0	1.06	2.57
7	1.70	3.50	.98	21.0	32.0	1.60	3.33

成績概要 累年ノ試験成績ニヨレバ窒素反當1.0貫、磷酸2.5貫、加里2.5貫、石灰30.0貫施用區成績最モ優良ニシテ其他石灰ヲ加用セシモノハ加用セザルモノヨリモ成績優良ナリ即チ窒素1.0貫内外及石灰ヲ30.0貫内外施用スルコ

トニヨリアル程度マデ之ノ土壤ハ改良シ得ルモノ、如シ

施肥標準調査

1. 施肥標準量試験

本試験ハ縣内各郡市ノ土壤ニ對シ施肥ノ標準ヲ查定セントスルモノニシテワグネル氏圓筒ヲ用ヒ肥料ハ硫酸安母尼亞、過磷酸石灰、化學用硫酸加里及化學用炭酸石灰ヲ以テ試験ヲ施行セリ

試験區別

區名	試驗區別	肥料名並ニ1圓筒當			
		硫酸安母尼亞	過磷酸石灰	硫酸加里	炭酸石灰
1	完全區	5.0	5.0	1.0	10.0
2	無窒素區	—	5.0	1.0	10.0
3	無磷酸區	5.0	—	1.0	10.0
4	無加里區	5.0	5.0	—	10.0
5	無肥料區	—	—	—	—

成績

(1) 生育狀況

(イ) 岩船郡神納村 (繼續第2年)

區名	植付後30日		土用入		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.53	43.0	1.61	46.0	3.34	35.0	3.35	35.0
2	1.41	29.0	1.50	39.0	3.32	31.0	3.31	30.0
3	1.38	33.0	1.49	42.0	3.21	28.0	3.28	29.0
4	1.28	22.0	1.28	39.0	3.07	27.0	3.15	27.0
5	1.14	18.0	1.25	36.0	3.06	27.0	3.05	26.0

(ロ) 南魚沼郡六日町 (繼續第2年)

區名	植付後30日		土用入		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.45	37.0	1.55	42.0	3.22	39.0	3.20	39.0
2	1.33	28.0	1.43	39.0	3.02	32.0	3.00	33.0
3	1.25	35.0	1.35	40.0	3.06	35.0	2.99	36.0
4	1.23	30.0	1.33	39.0	2.95	34.0	2.90	34.0
5	1.20	24.0	1.30	30.0	2.80	27.0	2.70	27.0

(ハ) 古志郡富曾龜村 (繼續第2年)

區名	植付後30日		土用入		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.40	32.0	1.50	44.0	3.39	37.0	3.37	37.0
2	1.35	30.0	1.45	34.0	3.24	31.0	3.23	30.0
3	1.33	26.0	1.43	40.0	3.31	35.0	3.31	34.0
4	1.33	24.0	1.43	37.0	3.39	33.0	3.29	32.0
5	1.20	21.0	1.30	29.0	2.90	29.0	2.87	28.0

(ニ) 西頸城郡大和川村 (繼續第2年)

區名	植付後30日		土用入		出穂期		收穫期	
	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數	草丈	1株本數
1	1.32	35.0	1.45	45.0	3.37	35.0	3.35	35.0
2	1.28	31.0	1.39	32.0	3.20	31.0	3.19	30.0
3	1.30	30.0	1.42	40.0	3.00	32.0	3.08	32.0
4	1.29	29.0	1.41	41.0	3.08	32.0	3.10	33.0
5	1.20	22.0	1.35	29.0	2.90	27.0	2.90	27.0

(2) 収量

(イ) 岩船郡神納村 (繼續第2年)

區名	精穀重量	秕重量	藁重量	2ヶ年平均	
				精穀重量	藁重量
1	40.75	1.75	44.40	53.42	61.00
2	33.40	1.50	35.45	38.90	46.80
3	39.55	1.25	40.70	41.98	49.77
4	42.65	1.50	39.95	41.67	47.72
5	37.60	1.75	30.70	36.15	38.10

(ロ) 南魚沼郡六日町 (繼續第2年)

區名	精穀重量	秕重量	藁重量	2ヶ年平均	
				精穀重量	藁重量
1	47.50	1.50	44.00	49.65	46.25
2	36.50	1.25	33.50	40.45	37.10
3	44.50	1.25	40.05	42.60	41.80
4	44.00	1.00	41.50	38.80	41.10
5	30.50	1.50	34.00	32.05	35.93

(ハ) 古志郡富曾龜村 (繼續第2年)

區名	精糶重量	批重量	藁重量	2ヶ年平均	
				精糶重量	藁重量
1	43.50	1.75	31.90	40.80	41.85
2	33.30	1.75	25.90	32.00	37.00
3	40.50	2.00	30.60	42.45	42.08
4	41.25	1.75	30.60	42.83	35.15
5	29.60	1.50	22.20	30.15	29.95

(ニ) 西頸城郡大和川村 (繼續第2年)

區名	精糶重量	批重量	藁重量	2ヶ年平均	
				精糶重量	藁重量
1	44.40	1.75	41.90	40.20	48.70
2	31.30	1.25	29.40	30.45	40.15
3	38.50	1.00	39.60	34.05	42.00
4	36.70	0.75	38.50	37.75	47.00
5	24.00	2.00	25.50	26.80	29.40

(ホ) 本 場

區名	精糶重量	批重量	藁重量	3ヶ年平均	
				精糶重量	藁重量
1	34.50	1.20	40.70	35.00	39.80
2	29.60	1.50	29.00	31.70	32.70
3	33.00	1.75	33.70	29.25	29.00
4	32.70	2.00	26.90	33.30	24.00
5	25.90	1.25	18.70	27.00	21.50

成績概要 以上ノ成績ニヨレバ一般ニ各町村トモ完全區成績優良ニシテ無加里區、無磷酸區之ニ次ギ無窒素區、無肥料區成績最モ劣レリ即チ施肥上窒素質及磷酸質肥料ハ最モ必要ナルガ如シ

前記町村ノ外岩船郡西神納村及岩船町、北蒲原郡黒川村及笹岡村、南魚沼郡大卷村、中魚沼郡中條村、中頸城郡黒川村、西頸城郡名立町ノ8ヶ町村ハ地力ノ平均ヲ計ルタメ本年度ハ無肥料ニテ水稻ヲ栽培セリ

2. 施肥標準實地踏査並ニ調査完了町村

本年度ニ於テ施肥標準實地踏査ヲ施行セルモノハ次ノ5ヶ町村ニシテ理

化學的分析ヲ完了シ9年度ヨリ試験田ヲ設置セントスルモノハ次ノ4ヶ町村ナリ

	郡名		町村名	郡名		町村名
	南魚沼郡	北魚沼郡		岩船郡	西頸城郡	
實地踏査ヲ施行セルモノ	全	全	中之島村	岩船郡	神納村	
	全	全	浦佐村	南魚沼郡	六日町	
	全	全	城内村	古志郡	富曾龜村	
	全	全	城川村	西頸城郡	大和川村	
	全	全	中條村	計4ヶ村		

3. 施肥標準調査設計ニ基ク試験田

本年度依託試験田ニ於ケル成績ハ在來法ニ比シ肥料代ニ於テ2圓09錢ノ増加ニ對シ玄米3斗8升ノ増収ヲ得在來法ニ比シ玄米1割5分餘ノ増収歩合ヲ示セリ

	反當収量			反當肥料代			比較田ニ對スル増収歩合%
	試験田	比較田	増減	試験田	比較田	増減	
中頸城郡大澁村	3.25	2.67	.58	13.03	9.70	3.33	20.3
全 下黒川村	2.51	2.21	.30	10.05	8.10	1.15	13.1
全 水上村	2.82	2.32	.50	11.33	8.27	3.06	21.5
中魚沼郡吉田村	2.63	2.31	.32	10.12	9.72	.40	13.7
三島郡深才村	2.77	2.41	.36	10.24	9.81	.41	15.0
北蒲原郡川東村	2.81	—	—	—	—	—	—
岩船郡平林村	2.75	2.75	.32	11.00	7.65	3.56	12.5
平 均	2.77	2.43	.38	10.96	8.87	2.09	15.9

但シ中頸城郡旭村、北蒲原郡紫雲寺村、岩船郡館腰村ノ3ヶ村ハ成績未着ニツキ本平均ヨリ省略セリ

分析件數及成分數

場用分析ハ土壤31件、肥料22件、研究44件、其他18件、計146件ニシテ其ノ成分數863成分依頼分析ハ土壤12件、肥料61件、其他12件、計85件ニシテ其ノ成分數208成分ナリ

1. 化學的分析

所屬別	種類別	件數	成分數	窒素	磷酸	加里	其他
用	土壤	31	310	31	31	31	217
	肥料	22	66	22	22	22	—
	研究	44	198	44	44	44	66
	其他	18	72	18	18	18	—
	小計	146	863	115	115	115	302
依類	土壤	12	24	1	5	5	13
	肥料	61	155	55	59	39	2
	其他	12	29	—	—	—	29
	小計	85	208	56	64	44	44

2. 理學的分析

所屬別	種類別	件數	成分數	窒素	磷酸	加里	其他	理學的分析
場用	土壤	31	217	—	—	—	—	217
	小計	31	217	—	—	—	—	217
	合計	231	1072	172	179	159	346	217

病 蟲 部

病害ニ關スル試験

1. 薑萎縮性病害試験 (繼續第4年)

本試験ハ薑萎縮ニ發生シ之レヲ萎縮セシムル一種ノ病害ニ關シ研究セントスルモノニシテ、前年度ニ於テ組織變色部ニ細菌ノ一種存在スルヲ認メタリ、而シテ之レガ最モ甚ダシカリシハ大正5年及6年ノ兩年度ニシテ7年度ニ於テハ之レヲ認ムルコトヲ得ザリキ、而モ之ノ發病ニ就テハ積雪ト密接ノ關係アルヲ認ム本年度ニ於ケル薑萎縮ノ生育狀況並ニ氣温及積雪ノ關係ヲ示セバ次ノ如シ

(1) 生育狀況 (東京早生種12畦5株甲乙兩區平均)

月	旬	平均草丈(寸)	平均氣温	大正8年度積雪量	累年平均積雪量	備考
大正7年12月	上	—	4.80	4.8	2.2	累年平均積雪量ハ明治37年ヨリ大正8年迄16ヶ年ノ平均ヲ示ス
	中	—	2.00	13.2	9.0	
	下	—	1.40	14.5	10.3	
大正8年1月	上	—	.43	37.0	13.8	
	中	—	.41	24.0	13.7	
	下	—	-1.13	28.0	13.8	
全 2月	上	—	-2.36	35.5	21.2	
	中	—	1.46	30.5	23.4	
	下	—	2.93	20.5	20.2	
全 3月	上	—	3.46	4.5	12.9	
	中	2.44	4.43	—	9.3	
	下	—	4.61	—	4.5	
全 4月	上	4.36	7.62	—	.5	
	中	7.22	8.88	—	—	
	下	(開花時) 10.01 18.86	11.19	—	—	
全 5月	上	26.20	14.18	—	—	
	中	31.76	13.09	—	—	
	下	—	15.28	—	—	

(2) 累年積雪日數及發病數

年次	積雪トナリシ月日	融雪月日	其日數	發病歩合
明治38年	11.7	翌年 3.25	139	—

明治39年	12.13	3.26	104	
全40年	12.23	3.31	99	
全41年	12.2	3.27	117	
全42年	11.12	3.26	135	
全43年	12.10	4.3	115	
全44年	12.9	2.28	82	
大正元年	12.13	3.16	94	
全2年	12.9	4.8	121	
全3年	12.5	4.8	125	
全4年	12.13	3.23	120	8.8
全5年	12.8	3.30	114	17.5
全6年	12.17	4.2	95	
全7年	12.11	3.7	85	
全8年	12.9	3.19	99	

成績概要 本病ハ大正6年(大正5年冬作)大正7年(大正6年冬作)大正8年(大正7年冬作)ニハ之ノ發生ヲ見ザリシヲ以テ其ノ狀況ヲ知ルヲ得ズト雖モ之レヲ大正4年(大正3年冬作)及大正5年(大正4年冬作)ニ於ケル狀況ヲ見ルニ融雪時期ノ早晚ニ關係スルコト甚大ニシテ其發生ヲ見ザリシ年度ハ何レモ發生年度ヨリ20-30日内外ノ晚キヲ知ル

從テ本病ハ融雪ノ遅キニ從ヒテ誘發セラル、モノナランカ、又品種トノ關係ニ在リテハ青森籌種ハ兩年ヲ通ジ1株ノ發生ヲモ見ザルニ反シ東京早生種ハ甚シク發生ヲナセリ

尙ホ繼續研究セントス

2. 稻葉切病ニ關スル試験 (繼續第14年)

4. 肥料ノ施用量試験 (繼續第9年)

本試験ハ本田ニ於ケル施肥四要素ト稻葉切病トノ關係ヲ知ラントスルモノニシテ品種ハ本病ニ對スル抵抗力弱キ愛國種ヲ用ヒ、1區6坪、1坪36株植トシ、施肥量ヲ除ク外總テ管理ハ本場普通ノ耕種法ニ準ジ、6月7日移植、10月4日収穫セリ試験區別次ノ如シ

區別	試験別	反當四要素分量			
		窒素	磷酸	加里	石灰
1	標準	1.826	1.393	1.439	15.000

2	窒素	2倍	3.652	1.393	1.439	15.000
3	全	3倍	5.478	1.393	1.439	15.000
4	磷酸	2倍	1.826	2.786	1.439	15.000
5	全	3倍	1.826	4.179	1.439	15.000
6	加里	2倍	1.826	1.393	2.878	15.000
7	全	3倍	1.826	1.393	4.317	15.000
8	石灰	2倍	1.826	1.393	1.439	30.000
9	全	3倍	1.826	1.393	1.439	45.000
10	全	4倍	1.826	1.393	1.439	60.000
11	無肥料					

成績 (1) 生育狀況

區別	6月17日		7月17日		7月30日		8月20日		收穫當時	
	草丈	草丈	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
1	.918	1.282	2.173	29.8	2.361	25.0	3.646	3.605	20.9	5.59
2	.923	1.115	2.193	46.8	2.573	36.0	3.447	3.639	25.9	5.26
3	.957	1.300	2.383	42.4	2.754	37.2	3.550	3.844	26.9	5.39
4	1.116	1.324	2.093	32.9	2.428	24.8	3.409	3.638	21.1	5.23
5	1.276	1.353	2.211	29.5	2.481	25.4	3.469	3.589	22.6	5.24
6	.981	1.214	2.023	26.0	2.520	22.2	3.478	3.631	20.3	5.53
7	.973	1.230	1.990	29.4	2.790	24.6	3.426	3.555	19.3	5.28
8	.958	1.253	2.016	28.8	2.390	24.8	3.243	3.533	21.4	6.22
9	.943	1.242	1.951	23.7	2.410	20.0	3.324	3.528	17.9	5.36
10	.931	1.283	1.998	26.6	2.468	25.8	3.323	3.663	18.7	5.31
11	.750	1.155	1.663	15.5	2.248	13.8	2.946	3.380	12.6	5.42

(2) 収量

區別	試験別	玄米収量		粟収量	
		本年度	前4ヶ年平均	本年度	前4ヶ年平均
1	標準	2.599	95.750	162.500	
2	窒素 2倍	2.466	115.250	176.875	
3	全 3倍	2.114	133.650	178.550	
4	磷酸 2倍	2.460	106.500	144.775	
5	全 3倍	2.955	97.250	163.375	
6	加里 2倍	2.787	98.750	143.237	
7	全 3倍	2.822	100.000	150.212	

	石 灰	2 倍		2.775	98.250	138.013
9	全	3 倍		2.566	101.250	145.425
10	全	4 倍		3.340	113.500	149.250
11	無	肥 料		1.755	69.500	98.200

(3) 發 病 葉 數

區別	試 驗 別	60内病葉數			各 區 別 步 合			病 葉 別 步 合	
		無孔病葉數	有孔病葉數	合計	無孔病葉數	有孔病葉數	合計	無孔病葉數	有孔病葉數
1	標 準	59	5	64	10.6	4.4	9.7	92.2	7.8
2	窒 素 2 倍	42	13	55	7.5	11.5	8.2	76.4	23.6
3	全 3 倍	50	8	58	8.9	7.1	8.6	86.2	13.8
4	磷 酸 2 倍	48	5	53	8.6	4.4	7.9	90.1	9.9
5	全 3 倍	67	5	72	12.0	4.4	10.7	93.1	6.9
6	加 里 2 倍	71	5	76	12.7	4.4	11.3	93.4	6.6
7	全 3 倍	50	7	57	8.9	6.2	8.5	87.7	12.3
8	石 灰 2 倍	62	20	82	11.1	17.7	12.2	75.0	25.0
9	全 3 倍	45	7	52	8.1	6.2	7.7	86.5	13.5
10	全 4 倍	39	20	59	7.0	17.7	8.8	66.1	33.9
11	無 肥 料	23	18	41	4.1	15.9	6.1	56.1	43.9
	合 計	556	113	669					

(4) 累 年 發 病 葉 數

區名	病 葉 區 別	大 正 4 年	大 正 5 年	大 正 6 年	大 正 7 年	大 正 8 年	合 計	各 區 別 步 合	病 葉 別 步 合
1	a 無 孔	32	90	75	65	59	321	9.1	82.1
	b 有 孔	15	14	19	17	5	70	6.5	17.9
2	a 無 孔	21	102	77	67	42	309	8.4	81.3
	b 有 孔	5	19	18	15	13	70	6.5	18.7
3	a 無 孔	34	60	79	58	50	279	7.6	76.9
	b 有 孔	20	24	13	19	8	84	7.8	23.1
4	a 無 孔	41	128	76	85	48	378	10.4	78.4
	b 有 孔	16	42	21	20	5	104	9.7	21.6
5	a 無 孔	26	141	69	79	67	382	10.5	85.2
	b 有 孔	14	17	13	17	5	66	6.1	14.8
6	a 無 孔	34	149	102	98	71	454	12.4	75.5
	b 有 孔	25	52	26	39	5	147	13.7	24.5

7	a 無 孔	35	100	88	75	50	348	9.6	76.5
	b 有 孔	20	37	17	25	7	106	9.9	23.5
8	a 無 孔	36	73	76	60	62	307	8.4	70.9
	b 有 孔	19	36	24	27	20	126	11.8	29.1
9	a 無 孔	31	94	66	66	45	302	8.3	77.0
	b 有 孔	19	24	15	25	7	90	8.4	23.0
10	a 無 孔	30	45	69	47	39	230	6.2	70.1
	b 有 孔	17	31	13	17	20	98	9.1	29.9
11	a 無 孔	47	105	79	75	23	329	9.0	75.4
	b 有 孔	28	16	21	24	18	107	10.0	24.5

備考 a 無孔病葉數 b 有孔病葉數 ナ示ス

(5) 累 年 収 量

(1) 玄 米

區 別	大 正 4 年	大 正 5 年	大 正 6 年	大 正 7 年	大 正 8 年	平 均
1	石 2.030	石 2.680	石 2.919	石 2.768		石 2.599
2	2.205	1.910	3.500	2.250	鼠害ニテ調査スルヲ得ズ	2.466
3	2.325	2.000	1.989	2.143		2.114
4	2.001	2.710	2.937	2.185		2.460
5	2.860	2.615	3.060	3.283		2.955
6	2.205	2.790	2.950	3.202		2.787
7	2.175	2.920	2.875	3.317		2.822
8	2.015	2.990	2.537	3.259		2.775
9	2.080	2.710	2.233	3.238		2.566
10	1.950	2.670	4.393	3.350		3.340
11	1.560	2.350	2.254	.860		1.755

(2) 藁

區 別	大 正 4 年	大 正 5 年	大 正 6 年	大 正 7 年	平 均
1	140.000	245.500	155.000	109.500	162.500
2	161.000	275.000	130.250	139.000	176.875
3	180.000	288.450	106.750	139.000	178.550
4	125.000	241.100	100.000	113.000	144.795
5	117.500	231.000	107.500	97.500	163.375
6	126.000	244.450	101.000	107.500	143.237